

《資 料》

M.Ю.レールモントフ関係
類別露文文献目録

木 村 崇 編集

序 言

わが国のロシア文学研究者で M.Ю.レールモントフ(1814—1841)の文学を専門とする人は、これまでも今も、きわめて少数である。作品の翻訳や伝記の紹介は微々たるものだ。日本では、他のロシア作家や詩人たちに比べて、レールモントフは、当然の評価をなされていないように思う。夭折したかれは、A.C.プーシキンのそれにもひけをとらぬ稟性の詩才を、存分に開花させることがかなわなかった。未完の詩才があたかも横溢しているような作品に接すると、研究者たちはとまどわずにおれない。それは、完成した小宇宙を作りあげた作家たちの奥深い文学世界にわけ入る時のとは違った、独特の難解さを覚えさせる。

Ф.М.ドストイェフスキイとかЛ.Н.トルストイ、А.П.チェーホフ、И.С.トウルゲーニェフなどは、翻訳でその文学に親しんだ人たちの中から、原語で読みたくなってロシア語を学び始める人が出てくるので、専門家が自己増殖していく。いや、ロシア語を解さぬドストイェフスキイ専門家やトルストイヤンが、この国にはいるほどなのである。宇野重吉のチェーホフ演劇論には専門家も兜を脱いだと聞く。レールモントフが同様の受容のされ方をするようになるには、まずレールモントフ研究の専門家を殖す以外にない。

わたしが、レールモントフ研究に手を染めてみようかと思っている人たちにとって、直接、実際に役立つ文献目録を作成しようと思いついたのは、まさにこの理由からである。専門分野を同じくする人たちが多いということは、必然的にその分野の研究水準を高めることになり、ひいては、その中の一人であるわたしも、その恩恵に欲することができる

信じている。さいわいわたしは、昨年4月から今年の2月末まで中京大学から派遣されて、ソ連科学アカデミー・ロシア文学研究所（プーシキン館）に滞在し、研究所内の図書館（科学アカデミー図書館の分館）の特別文庫のひとつである**Лермонтовский кабинет**のカタログカード約2万枚に目を通して、後述の原則に従って選んだ自分用の文献目録を作ることができた。またその中から、当面の自分の研究に必要な文献をマイクロフィルムやゼロックスのコピーにして持ち帰ることができたのである。わたしはこれらを、門外不出の個人財産にするつもりはない。どのような公的利用が可能かは、これから考えることにして、とりあえず文献目録を公表することにした。

研究者にとって使いやすい文献目録とは、ふたつのまったく矛盾した性格を併せ持つものでなければならない。すなわち、関係のありそうなものは何でもかでも網羅してあること、また同時に、当面の研究に必要なものが能率的に検索されるようになっていることである。たとえば最近、プーシキン館から500ページ以上もあるレールモントフ関係文献目録が出た（**Библиография литературы о М.Ю.Лермонтове. Л., «НАУКА», Ленингр. отделение, 1980**）。わたしはプーシキン館滞在中に、その編者であるミーレルさんから校正刷を見せていただいたが、網羅性という点では、これほど徹底したものはないと思った。そこには、1917年から1977年までに出版されたすべての文献（ただしテキストがロシア語で書かれたもの）、つまりレールモントフに、たとえ部分的にせよ関係するすべての著書、論文、評論、エッセー、書評、記事等、およそ考えるかぎりすべてのものが、収録されているのだから。しかし私はそれと同時に、6800以上もの表題が、出版年ごとにまとめて配列してあることに、とまどいを覚えた。この文献目録の中で中心的なのは「レールモントフの生涯と作品に関する文献」の章であるが、ここには4800の表題が羅列してあるのである。研究者がテーマの的をしぼって文献を検索しようとするとき、これではいかにも不便である。

レールモントフ特別文庫（**Лермонтовский кабинет**）のカタログは、著者名カードを主体に整理されてはいながらも、レールモントフに関係のありそうなテーマ、人物、事件、場所、機関、作品等々ごとにまとめら

れたカードが、そこに挿入されている。つまり件名カードの要素も折衷してあるわけだ。したがって一冊の本、一篇の論文が、このカタログではあちこちに顔を出すことになる。これは検索の便を考えたものであろう。調べたい事項を手あたり次第に引いてみると、必要な情報が芋づる式に入ってくるこのカタログ配列方式というのは、なかなか便利であった。しかし、このカードが約二万枚あったということからもわかるように（文献の点数にすれば、カード数のおそらく4,5分の1）、これはそのまま文献目録へ適用するわけにはいかない。なぜなら、目録は冗長性を嫌うからである。

このカタログは、プーシキン館内の図書館の蔵書と、一部だが、科学アカデミー図書館の書庫に入っているものとがわかるようになっていた。それをもとにわたしが自分用の文献目録を作成する際に採用した原則は、次の通りである。1) 可能なかぎり重複を避けること、2) レールモントフの作品の上演、脚色、オペラ化、映画化、音楽への転換、それらにまつわる事柄については無視すること、3) レールモントフの生涯や作品についての学校教育上の諸問題は、よほど興味をひくものでないかぎり割愛すること、4) レールモントフの作品の出版の際にのった挿絵に関するものについては無視すること、5) 作品の翻訳上の諸問題は原則として取り上げぬこと、6) レールモントフ全集、作品集、個別作品の出版そのものについては、他に発表されたものを利用できるので割愛し、解説や解題、テクストロジーの情報のみを取捨選択のうえ載せること、7) レールモントフにちなんだ各種の博物館に関する文献は、作品や生涯とのかかわりが深いものを選ぶこと、8) レールモントフ個人を題材とした他の作家の作品に関する文献は集めぬこと、などである。こうして書き抜いた表題点数は2000点におさえることができた。ミーレルさんのものは、レールモントフ特別文庫のカタログだけではなく、科学アカデミー図書館やサルティコフ＝シェドリン図書館のカタログからも集めているので、絶対数は私のものよりもだい分多い。しかし、私は革命前の文献も取りあげたし、若干ながら77年以降に出版された文献も見落さぬようにした。革命前の文献を網羅した文献目録が出たのはかなり前で、今日では入手しがたく、研究者にしてみれば、革命前も後も一括してお

さめられていた方が、はるかに便利だからである。

私が選んだ2000点を発表するにあたって、しっかりした原則にのっとった分類が必要だと考えた。まずすべての文献を大きく七つに分類した。

- A. 具体的な作品（テキスト）をふまえて書かれたもの。
- B. 伝記に関するもの。
- C. 作家論を中心とした文献。
- D. 学界動向，研究史，批評史，学説紹介。
- E. 研究文献に関する書評，論争，出版情報。
- F. 文献目録，その他の手引。
- G. レールモントの作品に対するパロディ，A～Fに分類しきれぬもの。

AとBは大きな項目なので，さらに次のような下位区分をした。Aに入るべき文献を，研究分野の別を一方の軸にとり，対象となった作品のジャンル別を他方の軸にとって，それぞれの交差点ごとに分類項目を設けることにした。

〈研究の分野別〉

- I. 作品の主題，構造，構成に関するもの，形象論，文学史的視野での作品論，その他美的評価にかかわるもの。
- II. 比較分析を中心としたもの，影響関係を論じたもの（内外の作家や詩人との，および民衆芸術やフォークロアとの），ロシア以外の地域でのレールモントフ文学の受容。
- III. 作品執筆にかかわる諸事実を明らかにしたもの（モデルその他の人間関係，作品のもとになった事件，体験），作品の成立過程を調べたもの（発表，出版・検閲事情，さらに各稿本の異同等についてのテクストロジー的諸問題），解説，解題のたぐい。
- IV. レールモントフの創作方法論（ロマンチズム，リアリズムを論じたもの），詩人のイデオロギー的諸側面（哲学，宗教，政治，信条，美的価値観など）にかかわるもの。
- V. 作品の言語的側面を照射したもの，韻律論的立場からのアプローチ，作品の文体研究，レールモントフの手になる翻訳についてふれたもの。

〈作品のジャンル別〉

- ① 詩（抒情詩，物語詩，エピグラムなど）。
- ② 戯曲（韻文・散文の別なく）。
- ③ 散文作品。
- ④ 複数のジャンルにまたがる作品をあわせて論じており，特定できないもの。

AのIの①，②，③にはそれぞれ，一定のジャンルに属する作品全体を総論的に論じたものがあるので，それをさらに下位区分して α という項目を設け，各論的に扱っているものを β の項目に入れて，両者を区別した。たとえば，「レールモントフの抒情詩の文学史的評価」というような論題ならA—I—①— α に，また「戯曲『仮面舞踊会』における人物形象」というような論題ならA—I—②— β に分類されることになる。

伝記に関する諸文献をあつめたBの下位区分は，次のようにした。

- I. レールモントフのかかわった諸事件，出来事にかかわる資料類（法延証言なども含む）。事実の究明を目的とした考証，立証，詩人の生涯および作品についての年譜。家系の資料等。
- II. レールモントフの交友関係，肉親，親類，召使などとの関係。レールモントフについての回想，伝聞，書簡。これは同世代人のものと，後世の人が資料をもとに推定したものとがあるので，前者を α の項目に，後者を β の項目に分けた。
- III. レールモントフの人間として，および詩人・作家としての成長を論じたもの。全生涯にわたって，あるいは各時期ごとに限定した各種の伝記類。ただし，「生涯と作品」，あるいは「生涯と文学活動」というような論題を持つものは，いわゆる「創造的道程」(Творческий путь)と区別しがたいし，作家論と分けてしまうのは問題があるので，Cの大項目の中に整理した。
- IV. レールモントフゆかりの地についての地誌的，あるいは諸事件や，詩人の運命にかかわる諸問題をあつかったもの。博物館の資料も，たいていゆかりの地との縁が深いので，ここに分類した。
- V. 画家としてのレールモントフ，趣味について語ったもの。

レールモントフの直筆によるアルバム類や、その発見にまつわるエピソードを語ったものなど。

このように、ある程度狭い分類項目を設定すると、レールモントフ文学をさまざまな角度から論じて、一冊の本にまとめたようなものをどうするか、という問題が残る。私はそのような場合、章ごとに一枚ずつカードを作り、それぞれ該当する項目にふるい分ける方法を採用した。それでも分類不可能な場合は、やむなくGの大項目の中に入れることにした。Gは、パロディーなど、A～Fからはずれた文献のために用意した大項目だが、結局「ゴミ箱」になってしまった。一般にどのような文献も、きちんと各項目に納まる例はむしろ少ないので、内容の比重の大きさに従って分類してあるわけだから、当然分類の仕方について異論の生じる余地はあると思う。利用される方がたからの御批判や御教示をたまわったうえで、後日、より充実したものに改訂したいと考えている。

最後に凡例に触れたい。

正字法改正以前の出版物は、技術的困難をとまなうので、すべて新字体に改めた。

各表題の通し番号の右横に、ローマ字の略号が付されていれば、(K)は編者木材の現在の蔵書中にあるの意、(M)は同じくマイクロフィルム（ただしネガ状態）で所蔵しているの意、(C)は同じくゼロックスコピーのかたちで所蔵しているの意、(T)は中京大学図書館の蔵書中にあるという意味である。

原物に対して編者の立場から補足的につけ加えた情報は〔 〕の中に入れた。ミーレルさんの文献目録とそれが一致している場合が目立つが、それは彼女も私も、プーシキン館のレールモントフ特別文庫のカタログに書かれてあるものを参考にし、ある時は、そのままの形で残したからである。ここに発表する文献は、プーシキン館の図書館か、そのすぐ近くの科学アカデミー図書館にあるということも意味している。私の所有しているもので間に合わないときは、そちらを利用されたい。しかしできるならば、この文献目録に、利用される方がたがすでにお持ちのものや、所在の分っているものがあれば、それを書きこんでいただき、情報

交換するのがいいと思う。そのための一助としてこの文献目録が役立つのであれば、編集したものとして、これ以上の幸せはない。

1980年9月30日

〈追 記〉

校正の段階で類別にかかわる大きなミスが発見されたが、それを改めるには技術的に多大の困難をとまなうので、利用者各位に衷心からお詫びを申し上げるとともに、下記のような正誤表を掲げることにした。

正 誤 表

- ◇ 361を 696と 697の間へ
- ◇ 578を 634と 635の間へ
- ◇ 865を 695と 696の間へ
- ◇ 1295を削除
- ◇ 1647を1566と1567の間へ
- ◇ 1648を1569の直後へ
- ◇ 1748を削除
- ◇ 1895を670と671の間へ
- ◇ 2081を削除

本来ならこの変更によって、通し番号を全部打ち直すべきだが、まことに遺憾ながら、この不便は利用者の側でおぎなっていたきたい。また通し番号656～665は編者の不注意によって欠番になっている。重ねがさねお詫び申し上げる次第である。

レールモントフ関係文献分類表

A. 作品(テキキスト)をふまえて書かれたもの 研究の分野別 作品のジャンル別	I 作品の主題、構造、構成に関するもの、形象論、モチーフ論、文学史的視野での作品論、ジャンル論、その他美的評価にかかわるもの。	II 比較分析を中心としたもの、影響関係を論じたもの(内外の作家や詩人との、および民衆芸術、フォークロアとの)、ロシア以外の地域でのレールモントフ文学の受容。	III 作品執筆にかかわる諸事実を明らかにしたもの(モデルその他の人間関係、作品のもとになった事件、体験、作品の成立過程を調べたもの(発表、出版、検閲事情、さらに各稿本の異同等)についてのテクニストロジ一的問題)、解説、解題	IV レールモントフの創作方法論(ロマンチズム、リアリズムを論じたもの)詩人のイデオロキ一的諸側面(哲学、宗教、政治、信条、美的価値観など)にかかわるもの。	V 作品の言語的側面を照射したもの、韻律論的立場からのアプローチ、作品の文体研究、レールモントフの手になる翻訳について述べたもの。
① 詩	α 総論 A-I-①-α β 各論 A-I-①-β	A-II-①	A-III-①	A-IV-①	A-V-①
② 戯曲	α 総論 A-I-②-α β 各論 A-I-②-β	A-II-②	A-III-②	A-IV-②	A-V-②
③ 散文	α 総論 A-I-③-α β 各論 A-I-③-β	A-II-③	A-III-③	A-IV-③	A-V-③
④ 不特定(複数)	A-I-④	A-II-④	A-III-④	A-IV-④	A-V-④
B 伝記に関するもの	I レールモントフのかかわった諸事件、出来事にまつわる資料類、事実の究明を目的とした考証、立証、詩人の生涯および作品についての年譜、家系の資料等	II レールモントフの交友関係、肉親らとの関係、レールモントフについての回想、伝聞、書翰。 α 同世代人の発言。 β 後世の人、直接関係のなかった人たちによる考察、判断	III レールモントフの人間として、および詩人・作家としての成長を論じたもの。一般の意味における伝記類(生涯をとおして、および各時期を区切ったもの)	IV レールモントフゆかりの地についての地誌的、あるいは諸事件や詩人の運命にかかわる諸問題をあつかったもの 博物館の資料。	V 画家としてのレールモントフ、レールモントフの直筆が残ったアルバム等を含める諸問題、レールモントフの趣味など。
C. 作家論を中心とした文献。ただし、「創造的道程」、「生涯」と作品」もここに含める。	D. 学界動向、研究史、批評史、学説紹介。	E. 研究文献に関する書評、論争、出版情報。	F. 文献目録、その他の手引。	G. レールモントフの作品に対するハロディー、A-Fまでに分類しきれぬもの。	

目 次

1) A-I-①- α	1 ~ 68
2) A-I-①- β	69 ~ 201
3) A-II-①	202 ~ 308
4) A-III-①	309 ~ 449
5) A-IV-①	450 ~ 483
6) A-V-①	484 ~ 552
7) A-I-②- α	553 ~ 565
8) A-I-②- β	566 ~ 589
9) A-II-②	590 ~ 597
10) A-III-②	598 ~ 628
11) A-IV-②	629 ~ 632
12) A-V-②	633 ~ 636
13) A-I-③- α	637 ~ 642
14) A-I-③- β	643 ~ 788
15) A-II-③	789 ~ 837
16) A-III-③	838 ~ 891
17) A-VI-③	892 ~ 908
18) A-V-③	909 ~ 932
19) A-I-④	933 ~ 974
20) A-II-④	975 ~ 1052
21) A-III-④	1053 ~ 1075
22) A-IV-④	1076 ~ 1147
23) A-V-④	1148 ~ 1171
24) B-I	1172 ~ 1311
25) B-II- α	1312 ~ 1397
26) B-II- β	1398 ~ 1495
27) B-III	1496 ~ 1569

28) B-IV	1570~1654
29) B-V	1655~1676
30) C	1677~1778
31) D	1779~1889
32) E	1890~2031
32) F	2032~2067
33) G	2068~2106

A-I-①-α

1 (M)

Андреевский

Очерк поэтической индивидуальности Лермонтова. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.338 — 352, [Изд. 5-е, допол.].

2 (M)

Белинский В. Г.

О поэзии Лермонтова. —В кн.: Сочинения М.Ю. Лермонтова под ред. П.В. Быкова. Т.I. СПб., Изд., С. Добродеева, 1891, с.XL—XLIX.

3 (M)

Белинский В. Г.

Самобытность поэзии Лермонтова. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб, б.г., с.274 — 275.

4 (T)

Белинский В. Г.

Стихотворения М. Лермонтова. —В кн.: В.Г. Белинский. Полное собр. соч. в 13-ти томах. Т.IV.М., Изд-во АН СССР, 1954. с.371 — 378.

5 (T)

Белинский В. Г.

Стихотворения М. Лермонтова. —В кн.: В.Г. Белинский. Полное собр. соч. в 13-ти томах. Т.IV. М., Изд-во АН СССР, 1954, с.479 — 547.

6 (T)

Белинский В. Г.

Стихотворения М. Лермонтова. Часть I. —В кн.: В.Г.Белинский. Полное собр. соч. в 13-ти томах. Т.VIII.М., Изд-во АН СССР, 1955, с.337 — 340.

7 (M)

Белинский В. Г.

Стихотворения Лермонтова. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.83 — 113, Изд. [5-е, дополн.].

8 (M)

Белинский В. Г.

Стихотворения Лермонтова. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб., Книгоизд. Товарищество «ОРОС», вып. 7. б.г., с.56 — 70.

9 (M)

Белинский В. Г.

Стихотворения Лермонтова включают в себе все элементы, из которых слагается жизнь и поэзия. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб., Книгоизд. Товарищество «ОРОС», вып. 7. б.г., с.78 — 80.

10

Белый А.

Символизм как миропонимание. — «Мир искусства», 1904, т. 11, с.173 — 196. [с.188 — 189, 193 — 194: Мотивы поэзии Лер-

монтова, сближающие его с симво-
листами.]

11 (M)

Боденштедт Ф.

Личность и поэзия Лермонтова.
—В кн.: В.И. Покровский.

Михаил Юрьевич Лермонтов. Его
жизнь и сочинения. М., 1916,
с.354 — 357, [Изд. 5—е, допол.]

12 (M)

Бороздин

Разочарование—преобладающий
мотив поэзии Лермонтова.

—В кн.: В.И. Покровский.

Михаил Юрьевич Лермонтов. Его
жизнь и сочинения. М., 1916,
с.73 — 77. [Изд. 5—е, допол.]

13 (M)

Бороздин

Мотивы поэзии Лермонтова,
вносившие успокоение в его
разочарованную душу. —В кн.:
В.И. Покровский. Михаил Юрьевич
Лермонтов. Его жизнь и сочинения.
М., 1916, с.82 — 83 [Изд. 5—е,
допол.]

14 (M)

Бурачок Степан Анисимович

Стихотворения М. Лермонтова.
СПб. 1840. (Письмо к автору).

—В ж. «Маяк современного
просвещения и образованности»
СПб., 1840, Часть XII, гл. 4,
Библиотека избранных сочинений,
стр.149 — 171.

15 (C)

Вацуро Вадим Эразмович

Ранняя лирика Лермонтова и
поэтическая традиция 20—х годов.

—«Русская литература», 1964,
№ 3, с.46 — 54.

16

Гинзбург Л. Я.

Лирика Лермонтова.

—«Литературное обозрение». М.,
1941, № 12, с.50 — 61.

17

Гинзбург Л. Я.

О лирике. Изд. 2—е, доп. Л.,

«Сов. писатель», 1974, 408 стр.

[С153—171, 232—238: поэзия
Лермонтова. Лирический герой
Лермонтова. Лермонтов и совре-
менная ему лирика].

18

Гиреев Д. А.

Лермонтов и русская револю-
ционная сатира. —В кн.: Проб-
лемы литературы и эстетики. Сб.
статей, посвящ. памяти проф.
Л.П. Семенова. Орджоникидзе,
1976, с.100 — 113.

19

Гоголь Н. В.

Выбранные места из переписки
с друзьями Николая Гоголя.
СПб., в тип. департ. внешней тор-
говли, 1847.

[С.198—271: В чем же, нако-
нец, существо русской поэзии, и
в чем ее особенность — общая

характеристика творчества Лермонтова].

20

Гроссман Леонид

Стихovedческая школа Лермонтова. —В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с.255 — 288.

21 (М)

История русской поэзии

Гл. одиннадцатая, М.Ю. Лермонтов. [Автор раздела — К.Н. Григорьян]. Л., «Наука», 1968, с.484 — 530.

22 (М)

Коровин В.

Лермонтов и русская лирика его времени. —В кн.: Творчество М.Ю. Лермонтова. 150 лет со дня рождения. М., «Наука», 1964, с.311 — 340. (АН СССР, Ин-т мировой лит-ры).

23

Коровин В. И.

Лирика Лермонтова 1837—1841 годов. Автореферат канд. дисс. М., 1958, 20 стр. (Моск. гос. пед. ин-т им. Ленина).

[Лирический герой поэзии Лермонтова. Жанр поэзии Лермонтова. Тема поэта и поэзии. Тема природы. Любовная лирика. Поэтика].

24 (М)

Коровин В. И.

О лирике Лермонтова. —В кн.: В.И. Коровин. Творческий путь М.Ю. Лермонтова. М., «Просвещение», 1973, с.9 — 148.

25 (М)

Котляревский Н.

Отличные свойства поэзии Лермонтова. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.295 — 298, [Изд. 5—е, допол.].

26

Лелевич Г.

Поэзия Лермонтова. Опыт социологической характеристики. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. М., «Никитинские субботники», 1929, с.57 — 77.

27

Максимов Д.

О Лирике Лермонтова. —«Литературная учеба», М., 1939, №4, апрель, с.7 — 33.

28 (М)

Максимов Д. Е. [Сб. статей]

Поэзия Лермонтова. Л., «Советский писатель», 1959, 327 стр.

[Содерж.: От автора, — Поэзия Лермонтова, — Тема простого человека в лирике Лермонтова, — «Мцыри», — Лермонтов и Блок].

29

Максимов Д. Е.

Поэзия Лермонтова. М.—Л., «Наука», [Ленингр. отд.—ние], 1964, 266 стр. (Акад. Наук СССР. Науч.—популяр. серия).

[Лирика Лермонтова. Тема простого человека в лирике Лермонтова. Проблематика и символика поэмы «Мцыри». Лермонтов и Блок].

30

Мережковский Д. С.

Лермонтов. Поэт сверхчеловечества. —В кн.: Гоголь. Творчество, жизнь и религия. СПб., «Просвещение», 1911, [4], 220 стр.

31

Мережковский Д. С.

М.Ю. Лермонтов. Поэт сверхчеловечества. СПб., «Пентеон», 1909, [2], 88 стр.

32

Милюков А.

Очерк истории русской поэзии. 2—е доп. изд. СПб., в типографии Эдуарда Веймара, 1858, 234 стр.

[С.185 — 217: Лермонтов и Гоголь].

33

Наровчатов С. С.

Лирика Лермонтова. —В кн.: Наровчатов С.С. Живая река. Литературоведение и критика. М., «Сов. Россия», 1974, с.5 — 78.

34

Наровчатов С. С.

Лирика Лермонтова. Заметки поэта. М., «Худож. лит.», 1964, 129 стр.

35

Найдич Э. Э.

Проблемы поэзии Лермонтова (1835—1841).

Автореф. дисс. на соиск. учен. степени д-ра филол. наук. Л., 1974. 42 стр. (АН СССР. Ин-т русской лит-ры (Пушкинский Дом)).

36

Недосекина Т. А.

Ранние поэмы М.Ю. Лермонтова (1828—1832). Автореф. дисс. на соиск. учен. степени канд. филол. наук. Л., 1973, 21 стр. (Ленингр. гос. ун-т им. А.А. Жданова).

37

Нейман Б. В.

Лирика Лермонтова.
— «Литература в школе», 1954, № 6, с.13 — 25.

38 (М)

Овсяннико—Куликовский Д. Н.

Мотивы поэта Лермонтова. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.67 — 73, [Изд. 5—е, допол.].

39

Орлов М. А.

Михаил Юрьевич Лермонтов.

Его личность и поэзия. (Из публичных чтений в пользу общества вспомоществования нуждающимся ученицам С.-Петербургской Мариинской женской гимназии). Составил М.А. Орлов. СПб., тип. Добродеева, 1883. [4], 82, II стр.

[Содерж.: I. Характеристические черты личности М.Ю. Лермонтова. II. Влияния, под которыми развивался поэтический талант М.Ю. Лермонтова. III. Обзор лирических произведений М.Ю. Лермонтова. IV. — V. Разбор эпических произведений М.Ю. Лермонтова. VI. Историко-литературное значение поэтической деятельности М.Ю. Лермонтова.]

40

Островский В. П.

Этюды о русских писателях. Мотивы лермонтовской поэзии. 2-е изд. СПб., Н.В. Ельманов, 1910, 88 стр.

[Содерж.: I. Вступление, II. Скорбь, как характерная черта русской поэзии, III. Пушкин и Лермонтов, как натуры поэтические, IV. Характер эпох, когда жили оба поэта, V. Обстоятельства семейные, воспитание и домашняя обстановка Лермонтова, VI. Юношеские произведения и влияния писателей, VII. Русская литература и публика в сочинениях Лермонтова и требования последних от поэзии. VIII. «Дума» и Печорин. IX. Изображение общества и военные нравы. X. Женщина

и любовь, XI. Эстетическое, эпическое и историческое значение Лермонтова].

41 (M)

Петухов Е.

Природа, как источник поэтических вдохновений Лермонтова. — В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.113 — 114, [Изд. 5-е, допол.]

42

Пирогов Г. П.

Лирика Лермонтова. — В кн.: Вопросы русской литературы. М., 1969, с.59 — 78. (Моск. гос. пед. ин-т им. В.И. Ленина. Учен. зап. № 315).

[Лирический герой, тематика и поэтика лирики Лермонтова].

43

Пульхритудова Е. М.

О жанровой дифференциации романтической поэмы 30-х годов XIX века. — В кн.: Европейский романтизм. М., «Наука», 1973, с.253—278; с.258—260; 272—278: романт. поэмы Лермонтова.

44 (M)

Пыпин А. Н.

К вопросу о самобытности поэзии Лермонтова. — В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб., б.г., с.275 — 277.

45

Пыпин А. Н.

Общественное значение поэзии Лермонтова. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб., б.г., с.267 — 274.

46 (Т)

Розанов Иван

Лермонтов в истории русского стиха. —В кн.: Литературное наследство, № 43—44, М., 1941, с.425 — 468.

47

Розанов И. Н.

Лермонтов — мастер стиха. М., 1942, 224 стр. (Творческий опыт классиков).

48 (М)

Рубанович А. Л.

IV. Баллады (проблема романтического характера). —В кн.: А.Л. Рубанович. Проблемы мастерства М.Ю. Лермонтова — поэта. Иркутск, 1963, 82—111 (Иркут. ун-т).

49

Рыленков Н. И.

Слово о Лермонтове. —В кн.: Рыленков Н.И. Душа поэзии. Портреты и раздумья. М., «Сов. писатель», 1969, с.34 — 51.

50 (М)

Сакулин П. Н.

Земля и небо в поэзии Лермонтова. —В кн.: Венок М.Ю.

Лермонтову. Юбилейный сборник. М.—Пг., 1914, с.1 — 55.

51

Слащев Е.

Гений русской поэзии. К 120-летию со дня смерти М.Ю. Лермонтова.

— «Литературный Киргизстан», 1961, № 4, с.81 — 85.

52

Соколов А. Н.

Лермонтов и русская романтическая поэма. —В кн.: Ученые записки (Московского обл. пед. ин-та), т. 13, Труды кафедры русской литературы. Вып. I, М., 1949, с.85 — 128.

53

Соколов А. Н.

Лермонтов и судьбы русской поэмы. —В кн.: Вестник Моск. ун-та. Филология и журналистика, 1964, № 4, с.3 — 20.

54 (М)

Соколов А. Н.

III. Лирика. —В кн.: А.Н. Соколов. Михаил Юрьевич Лермонтов. Изд. 2-е, испр. М., Изд-во Моск. ун-та, 1957, с.17 — 32.

55 (М)

Соколов А. Н.

IV. Поэмы. —В кн.: А.Н. Соколов. Михаил Юрьевич Лермонтов. Изд. 2-е, испр. М., Изд-во Моск. ун-та, 1957, с.33 — 58.

[1. Романтические поэмы, 2. Историческая поэма в народном стиле, 3. Опыты реалистической поэмы].

56

Соколов Леонид

Побежденный демон. Памяти М.Ю. Лермонтова. К столетию со дня рождения поэта. 1814 г. — 3 октября — 1914 г. Киев, тип. акц. общ. «Петр Барский в Киеве», 1914. [4], 63 стр.

Отт. из журн.: «Труды имп. Киевской духовной академии».

[Характеристика поэзии Лермонтова. О демонизме Лермонтова].

57 (М)

Соловьев И. М.

Поэзия одинокой души. — В кн.: Венок М.Ю. Лермонтову. Юбилейный сборник. М.—Пг., 1914, с.110 — 134.

58

Фохт У.

Бездонный океан поэзии. К 150-летию со дня рождения М.Ю. Лермонтова.

— «Новый мир», 1964, № 42, с.27 — 28.

59

Фохт У. Р.

Лирика Лермонтова. — В кн.: Московский обл. пед. ин-т им. Н.К. Крупской. Ученые записки. т. 66, 1958. Труды кафедры

русской литературы. Вып. 4, с.3 — 32.

[Язык и стиль Лермонтова. Реализм и романтизм. Пессимизм. Декабристские мотивы в творчестве Лермонтова].

60

Фохт У. Р.

Поэмы Лермонтова. — В кн.: Ученые записки Моск. обл. пед. ин-та им. Н.К. Крупской, т. 85, вып. 6, 1960, стр.171 — 203.

61 (М)

Шувалов С. В.

II Лирика. — В кн.: С.В. Шувалов. М.Ю. Лермонтов. Жизнь и творчество. М.—Л., Госиздат, 1925, с.62 — 91,

[1. Формы, 2. Эмоциональность и тематика].

62

Шувалов С. В.

Поэзия Лермонтова. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. М., 1929, с.93 — 148.

63 (М)

Шувалов С. В.

III. Поэмы. — В кн.: С.В. Шувалов. М.Ю. Лермонтов. Жизнь и творчество. М.—Л., Госиздат, 1925, с.92 — 124.

[1. Байроническая поэма; 2. «Демон»; 3. «Мцыри»; 4. Реалистическая поэма; 5. Поэма в народном стиле].

64

Шевырев С.

Стихотворения М. Лермонтова. СПб., 1840. Автор «Героя нашего времени». — В кн.: Зелинский В.А. Русская критическая литература о произведениях М.Ю. Лермонтова. Ч. I. М., 1897, с.190–204.

65

Щемелева Л. М.

О русской философской лирике XIX века. — «Вопросы философии», 1974, № 5, с. 90–100.

[Общая характеристика лирики Лермонтова].

66 (С)

Эйхенбаум Б. М.

Лирика Лермонтова. (Обзор). — В кн.: Б.М. Эйхенбаум. Статьи о Лермонтове. М.—Л., Изд-во АН СССР, 1961, с.289–359. (АН СССР. Ин-т рус. лит.).

67 (С) (М)

Эйхенбаум Б.

Пушкин, Тютчев, Лермонтов (Из гл. «Методика русского лирического стиха»). — В кн.: Эйхенбаум Б. О поэзии. Л., «Сов. писатель», 1969, с.391–435.

68

Юнович М.

Поэзия Лермонтова. — В кн.: Лермонтов М.Ю. Стихотворения и поэмы. М., 1939, с.5–42.

A-I-①-β

69 (М)

Айхенвальд Ю.

Антиномия дела и равнодушия, борьбы и отдыха, страсти и усмешки в поэзии Лермонтова, и конечный духовный синтез. — В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб, б.г., с.229–251.

70 (М)

Андроников И. Л.

«Дары Терека». — В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов. Исследования, статьи, рассказы. Пенза, Обл. изд-во, 1952, с.167–196.

71 (Т)

Баранов В.

Вокруг Лермонтова. IV. Отклики А.И. Полежаева на стихотворение Лермонтова «Смерть поэта». — В кн.: Литературное наследство, № 58, М., 1952, с.485–487.

72 (М)

Белинский В. Г.

«Бородино». — В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб. б.г., с.37–39.

73 (Т)

Белинский В. Г.

В.П. Боткину. [письмо] 1842 март 17. — В кн.: В.Г. Белинский. Полное собр. соч. в 13-ти томах. Т. XII. М., Изд-во АН СССР, 1956. [С.85–87: о «Демоне»].

74 (M)**Белинский В. Г.**

«Мцыри». — В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб, б.г., с.47 — 50.

75 (M)**Белинский В. Г.**

«Песня про царя Ивана Васильевича». — В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб, б.г., с.13 — 28.

76 (T)**Белинский В. Г.**

Рецензии. Ноябрь 1842 г. — В кн.: В.Г. Белинский. Полное собр. соч. в 13-ти томах. Т. VI. М., Изд-во АН СССР, 1955.

[С.489 — 491: о стих. Лермонтова «Валерик» («Я к вам пишу случайно»)]

77 (M)**Белинский В. Г.**

Содержание, построение и основная мысль стихотворения «Спор». — В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.140 — 142, [Изд. 5-е, допол.].

78**Богачек И. А.**

Поэма Лермонтова «Сашка». (К вопросу о завершенности произведения). — В кн.: Учен. зап. Ленингр. пед. ин-та им. А.И. Герцена. т.273, 1965, с.18 — 31.

79**Богачек И.**

«Сказка для детей» М.Ю. Лермонтова. — В кн.: Учен. зап. Ленингр. пед. ин-та им. А.И. Герцена. т.308, 1966, с.32 — 53.

80**Бродский Н. Л.**

«Бородино» Лермонтова. — В кн.: Историко-литературный сборник. Под ред. С.П. Бычкова. М., 1947, с.231 — 288.

81**Будрин В. А.**

«Парус» Лермонтова. — В альм.: Прикамье, Пермь, 1941, № 3, с.113 — 121.

82 (C)**Веденяпина Э. А.**

О типологической структуре образа героя русской романтической поэмы 20-х—30-х гг. XIX в. — В кн.: Вестн. Моск. ун-та, Сер. 10, Филология, 1972, № 1, с.22 — 32.

[С.29 — 30: «Мцыри» в ряду образов героя русс. романтич. поэмы].

83**Герштейн Э. Г.**

«Мятлевские» стихотворения Лермонтова. — «Вопросы литературы», 1959, № 7, с.170 — 173.

84

Глухов А. И.

О некоторых особенностях поэмы Лермонтова «Мцыри». — В кн.: Учен. зап. (Башкир. ун-т). вып. 17. Серия филолог. наук, № 7, 1964, с.183 — 200.

85 (М)

Григорьев А. А.

«Песня про царя Ивана Васильевича». — В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.128 — 134, [Изд. 5-е, допол.].

86 (М)

Григорьев Н. Г.

Перл художественного изображения старины. «Песня про царя Ивана Васильевича». — В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб., Книгоизд. Товарищество «ОРОС», б.г., вып. 7, с.28 — 37.

87

Гусев В. И.

В середине века. О лирической поэзии 50-х годов. М., «Сов. писатель», 1967. 300 стр.,

[С.10—11, 22—23, 27—28: К вопросу о жанре стих. «Утес»; с.77; особенность построения стих. «Парус»].

88

Девицкий И. И.

Об эпиграфе к стихотворению М.Ю. Лермонтова «Смерть поэта».

— «Науч. доклады высш.

школы. филол. науки», 1970, № 6, с.60 — 73.

89 (М)

Дурылин С. Н.

«Я, мать божия, ныне с молитвою». — В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.138 — 140, [Изд. 5-е, допол.].

90 (С)

Жижина А. Д.

Призыв к борьбе. «Дума» Лермонтова.

— «Русская речь», № 5, 1974, с.12 — 20.

91

Заславский И. Я.

Поэма о мужестве и гражданском долге. Поэма М.Ю. Лермонтова «Беглец». Опыт идейно-эстет. анализа. Киев, Изд-во Киев. ун-та, 1967, 87 стр.

92 (М)

Захарова А. М.

Эстетическая ценность и воспитательные возможности стихотворения М.Ю. Лермонтова «Парус», — В кн.: Творчество М.Ю. Лермонтова. Сб. статей, посвящ. 150-летию со дня рождения М.Ю. Лермонтова. Пенза, 1965, с.157 — 163. (Пенз. пед. ин-т. Каф. рус. лит. Учен. зап. Серия филол. Вып. 14).

93

Зотов В.

Кавказские стихотворения Лермонтова. — «Северное сияние», СПб, 1863, т. 2. Столб.413 — 418.

94

Зотов В.

Мцыри.

— «Северное сияние», СПб., 1863, т. 2. Столб.721 — 724.

95

Зотов В.

Первые поэмы Лермонтова.

— «Северное сияние», СПб., 1863, т. 2. Столб.225 — 234.

96

Зотов В. Р.

«Демон». Поэма Лермонтова.

— «Северное сияние», СПб., 1863, т. 2. Столб.91 — 102.

97 (М)

Из «Филолог. Записок» за 1890 г.

«Казачья колыбельная песня», —В кн.: В.И.Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.137 — 138. [Изд. 5-е, допол.].

98

История русской поэзии.

В 2-х томах. Л., «Наука», 1968. Т. I. 560 стр.

[С.387—388: «Демон» Пушкина и «Мой Демон» Лермонтова; с.395: «Подражания Корану» и «Три пальмы» (Б.П. Гордецкий); с.454—455: Сопоставление «Утеса»

Бенедиктова с «Утесом» Лермонтова (В.С. Киселев—Сергенин); с.463: различия лермонтовского романтизма и романтизма Кюхельбекера; с.464: Лермонтов и Огорев; с.473—476: демон у Лермонтова и А. Полежаева; с.481: Лермонтов и Полежаев (В.С. Киселев—Сергенин); с.484—530: М.Ю. Лермонтов (К.Н. Григорьян)].

99

Журавлева А.

К пониманию идейного смысла «Родины» Лермонтова.

— «Литература в школе», 1969, № 1, с.73 — 76.

100

Каплан И. Е.

Стихотворение Лермонтова «Родина».

— «Русский язык в школе», 1972, № 1, с.10 — 13.

101

Кедровский А. Е.

Богоборческие мотивы в философской лирике Лермонтова.

—В кн.: Ученые записки. (Моск. пед. ин-т им. В.И. Ленина). №213, 1964, с.52 — 72.

102

Кедровский А. Е.

Природа в лирике Лермонтова.

—В кн.: Ученые записки. (Московский пед. ин-т им. В.И. Ленина). № 231, 1964, с.140 — 155.

103

Кедровский А. И.

О положительном начале в лирике М.Ю. Лермонтова. — В кн.: Ученые записки. (Курский пед. ин-т), вып. 32, 1967, с.92 — 105.

104

Клейбер Борис

Несколько замечаний о поэме Лермонтова «Песня про купца Калашникова».

— «Scando-Slavica», т. 3, Copenhagen, 1957, с.31 — 37.

105 (M)

Коровин В. И.

Три поэмы Лермонтова. — В кн.: В.И. Коровин. Творческий путь М.Ю. Лермонтова. М., «Просвещение», 1973, с.149 — 202.

106 (M)

Котляревский Н.

«Измаил-Бей». — В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб, б.г., с.42 — 47.

107

Кузьмин А. И.

Героическая тема в русской литературе. М., «Просвещение», 1974. 304 стр.

[С.222—245: Героическая тема в творчестве М.Ю. Лермонтова. («Поле Бородина», «Бородино», «Два великана», «Новгород», «Последний сын вольности», «Песня про купца Калашникова», «Валерик»)].

108

Лобкова Н. А.

О своеобразии русской литературной баллады XIX века. Ритм и интонация. — В кн.: Вопросы литературы. Метод. Стилль. Поэтика. Вып. 8. Владимир, 1973, с.3 — 22. Владимр. пед ин-т.

[С.19—21: Стихотворения Лермонтова «Гость» («Кларису юноша любил...»), «Дюбовь мертвеца» и русская балладная литературная традиция].

109

Ломинадзе С.

«Не кончив молитвы...»

— «Вопросы литературы», 1970, № 1, с.123 — 132.

[Анализ стих. «Есть речи — значенье»].

110

Ломинадзе С.

Тайный холод. «Выхожу один я на дорогу» Лермонтова.

— «Вопросы литературы», 1977, № 3, с.206 — 226.

111

Лотман Ю. М.

Анализ поэтического текста. Структура стиха. Л., «Просвещение», 1972, 272 стр.

[С.169—179: анализ стихотворений «Расстались мы, но твой портрет...» и «Нет, не тебя так пылко я люблю»; с.192 — 199: анализ стих. «Выхожу один я на дорогу»].

112

Лотман Ю. М.

Лекции по структуральной поэтики. Вып. I. Введение, теория стиха. Тарту, 1964. 196 стр.

—В кн.: Учен. зап. Тартуского гос. ун-та, Вып. 160. Труды по знаковым системам, т. I.

[С.119–121: «Гляжу на будущность с боязнью», с.126 – 132: «Дума». Анализ стихотворений].

113 (M)

Любович Н. А.

О пересмотре традиционных толкований некоторых стихотворений Лермонтова. —В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов. Ставрополь, Ставро. кн. изд-во, 1960, С.81–96.

[«Ночь I», «Ночь II», «Ночь III» и «На буйном пиршестве задумчив он сидел»].

114

Маймин Е. А.

Опыт литературного анализа. М., «Просвещение», 1972. 208 стр.

[С.184–194: Анализ лирического произведения. Стилиевой анализ стихотворения Лермонтова «Утес»; с.195–206: о методе сравнительного анализа. Сравнительный анализ стих. Лермонтова «Дума» и «I-е января»].

115

Маймин Е. А.;

Стихотворения М.Ю.Лермонтова «Дума» и «I-е января».

— «Русская речь», 1969, № 6, с.13 – 19.

116

Максимов Д.

«Выхожу один я на дорогу». Стихотворение М.Ю. Лермонтова.

— «Литература в школе», 1965, № 6, с.13 – 21.

117

Максимов Д.

«Мцыри», поэма Лермонтова.

— «Русская литература». 1958, № 4, с.71 – 97.

118

Максимов Д.

Образ поэта в лирическом творчестве. (К итогам дискуссии о лирическом герое в поэзии).

— «На рубеже», Петрозаводск, 1954, № 6, с.70 – 74.

[С.72–74: Воспроизведение образа автора в образе лирического героя (в некоторых стих. Лермонтова ; напр. «Выхожу один я на дорогу...»)].

119

Максимов Д. Е.

Образ простого человека в лирике Лермонтова. (К постановке вопроса). —В кн.: Учен. записки (Ленингр. пед. ин-т), т. 9, Фак. яз. и литературы, вып. 3, 1954, с.143 – 209.

120

Максимов Д. Е.

О двух стихотворениях Лермонтова «Родина», «Выхожу один я на дорогу». —В кн.: Русская классическая литература. Разборы и анализы. Сост. Д. Устюжанин. М., «Просвещение», 1969, с.121 – 141.

121

Максимов Д.

Тема простого человека в лирике Лермонтова. —В кн.: О русском реализме XIX века и вопросах народности литературы. Сб. статей. М.-Л., 1960, с.208 – 273.

122

Мануйлов В. А.

«Демон» М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Мамуна Н.В. и Мануйлов В.А. «Демон», Л., 1935, с.41 – 60.

123

Маршак С.

Об одном стихотворении. [О стихотворении М.Ю. Лермонтова «Выхожу один я на дорогу»]. — «Новый мир». 1960, № 8, с.116 – 117.

124

Маршак С. Я.

Об одном стихотворении. («Выхожу один я на дорогу..») —В кн.: Маршак С.Я. Воспитание словом. М., 1964, с.162 – 164.

125

Маршак С. Я.

Ради жизни на земле. Об Александре Твардовском. М., «Сов. писатель», 1961, 108 стр.

[С.35–36: о стих. «Родина»].

126

Маслов Г.

Послание Лермонтова к Пушкину 1830 г. —В кн.: Пушкин в мировой литературе», Л., 1926, с.309–312.

127

Меднис Н. Е.

Стих и композиция поэмы М.Ю. Лермонтова «Мцыри». —В кн.: Русская литература XIX в. Вопросы сюжета и композиции. Горький, 1972, с.120 – 130. (Учен. зап. Горьк. ун-та. вып. 132).

128

Мордовченко Н.

Журналист, читатель и писатель. — «Костер», 1941, № 6, с.31–34.

129

Мордовченко Н.

Иван Грозный в оценках Белинского.

— «Звезда», 1945, № 10–11, с.183 – 191.

[С.188: Белинский об образе Ивана Грозного в «Песне про купца Калашникова»].

130

Москаленко-Судиенко С.

Новое о «Демоне» и «Боярине Орше». С приложением: 1. поэма Лермонтова «Демон» в очищенном от поддельных стихов и других недостатков виде; 2. поэма «Боярин Орша»; 3. этюда «Татьяна Пушкина». М., «Современ. пробл.», 1915, 184 стр.

131

Назаренко В.

О так называемом «лирическом герое».

— «Звезда», 1953, № 10, с.164 — 172.

[Примеры из лирики Лермонтова «Парус», «Сон»].

132

Найдич Э. Э.

М. Лермонтов. «Парус», — В кн.: Поэтический строй русской лирики. Л., 1973, с.122 — 134.

133 (М)

Найдич Э.

Поэма «Сашка». — В кн.: Творчество М.Ю. Лермонтова. 150 лет со дня рождения. М., «Наука», 1964, с.132 — 148 (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

134

Найдич Э. Э.

У истоков критического реализма. О стихотворении М.Ю. Лермонтова «Журналист, Читатель и Писатель». — В кн.: Проблемы

реализма. Вып. 3. Вологда, 1976, с.155 — 163. (Вологд. пед. ин-т).

[Проблематика стих. и характер образов. Черты Краевского в образе Журналиста («Утро журналиста» В.Ф. Одоевского). Монолог Писателя и авторское отступление в начале 7-ой гл. 1 тома «Мертвых душ»].

135

Напольнова Т. В.

«Бородино» М.Ю. Лермонтова. В помощь учителю.

— «Русская речь», 1976, № 1, с.114 — 119.

136

Наровчатов С. С.

Избранные произведения. Т. 1—2. М., «Худож. лит.», 1972.

[Т. 2: Лирика Лермонтова. Заметки поэта. (с.5 — 80)]

137

Недзвецкий В. А.

Поэт, Толпа, Судьба. («Смерть Поэта» М.Ю. Лермонтова). — В кн.: Известия АН СССР. Серия лит. и яз., 1972, т. 31, вып. 3, с.239 — 247.

138

Недосекина Т. А.

Автор в поэме «Демон». — В кн.: Проблема автора в художественной литературе. Воронеж, 1967, с.24 — 36.

139

Недосекина Т. А.

Поэма Лермонтова «Последний сын вольности». —В кн.: А.Н. Радищев, В.Г. Белинский, М.Ю. Лермонтов. Жанр и стиль художественного произведения, Рязань, 1974, с.111–121. (Рязанский пед. ин-т).

140 (С)

Недосекина Т. А.

Поэма Лермонтова «Последний сын вольности».

— «Русская речь», № 5, 1974, с.31–34.

141

Недосекина Т. А.

Эволюция авторского сознания в поэмах М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Проблема автора в художественной литературе. Вып. 2. Воронеж. 1969, с.10–26, —В кн.: Известия Воронеж. гос. пед. ин-та, т. 93.

142 (С)

Орлов П. А.

Общественно-исторический смысл поэмы М.Ю. Лермонтова «Демон». —В кн.: Известия Акад. наук СССР. Серия литературы и языка. т.23, вып. 5, 1964, с.377–385.

143

Орлов П. А.

Основной конфликт поэмы Лермонтова «Песня про царя

Ивана Васильевича, молодого опричника и удалого купца Калашникова». —В кн.: Научные доклады высшей школы. Филологич. науки. 1961, № 4, с.31–41.

144 (М)

Петухов Е.

Мужские и женские лица Лермонтовской поэзии. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.276–286. [Изд. 5-е, допол.].

145

Подвицкий Н. Б.

Проблема изображения будущего в романтической поэзии М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Ученые записки (Ульяновский гос. пед. ин-т им. И.Н. Ульянова). т. 17, вып. 5, 1962, с.3–12.

146

Попов А. В.

Последние стихотворения Лермонтова. (Из творческой истории). —В кн.: Ставрополье. Лит.-худож. альманах, № 2, Ставрополь, 1964, с.61–64.

147

Попов А. В.

Поэма М.Ю. Лермонтова «Беглец». —В кн.: Свет дружбы. Сб. произведений писателей Карачаево-Черкессии. Сост. И. Аджиев. Черкесск, 1963, с.380–396.

148

Поспелов Г. Н.

Лирика. Среди литературных родов. М., Изд-во Моск. ун-та, 1976, 208 стр.

[С.71–73, 87–88: анализ стих. «Не смейся над моей пророческой тоскою»; с.170–172: анализ стих. «Воздушный корабль» и «Утес»].

149

Пульхритудова Е. М.

Развитие декабристского романтизма в 30–е годы XIX века. Автореф. дисс. на соиск. учен. степени канд. филол. наук. М., 1966. 18 стр. (Ун-т дружбы народов им. Патриса Лумумбы. Историко-филол. фак-т).

[С.14–15: декабристские традиции в «Последнем сыне вольности», «Измаил-Бее» и др. Жанр романтической поэмы у Лермонтова].

150 (M)

Пыпин А. Н.

«Демон». —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб., б.г., с.39 – 42.

151

Рождественский В. А.

Жизнь слова, Беседы о поэтическом мастерстве. М., «Сов. Россия», 1977. 144 стр.

[С.8, 16–17, 122–124: заметки о лирике Лермонтова. Музыкальность стих. «Выхожу один я на дорогу», и «Умиравший гладиатор». Природа символа в стих. «Парус»

и «Утес». Анализ стих. «Пленный рыцарь»].

152

Рождественский В.

Лирика гнева и печали. К 150-летию со дня рождения М.Ю. Лермонтова.

— «Звезда», 1964, № 10, с.3 – 17.

153

Розенкранц И.

Мотив одиночества у Лермонтова.

— «Slavia», 1926, гоѝ, 5, сеѝ 1, с.100 – 106.

[«Листок». Образ Листка у Лермонтова, у других поэтов и в народной поэзии].

154 (M)

Рубанович А. Л.

Ш. Лирический герой. —В кн.: А.Л. Рубанович. Проблемы мастерства М.Ю. Лермонтова-поэта. Иркутск. 1963, с.59–81. Иркут. ун-т.

155 (M)

Рубанович А. Л.

VI. Проблема романтического характера в поэмах Лермонтова «Демон» и «Мцыри». —В кн.: А.Л. Рубанович. Проблемы мастерства М.Ю. Лермонтова-поэта. Иркутск, 1963, с.138 – 170, (Иркут. ун-т).

156

Рубанович А. Л.

Проблема романтического характера в творчестве М.Ю. Лермонтова. («Демон», «Мцыри»). —В кн.: Труды Иркут. ун-та, т. 19, Серия критики и литературоведения, вып. 3, 1962, с.3 — 38.

[Продолж. Начало: т.28 вып. 2, 1959].

157

Саводник В. Ф.

Чувство природы у Лермонтова. —В кн.: Лермонтов М.Ю. Иллюстр. полн. собр. сочинений. Ред. В.В. Каллаша. М., 1915, Т. III. Критические статьи. С.226 — 246.

[Из кн.: Саводников В. Ф. —Чувство природы в поэзии Пушкина, Лермонтова и Тютчева. М., 1914].

158 (М)

Семенов Л. П.

«Ангел». —В кн.: В.И.Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.135 — 137, [Изд. 5—е, допол.].

159 (М)

Семенов Л. П.

Библейские мотивы в поэме «Демон». —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.167 — 168. [Изд. 5—е, допол.].

160 (М)

Семенов Л. П.

«Бородино». —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.123 — 128, [Изд. 5—е, допол.].

161

Семенов Л. П.

Кавказские поэмы Лермонтова. —В кн.: Лермонтов Михаил Юрьевич. Кавказские поэмы. Ворошиловск, 1939, с.5 — 23.

162

Скатов Н. Н.

Родина в поэтической концепции Лермонтова, Тютчева, Некрасова. (К проблеме реализма и народности). —В кн.: Проблема реализма. Вологда, 1966. с.240 — 250.

163

Сквозников В. Д.

Реализм лирической поэзии. Становление реализма в русской лирике. М., «Наука», 1975. 368 стр. (АН СССР. Ин-т мировой литературы).

[С.312—332: анализ лирики Лермонтова («Дума»); с.345—346: сопоставление «Весны» Лермонтова со стих.Фета «Опять незримые усилья...»].

164

Соколов А.

Художественный образ в лирике Лермонтова. —В кн.: Творчество М.Ю. Лермонтова. 150 лет со дня рождения 1814—1964, М., 1964, с.172 — 202.

165 (M)

Соловьев Евг. А.

Негодование во имя человеческого достоинства, как основной мотив поэзии Лермонтова. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество, СПб., б.г., с.209 — 213.

166

Степанов Н.

«Парус» М. Лермонтова.
— «Литература в школе», 1964, № 3, с.22 — 26.

167 (M)

Стоютин В.

Анализ стихотворения Лермонтова «Пророк». —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.143 — 145, [Изд. 5—е, допол.].

168 (M)

Стоютин В.

«Пророк». —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб, б.г., с.93 — 97.

169

Стоютин Владимир

Руководство для теоретического изучения литературы по лучшим образцам русским и иностранным. СПб., тип. Эдуарда Праца, 1869, [2], 192 стр.

[С.1—9: разбор стих. «Ветка Палестины»; с.60: «Воздушный корабль»; с.83—84: «Пророк»; с.86—87: «Выхожу один я на дорогу»; с.93—94: «Душа»; с.95: «Как часто пестрою толпою ...»; с.184—187: Лермонтов 1815—1841. Биографический очерк].

170

Тойбин И. М.

Стихотворение Лермонтова «Не верь себе», —В кн.: Науч. доклады высш. школы. филол. наук, 1964, № 3, с.15 — 25.

171

Трохимович В.

Опыт исследования «Демона» Лермонтова.

Содержание: Обыденное вульгарное понимание Демона публикой и учеными. Не состоятельность идей философии и искусства Тэна. Два мировых течения человеческой мысли. Их распадение (музыка). Демонизм. Нравственные страдания и интеллектуальная красота. Новая идея человечества. Заключение В. Трохимовича. Одесса, тип. П.А. Земного, 1885, [2], 74, [1] стр.

172 (M)**Удодов Б. Т.**

К вопросу о лирическом герое Лермонтова. —В кн.: Вопросы поэтики литературы и фольклора, Воронеж, Изд-во Воронежского ун-та, 1974, с.73 — 90.

173**Удодов Б. Т.**

О динамике творческого процесса у Лермонтова. —В кн.: Первая научная сессия. Тезисы докладов и сообщений. Воронеж, 1962, с.201 — 203.

[Прослеживаются мотивы стих. «Смерть поэта» в ранних произведениях Лермонтова].

174**Уманская М. М.**

Эволюция темы родины в поэзии Лермонтова. —В кн.: Проблемы идейно-эстетического анализа худ. лит-ры в вузовских курсах в свете решения XXI съезда КПСС. Тезисы совещания 25—27 мая 1972 г. М., 1972, с.110 — 112.

175 (M)**Усок И. Е.**

Внутренние противоречия лирического героя Лермонтова. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Вопросы жизни и творчества. Под ред. А.Н. Соколова и Д.А. Гиреева. Орджоникидзе, Сев.—Осет. кн. Изд-во, 1963, с.160 — 175.

176**Усок Ирина Е.**

Время в лирике М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Искусство слова. Сб. статей. К 80-летию чл.-кор. АН СССР. Д.Д. Благого. М., «Наука», 1973, с.151 — 160.

177 (M)**Усок И.**

Герой лирики Лермонтова. —В кн.: Творчество М.Ю. Лермонтова. 150 лет со дня рождения. М., «Наука», 1964, с.202 — 235. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

178**Усок И. Е.**

Проблема личности в лирике Лермонтова 1836 — 1841 г.г. Автореф. дисс. на соиск. учен. степени канд. филологич. наук. М., 1964. 19 стр. (Ин-т мировой лит-ры им. А.М. Горького).

179**Фатов Н. Н.**

«Сашка» Лермонтова. —В кн.: Научные доклады высшей школы. Филологические науки. 1959, № 4, с.74 — 82.

180**Федотов О. И.**

Лиризм высокого напряжения. О жанровом своеобразии поэмы Лермонтова «Мцыри». —В кн.: Вопросы литературы. К 160-летию со дня рождения М.Ю. Лермонтова. Вып. 10, Владимир, 1975, с.76 — 96.

181

Филатова Г. В.

Кавказские поэмы М.Ю. Лермонтова. Автореф. дисс. на соиск. учен. степени канд. филол. наук. М., 1967, 19 стр. (Моск. обл. пед. ин-т им. Н.К. Крупской).

182

Филатова Г.

Поэма М.Ю. Лермонтова «Демон». К вопросу о значении кавказской тематики. —В кн.: Литература и Кавказ. Ставрополь, 1972, с.65 — 71. (Ставропольский гос. пед. ин-т).

183

Филатова Г. В.

Поэма М.Ю. Лермонтова «Измаил-Бей». —В кн.: Ученые записки Моск. обл. пед. ин-та им. Н.К. Крупской, т. 186, Русская литература, вып. 11. М., 1967, с.70 — 111.

[Кавказская тема у Рылеева, Пушкина, Полежаева и др. в сопоставлении с Лермонтовым. Черты романтизма в поэме].

184

Филатова Г. В.

Проблема положительного героя в поэмах Лермонтова «Беглец» и «Мцыри». —В кн.: Учен. записки Моск. обл. пед. ин-та им. Н.К. Крупской, т. 186, Русская литература, вып. 11, М., 1967, с.112 — 133.

185

Филатова Г. В.

Ранние кавказские поэмы М.Ю. Лермонтова. К вопросу о положительном герое в его творчестве. —В кн.: Ученые записки (Моск. обл. пед. ин-т им. Н.К.Крупской). т. 152, вып. 9, 10, 1964, с.147 — 198.

186

Фингерт Л. Б.

Принципы анализа художественных произведений. —В кн.: Ученые записки Воронежского гос. пед. ин-та. Серия историко-филологических наук. вып. 1, Ворошилов, 1957, с.117 — 176.

[С.160—176: Романтическая поэма Лермонтова «Мцыри»].

187

Фризман Л. Г.

Жизнь лирического жанра. Русская элегия от Сумарокова до Некрасова. М., «Наука», 1973, 168 стр. (Из истории мировой культуры).

[С.118—133: жанр элегии у Лермонтова. («Наполеон», «Кладбище», «К ***» («Я не унижусь пред тобою...»), «Смерть поэта», «Последнее новоселье», «Журналист, читатель и писатель», «Дума»)].

188

Фризман Л. Г.

Стихотворение М.Ю. Лермонтова «Есть речи — значенье». —В кн.: Науч. доклады высш. школы.

Филологические науки. 1971, № 4, с.27 – 37.

189 (М)

Саводник

Кавказ в поэзии Лермонтова. —В кн.: В.И.Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.45 – 52, [Изд. 5-е, дополн.].

190

Семенов Л. П.

Кавказ в поэзии Лермонтова. —В кн.: Лермонтов М.Ю. Кавказские стихотворения и поэмы. Пятигорск, 1941, с.5 – 42.

191

Слащева Л.

Функции иронии в поэме Лермонтова «Гамбовская казначейша», —В кн.: Тезисы докладов и сообщений XI науч. конф. профессорско-преподавательского состава Кирг. ун-та. Секция филол. наук. Фрунзе, 1962, с.32 – 33. (Кирг. ун-т).

192

Соколов А.

Композиция «Демона». — «Литературная учеба», М., 1941, № 7–8, июль-август, М.Ю. Лермонтов (1841–1941), с.56–72.

193 (М)

Соколов А.

Художественный образ в лирике Лермонтова. —В кн.: Творчество М.Ю. Лермонтова. 150 лет со дня

рождения. М., «Наука», 1964, с.172 – 201. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

194

Чернова А.

Анализ стихотворения М.Ю. Лермонтова «Выхожу один я на дорогу». —В кн.: Материалы XXII научной студенческой конференции. [Ч. I.] Поэтика. История литературы. Лингвистика. Тарту, 1967, с.69 – 70. (Тартус. ун-т).

195

Шагалов А. Ш.

Тема Наполеона в творчестве М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Вопросы русской литературы. М., 1970, с.194 – 218. (Учен. зап. Моск. гос. пед. ин-та им. В.И. Ленина. № 389).

196

Шадри Ваню

Клятва Лермонтова. О стихотворении «Кинжал». — «Дружба народов», 1964, № 10, с.178 – 181.

197

Шаталов С. Е.

Символ или человек. —В кн.: Вопросы стилистики. О языке, стиле и художественном мастерстве русских классиков. Арзамас, 1961, с.25 – 29.

[Принципы художественного построения стихотворения «Парус»].

198 (M)

Шувалов С. В.

Мастерство Лермонтова. —В кн.: Жизнь и творчество М.Ю. Лермонтова. Сб. 1-й. Исследования и материалы. М., Гос. Изд-во худож. лит-ры, 1941, с.251 — 309. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры). [О композиции лирического стихотворения поэта].

199

Щемелева Л. М.

Типы философского и психологического сознания в русской лирике XIX века. (Баратынский, Тютчев, Лермонтов). Автореф. дисс. на соиск. учен. степени канд. филол. наук. М., 1975. 24 стр.

200

Эйхенбаум Б. М.

«Демон». —В кн.: Лермонтов М.Ю. Демон. Восточная повесть. Л., Гослитиздат, 1941, с.47 — 54.

201

Юсуфов Расим Фараджуллаевич

Русский романтизм начала XIX века и национальные культуры. М., «Наука», 1970, 424 стр.

[С.103, 165—187: Изображение жизни народов Кавказа у Лермонтова. («Измаил-Бей», «Прощание» и др.), с.247 — 251, 298: исторические взгляды Лермонтова. («Измаил-Бей» и др.); с.344—359, 380—383, 394: проблема личности у Лермонтова, «естественный человек», природа и личность].

A-II-①

202 (M)

Андроников И. Л.

Битва с барсом. —В кн.: Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.39 — 42.

[Грузинская народная поэзия, послужившая эпизодом в поэме «Мцыри»].

203 (M)

Андроников И. Л.

Выводы. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.238 — 242.

[Утверждение в том, что «Мцыри», «Демон», «Дары Терек», «Казачья колыбельная песня» напоены темами народной поэзии].

204 (M)

Андроников И. Л.

Историки гребенского войска. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.185—187.

[Рукописный сборник казачьих преданий, обнаруженный историком Попко].

205 (M)

Андроников И. Л.

Источники Лермонтовской песни. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.180—183.

[О «Казачьей колыбельной песне»].

206 (M)

Андроников И. Л.

Коварная Тамара. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.35 — 39.

[Легенда и сходство сюжета лермонтовского стихотворения].

207 (M)

Андроников И. Л.

Любовь Гуда. —В кн.: Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.17—21.

[О легенде, отраженной в «Бэле» и «Демоне»].

208 (M)

Андроников И. Л.

Монастырь на Казбеке. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.27 — 35.

[Легенды и «Демон»].

209 (M)

Андроников И. Л.

Нерешенный вопрос. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.183 — 185.

[Спор вокруг источников лермонтовской баллады «Дары Террека»].

210 (M)

Андроников И. Л.

Пленник Ермолова. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.45 — 49.

[Источник поэмы «Мцыри»].

211 (K)

Андроников И. Л.

«Поэтическая апофеоза Кавказа» —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов. Исследования и находки. Изд. 4-е. М., «Худож. лит.», 1977, с.409 — 443.

[Фольклор и поэзия Лермонтова].

212 (M)

Андроников И. Л.

Прикованный богатырь. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.24 — 27.

[Легенда, отраженная в «Демоне»].

213 (M)

Андроников И. Л.

Рукопись тбилисского архива. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.187—195.

[Влияния народных песен и преданий на Лермонтова].

214 (M)**Андроников И. Л.**

Смерть жениха в день свадьбы.
—В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.21 — 24.

[Старинная народная песня, близкая к строфам «Демона»].

215**Базаров В. Г.**

А.И. Одоевский. Стихотворений. [Вступ. статья (с.5—46), подготовка текста и примеч. В.Г. Базарова]. Л., «Сов. писатель», [Ленингр. отд-ние], 1954, 212 стр.

[С.42: «Дума» Лермонтова и «Что вы печальны, дети снов» Одоевского; с.44—45: знакомство Лермонтова с Одоевским].

216**Бакинский В. В.**

Маяковский в борьбе за социалистический реализм. 1918—1923. Л., «Сов. писатель», 1952.

[С.180—186: Маяковский и Лермонтов. Стих. Маяковского «Тамара и Демон»].

217 (M)**Барамидзе М. Г.**

Лермонтов и классики грузинской литературы. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Вопросы жизни и творчества. Под ред. А.Н. Соколова и Д.А. Гиреева. Орджоникидзе, Сев.—Осет. кн. изд-во, 1963, с.124 — 133.

218**Бархин К. Б.**

Два стихотворения на смерть А.С. Пушкина. —В кн.: Стиль и язык А.С.Пушкина. (1837—1937). М., 1937, с.16 — 35, вкл. илл.

[Лермонтов и Кольцов на смерть Пушкина].

219**Беккер Э. Г.**

«Бородино» Лермонтова — зерно «Войны и мира» Толстого.

— «Литература в школе», 1964, № 3, с.27 — 33.

220**Бергольц О.**

Дневные звезды. Л., «Сов. писатель», 1971.

[С.163—172: отношение поэтессы к Лермонтову в разные периоды ее жизни.].

221**Бихтер А.**

Лермонтов и Маяковский. —В альм.: Лит. Мордовия, 1941, № 2 (4), с.41 — 58.

222 (M)**Веселовский А.**

Благотворное влияние байронизма на развитие таланта Лермонтова. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб., Книгоизд. Товарищество «ОРОС», вып. 7. б.г., с.251 — 261.

223 (Т)**Виноградов Георгий**

Произведения Лермонтова в народнопоэтическом обиходе. —В кн.: Литературное наследство, № 43—44, М., 1941, с.353—388.

224 (М)**Водовозов**

Пророк в изображении Пушкина и Лермонтова. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.146 — 149, [Изд. 5-е, допол.].

225**Волков Р. М.**

Народные истоки «Песни про царя Ивана...» М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Учен. зап. Черновицкого гос. ун-та. т. XXXIX, серия филол, наук. вып. 10, 1960. Вопросы новой русской литературы. с.28 — 62.

226**Вольпе Ц.**

И. Козлов. —В кн.: И. Козлов. А. Подолинский. Стихотворения. Л., 1936, с.7 — 38.

[С.36—38: Влияние Козлова на творчество Лермонтова].

227**Гаркави А. М.**

Заметки о М.Ю. Лермонтове. —В кн.: Учен. зап. Калининградского гос. пед. ин-та. вып. 6, 1959, с.274 — 296.

[Лермонтов и Жуковский].

228**Гиреев Д. А.**

Лермонтов и русская революционная сатира. —В кн.: Проблемы литературы и эстетики. Сб. статей, посвящ. памяти Л.П. Семёнова. Орджоникидзе, 1976, с.100 — 113.

229**Голованова Т. П.**

Наследие Лермонтова в поэзии XX века. —В кн.: Русская советская поэзия. Традиция и новаторство. 1917—1946. Л., «Наука», 1972, с.90 — 155.

[Традиции поэзии Лермонтова в творчестве А. Блока, С. Есенина, В. Маяковского].

230 (К)**Голованова Т. П.**

Наследие Лермонтова в советской поэзии. Л., «Наука», Ленингр. отд-ние, 1978, 192 стр.

[Содерж.: Предисловие; В преддверии нового века. Введение; «Отзыв мыслей благородных»: Чувство дома; «Общей лирики лента»: Грани «великого учительства». «Я родину люблю — и больше многих...»; «Есть чувство правды в сердце человека...»].

231 (М)**Горький А. М.**

М.Ю. Лермонтов. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Сб. статей под ред.

Н.А. Глаголева. М., Учпедгиз, 1941, с.3 – 8.

[Сопоставление с Пушкиным].

232

Грибушин И. И.

Отзвуки лирики С.П. Шевырева в творчестве М.Ю. Лермонтова.

– «Русская литература», 1969, № 1, с.182 – 185.

[Отзвуки лирики Шевырева в стих. «Поэт». Соотнесение строк из «Тамбовской казначейши» со стих. С.П. Шевырева].

233

Григорьян К. Н.

Наследие Лермонтова в становлении поэтического мировоззрения Некрасова. —В кн.: Некрасовский сборник. V. Л., 1973, с.66 – 75.

234 (М)

Гудошников Я. И.

Мастерство Лермонтова – лирика и русский фольклор. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы. Воронеж, Изд-во Воронеж. ун-та, 1964, с.137 – 148.

235

Гусев В.

Пульс лирики. О конфликте в поэзии. — «Подъем», 1960, № 6, стр. 136 – 141.

[С.137–138: сходные приемы построения лирических стихотворений Лермонтова («Парус», «Утес») и неконорых стихотворений А. Твардовского].

236 (М)

Дашкевич

Демон в мировой поэзии и образ Демона, созданный Лермонтовым. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.149 – 167, [Изд. 5–е, допол.].

237 (К)

Джрбашян Э. М.

Ваан Терян и поэзия Лермонтова. —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.300 – 317.

238 (М)

Дюшен

Отношение Лермонтова к Байрону. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.330 – 338, [Изд. 5–е, допол.].

239

Дюшен Э.

Поэзия М.Ю. Лермонтова в ее отношении к русской и западноевропейским литературам. Казань, 1914.

240

Жак Л.

Александр Блок о Лермонтове. Фрагменты из работы «А.А. Блок и М.Ю. Лермонтов».

– «Лит. Саратов», 1946, № 7, с.92 – 111.

241

Журавлева А. И.

«Белеет парус одинокий...».
— «Русская речь», 1975, № 3,
с.30 — 33.

[Символ в поэзии Лермонтова.
Сопоставление стих. «Парус» со
стих. В.А. Жуковского «Море»].

242

Закруткин В. А.

О неувыдаемом. М., «Современ-
ник», 1973. 448 стр. (Б-ка «О
времени и о себе»).

[С.190—213: Пушкин и Лер-
монтов (1936); с.214—237: Лири-
ка Лермонтова (1937)].

243 (К)

Заславский И. Я.

Лермонтов и украинская совет-
ская поэзия. —В кн.: Лермонтов
и литература народов Советского
Союза, Ереван, 1974, с.215 — 232.

244 (К)

Иванова О. С.

«Демон» Лермонтова в армян-
ских переводах и критике. —В
кн.: Лермонтов и литература на-
родов Советского Союза, Ереван,
1974, с.318 — 328.

245

Касаткина В. Н.

Поэтическое мировоззрение
Ф.И. Тютчева, Саратов, 1969.

[С.66—67, 82—87, 93, 98—99,
186—187, 198, 231: аналогии и
параллели в творчестве Тютчева и
Лермонтова].

246

Киселев-Сергенин В. С.

История русской поэзии. В 2-х
томах. Л., «Наука», 1968.

[Т. I, с.454—455: сопоставле-
ние «Утеса» Бенедиктова с «Уте-
сом» Лермонтова (В.С. Киселев-
Сергенин); с.463: различия лер-
монтовского романтизма и роман-
тизма Кюхельбекера; с.464: Лер-
монтов и Огорев; с.473—476:
демонизм Лермонтова и Полежае-
ва; с.481: Лермонтов и Полежаев
(В.С. Киселев-Сергенин)].

247 (М)

Краков А. Я.

Лермонтов и античность. Вступ-
ление. 1) Античные имена и об-
разы у Л. 2) «К Нэере» и неск.
стихов Гораций в поэме «Джю-
лио». 3) Программа трагедии
«Марии» и начало поэмы из вре-
мен Тиверия. Заключение. Харь-
ков, Тип. «Печатное дело», 1914,
26 стр.

248 (М)

Кретов А. И.

Лертонтов и народное творчес-
тво. —В кн.: М.Ю. Лермонтов.
Исследования и материалы. Воро-
неж, Изд-во Воронеж. ун-та, 1964,
с.110 — 136.

249

Кукушкина А. Н.

К типологии романтической
поэмы «Мцыри» Лермонтова и
«Соловьиный сад» Блока. —В
кн.: Саратовский ун-т им. Н.Г.

Чернышевского. Сборник научных работ студентов. Саратов, 1968, с.66 – 71.

250

Лагунов А.

Лермонтов и Полонский. —В кн.: Литература и Кавказ. Ставрополь, 1972, с.56 – 64. (Ставропольский гос. пед. ин-т).

251

Лебедев Ю. В.

Н.А. Некрасов и русская поэма 1840–1850 годов. Ярославль, Верх.-Волж. кн. изд-во, 1971, 136 стр.

[С.75–85: Лермонтовские традиции у Некрасова. «Несчастные» и «Мцыри»].

252

Лебедев Ю. В.

Принципы создания героического характера в поэмах М.Ю. Лермонтова и Н.А. Некрасова. «Мцыри» и «Несчастные» —В кн.: Очерки по истории русской литературы. Л., 1966, с.160 – 171. (Ленингр. пед. ин-т им. А.И. Герцена. Учен. зап. т.309).

253

Ленина Л. И.

Огарев и Лермонтов.
— «Русская литература», 1968, № 2, с.180 – 192.

254 (М)

Логиновская Е. В. [Румыния]

Образ Демона в творчестве Лермонтова и Эминеску. —В кн.: Проблемы теории и истории литературы. Сб. статей, посвящ. памяти проф. А.Н. Соколова. М., Изд-во Моск. ун-та, 1971, с.246 – 260.

255

Ломинадзе С.

«Я счет своих лет потерял...»
Некоторые проблемы поэтики Лермонтова.

— «Вопросы литературы», 1975, № 3, с.113 – 151.

[Особенности поэтического времени в лирике Лермонтова в сопоставление с категорией времени в лирике Пушкина].

256

Любович Н.

Лермонтов и Байрон.
— «Книга и пролетарская революция», М., 1939, № 9, Художественная литература, с.100 – 107.

257

Мавер Ло Гатто

Искусство разрушать атмосферу лирики. «Колыбельная» Некрасова, подражание Лермонтову. —В кн.: Сравнительное изучение литератур. Сб. статей к 80-летию акад. М.П. Алексева. Л., «Наука», 1976, с.44 – 49. (АН СССР. Отд-ние лит. и яз. Ин-т рус. лит.) Пушкинский дом).

258

Максимов Д. Е.

Лермонтов и Блок. К постановке вопроса. —В кн.: Максимов Д.Е. Поэзия Лермонтова. Л., 1959, с.309 – 325.

259 (M)

Малкин В. А.

М.Ю. Лермонтов в Галиции. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы. Воронеж, Изд-во Воронеж. ун-та, 1964, с.186 – 220.

260 (M)

Масик В. И.

О лермонтовских традициях в поэзии Маяковского. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы. Воронеж, Изд-во Воронеж. ун-та, 1964, с.236 – 256.

261 (M)

Мендельсон Н. М.

Народные мотивы в поэзии Лермонтова. —В кн.: Венок М.Ю. Лермонтову. Юбилейный сборник. М.-Пг., 1914, с.165–195.

262 (M)

Найдич Э. Э.

Лермонтов и Пушкин (К вопросу об эволюции творчества Лермонтова в 1834–1837 гг.). —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Вопросы жизни и творчества. Под ред. А.Н. Соколова и Д.А. Гиреева. Орджоникидзе, Сев.-Осет. кн. изд-во, 1963, с.88 – 103.

263 (K)

Найдич Э. Э.

Стихотворение «М.А. Щербатовой» (Лермонтов и Е.П. Гребенка). —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.403 – 408.

264

Наровчатов С. С.

Атлантида рядом с тобой. Критика. Полемика. Размышления. М., «Современник», 1972. 352 стр. [С69, 70–71, 75–76: Лермонтов и Туманян («Поэт и гражданин»); с.144: отзыв о стих. Я. Смелякова «На поверке» («Стихи в осенних журналах...»); с.327–331: «Лермонтов вмешивается в спор». [Лермонтов о задачах поэзии: «Не верь себе», «Поэт», «Журналист, читатель и писатель»].

265

Наумов Е.

Маяковский о литературе и искусстве. —В кн.: Маяковский. 1930–1940. Статьи и материалы. Л., 1940, с.171 – 245.

[С.222–223: Маяковский о Лермонтове].

266

Наумов Е. И.

Сергей Есенин. Личность, творчество. Эпоха. Лениздат, 1973, 455 стр.

[С.11, 75, 370–372: отношение Есенина к Лермонтову].

267

Нейман Б. В.

Отражение поэзии Козлова в творчестве Лермонтова. — В кн.: Известия отдел русск. яз. и словесности имп. Академии наук, 1914, т. XIV. кн. I. с.200 — 219.

268

Нольман М.

Лермонтов и Байрон. — В кн.: Жизнь и творчество М.Ю. Лермонтова. Сб. 1-й. Исследования и материалы. М., Гос. Изд-во худож. лит-ры, 1941, с.466 — 515, (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

269

Нольман М. Л.

От «Демона» Пушкина к «Демону» Некрасова. — В кн.: К истории русского романтизма. М., 1973, с.386 — 418.

[С.400: «Демоническая» тема у Пушкина и Лермонтова].

270

Орлов В. Н.

Александр Блок. Очерк творчества. М., Гослитиздат, 1956, 262 стр.

[Отзвуки поэзии Лермонтова в творчестве Блока. с.22, 34, 75, 154, 160—162].

271

Островский А.

Тургенев — поэт. — В кн.: Тургенев И. Стихотворения. Л., «Сов. писатель», 1950. Малая серия. Б-ка поэта. с.5 — 50.

[С.6, 7, 21, 25, 27, 28, 32, 33, 34, 48, 50: значение творчества Лермонтова для И.С. Тургенева и поэзии его времени].

272 (М)

Петросов К. Г.

Маяковский и Лермонтов. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Вопросы жизни и творчества. Под ред. А.Н.Соколова и Д.А.Гиреева. Орджоникидзе, Сев.-Осет. кн. изд-во, 1963, с.104 — 123.

273

Петросов К. Г.

О лермонтовской традиции и лирическом герое послеоктябрьской поэзии Маяковского. — В кн.: Ученые записки Коломенского пед. ин-та. т. 5. 1961, с.3—29.

[Поэма Маяковского «Про это», «Тамара и Демон»].

274

Подгаецкая И. Ю.

«Свое» и «чужое» в поэтическом стиле. Жуковский — Лермонтов — Тютчев. — В кн.: Смена литературных стилей. На материале русской литературы XIX—XX веков. М., «Наука», 1974, с.201—250. (Ин-т мировой литературы им. А.М. Горького).

[Проблема заимствования и полемичность стиля в творчестве М.Ю. Лермонтова. Сопоставление с Жуковским и Тютчевым].

275

Познанский В. В.

Очерки истории русской культуры первой половины XIX века. М., «Просвещение», 1970, 280 стр.

[С.170–175: «Бородино» и «Певец во стане русских воинов» В.А. Жуковского].

276

Резник О.

Художественная публицистика в годы войны.

— «Новый мир», 1945, № 11–12, с.286 – 306.

[С.286–287: Лермонтовские свободолюбивые мотивы («Мцыри») и советская литература военных лет («Слово о 28 гвардейцах» Н. Тихонова, «Сказки о правде» М. Алигер)].

277

Реизов Б. Г.

Заметки о Лермонтове. — В кн.: От «Слово о полку Игореве» до «Тихого Дона». Сб. статей к 90-летию Н.К. Пиксанова. Л., «Наука», 1969, С.317 – 325. (Акд. наук СССР. Ин-т рус. лит. Пушкинский дом).

[Возможные истоки стихотворения «Спор»: греческая народная песня «Олимп», переведенная Клодом Форьерем на франц. яз., а затем Н.И. Гнедичем на русский и стих. Л. Якубовича «Урал и Кавказ»]

Литературная традиция воплощения темы бури, океана и сво-

боды (Байрон, Пушкин, Баратынский) и «Парус» Лермонтова].

278

Рейфман П. С.

Стихотворение Лермонтова «Как часто пестрою толпою окружен», и повесть Соллогуба «Большой свет»,

— «Литература в школе», 1958, № 3, с.94 – 95.

279

Родзевич С. И.

К вопросу о влиянии Байрона и А. де Виньи на Лермонтова. (Юношеские стихотворения Байрона и Лермонтова: «Демон» и «Эпод»).

— «Филологические заметки», 1915, кн. 2, с.33 – 62.

280 (М)

Розанов М. Н.

Байронические мотивы в творчестве Лермонтова. — В кн.: Венок М.Ю. Лермонтову. Юбилейный сборник. М.-Пг., 1914, с.343 – 384.

281

Рыльский М.

О поэзии. Статьи. М., «Сов. писатель», 1974. 343 стр. с портр.

[С.29–44: Вечевой колокол; с.77: Лермонтов и Шевченко («Тарас Шевченко»); с.113: Лермонтовский характер патриотизма И. Франко («Мастерство Ивана Франко»)].

282 (K)**Сафуанов С. Г.**

Традиции Лермонтова в башкирской поэзии. —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.408—414.

283**Семенко И. М.**

Жизнь и поэзия Жуковского. М., «Худож. литература», 1975, 256 стр.

[С.100, 128, 136, 155—157, 209, 228, 230: Жуковский и Лермонтов].

284**Семенов Л. П.**

Избранное. Статьи об осетинской литературе. Орджоникидзе, Сев.-осет. книжн. изд-во, 1964, 420 стр. с портр.

[С.31—48: Лермонтов и Коста].

285 (M)**Семенов Л.**

К вопросу об источниках поэзий Лермонтова. —В кн.: Л. Семенов. М.Ю. Лермонтов. Статьи и заметки. I. М., 1915, с.250—252.

286 (M)**Семенов Л.**

Лермонтов и Баратынский. —В кн.: Л. Семенов. М.Ю. Лермонтов. Статьи и заметки. I. М., 1915, с.231—240.

287 (M)**Семенов Л. П.**

Мотивы горского фольклора и быта в поэме Лермонтова «Хаджи Абрек». —В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов. Ставрополь, Ставро. кн. изд-во, 1960, с.7—28.

289 (M)**Семенов Л.**

Пушкин и Лермонтов. —В кн.: Л. Семенов. М.Ю. Лермонтов. Статьи и заметки. I. М., 1915, с.260—268.

290**Соколов А. Н.**

Очерки по истории русской поэмы XVIII и первой половины XIX века. М., Изд. Моск. ун-та, 1955, 692 стр.

[С.570: сближение поэмы И. Раджицкого «Али-Кара-Мирза» с «Измаил-Беем»; с.589—615: гл. 6, «Революционный романтизм в поэмах Лермонтова»; с.620, 623: сюжет поэмы В. Зотова «Последний Хеак» навеян «Хаджи-Абреком». Поэма «Король Энцио» Григория Коб...ова восходит к «Мцыри»; Поэмы А. Григорьева, Тургенева и Полонского обнаруживают влияние Лермонтова].

291**Скогорева Ирина**

Эпоха, личная судьба, творчество. (Н. Бараташвили и М.Ю. Лермонтов).

— «Литературная Грузия»,
1976, № 11, с.82 — 87.

292 (М)

Степанеева Е. Л.

Лермонтов и советская поэзия северокавказских горцев. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Материалы и сообщ. VI. Всесоюз. лермонтов. конф. Ставрополь, Ставроп. кн. изд-во, 1965, с.212 — 223. (Ставр. пед. ин-т).

293 (М)

Стороженко

Лермонтов и Байрон. — В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения М., 1916, с.329 — 330, [Изд. 5-е, допол.].

294

Тойбин И.

Поэма Баратынского «Эда».
— «Русская литература», 1963,
№ 2, с.114 — 129.

[Общие мотивы в поэме Баратынского и произведениях Лермонтова].

295 (М)

Томашевский Б. В.

Пушкин. Кн. 2-я. Материалы к монографии. (1824—1837), М.-Л., Изд-во Акад. Наук СССР, 1961, 576 стр.

[С.368: «Чернец» Козлова является стимулом для создания «Мцыри»; с.371—372: влияние поэмы Пушкина «Кавказский

пленник» на Лермонтова; с.378 — 379: влияние пушкинского «Демона» на «Демона» Лермонтова; с.383—384: «Подражания Корану» и «Три пальмы»; с.389: «Морская царевна» — отражение «Песен» Пушкина («Яньш королевич»); с.393—397: влияние «Домика в Коломне» на «Казначейшу», «Сашку» и «Сказку для детей»; влияние «Сказки для детей» на «Талисман» Фета; с.418—419: влияние «Газита» на «Беглеца» Лермонтова].

296

Уманская М. М.

Из истории литературных отношений Лермонтова и Мартынова. «Валерик» — «Герзель-аул», — В кн.: Страницы истории русской литературы. М., 1971, с.401 — 413.

297

Уманская М. М.

Некрасов и Лермонтов. Проблема творческих связей. — В кн.: О Некрасове. Статьи и материалы. Вып. 4, Ярославль, 1975, с.236 — 261.

298

Филатов Г.

Жизнь и поэзия народов Кавказа в творчестве Лермонтова. — В кн.: Сборник студенческих научных работ по гуманитарному циклу. П. М., Изд. МОПИ, 1957, с.19 — 41.

299

Фридман Н. В.

Поэма Тургенва «Разговор» и лермонтовская традиция. — В кн.: Четвертый межвузовский тургеневский сборник. Орел, 1975, с.213 — 232. (Курск. пед. ин-т. — Орлов. пед. ин-т. Науч. труды, т. 17 (110)).

300

Чеботарева В.

Связь «Песни про царя Ивана Васильевича, молодого опричника и удалого купца Калашникова» с русским фольклором. — В кн.: Лермонтовский сборник. 1814—1964, Грозный, 1964, с.122 — 144.

301 (М)

Чичеров В. И.

Лермонтов и песня. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Сб. статей под ред. Н.А. Глаголева. М., Учпедгиз, 1941, с.133 — 163.

302 (М)

Шаповалов Л. А.

Об одном лермонтовском образе у А. Блока. — В кн.; М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы. Воронеж, Изд-во Воронежского ун-та, 1964, с.221 — 235.

303

Штейн С. В.

«Любовь мертвеца» у Лермонтова и Альфонса Карра. — В кн.: Известия отдел. русского языка и словесности имп. Акад. наук.

Пг., 1916, т. 21, с.38 — 47.

304 (Т)

Штокмар М.

Народно-поэтические традиции в творчестве Лермонтова. — В кн.: Литературное наследство, № 43—44, М., 1941, с.263 — 352.

305

Шувалов С. В.

Блок и Лермонтов. — В кн.: «Семь поэтов», М., 1927.

[Лермонтов в восприятии Блока. Точки соприкосновения обоих поэтов. Сходство тематики, словаря]. *

306 (М)

Шувалов С. В.

Влияние на творчество Лермонтова русской и европейской поэзии. — В сборнике «Венок М.Ю. Лермонтову». М.-Пг., 1914. с.290 — 342.

307 (С) (М)

Эйхенбаум Б.

<А. Блок и М. Лермонтов.> — В кн.: Эйхенбаум Б. О поэзии. Л., «Сов. писатель», 1969, с.308—310.

308

Эйхенбаум Б. М.

Пушкин и Лермонтов. Статья проф. Б. Эйхенбаума.

— «Смена». М., 1937, № 2, с.20 — 22.

A-III-①

309 (T)

Абрамович Д. И.

Примечания к стихотворениям.
—В кн.: Полное собр. соч. М.Ю. Лермонтова. Под ред. и с примеч. Д.И. Абрамовича. Т.1. СПб., Изд. Разряда изящной словесности Имп. Академии Наук, 1913, с.357—414.

310 (T)

Абрамович Д. И.

Примечания к стихотворениям.
—В кн.: Полное собр. соч. М.Ю. Лермонтова. Под ред. и с примеч. Д.И. Абрамовича. Т.II. СПб., Изд. Разряда изящной словесности Имп. Акад. Наук, 1910, с.426—517.

311

Альтман М. С.

Заметки о Лермонтове. Фольклорные параллели к стихотворению Лермонтова «Посреди небесных тел». —Тройственные созвучия и рифмы на «Ю» у Лермонтова. —В кн.: Ученые записки (Горьковский гос. ун-т. 1964. Серия историко-филол.) вып. 72, с.759—769.

312 (C)

Альтман М.

О Фамилии Калашников в «Песне» Лермонтова.

— «Русская литература», № 3, 1964, с.73—74.

313 (C) (M)

Андрей-Кривич С.

Загадочная помета Лермонтова. — «Дон», 1975, № 8, с.170—181, [Из комментария к стих. «Как часто, пестрою толпою окружен...», о датировке.] Роль В.А. Соллогуба и его повести «Большой свет» в истории отношений Лермонтова с двором и Николаем I в частности. Poleмика с Э.Г. Герштейн («Судьба Лермонтова»)

314

Андреев-Кривич С. А.

Кабардино-черкесский фольклор в творчестве Лермонтова. Под общей ред. проф. Н.Л. Бродского. Нальчик. кабард. гос. изд. тип. им. Революции 1905 года, 1949. 139 стр.

315 (M)

Андроников И. Л.

Биография булатного кинжала. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.242—245.

[Кинжал как личное орудие поэта и образ кинжала].

316 (K)

Андроников И. Л.

«Бородино». —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов. Исследования и находки. Изд. 4-е. М., «Худож. лит.», 1977, с.82—99.

317 (К)**Андроников И. Л.**

Загадка Н.Ф.И. —В кн.: И.Л. Андроников. Избранные произведения. В 2-х томах. Т. 1. М., «Худож. лит.», 1975, с.19 — 44.

318 (К)**Андроников И. Л.**

Заколдованное стихотворение. —В кн.: И.Л. Андроников. Избранные произведения. В 2-х томах. Т.1. М., «Худож. лит.», 1975, с.288 — 310.

[О стихотворении «Mon Dieu»].

319 (М)**Андроников И. Л.**

Из черновигов «Мцыри». —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.49 — 52.

320 (М)**Андроников И. Л.**

История «Демона». —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.14 — 17.

321**Андроников И. Л.**

«Кому посвящена «Эпитафия» («Простосердечный сын свободы»). —В кн.: Андроников. Великая эстафета. Воспоминания. Беседы. М., «Дет. лит.», 1975, с.240 — 247.

322 (К)**Андроников И. Л.**

«Лермонтов и его парт...» —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов. Исследования и находки. Изд. 4-е. М., «Худож. лит.», 1977, с.5 — 81.

[Смерть Пушкина и Лермонтов].

323**Андроников И. Л.**

Монета.

— «Лит. газета». М., 1966, 26 июля, № 87, с.2 — 3.

[Современные народные предания об истории написания «Казачьей колыбельной песни»].

324**Андроников И. Л.**

«Поэтическая апофеоза Кавказа». —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.195 — 197.

[«Дары Терека»].

325 (К)**Андроников И. Л.**

Примечания [к поэмам и повестям в стихах]. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Собр. соч. в 4-х томах. Под ред. И.Л. Андроникова и Ю.Г. Оксмана. Т.П. М., «Худож. лит.», 1964, с.551 — 603.

326 (К)**Андроников И. Л.**

Примечания [к стихотворениям]. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Собр. соч. в 4-х томах. Под ред. И.Л. Андроникова и Ю.Г. Оксмана. Т.1. М., «Худож. лит.», 1964, с.553 — 664.

327 (М)**Андроников И. Л.**

Спор о «Великом муже». —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов. М., «Совет. писатель», 1951, с.91 — 102.

328**Антокольский П. Г.**

Демон. —В кн.: П.Г. Антокольский. Пути поэтов. Очерки. М., «Сов. писатель», 1975, с.201—207.

329 (С)**Ашукина М.**

— «История — опора текстолога». — «Вопросы литературы», 1959, № 5, с.159 — 171.

[Текстологическое исследование стихотворения «Прощай, немытая Россия». История написания].

330**Бабушкин Н. Ф.**

Из творческой истории «Демона» М.Ю. Лермонтова. (Текстологический очерк о второй и третьей редакциях «Демона»). —В кн.: Томский ун-т им. Куйбышева. Учен. зап. № 16. Томск. 1951, с.31 — 48.

331**Баранов В. В.**

Достоверен ли комментарий к стихотворению М.Ю. Лермонтова «Ветка Палестины». —В кн.: Учен. зап. Калужского пед. ин-та. вып.8. 1960, с.55 — 61.

332**Баранов В. В.**

Об истинном адресате стихотворения Лермонтова «Нет, не тебя так пылко я люблю». —В кн.: Учен. зап. Калужского гос. пед. ин-та. вып. 4. Калуга, 1957, с.182 — 192.

333**Боденштедт Ф.**

Неизданные стихотворения Лермонтова.

— «Русская старина», 1873, т. 7, март, М.Ю. Лермонтов. с.395 — 402.

334 (М)**Бороздин А. К.**

Условия жизни, способствовавшие преобладанию протестующего характера поэзии Лермонтова против несовершенств жизни. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.77 — 82, [Изд. 5-е, допол.].

335 (С)**Бродский Борис Иоанович**

Вслед за героями книг. М., «Книга», 1967.

[С.74—95: Москва времен Ивана Грозного (Реальный ком-

ментарий к «Песне про купца Калашникова»)].

336 (К)

Вацуро В. Э.

К цензурной истории «Демона». —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.410 — 414.

337 (М)

Виноградов Б. С.

О кавказских романтических поэмах Лермонтова. —В кн.: Б.С. Виноградов. Кавказ в русской литературе 30-х годов XIX века. (Очерки). Грозный, Чечено-Ингш. кн. изд-во, 1966, с.100 — 125.

338

Виноградов В. В.

Проблема авторства и теория стилей. М., Гослитиздат, 1961, 614 стр.

[С.104—119: история изучения текста стихотворения «Прощай, немытая Россия» и вопросы установления текста].

339

Винокур Г.

Критики поэтического текста. М., 1927.

[С.96—100: О тексте поэмы «Демон»].

340 (М)

Висковатов П. А.

Несколько слов по поводу «Демона». —В кн.: Сочинения М.Ю. Лермонтова. Первое полное изд. ... под ред. П.А. Висковатова. Т.Ш. М., В.Ф. Рихтер, 1891, с.107 — 131.

341 (М)

Висковатов П. А.

Примечания [к поэмам]. —В кн.: Сочинения М.Ю. Лермонтова. Первое полное изд. Под ред. П.А. Висковатова. Т.Ш. М., В.Ф. Рихтер, 1889, с.343 — 348.

342 (М)

Висковатов П. А.

Примечания [к поэмам]. —В кн.: Сочинения М.Ю. Лермонтова. Первое полное изд. ... под ред. П.А. Висковатова. Т.Ш. М., В.Ф. Рихтер, 1891, с.200 — 202.

343 (М)

Висковатов П. А.

Примечания [к стихотворениям] —В кн.: Сочинения М.Ю. Лермонтова. Первое полное изд. ... под ред. П.А. Висковатова. Т.Ш. М., В.Ф. Рихтер, 1889, с.361 — 381.

[—Баллада «Из ворот выезжают три витязя в ряд», — «О как мила твоя богиня» (экспромт), — «И день настал — и совершилось», — Верещагиной «До рассвета поднявшись»].

344 (M)**Габриельянц И. Г.**

Новые списки поэмы «Демон» и стихотворения «Смерть поэта». — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Вопросы жизни и творчества. Пол ред. А.Н. Соколова и Д.А. Гиреева, Орджоникидзе, Сев.-Осет. кн. изд-во, 1963, с.206 – 209.

345**Гинзбург Л. С.**

К анализу стихотворения Лермонтова «Смерть Поэта». Кого подразумевал Лермонтов под словами «певец неведомый, но милый»? (Опыт построения гипотезы).

— «Slavia», 1930, гоc, IX, seš 1, с.85 – 102.

(По мнению автора это Андрей Шенье).

346**Гиреев Д. А.**

Поэма Лермонтова «Демон». (Творческая история и текстологический анализ). Автореферат дисс., представленный на соискание учен. степени кандидата филол. наук. Л., 1956.

347 (M)**Гиреев Давлет Азаматович**

Поэма М.Ю. Лермонтова «Демон». Творческая история и текстологический анализ. Орджоникидзе, Северо-Осетинское книжное изд-во, 1958, 208 стр. с 1 л. портр.

348 (K)**Голованова Т. П.**

Автографы Лермонтова в альбомах А.М. Верещагиной. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.7 – 23.

349**Евзерихина В. А.**

Поэма Лермонтова «Мцыри». К вопросу о творческой эволюции. — В кн.: Новосибирская высшая парт. школа. Науч. конф. 13-я. 1972. Сб. тезисов к предстоящей конференции. Новосибирск, 1972, с.105 – 110.

350**Ениколопов И. К.**

О стихотворении М.Ю. Лермонтова «Великий муж».

— «Русская литература», 1971, № 2, с.157 – 160.

[Предположение, что стих. адресовано Н.Н. Раевскому.]

351**Жижина А. Д.**

О теоретических истоках поэмы «Демон». — В кн.: Вопросы русской литературы. М., 1968, с.117–131. (Моск. пед. ин-т. Учен. зап. № 288).

352**Жижина А. Д.**

Эволюция поэмы М.Ю. Лермонтова «Демон». Автореф. дисс. на соиск. учен. степени канд. филол. наук. М., 1969. 20 стр.

[Моск. гос. пед. ин-т им. В.И. Ленина].

353 (Т)

Заборова Р. [публикация]

Неизвестное стихотворение Лермонтова и В.А. Соллогуба. —В кн.: Литературное наследство, № 58, М., 1952, с.369 – 372.

[«О, как прохладно и весело нам...»].

354

Закруткин Р. А.

К вопросу о «Великом муже». —В кн.: Учен. зап. Калнинградского пед. ин-та, вып. 3, 1957, с.261 – 270.

[Закруткин считает адресатом стих. «Великий муж» —Рылеева. Эйхенбаум —Чаадаева. Андроников — Баркляя де Толли].

355 (К)

Заславский И. Я.

Автографы Лермонтова в редакции «Молодика». —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.419 – 423.

356 (М)

Заславский И. Я.

К творческой истории поэмы «Беглец» —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Вопросы жизни и творчества. Под ред. А.Н. Соколова и Д.А. Гиреева. Орджоникидзе, Сев.-Осет. кн. изд-во, 1963, с.149 – 159.

357

Заславский И. Я.

Работа М.Ю. Лермонтова над рукописью. К творческой истории поэмы «Беглец» —В кн.: Вестник Киевского ун-та, № 1, 1958, Серия филологии и журналистики. Вып. 1, с.57 – 63.

358 (М)

Иванова Т. А.

«Битвам, родине и воле...». —В кн.: Т.А. Иванова. Юность Лермонтова. М., «Сов. писатель», 1957, с.151 – 165.

[О поэме «Последний сын воляности» и поэме «Измаил-Бей»].

359 (М)

Иванова Т. А.

Лермонтов и героини его лирики. —В кн.: Т.А. Иванова. Юность Лермонтова. М., «Сов. писатель», 1957, с.214 – 245.

360

Иванова Т. А.

Об эпиграфе в стихотворении Лермонтова «Смерть Поэта». — «Вопросы литературы», 1970, № 8, с.91 – 105.

361 (М)

Иванова Т. А.

Роман о пугачевском восстании. —В кн.: Т.А. Иванова. Юность Лермонтова. М., «Сов. писатель», 1957, с.246 – 279.

362 (M)**Иванова Т. А.**

Что говорят рукописи и книги (К вопросу об основном тексте «Демона»). — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Вопросы жизни и творчества. Под ред. А.Н. Соколова и Д.А. Гиреева. Орджоникидзе, Сев.-Осет. кн. изд-во, 1963, с.82—87.

363

Из цензурной старины 1830—1855 г. г.

[Отношение министра народного просвещения Увалова Московскому цензурскому комитету от 7 янв. 1843 г. по поводу стих. Лермонтова «Последнее новоселье», переведенного на французский язык Moreau de la Meltiere и издаваемого в «Moreau choisis de la poésie russe, traduits par M.M.» — В кн.: Щукинский сб. вып. I. М., А.И. Мамонтова, 1902, с.301.

364**Икоников С. Н.**

Как работал М.Ю. Лермонтов над стихотворением. Под ред. и с предисл. А.М. Новиковой. Пенза, Кн. изд-во, 1962, 80 стр.

365 (M)**Инюшкин Н. М.**

К истории распространения поэмы М.Ю. Лермонтова «Демон» в России. — В кн.: Творчество М.Ю. Лермонтова. Сб. статей, посвящ. 150-летию со дня рождения

М.Ю. Лермонтова. Пенза, 1965, с.164 — 169.

(Пез. пед. ин-т. Каф. рус. лит. Учен. зап. Серия филол. Вып.14).

366**Капиева Н. В.**

Последние стихи Лермонтова. Пятигорск, 1947, 27 стр. (Музей «Домик Лермонтова»).

367**Комовский В.**

Записка к цензору А.В. Никитенко о «Демоне» 9 апреля 1842.

— «Красная новь», М., 1939, № 10—11, с.259 — 269.

368**Кононко Е. П.**

К вопросу об источниках поэзии М.Ю. Лермонтова. (Стихотворение «Листок»). — В кн.: Вопросы русской литературы, Вып. 1. Львов, 1966, с.99 — 105.

[Фольклорные источники. «Листок» Лермонтова и «Листок» Арно].

369**Кормилов С. П.**

Иван Грозный и его эпоха в творчестве М.Ю. Лермонтова и А.К. Толстого. Черты романтического историзма. — В кн.: Вестник Моск. ун-та. Серия 9, филология, 1977, № 4, с.25 — 36.

370

Косвен М. О.

Кабардинский патриот Измаил Атажуков. — В кн.: Ученые записки Адыгейского научно-исслед. ин-та языка, литературы и истории. т. I. Майкоп, 1957, с. 43 — 68.

[О прототипе героя поэмы «Измаил-Бей»].

371

Кузьмичев И. К.

Об историзме «Песня про царя Ивана Васильевича, молодого опричника и удалого купца Калашникова» М.Ю. Лермонтова. — В кн.: Ученые записки Горьк. ун-та, вып. 43, 1957, с. 251 — 265.

372

Кулешев Кайсын

А парус все белеет... К 160-летию со дня рождения М.Ю. Лермонтова.

— «Октябрь», 1974, № 10, с. 193 — 199.

[Заметки о поэзии Лермонтова. («Валерик», «Выхожу один я на дорогу», «Смерть поэта») и его личности. Лермонтов и Пушкин].

373

Лернер Н.

Примечания. — В кн.: Пушкин. СПб., Брокгауз-Ефрон, 1910-11, (Т. IV, с. LIII — LIX; Т. V, с. XII — XIII, XXVII); [Т. IV, Стихотворения 1827 г. с. LIII — LIV, 515. Какая ночь! мороз трескучий. — Предположение о возможном влиянии

стих. Пушкина на «Песню про царя Ивана Васильевича» Лермонтова; Т. V. Стихотворения 1828 г. с. XII — XIV, 550. «Цветок» — ошибочность утверждения Н.Ф. Сумцова о том, что стих. Лермонтова «Ветка Палестины» простое подражание пушкинскому стих. «Цветок»; Стихотворения 1829 г. с. XXVII, 574.

«Когда твои молодые лета...»

— стих. Лермонтова «Прелестнице» написано под влиянием стих. Пушкина «Когда твои молодые лета»].

374

Лотман Ю. М.

Историко-литературные заметки: I. Неизвестные стихотворения А. Мещевского. — II. Лермонтов. Две реминисценции из «Гамлета». — III. Из комментария к поэме «Мцыри». — В кн.: Учен. зап. Тартуского гос. ун-та, вып. 104. Труды по русской и славянской филологии, 1, 1961, с. 277 — 284.

[С. 281—282: Реминисценции из «Гамлета» в «Маскараде» и «Смерти поэта»; с. 282—283: Сопоставление боя с барсом из «Мцыри» со сценой в «Гане Исландце»; с. 283—284: «Мцыри» и «Тазит» Пушкина].

375

Лотман Ю. М.

Об одной цитате у Лермонтова. В стихотворении «Смерти поэта» из К.Н. Батюшкова.

— «Русская литература», 1975, № 2, с. 206 — 207.

376

Любович Н.

«Без сожаления развеи...» Из курьезов текстологии.

— «Вопросы литературы». 1967, № 3, с.253 — 255.

[О последней строке стих. «Спеша на север издадека...»].

377

Мануйлов В. А.

Заметки о двух стихотворениях. [1. Кто автор письма в стихах к М.Н. Загоскину. 2. О стихотворении Лермонтова «Ты помнишь ли, как мы с тобою ...»]. ст. науч. сотр. Ин-та рус. лит. АН СССР, В.А. Мануйлов. —В кн.: Ученые записки (Ленингр. гос. пед. ин-та им. А.И. Герцена). т.67, Кафедра русской литературы. Л., 1945, с.79 — 87.

378

Мануйлов В. А. и др.

Неизвестный список поэмы Лермонтова «Демон». —В кн.: Лермонтов М.Ю. Демон. Ереванский список. Ереван, 1941, с.7—11.

379

Мартьянов П. К.

Висковатовский список поэмы Лермонтова «Демон» в имп. Публичной библиотеке. —В кн.: Мартьянов П. К. «Дела и люди века», т. 3, СПб., 1896, с.43—93.

380 (С)

Меднис Н.

О датировке пятой редакции поэмы «Демон».

— «Русская литература», 1964, № 3, с.65 — 67.

381

Мещерский Н. А.

Об эпиграфе к поэме М.Ю. Лермонтова «Мцыри». —В кн.: Науч. докл. высш. школы. филол. наук. 1978, № 5, с.103 — 106.

382 (Т)

Михайлова А.

Последняя редакция «Демона». —В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с.11 — 22.

383 (М)

Михайлова А. Н.

Стихотворение М.Ю. Лермонтова А.А. Олениной (Сообщение). —В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1960, с.165 — 170.

384

Модзалевский Б.

Лермонтов. Стихотворная шутка. —В кн.: Радуга. Альманах Пушкинского дома. Пг., 1922, с.111 — 125.

[Стих. Лермонтова: «Ma chère Alexandrine», посвященное А.А. Углицкой и вопрос о его датировке].

385

Москаленко С. Г.

Новое злоупотребление именем М.Ю. Лермонтова.

— «Исторический вестник», СПб., 1903, т.94, № 11, Заметки и поправки, с.734 — 735.

[О стих., ошибочно приписанном Лермонтову («Пробьет последний час ... Как тяжело умирая ...») в статье Лернера Н. «Неизданные стихи Лермонтова»].

386 (Т)

Найдич Э.

Вокруг Лермонтова. II. Утраченные рукописи Лермонтова. — В кн.: Литературное наследство, № 58, М., 1952, с.480 — 482.

387

Найдич Э. Э.

Иносказательные образы у Лермонтова.

— «Русская речь», 1976, № 6, с.27 — 35.

[Анализ стих. «Графине Ростопчиной» и «Листок»].

389

Найдич Э.

«К***» [О, полно извинять разврат.] — В кн.: Литературное наследство. Т.58, Пушкин, Лермонтов, Гоголь. М., 1952, с.393—400.

[Новая аргументация того, что адресатом указанного стих. является Пушкин, а не Полежаев. Несостоятельность доказательств С.В. Обручева и Г.В. Маслова].

390 (Т)

Найдич Э. [публикация]

Неизвестные эпиграммы Лермонтова. — В кн.: Литературное наследство, № 58, М., 1952, с.359—368.

[Об эпиграммах «Россию продает Фадей ...» I и II, «Се Макавей-водопийца ...», «Остаться без носу — наш Макавей боялся ...»].

391

Найдич Э.

О тексте и датировке поэмы М.Ю. Лермонтова «Сашка». (По материалам отд. рукописей. Гос. Публичной б-ки). — В кн.: Труды (Публичная б-ка им. Салтыкова-Щедрина). т.5, 1958, с.201—208.

392

Найдич Э. Э.

Последняя редакция «Демона». — «Русская литература», 1971, № 1, с.72 — 78.

393 (М)

Недумов С. И.

Неизвестное стихотворение, приписываемое Лермонтову. — В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов. Ставрополь, Ставро. кн. изд-во, 1960, с.239. [«Любить вас долго б скучно ...»].

394

Нейман Б.

К вопросу об источниках поэзии Лермонтова.

— «Журнал Мин. нар. просвещения», 1915, № 4, с.282 — 288, 1916, № 3, с.80, 88, 1917, № 3—4, с.70 — 77.

395

Нейман Б. В.

Киевский список поэмы Лермонтова «Демон». Киев, Тип. Т.Г. Мейнандера, 1913, 10 стр.

396

Нейман Б. В.

Лермонтов и Жуковский, Lermontoff et Joukoffsky. (К вопросу о литературных источниках поэзии Лермонтова.) К 110-летию со дня рождения.

— «Русский библиофил», Пг., 1914, № 6, с.5 — 15.

397

Немчинов Геннадий

Восемь строк. Из «Книги мгновений».

— «Кодры», 1976, № 9, с.61.

[«Прощай, немытая Россия»].

398

Нечаева В. С.

К истории текста стихотворения «Валерик». Список из архива Ю.Ф. Самарина. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Статьи и материалы. М., 1939, с.70 — 73.

399

Нечаева В. С.

Проблема установления текстологов в изданиях литературных произведений XIX и XX веков. — В сборн.: Вопросы текстологии. М., 1957, с.29 — 88.

[С.50—52: «Прощай, немытая Россия». Вопрос о выборе текста стих. Списки и публикация Бартенева].

400

Обручев С. В.

Над тетрадами Лермонтова. М., «Наука», 1965, 111 стр. (АН СССР. Науч. попул. серия).

[По поводу фактов, связанных со стихотворениями «К ***», «Опять вы, гордые, восстали», поэмой «Мзмаил-Бей»].

401 (Т)

Пахомов Н.

Два новых автографа Лермонтова. — В кн.: Литературное наследство, № 19—21, М., 1935, с.502 — 510.

[О стихах «Никто моим словам не внимлет...» и «Мое грядущее в тумане»].

402

Петухов Е.

Несколько замечаний о лицах в лермонтовской поэзии.

— «Исторический вестник», 1891, т.40, октябрь, с.137 — 148.

403

Пигарев К. В.

Новый список стихотворения Лермонтова «Прощай, немытая Россия ...» [Из материалов Центр. гос. архива литературы и искусства. Публикация]. —В кн.: кн.: Известия Акад. наук СССР. Отд-ние литературы и языка, т.14, вып. 4, 1955, с.372 – 373.

404

Полотай А. М.

Новый список стихотворения М.Ю. Лермонтова «Смерть поэта». — «Русская литература», 1968, № 1, с.188 – 191.

[Список в Институте литературы им. Т.Г. Шевченко АН УССР, датированный 2 февр. 1837 г.].

405 (M)

Попов А. В.

Встреча с героем «Бородино» (М.Ю. Лермонтов и А.А. Вельяминов). —В кн.: А.В. Попов. Лермонтов на Кавказе. Гл. В первой ссылке. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1954, с.34 – 51.

406

Попов А. В.

Загадка «Великого мужа». —В кн.: Ставрополье, 1957, № 16, с.76 – 79.

[Предположение, что стих. «Великий муж» обращено к П.А. Катенину].

407

Попов А. В.

Кавказ в жизни и творчестве молодого Лермонтова. —В кн.: Ставрополье, Альманах, № 9, 1953, с.141 – 153.

[С.152–153: о стих. Лермонтова «К***»; (О, полно, извинять разврат ...)]. Пушкин — как адресат стихотворения].

408 (M)

Попов А. В.

Кавказский материал в зрелых редакциях поэмы «Демон». —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Вопросы жизни и творчества. Под ред. А.Н. Соколова и Д.А. Гиреева. Орджоникидзе, Сев.-Осет. кн. изд-во, 1963, с.67 – 81.

409 (M)

Попов А. В.

М.Ю. Лермонтов и А.А. Вельяминов. К творческой истории «Бородино». —В кн.: А.В. Попов. М.Ю. Лермонтов в первой ссылке. —Труды Ставроп. пед. ин-та, 1949, вып. III, с.13 – 27.

410 (M)

Попов А. В.

«Песня про купца Калашникова». —В кн.: А.В. Попов. Лермонтов на Кавказе. Гл. В первой ссылке. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1954, с.118 – 126.

411 (M)**Попов А. В.**

Правда о «Песне про купца Калашникова». — В кн.: А.В. Попов. М.Ю. Лермонтов в первой ссылке. — Труды Ставроп. пед. ин-та, 1949, вып. III. с.95–102.

412**Попов А. В.**

Сокровенное создание творческого гения Лермонтова. Ставрополь, 1958. 28 стр. (Сборник трудов ставропольского гос. пед. ин-та, 1958, вып. 13, с.359 – 386).

[К вопросу об истории создания и фольклорных источниках поэмы «Мцыри». Полемика с И. Андрониковым].

413 (M)**Попов А. В.**

«... Это было под Гихами». — В кн.: А.В. Попов. Лермонтов на Кавказе. Гл. Во второй ссылке. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1954, с.140 – 148.

414**Попова Н. В.**

Лермонтов или Боденштедт? К изучению стихотворений, приписываемых М.Ю. Лермонтову. — В кн.: Научные доклады высш. школы. филол. науки, 1964, № 30, с.34 – 41.

415 (M)**Примечания** [к поэмам].

— В кн.: М.Ю. Лермонтов. Полное собр. соч. <Ред. Б.М. Эйхенбаум>. Т. II. М.-Л., Гослитиздат, тип. «Печат. двор» в Лгр., 1947, с.497 – 513.

[Содерж.: Поэмы Лермонтова; Поэмы 1836–1841; Юношеские поэмы; Приложения].

416 (M)**Примечания** [к стихотворениям].

— В кн.: М.Ю. Лермонтов. Полное собр. соч. <Ред. Б.М. Эйхенбаум>. Т. I. М.-Л., Гослитиздат, тип. «Печат. двор» в Лгр., 1947, с.337 – 384.

[Содерж.: Лирика Лермонтова; Стихотворения 1836–1841 гг.; Юношеские стихотворения (1828–1835 гг.); Стихотворения неизвестных годов].

417 (M)**Примечания** [к стихотворениям 1828–1831 гг.]

— В кн.: М.Ю. Лермонтов. Собрание сочинений в 6-ти томах. Т.1. М.-Л., Изд-во Акад. Наук СССР, 1954, с.375 – 444.

418 (M)**Примечания** [к стихотворениям 1832–1841 гг.]

— В кн.: М.Ю. Лермонтов. Собрание сочинений в 6-ти томах. Т.2, М.-Л., Изд-во Акад. Наук СССР, 1954, с.311 – 379.

419 (M)

Примечания [к поэмам 1828—1834 гг.].

—В кн.: М.Ю. Лермонтов. Собрание сочинений в 6-ти томах. Т.3, М.-Л., Изд-во Акад. Наук СССР, 1955, с.307 — 326.

420 (M)

Примечания [к поэмам 1835—1841 гг.].

—В кн.: М.Ю. Лермонтов. Собрание сочинений в 6-ти томах. Т.4, М.-Л., Изд-во Акад. наук СССР, 1955, с.389 — 425.

421

Прокопенко Л. И.

Кто она? По поводу одного стихотворения М.Ю. Лермонтова.

—г. «Литературная Россия», 1964, № 32, 7 авг., с.9.

[О Е.Г. Быховце].

422

Прохолов Е.

Источники и анализ текста.

— «Вопросы литературы», 1959, № 5, с.166 — 171.

[Вопросы текстологии стихотворения «Прощай, немытая Россия»].

423

Прохолов Е.

О тексте и дате стихотворения Лермонтова «А.О. Смирновой».

— «Русская литература», 1960, № 4, с.130 — 136.

424

Рейсер С. А.

Лермонтов ли ?

— «Вопросы литературы», 1970, № 7, с.252 — 253.

[Поставлен вопрос о том, можно ли приписывать Лермонтову четверостишие «Гуся в синем вицмундире»].

425 (K)

Рейсер С. А. [публикация]

Неизвестный рассказ о стихотворении Лермонтова «Есть речи — значенье». —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.409 — 410.

426

Розанов В. В.

По поводу одного стихотворения Лермонтова. («Морская царевна»)

— «Весы», 1904, № 5, с.4 — 16.

427 (M)

Рубанович А. Л.

V. Из творческой истории поэмы «Демон». —В кн.: А.Л. Рубанович. Проблемы мастерства М.Ю. Лермонтова — поэта. Иркутск, 1963, с.112 — 137. (Иркут. ун-т).

428

Рубанович А. Л.

Из творческой истории поэмы М.Ю. Лермонтова «Демон». —В кн.: Труды Иркутского ун-та. 1959, т.28, вып. 2, с.23 — 38.

429

Сеид-задэ А. А.

О тексте сказки «Ашик Кериб», записанной М.Ю. Лермонтовым. —В кн.: Доклады. (АН АзССР), 1966, т.22, № 7, с.88 – 91.

430

Сельвинский И.

Я буду говорить о стихах. Статьи. Воспоминания. «Студия стиха». М., «Сов. писатель», 1973, 504 стр.

[С.104–109: «Декабристы второго призыва»; с.109–113: «Тайна Лермонтова»; с.463–489: Неточность фактическая и мастерство в отд. эпизодах «Бородино» и «Мцыри»].

431

Семенов Л. П.

Источник некоторых эпиграмм Лермонтова. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. 1841–1941, Сборник статей. Пятигорск, 1941, с.75 – 82.

432

Семенов Леонид

К вопросу об источниках поэзии Лермонтова. —В кн.: Семенов Л. М.Ю. Лермонтов. Статьи и заметки. I. М., 1915, с.250–252.

433

Семенов В. К.

Об ошибке публикаторов поэмы Лермонтова «Монго». — «Русская литература», 1977, № 1, с.173.

434

Семенов Л. П.

О стихотворениях, приписываемых Лермонтову. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. 1841–1941. Сб. статей. Пятигорск, 1941, с.83 – 92.

435

Симанович Д. Т.

Недаром помнила Россия. —В кн.: Симанович Д. Г. Подорожная Александра Пушкина. Очерки. Минск, «Мастацкая літаратура», 1977, с.31 – 47.

[Участие Ю.П. Лермонтова в Войне 1812 года. К вопросу об «источниках стих. «Бородино»].

436

Стариков Д.

Лыко в строке. Заметки о поэтической стилистике.

— «Вопросы литературы», 1972, № 6, с.142 – 168.

[О фактических неточностях в поэзии Лермонтова].

437 (С)

Тарле Е. В., Эйхенбаум Б. М.

О стихотворении М.Ю. Лермонтова «Великий муж». (Из переписки Е.В. Тарле и Б.М. Эйхенбаума).

— «Русская литература», 1965, № 1, стр.187 – 189.

438

Титов А.

Неизвестное стихотворение Лермонтова. [Публикация стихотворения «Пробьет последний час...»].

— «Звезда», 1960, № 10,
с.211 — 212.

439 (К)

Турбин В. Н.

О литературно-полемическом аспекте стихотворения Лермонтова «Бородино». — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.392—403.

440 (С)

Тынянов Юрий

Литературный источник «Смерти поэта».

— «Вопросы литературы», 1964, № 10, с.98 — 106.

[«Смерть поэта» и поэтическая переписка по поводу смерти Озерова Жуковского с Вяземским.]

441

Тютчев Б.

Новгород в творчестве Лермонтова. Новгород, 1956, № 4, с.133 — 135.

[«Последний сын вольности» и др.]

442

Удодов Б. Т.

М.Ю. Лермонтов в работе над текстами. — В кн.: Вопросы литературы и фольклора. Воронеж, 1973, с.3 — 17.

[На примере творческой истории стих. «Расстались мы ...» и «Памяти А.И.О <доев> ского»].

443 (М)

Удодов Б. Т.

Часть II. «Миры истин, чувств, красот ...». (Поэма «Демон» в системе творческих процессов). — В кн.: Б.Т. Удодов. М.Ю. Лермонтов. Художественная индивидуальность и творческие процессы. Воронеж, Изд-во Воронеж. ун-та, 1973, с.213 — 448.

[Содерж.: Гл.1. Вековая загадка; Гл.2. Из творческой предыстории поэмы «Демон»; Гл.3. История создания ранних редакций поэмы «Демон»; Гл.4. История создания поздних редакций поэмы «Демон»; Гл.5. Поэма «Демон» как художественная концепция действительности.]

444 (С)

Федоров Андрей Венедиктович

«Смерть поэта» среди других откликов на гибель Пушкина.

— «Русская литература», 1964, № 3, с.32 — 45.

445 (М)

Хубиев М. А.

Из истории аула Джамагат, воспетого М.Ю. Лермонтовым в поэме «Хаджи-Абрек». — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Материалы и общ. VI Всесоюз. лермонт. конф. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1965, с.113 — 126. (Ставр. пед. ин-т).

446

Шерипов З.

Что послужило Лермонтову сюжетом для поэмы «Измаил-Бей»? Историко-литературное исследование ... Грозный, Чеченский областной музей, 1929, 31 стр.

[Бота Шамурзаев – прототип Измаила-Бея].

447

Шувалов С.

К вопросу о тексте последней редакции поэмы Лермонтова «Демон». —В сборн. Беседы, I, М., 1915, с.13 – 31.

[По поводу академического издания].

448

Шувалов С. В.

По какому тексту следует печатать лермонтовского «Демона». —В кн.: Сборник статей к 40-летию ученой деятельности акад. А.С. Орлова. Л., 1934, с.234–251.

449 (Т)

Эйхенбаум Б.

Казанская тетрадь Лермонтова. —В кн.: Литературное наследство, № 45–46, М., 1948, с.3 – 10.

А-IV-①

450

Альбеткова Р. И.

Реализм лирики Лермонтова. —В кн.: Проблемы реализма в русской и зарубежных литературах. Метод и мастерство. Тезисы докладов II межвузовской научной конференции литературоведов. Май 1969 г. Вологда, 1969, с.39–42.

451

Апухтин В.

Политические отзвуки в поэзии М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Пятигорье – Лермонтову. Лит. сб., посвящ. памяти М.Ю. Лермонтова. Пятигорск, 1923, с.22 – 26.

452

Бакинский В.

Политические стихотворения Лермонтова. — «Резец». Л., 1938, № 6, с.21 – 23.

453

Березнева А. Н.

Русская романтическая поэма. Лермонтов, Некрасов, Блок. К проблеме эволюции жанра. Под ред. А.А. Жук. Саратов, Изд-во Сарат. ун-та, 1976, 96 стр.

454

Богомолец В. К.

К вопросу о философской проблематике лирики М.Ю. Лермонтова первой половины 1830-х годов.

—В кн.: Учен. зап. Ленингр. гос. пед. ин-та им. А.И. Герцена. т.168, 1958, с.91 — 113.

455 (С)

Борсукевич Ю. С.

Польский вопрос в жизни и творчестве Лермонтова. —В кн.: Вопросы истории русской литературы, вып. 2 (14), Львов, 1970, с.46 — 56.

456

Брискман М. А.

Лирический герой декабристской поэзии периода каторги и ссылки. —В кн.: Декабристы и русская культура. Л., «Наука», 1975, с.169 — 184. (АН СССР. Науч. совет по истории мировой культуры. —Комиссия комплексного изучения худож. творчества).

[С.181—183: близость Лермонтову идей декабристов].

457

Бродский Н. Л.

«Бородино» М.Ю. Лермонтова и его патриотические традиции. М.-Л., 1948, 68 стр. (Акад. пед. наук РСФСР).

458 (С)

Бродский Н. Л.

Философские основы поэзии Лермонтова. — «Бородино» М.Ю. Лермонтова и его патриотические традиции. —В кн.: Бродский Н. Л. Избранные труды. Под ред. Н. К. Гудзия, М., «Просвещение», 1964, с.100 — 117.

459 (Т)

Бухштаб Б.

Отклики Лермонтова на политические и литературные события 1820—1830-х годов. VI. «Благодарность». —В кн.: Литературное наследство, № 58, М., 1952, с.406 — 410.

460

Волк С. С.

Исторические взгляды декабристов. М.-Л., 1958. 463 стр. (АН СССР. Ин-т истории).

[С.320, 346: идейная близость Лермонтова с декабристами в вопросе о варяжской легенде. (Поэма «Последний сын вольности»)].

461 (Т)

Герштейн Э.

Отклики Лермонтова на политические и литературные события 1820—1830-х годов. М. «Тамбовская казначейша». —В кн.: Литературное наследство, № 58, М., 1952, с.401 — 405.

462

Глухов А. И.

К вопросу о методе и стиле поэмы М.Ю. Лермонтова «Демон». —В кн.: Из истории русского романтизма. Сб. статей. Вып. I. Кемерово, 1971, с.102 — 117. (Кемеровский гос. пед. ин-т).

463 (M)**Гуревич А.**

Проблема нравственного идеала в лирике Лермонтова. —В кн.: Творчество М.Ю. Лермонтова. 150 лет со дня рождения. М., «Наука», 1964, с.149 – 171. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

464**Евгенов А.**

О Лермонтове.
— «Знамя», 1939, № 10–11,
с.296 – 302.

[Мировоззрение Лермонтова.
(«Мцыри», «Демон», «Дума»)].

465 (C)**Жижина А. Д.**

Вершина патриотической лирики Лермонтова. (О стихотворении «Родина»).

— «Рус. речь», 1973, № 4,
с.16–24.

466 (C)**Жижина А. Д.**

О поэме «Демон». (К вопросу о становлении эстетических взглядов Лермонтова). —В кн.: Вопросы русской литературы, М., 1968, (Моск. гос. пед. ин-т им. В.И. Ленина. Учен. зап., № 288), с.99 – 116.

467**К истории русского романтизма.**

М., «Наука», 1973. 542 стр.
(Ин-т мировой лит-ры АН СССР

им. А.М. Горького).

[С.170–171: традиция пушкинского романтизма у Лермонтова (в статье Н.В. Фридмана «О романтизме»); с.283–302: И.Е. Усок. К спорам о художественном методе М.Ю. Лермонтова; с.326: полемика Лермонтова с Хомяковым в «Родине» (в статье В.И. Кулешова «Славянофилы и романтизм»); с.399–400 «демоническая» тема у Пушкина и Лермонтова (в статье М.Л. Нольмана «От «Демона» Пушкина к «Демону» Некрасова»); с.520 – 521: К вопросу о романтическом мироощущении Лермонтова (в статье А.М. Гуревича «О типологических особенностях русского романтизма»)].

468 (M)**Котляревский Н.**

Взгляд Лермонтова на поэтическое творчество. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.65 – 67, [Изд. 5–е, допол.].

469**Кулешов В. И.**

Славянофилы и романтизм.
—В кн.: К истории русского романтизма. М., 1973, с.305 – 344.

[С.326: полемика Лермонтова с А.С. Хомяковым в стих. «Родина»].

470 (М)**Любович Н.**

«Мцыри» в идейной борьбе 30–40-х годов. —В кн.: Творчество М.Ю. Лермонтова. 150 лет со дня рождения. М., «Наука», 1964, с.106 – 131, (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

471 (Т)**Любович Н.**

Отклики Лермонтова на политические и литературные события 1829–1830-х годов. I. «Веселый час». —В кн.: Литературное наследство, № 58, М., 1952, с.373 – 377.

472 (Т)**Любович Н.**

Отклики Лермонтова на политические и литературные события 1820–1830-х годов. II. «10 ИЮЛЯ (1830)». —В кн.: Литературное наследство, № 58, М., 1952, с.378 – 386.

473 (Т)**Любович Н.**

Отклики Лермонтова на политические и литературные события 1820–1830-х годов. III. «Из Паткуля». —В кн.: Литературное наследство, № 58, М., 1952, с.387 – 392.

474 (К)**Манн Ю. В.**

Завершение романтической традиции (Поэмы «Мцыри» и «Де-

мон»). —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.32 – 62.

475 (Т)**Найдич Э.**

Отклики Лермонтова на политические и литературные события 1820–1830-х годов. IV. «К***» («О, полно извинять разврат»). —В кн.: Литературное наследство, № 58, М., 1952, с.393 – 404.

476 (М)**Никитин Михаил**

Идеи о боге и судьбе в поэзии Лермонтова. Н.-Новгород, Тип, и пер. В.Н.Ройского и И.И.Карнеева, 1915, 48 стр.

[Содерж.: Религиозное. Демонизм. Судьба и фатализм. Маска. Вечно женственное.]

477 (М)**Пульхритудова Е. М.**

«Валерик» М.Ю. Лермонтова и становление психологического реализма в русской литературе 30-х годов XIX века. —В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1960, с.57–80.

478 (М)**Пульхуритудова Е.**

«Демон» как философская поэма. —В кн.: Творчество М.Ю. Лермонтова. 150 лет со дня рождения. 1814–1864. М., «Наука», 1964, с.76 – 105. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

479 (К)**Пульхритудова Е. М.**

Романтизм в русской литературе 30-х годов XIX в. Лермонтов. — В кн.: История романтизма в русской литературе. Романтизм в русской литературе 20–30-х годов XIX в. (1825–1840). М., «Наука», 1979, с.258 – 326.

[Содерж.: Романтические традиции 20–30-х годов и ранний Лермонтов; Своеобразие и жанровое богатство лермонтовского романтизма; «Беглец», «Мцыри», «Демон» – вершина русского романтизма 1830-х годов].

480 (М)**Пыпин А. Н.**

Общественное значение поэзии Лермонтова. — В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб, б.г., с.267 – 274.

481**Розанов В.**

К лекции г. Вл. Соловьева.
– «Мир искусства», 1900, т.3, с.192 – 195.

[С.193–194: К вопросу о религиозных взглядах Лермонтова. На материале стих. «Выхожу один я на дорогу», «Когда волнуется желтеющая нива» и др. стих.].

482 (М)**Соколов А. Н.**

Романтические поэмы Лермонтова. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Сб. статей под ред. Н.А. Глаголева. М., Учпедгиз, 1941, с.79–108.

483**Шамбинаго С.**

Народность Лермонтова по «Песне о купце Калашникове». — «Литературная учеба», М., 1941, № 7–8, июль-август, М.Ю. Лермонтов (1841–1941), с.73 – 86.

A - V - ①

484**Альбеткова Р. И.**

Образы слова и звука в лирике М.Ю. Лермонтова. — В кн.: Вопросы развития русской поэзии XIX века. Куйбышев, 1974, с.17–29. (Куйбышев. пед. ин-т. Науч. труды. т.155).

485**Арго А. М.**

Десятая муза. (Непереводимость и всепереводимость). М., «Сов. Россия», 1964.

[С.19–24: Переводы Лермонтова – «Перчатка», «На севере диком», «Из Гете», «Воздушный корабль»].

486**Бархин К. Б.**

Язык и построение «Песни про купца Калашникова» Лермонтова. — «Русский язык в школе». М., 1936, № 5, с.91 – 99.

487

Белый А.

Символизм. Книга статей. М., Книгоизд-во «Мусагет», 1910, IV., [2]

[О Лермонтове см. статью: Сравнительная морфология ритма русских лириков в ямбическом диметре, с.331–395; см. также стр.: 261, 262, 267, 274, 275, 287–294, 299, 303, 305, 308, 309, 312, 316, 320, 321].

488

Биржишко А.

О ритмико-смысловых отношениях в стихотворении Лермонтова «Как часто пестрою толпою окружен...» —В кн.: Марксизм-ленинизм и проблемы теории литературы. Тез. докл. науч. конф., посвящ. 100-летию со дня рождения В.И. Ленина. Алма-Ата, 1969, с.61 – 63.

489

Вацуро В. О.

Пушкинская поговорка у Лермонтова. —В кн.: Временник Пушкинской комиссии. 1972, Л., 1974, с.105 – 106.

[Строка в стих. «Журналист, читатель и писатель» представляет собой пушкинскую поговорку, имевшую хождение в пушкинском кругу].

490

Винокур Г.

Критика поэтического текста. М., 1927. 134, [1]стр. [Гос. академия художественных наук. История и теория искусств. Вып. 10].

[С.8, 9, 41, 75, 81, 96–100, 123, 128–130 — О Лермонтове].

491 (М)

Вишневский К. Д.

Строфика Лермонтова. —В кн.: Творчество М.Ю. Лермонтова. Сб. статей, посвящ. 150-летию со дня рождения М.Ю. Лермонтова. Пенза, 1965, с.3 – 131. (Пенз. пед. ин-т. Каф. рус. лит. Учен. зап. Серия филол. Вып. 14).

492

Вишневский К.

Традиции и новаторство в стихотворной технике Лермонтова. —В кн.: Язык и стиль произведений М.Ю. Лермонтова. Пенза, 1969, с.78 – 88.

493

Гордон Я. И.

Гейне в России 1830–1860-е годы. Душанбе, «Ирфон», 1973.

[С.82–93: Лермонтов – переводчик Гейне «На севере диком...», «Они любили друг друга...», Влияние Гейне в стих. «Утес»].

494

Грибушин И. И.

Ошибся ли М.Ю. Лермонтов в элегическом дистихе? — В кн.: Вопросы русской литературы. (Львов). 1976, вып. 1. с.125 — 127.

[О стихотворном размере стих. «Дитя в люльке»].

495

Жирмунский В. М.

Теория литературы. Поэтика. Стилистика. Л., «Наука», 1977, 408 стр.

[С.72: Замечания о соотношении стиха и ритма стих. «Ангел»; с.203—204: Баллады В. Я. Брюсова и «Тамара» Лермонтова].

496

Жирмунский В.

Теория стиха. Л., «Сов. писатель», 1975. 664 стр.

[С.126—127: Анакруза у Лермонтова; с.190: Дольники в поэзии Лермонтова; с.293—339: Некоторые особенности рифмы у Лермонтова; с.437—438: анализ композиции и поэтики стих. «Когда волнуется желтеющая нива»; с.480—481: особенности композиции стих. «Волны и люди»].

497 (М)

Калиничева Л. А.

К вопросу о переводах у Лермонтова из Гейне. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Вопросы жизни и творчества. Под ред. А.Н. Соколо-

ва и Д.А. Гиреева. Орджоникидзе, Сев.-Осет. кн. изд-во, 1963, с.189—201.

498 (М)

Кириллук Л. Ф.

О некоторых выразительных средствах в лирике М.Ю. Лермонтова. — В кн.: Творчество М.Ю. Лермонтова. Сб. статей, посвящ. 150-летию со дня рождения М.Ю. Лермонтова. Пенза, 1965, с.132—156. (Пенз. пед. ин-т. Каф. рус. лит. Учен. зап. Серия филол. Вып. 14).

499

Копорский С. А.

Опыт стилистического истолкования стихотворения М.Ю. Лермонтова «Утес».

— «Русский язык в школе», 1966, № 2, с.15 — 22.

500

Коровин В. И.

Наблюдения над метафорой и сравнением в лирике М.Ю. Лермонтова 1837—1841 годов. — В кн.: Ученые записки Московского гос. пед. ин-та им. В.И. Ленина. 1957, т.115, вып. 7, с.395 — 411.

501

Лапшина Н.В., Романович И.К., Ярхо Б.И.

Из материалов «Метрического справочника к стихотворениям М.Ю. Лермонтова». Публ. с предисл. М.Л. Гаспарова.

— «Вопросы языкознания»,
1966, № 2, с.125 — 137.

502

Литвиннико А. И.

Некоторые особенности «книжной лексики и ее стилистического употребления в романтических поэмах М.Ю. Лермонтова «Мцыри» и «Демон». — В кн.: Ученые записки Ленингр. пед. ин-та им. А.И. Герцена, т.202, 1959, с.153 — 172.

503

Литвиненко А. И.

Лексика поэм Лермонтова «Мцыри» и «Демон». Автореф. дисс. на соиск. учен. степени канд. филол. наук. Л., 1959, 21 стр.

504

Ломинадзе С. В.

На фоне гармонии. Лермонтов. — В кн.: Типология стилистического развития нового времени. Классический стиль. Соотношение гармонии и дисгармонии в стиле. М., «Наука», 1976, с.343 — 385. (АН СССР. Ин-т мировой лит. Теория лит. стилей).

[Пушкин. Лермонтов. Стиль Лермонтова и его восприятие художественного времени. Анализируются «И скучно и грусно», «Поэт» («Когда Рафаэль вдохновенный ...»), «Ангель», «Парус», «Выхожу один я на дорогу», «Как часто пестрою толпою окружен» и др. стих.].

505

Матвиевская Л. А.

О стилистическом использовании антонимов в лирике и поэмах М.Ю. Лермонтова.

— «Русский язык в школе», 1977, № 2, с.66 — 73.

506

Меднис Н. Е.

Особенности стиховой структуры поэмы М.Ю. Лермонтова «Сашка». — В кн.: Вопросы русской, советской и зарубежной литературы. Хабаровск, 1972, с.61 — 66.

507

Меднис Н. Е.

Ритмико-интонационная организация поэмы М.Ю. Лермонтова «Демон». — В кн.: Вопросы русской, советской и зарубежной литературы. Хабаровск, 1972, с.47 — 60.

508

Меднис Н. Е.

Русская октава и октава Лермонтова. — В кн.: Учен. записки Горьковского гос. ун-та им. Н.И. Лобачевского, вып. 105, Серия гуманитарных наук. Горький, 1969, с.14 — 26.

[Октава у Пушкина и октава у Лермонтова. Октава в поэме «Аул Бастунджи»].

509

Меднис Н. Е.

Стихотворная поэтика М.Ю. Лермонтова. Автореф. дисс. на соиск. учен. степени канд. филол. наук. Л., 1971. 24 стр. (Ленингр. гос. ун-т им. А.А. Жданова).

510

Николаева К. А.

Сравнительные конструкции в поэмах М.Ю. Лермонтова «Мцыри» и «Демон». — В кн.: Научная конференция по итогам научно-исследовательских работ за 1965 год Кишневского ун-та. Февраль 1966 г. Секция общественных и гуманитарных наук. 1966, с.137–138.

511

Новиков Л.

«Бородино» М.Ю. Лермонтова. Лингвистич. комментарий.

— «Русский язык в национальной школе», 1966, № 4, с.12–14.

512

Новиков Л. А.

Лингвистическое толкование художественного текста. (Стихотворение М.Ю. Лермонтова «Смерть поэта»).

— «Русский язык в школе», 1963, № 6, с.19–25.

513

Пейсахович М. А.

Астрофические стихотворения Лермонтова.

— «Вопросы русской литературы», Вып. 2 (24), Львов, «Вища школа», 1974, с.67–73.

514

Пейсахович М. А.

Онегинская строфа в поэмах Лермонтова. — В кн.: Научные доклады высш. школы. Филол. науки. 1969, № 1, с.25–38.

515

Пейсахович М. А.

Стиховая композиция поэмы Лермонтова «Мцыри», — В кн.: Вопросы русской литературы. Вып. 2 (5). Львов, 1967, с.97–103.

516

Пейсахович М. А.

Стих юношеских поэм М.Ю. Лермонтова. (Двухстишные формы). — В кн.: Вопросы русской литературы, вып. I, (16). Львов, 1971, с.72–77.

517

Пейсахович М. А.

Стих юношеских поэм М.Ю. Лермонтова (произведения вольной рифмовки). — В кн.: Вопросы русской литературы. Вып. I (19). Львов, 1972, с.80–85.

518 (M)

Пейсахович М.

Строфика Лермонтова. — В кн.: Творчество М.Ю. Лермонтова. 150 лет со дня рождения. 1814–1964,

М., 1964, с.417 — 491, (АН СССР. Ин-т мировой литературы).

519

Пейсахович М. А.

Строфическое строение поэмы Лермонтова «Демон». —В кн.: Вопросы русской литературы. Вып. 2 (8). Львов, 1968, с.91 — 103.

520

Полукортова Е. А.

Из наблюдений над употреблением отвлеченной лексики в поэме М.Ю. Лермонтова «Мцыри». —В кн.: Язык и стиль произведений М.Ю. Лермонтова. Пенза, 1969, с.19 — 34.

521

Полтавцев В.

Из литературной копилки.
— «Весы», М., 1907, № 11, с.50—53.

[1. Лермонтовское четверостишие «Если б мы не дети были...» — перевод эпитафии из Бэрнса к «Абидосской невесте» Байрона. Ошибка перевода Лермонтова, 2. с.51: «Листь» и «Листья» — употребление первой формы для обозначения листвы Пушкиным и Лермонтовым, 3. с.52. Употребление Лермонтовым во многих стихотворениях выражения «Но что ж !» и в стих. «Завещание» (1840 г.), «Да что !»].

522

Прохоров А. И.

Метафора, ее структура и стилистические функции в поэме М. Ю. Лермонтова «Демон». —В кн.: Вопросы языка и стиля. (Сборник научных работ кафедры русского языка). Пятигорск, 1966, с.94 — 109, (Пятигорский гос. пед. ин-т иностранных языков).

523

Рубанович А. Л.

Проблемы мастерства М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Труды Иркутского ун-та им. А.А. Жданова, 1971, т.48, Серия литературоведения и критики, с.147 — 183.

[Сравнение в лирике Лермонтова. Сатира у Лермонтова. Эпиграммы].

524 (Т)

Пумпянский Л.

Стиховая речь Лермонтова.
—В кн.: Литературное наследство, № 43—44, М., 1941, с.389 — 424.

525

Саломатова Е. Ф.

Несколько лингвистических комментариев к стихотворению М.Ю. Лермонтова «Молитва», «Я, мать божия...», —В кн.: Проблемы русского языка и его методики. Красноярск, 1972, с.121—126. (Красноярский гос. пед. ин-т).

526

Самойлов Д. С.

Книга о русской рифме. М.,
«Худож. литература», 1973, 280
стр.

[С.136—148: рифма у Лер-
монтова].

527

Семенов Л. П.

Элементы разговорной речи в
лирике Лермонтова. [«Бородино»
и «Дары Терека», «Валерик» и
др.] —В кн.: Известия Сев.-Осе-
тинского науч.-исследовательского
ин-та, 1960, т.22, вып. 2.

— «Вопросы литературы»,
с.101 — 118.

528

Советов С.

Народные черты в языке и
стиле «Песни про купца Калаш-
никова» М.Ю. Лермонтова,

— «Русский язык в школе»,
М., 1940, № 5, с.56 — 63.

529 (М)

Советов С. С.

Работа М.Ю. Лермонтова над
языком «Мцыри» (Вопросы лек-
сики и семантики). —В кн.:
Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб.
статей и материалов. Ставрополь,
Ставр. кн. изд-во, 1960, с.97—120.

530

Стрелков П. Г.

Победа реализма в стихтвор-
ном языке Лермонтова. —В кн.:

Ученые записки (Марийский пед.
ин-т). т.9, 1955, с.133 — 147.

[Стих. «Валерик»].

531 (С)

Тарасов Л. Ф.

Поэма М.Ю. Лермонтова
«Мцыри». Стилистический ком-
ментарий.

— «Русский язык в школе»,
1976, № 5, с.48 — 65.

532

Тарасов Л. Ф.

«Утес» М.Ю. Лермонтова. Линг-
вистический анализ.

— «Русская речь», 1976, № 4,
с.52 — 56.

533

Тимофеев В. П.

Анализ языка стихотворения
М. Лермонтова «Бородино».

— «Русский язык в школе»,
1958, № 6, с.41 — 45.

534

Тоболева М. П.

Ударение в стихах.

— «Русская речь», 1974, № 5,
с.42 — 47.

[Частично об особенностях
ударения у Лермонтова].

535 (М)

Фам Вын Кы, Ходукина Т.

Особенности эпитета в лирике
Лермонтова. —В кн.: М.Ю. Лер-
монтов. Вопросы жизни и творче-
ства. Под ред. А.Н. Соколова и

Д.А. Гиреева. Орджоникидзе, Сев.-Осет. кн. изд-во, 1963, с.176 – 188.

536

Федотов О. И.

Из наблюдений над стиховым строем поэмы М.Ю. Лермонтова «Мцыри». Метрическая предыстория. —В кн.: Писатель и время. Вып. I, Ульяновск, 1975, с.135 – 137. (Ульяновский пед. ин-т).

537 (М)

Фишер В. М.

Поэтика Лермонтова. —В кн.: Венок М.Ю. Лермонтову. Юбилейный сборник. М.-Пг., 1914, с.196 – 236.

[Содерж.: 1. Процесс творчества; 2. Образы, стиль и язык; 3. Метрика; 4. Формы].

538

Фохт У.

«Демон» Лермонтова как явление стиля. —В кн.: Литературоведение. Сборник статей. М., 1928, с.107 – 146.

539

Харчевников В.

К вопросу о ритмике стихов М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Лермонтовский сборник. 1814–1964. Грозный, 1964, с.145 – 160.

540

Хетсо Гейр.

Несколько замечаний о лекси-

ке стихотворений М.Ю. Лермонтова. —В кн.: «Scando-Slavica», 1973, t.19, p.49 – 73.

541

Чичерин А. В.

Стиль лирики Лермонтова. —В кн.: Известия АН СССР. Серия лит. и яз., 1974, т.33, №5, с.407 – 417.

542

Шанский Н. М.

Несколько слов о поэтическом слове Лермонтова.

– «Русский язык в национальной школе», 1974, № 5, с.49–57.

543

Шанский Н. М.

Об одном многозначном слове у Пушкина, Лермонтова и Блока. [О слове «риза»].

– «Русский язык в школе», 1974, № 3, с.8 – 10.

544

Шанский Н. М.

Художественный текст под лингвистическим «микроскопом».

– «Русский язык в школе», 1971, № 2, с.107 – 110.

[С.107–108: Некоторые вопросы языка и стиля стих. «Смерть поэта»].

545

Шанский Н. М.

Художественный текст под лингвистическим микроскопом.

Заметки о словоупотреблении в стихотворениях А.С. Пушкина и М.Ю. Лермонтова.

— «Русский язык в школе», 1971, № 3, с.97 — 100.

[«Грозный суд» или «грозный судья»? «Смерть поэта» М.Ю. Лермонтова. Какой «позор»? О значении слова «позор» у Пушкина и Лермонтова].

546

Шанский В. Н.

Язык и стиль стихотворения Лермонтова «Поэт».

— «Русский язык в национальной школе», 1977, № 2, с.42 — 47.

547

Шестакова О. А.

О некоторых стилистических особенностях стихотворений А.С. Пушкина и М.Ю. Лермонтова о поэзии и поэте. — В кн.: Материалы научной конференции по итогам исследовательской работы за 1967 год. Секции рус. яз., лит. и иностр. яз. Кишнев, Молд-реклама, 1968, с.21 — 28.

(Тираспольский пед. ин-т).

[Стилистико-лексические сопоставления: «Пророк» Пушкина — «Пророк» Лермонтова. «Поэт», «Поэту» Пушкина и «Поэт» Лермонтова. «Разговор книгопродавца с поэтом» и «Журналист, читатель и писатель». Стилистический анализ стих. «Кинжал»].

548

Шестакова О. А.

О некоторых типичных чертах поэтического стиля М.Ю. Лермонтова. — В кн.: Материалы научной конференции по итогам научно-исследовательской работы за 1969 год. 1970, Кишнев, 1972, с.44 — 48. (Тираспольский пед. ин-т).

549

Шестакова О. А.

Работа М.Ю. Лермонтова над языком и стилем поэмы «Демон». — В кн.: Тираспольский пед. ин-т им. Т.Г. Шевченко. Материалы науч. конференции по итогам исслед. работы за 1968 год. (филол. науки). Кишнев, 1970, с.49 — 53.

550 (М)

Шувалов С. В.

VI. Поэтика. — В кн.: С.В. Шувалов. М.Ю. Лермонтов. Жизнь и творчество. М.-Л., Госиздат, 1925, с.154 — 181.

[1. Стихотворные размеры; 2. Рифмы; 3. Строфы; 4. Словесная инструментровка; 5. Эпитеты; 6. Сравнения; 7. Антитезы; 8. Повторения].

551

Эйхенбаум Б. М.

Некрасов. — В кн.: Эйхенбаум Б.М. Сквозь литературу. Сб. статей. Л., «Academia». 1924, с.233 — 279. (Гос. ин-т истории искусств.

Вопросы поэтики. Непериодическая серия, издаваемая Разрядом Истории словесных искусств. Вып. 4).

[С.263—266: использование в поэзии Некрасова ритмико-синтаксических и интонационных схем стихотворений Лермонтова].

552

Эйхенбаум Б.

Пушкин, Тютчев, Лермонтов. —В кн.: Эйхенбаум Б. Мелодика русского лирического стиха. Пг., 1922, с.72 — 118.

A - I - (2) - α

553

Дурылин С. Н.

Лермонтов — драматург.
— «Литература в школе»,
1941, № 4, с.33 — 47.

[Роль Лермонтова в создании русского романтического театра].

554

Зотов В.

Лермонтов как драматург.
— «Северное сияние», СПб.,
1864, т.3. столб.371 — 381.

555

Мануйлов В. А.

Михаил Юрьевич Лермонтов.
1814—1841. М.-Л., «Искусство»,
тип. им. Володарского в Лгр.,
1950, 160 стр.

[Интерес Лермонтова к театру.
Драматургия].

556

Нейман Б.

Драматургия Лермонтова. Б.
Нейман. —В кн.: Лермонтов
М.Ю. Драммы. М.-Л., 1940, с.5—73.

557

Нейман Б. В.

Лермонтов и театр.
— «Октябрь». М., 1938, № 12,
с.229 — 239.

558

Садовской Б.

Трагедия Лермонтова. —В кн.:
Лермонтов, М.Ю. Иллюстрированное
полное собрание сочинений
М.Ю. Лермонтова. Т.1—6, М., 1914
—1916, Т.3, с.XXXIII — XLVIII.

559 (M)

Соколов А. Н.

V. Драматургия. —В кн.:
А.Н. Соколов. Михаил Юрьевич
Лермонтов. Изд. 2-е, испр. М.,
Изд-во Моск. ун-та, 1957, с.59 —
65.

560

Фейерхерд В. Ф.

Юношеская драматургия М.Ю.
Лермонтова. Автореф. канд. дисс.
М., 1961, 22 стр. (Моск. гос. ун-т
им. М.В. Ломоносова).

561 (C)

Эйхенбаум Б. М.

Драммы Лермонтова. —В кн.:
Б.М. Эйхенбаум. Статьи о Лер-
монтове. М.-Л., Изд-во АН СССР.

1961, с.125 – 220. (АН СССР. Ин-т рус. лит.).

562

Эйхенбаум Б. М.

Драматургия Лермонтова.
— «Искусство и жизнь». Л.,
1939, № 10, с.17 – 19.

563

Эйхенбаум Б. М.

Михаил Юрьевич Лермонтов
(1814–1841). —В кн.: Классики
русской драмы. Л.-М., «Искус-
ство», 1940, с.107 – 125.

564

Эйхенбаум Б. М.

М.Ю. Лермонтов. —В кн.:
Русские драматурги XVIII–XIX
в.в. Монографические очерки в
3-х томах. т.2. Первая половина
XIX века. Под ред. Б.С. Мейлаха.
Л.-М., «Искусство», 1961, с.177
–228.

565 (M)

Яковлев М. А.

Драматургия Лермонтова.
—В кн.: М.А. Яковлев. М.Ю. Лер-
монтов как драматург. Л.-М.,
«Книга», 1924, с.235 – 259.

A- I - ② - β

566

Богомолец В. К.

«Маскарад» М.Ю. Лермонтова.
Автореферат [канд.] диссерт. Л.,
1954, 19 стр.

567 (M)

Богомолец В. К.

Образ Казарина в драме
«Маскарад». —В кн.: М.Ю. Лер-
монтов. Материалы и сообщ. VI
Всесоюзной лермонтов. конф. Став-
рополь, Ставро. кн. изд-во, 1965,
с.88 – 100. (Ставр. пед. ин-т).

568 (M)

Владимирская Н. М.

Образ современника в драме
Лермонтова «Станный человек».
—В кн.: М.Ю. Лермонтов. Вопро-
сы жизни и творчества. Под ред.
А.Н. Соколова и Д.А. Гиреева.
Орджоникидзе, Сев.-Осет. кн.
изд-во, 1963, с.134 – 148.

569 (K)

Грехнев В. А.

О психологических принципах
«Княгиня Лиговская».
— «Русская литература», 1975,
№ 1, с.36 – 46.

570

К. Т.

Нужен ли четвертый акт
«Маскарада».
— «Театр», М., 1940, № 7,
с.155 – 157.

[156, 157: Выступление Юрьева
в защиту IV акта «Маскарада»,
высказывания о его понимании
Арбенина. —Конференция текс-
тологов Лермонтова и работников
театра, созв. Кабинетом Островс-
кого и русской классики ВТО].

571

Кандиев Б. И.

«Маскарад», Драма в 4-х действиях в стихах М.Ю. Лермонтова. (Критический этюд). —В кн.: Учен. зап. Сев.-Осетинского гос. пед. ин-та им. К.П. Хетагурова. т. III (XVI). Орджоникидзе, 1942, с.35 — 53.

572

Капленко С. Г.

Трагическое в пьесе М.Ю. Лермонтова «Маскарад». —В кн.: Вопросы историзма и художественного мастерства. Вып. I. Л., 1976, с.88 — 116. (Ленингр. пед. ин-т им. Герцена).

573 (M)

Коровин В. И.

Драма «Маскарад». —В кн.: В.И. Коровин. Творческий путь М.Ю. Лермонтова. М., «Просвещение», 1973, с.203 — 216.

574

Линев Л. А.

«Маскарад» М.Ю. Лермонтова. Автореферат дисс. на соиск. учен. степени канд. филологич. наук. Л., 1953, 18 стр.

575

Ломунов К.

Лермонтов и его драма «Маскарад». —В кн.: Лермонтов, Михаил Юрьевич. Маскарад. Драма в 4-х д. в стихах. М., «Искусство», 1966, с.100 — 111.

576 (M)

Ломунов К.

«Маскарад» Лермонтова как социальная трагедия. —В кн.: «Маскарад» Лермонтова. Сб. статей под ред. П.И. Новицкого. К столетию со дня гибели М.Ю. Лермонтова. М.-Л., Изд-во ВТО, 1941, с.43 — 92.

577

Ломунов К. Н.

Нужен ли четвертый акт «Маскарада».

— «Театр», М., 1940, № 7, с.155 — 157.

[С.155, 156—157: доклад Ломунова «Маскарад» как социальная трагедия и его возражения Эйхенбауму на конференции текстологов Лермонтова и работников театра, созв. Кабинетом Островского и русской классики ВТО].

578

Меднис Н.

Стиховая структура трагедии Лермонтова «Испанцы». —В кн.: Проблемы изучения художественного произведения. (Методология, поэтика, методика). Тезисы докладов XI науч.-теоретич. и методич. конференции, организуемой Каф. рус. лит-ры (23—25 мая 1968 г.) Ч. I. М., [1968], с.97—99.

579

Михозлс С. М.

«Испанцы» Лермонтова. —В

кн.: Михозлс С.М. Статьи. Беседы. Речи. Воспоминания о Михозлсе. М., «Искусство», 1965, с.235 – 237.

580

Основин В. В.

О некоторых особенностях психологического анализа в драмах Л.Н. Толстого и М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Проблемы художественного мастерства и истории литературы. Горький, 1967, с.3 – 24. —В кн.: Учен. записки Горьковского гос. пед. ин-та им. М. Горького.

[Искусство «психологического» портрета в драме «Маскарад»].

581

Пустынников Г. А.

Этюды о пьесах М.Ю. Лермонтова. (Историческая тема и современность в трагедии «Испанцы». — О языке, стиле трагедии «Menschen und Leidenschaften». — Позитивное начало в драме «Маскарад»). —В кн.: Наукові записки Ізмаїльського держ. пед. ін-ту, вып. 2. 1961, с.21 – 67.

582

Пустынников Г. А.

Этюды о пьесах М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Наукові записки. (Ізмаїльський держ. пед. ін-т), вып. 3, 1962, с.15 – 89.

[Содерж.: Из истории борьбы за опубликование лермонтовской драматургии. — Об автобиогра-

физме, субъективизме прозаических драм Лермонтова. — Стиль трагедии М.Ю. Лермонтова «Испанцы»].

583

Турбин В., Усок И.

Трагедия гордого ума. (О художественном своеобразии драмы Лермонтова «Маскарад»). — «Вопросы литературы», 1957, № 4, с.83 – 109.

584

Ходукина Т. И.

К вопросу изучения жанра драмы М.Ю. Лермонтова «Маскарад». —В кн.: Художественное творчество и литературный процесс. Вып. I. Томск, Изд-во Томского ун-та, 1976, с.47 – 51.

585

Ходукина Т. И.

«Маскарад» М.Ю. Лермонтова (проблема жанра). Автореф. дисс. на соиск. учен. степени канд. филол. наук. Томск, 1969, 24 стр. (Томский гос. ун-т им. В.В. Куйбышева).

586 (М)

Шувалов С. В.

V. Драматическое творчество. —В кн.: С.В. Шувалов. М.Ю. Лермонтов. Жизнь и творчество. М.-Л., Госиздат, 1925, с.142–153.

[1. Юношеские драмы; 2. «Маскарад»].

587 (M)**Яковлев М. А.**

3-я гл. Социальные мотивы в драмах Лермонтова. — В кн.: М.А. Яковлев. М.Ю. Лермонтов как драматург. Л.-М., «Книга», 1924, с.39 — 75.

588 (M)**Яковлев М. А.**

4-я гл. Трагедия «Испанцы». (Источники). — В кн.: М.А. Яковлев. М.Ю. Лермонтов как драматург. Л.-М., «Книга», 1924, с.76 — 125.

589 (M)**Яковлев М. А.**

5-я гл. Автобиографизм в драмах: «Menschen und Leiden-schaften», «Странный человек» и «Два брата». — В кн.: М.А. Яковлев. М.Ю. Лермонтов как драматург. Л.-М., «Книга», 1924, с.126 — 164.

А- II - ②

590**Варшавский Я.**

Лермонтов и Мейерхольд. Третья редакция «Маскарада». — «Театр», М.-Л., 1939, № 5, с.89 — 96.

591 (M)**Дурылин С. Н.**

Лермонтов и романтический театр. — В кн.: «Маскарад» Лер-

монтова. Сб. статей под ред. П.И. Новицкого. К столетию со дня гибели М.Ю. Лермонтова. М.-Л., Изд-во ВТО, 1941, с.15 — 42.

592**Клейнер И. М.**

Драматургия Сухова-Кобылина. М., «Сов. писатель», 1961, 414 стр.

[С.52—54: тема карточной игры в русской литературе. («Маскарад»); с.80—84: сопоставление Белинского («Странный человек») с Кречинским; с.117: «Люди и страсти» и «Дело»].

593**Нейман Б.**

«Испанцы» — Лермонтова и «Айвенго» — Вольтера Скотта. — «Филологические записки». Воронеж, 1915, с.1 — 13.

594 (M)**Новицкий П.**

Лермонтов и социалистический театр. — В кн.: «Маскарад» Лермонтова. Сб. статей под ред. П.И. Новицкого. К столетию со дня гибели М.Ю. Лермонтова (1841—1941). М.-Л., Изд-во ВТО, 1941, с.5 — 14.

595**Пустынников Г. В.**

«Странный человек» Лермонтова и «Иванов» Чехова. — В кн.: А.П. Чехов. Материалы научной конференции, посвящен-

ной 100-летию со дня рождения писателя. Кустанай, 1960, с.97 — 118.

596 (M)

Штайн Г. Г.

«Маскарад» на советской сцене. —В кн.: «Маскарад» Лермонтова. Сб. статей под ред. П.И. Новицкого. К столетию со дня гибели М.Ю. Лермонтова. М.-Л., Изд-во ВТО, 1941, с.137 — 178.

597 (M)

Яковлев М. А.

1-я гл. Московский театр начала 30-х годов. —В кн.: М.А. Яковлев. М.Ю. Лермонтов как драматург. Л.-М., «Книга», 1924, с.5 — 19.

А-III-②

598 (T)

Абрамович Д. И.

Примечания [К драматическим произведениям]. —В кн.: Полное собр. соч. М.Ю. Лермонтова. Под ред. и с примеч. Д.И. Абрамовича. Т. III. СПб., Изд. Разряда изящной словесности Имп. Акад. Наук, 1910, с.357 — 370.

599 (M)

Андроников И. Л.

Из творческой истории «Странного человека». —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов. М., «Совет. писатель», 1951, с.34 — 59.

600 (K)

Андроников И. Л.

Примечания [к драмам]. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Собр. соч. в 4-х томах. Под ред. М.Л. Андроникова и О.Г. Оксмана. Т. III. М., «Худож. лит», 1964, с.545—564.

601 (M)

Ашукин Н. С.

Историко-бытовой комментарий к драме Лермонтова «Маскарад». —В кн.: «Маскарад» Лермонтова. Сб. статей под ред. П.И. Новицкого. К столетию со дня гибели М.Ю. Лермонтова. М.-Л., Изд-во ВТО, 1941, с.211 — 248.

602

Богомолец В. К.

Творческая история драмы М.Ю. Лермонтова «Маскарад». —В кн.: Учен. зап. Ровенского гос. пед. ин-та. 1961, № 6, с.127—173.

603 (M)

Висковатов П. А.

Примечания [к драматическим произведениям]. —В кн.: Сочинения М.Ю. Лермонтова. Т. IV. М., В.Ф. Рихтер, 1889, с.431.

604 (M)

Владимирская Н. М.

Лермонтов и Мочалов. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Материалы и общ. VI Всесоюз. Лермонт. конф. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1965, с.77 — 87. (Ставр. пед. ин-т).

605

Владимирская Н. М.

Пугачевское восстание в художественной прозе Пушкина и Лермонтова. — В кн.: Пушкинский сборник. Псков, 1968, с.48–55.

[«Капитанская дочка» и «Вадим»].

606

Докусов А. М.

«Маскарад» М.Ю. Лермонтова. (Из творческой истории текста и сценической истории драмы).

— В кн.: Учен. зап. (Ленингр. пед. ин-т им. А.И. Герцена). т.120, 1955, с.5 – 42.

607

Дризен Н. В.

Очерк театральной цензуры двух эпох 1801–1856 г.г.

— «Исторический вестник», 1900, т.81, № 8, с.556 – 585.

[С.567–568: «Маскарад» и «Странный человек»].

608

Емельяненко Т. А.

Работа Лермонтова над драмой «Маскарад». Образ Арбенина.

— В кн.: Учен. зап. [Астраханский пед. ин-т им. С.М. Кирова]. т.27. 1969, с.58 – 65.

609

Зюков Б. Б.

Юрий Лавров. Киев, 1971.

[С.94–97: Лавров – Неизвестный («Маскарад»)].

610

Иванов С.

Из новых материалов о Белинском и Лермонтове.

— «Огонек», 1948, № 10, с.25.

[Документы, найденные Храбровицким и частично опубликованные им в пензенской газете «Сталинское знамя», доказывают, что прототипом помещицы в «Странном человеке», как и в «Дмитрии Калинин» Белинского, является М.Я. Давидова].

611 (М)

Иванова Т. А.

«Маскарад». — В кн.: Т.А. Иванова. Юность Лермонтова. М., «Сов. писатель», 1957, с.319–349.

612 (М)

Иванова Т. А.

«Странный человек». — В кн.: Т.А. Иванова. Юность Лермонтова. М., «Сов. писатель», 1957, с.166 – 198.

613 (Т)

Комарович В.

Автобиографическая основа «Маскарада». — В кн.: Литературное наследство, № 43–44, М., 1941, с.629 – 672.

614

Лернер Н. О.

Один из героев Грибоедова и Лермонтова. Очерк Н.О. Лернера.

— «Литература и попул.-научн. прилож. «Нивы», 1914, № 1,

столб. 39 – 56.

[А.Л. Элькан – прототип Шприха в «Маскараде»].

615

Линев К. А.

Из творческой истории драмы М.Ю. Лермонтова «Маскарад». —В кн.: Ученые записки Кишиневского пед. ин-та им. И. Крянэ, т. II, 1959, с.59 – 71.

[1. «Маскарад» и николаевская цензура. 2. Долгоруковский список драмы «Арбенин». 3. Один из прототипов драмы «Арбенин»].

616 (M)

Ломунов К.

Сценическая история «Маскарад» Лермонтова. Сб. 1-й. Исследования и материалы. М., Гос. Изд-во худож. лит-ры, 1941, с.552 – 588. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

617

Манн Ю.

Игровые моменты в «Маскараде» Лермонтова. —В кн.: Изд. АН СССР. Серия лит. и яз., 1977, т.36, № 1, с.27 – 38.

618 (C)

Пеньковский А. Б.

Антропонимические заметки (О двух именах героини «Маскарада»). —В кн.: Вопросы литературы. (К 160-летию со дня рождения М.Ю. Лермонтова). Вып. 10, Владимир, 1975, с.50 – 75.

619 (M)

Примечания [к драмам]

—В кн.: М.Ю. Лермонтов. Полное собр. соч. <Ред. Б.М. Эйхенбаум>. Т. III. М.-Л., Гослитиздат, тип. «Печат. двор» в Лгр., 1947, с.473 – 485.

[Содерж.: Драмы Лермонтова; Драмы 1835–1836; Юношеские драмы; Приложения].

620 (M)

Примечания [к драмам]

—В кн.: М.Ю. Лермонтов. Собрание сочинений в 6-ти томах. Т.5. М.-Л., 1956, с.715 – 755. Изд-во Акад. Наук СССР.

621 (C)

Рабинович М. Б.

Из цензурной истории «Маскарада». — «Русская литература», 1964, № 3, с.60 – 64.

622

Раков Юрий

Литературный Петербург. —В кн.: Литература и ты. Сборник. Вып. 5, М., «Молод. гвардия», 1973, с.156 – 168.

[С.159–163: история дома В.В. Энгельгардта].

623

С. Р.

[ценз.]

«Маскарад» М.Ю. Лермонтова в драматической цензуре. Историческая справка. —В кн.: «Ежегодник императорских театров», СПб., 1911, вып. 5, с.55 – 60.

[С.59–60: И. Нордстрем — цензор «Маскарада» — 1852 г. Последняя редакция].

624 (M)**Эйхенбаум Б.**

Пять редакций «Маскарад».
—В кн.: «Маскарад» Лермонтова. Сб. статей под ред. П.И. Новицкого. К столетию со дня гибели М.Ю. Лермонтова. М.-Л., Изд-во ВТО, 1941, с.93 — 108.

625 (C) (M)**Эйхенбаум Б.**

Пять редакций «Маскарада».
—В кн.: Эйхенбаум Б. О поэзии. Л., «Сов. писатель», 1969, с.215—233.

626**Эйхенбаум Б. М.**

Три редакции «Маскарада».
— «Искусство и жизнь», Л., 1939, № 3. Спектакли и фильмы, с.20 — 21.

627 (M)**Яковлев М. А.**

6-я гл. Литературные источники автобиографических драм: «Menschen und Leidenschaften», «Странный человек» и «Два брата». —В кн.: М.А. Яковлев. М.Ю. Лермонтов как драматург. Л.-М., «Книга», 1924, с.165—196.

628 (M)**Яковлев М. А.**

7-я гл. Драма «Маскарад».

(Источники). —В кн.: М.А. Яковлев. М.Ю. Лермонтов как драматург. Л.-М., «Книга», 1924, с.197 — 234.

A-IV-②

629**Ходукина Т. И.**

«Маскарад», как драма романтическая по методу. —В кн.: Проблемы идейности и мастерства художественной литературы. Томск, 1969, с.68 — 89. (Ученые записки Томского ун-та, № 77).

630 (M)**Эйхенбаум Б. М.**

«Испанцы» Лермонтова как политическая трагедия. —В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1960, с.45—56.

631 (C) (M)**Эйхенбаум Б.**

«Испанцы» Лермонтова как политическая трагедия. —В кн.: Эйхенбаум Б. О поэзии. Л., «Сов. писатель», 1969, с.277 — 290.

632 (M)**Яковлев М. А.**

2-я гл. Отношение Лермонтова к театру. —В кн.: М.А. Яковлев. М.Ю. Лермонтов как драматург. Л.-М., «Книга», 1924, с.20 — 38.

A-V-②

633

Алексеевко А. Д.

Лексический повтор как способ соединения реплик в драме М.Ю. Лермонтова «Маскарад». —В кн.: Язык и стиль произведений М.Ю. Лермонтова. Пенза, 1969, с.35 — 46. (Ряз. пед. ин-т. Учен. зап. т.78. — Пенз. пед. ин-т).

634 (С)

Владимирская Н. М.

Стихотворная и прозаическая форма драм Лермонтова как элемент художественного стиля. —В кн.: Вопросы литературы. (К 160-летию со дня рождения М.Ю. Лермонтова). Вып. 10, Владимир, 1975, с.3 — 22.

[На примере драм «Испанцы», «Menschen und Leidenschaften», «Маскарад» и др.].

635 (М)

Нейман Б. В.

Язык пьес Лермонтова. —В кн.: «Маскарад» Лермонтова. Сб. статей под ред. П.И. Новицкого. К столетию со дня гибели М.Ю. Лермонтова. М.-Л., Изд-во ВТО, 1941, с.109 — 120.

636

Шестакова О. А.

Стилистические функции лексики и фразеологии в драме М.Ю. Лермонтова «Маскарад». —В кн.: Тиранпольский пед. ин-т. Материалы по итогам исслед.

работы за 1965 год. Кишнев, 1966, с.71 — 74.

A-I-③-α

637

Виноградов А.

Лермонтов как автор «Герой нашего времени». —В кн.: Лермонтов М.Ю. Герой нашего времени. М., 1932, с.3 — 26.

638

Закруткин В. А.

Проза Лермонтова. —В кн.: Закруткин В.А. Пушкин и Лермонтов. Исследования и статьи. Ростов н/Д, 1941, с.270 — 301.

639

Зотов В.

Лермонтов как прозаик. — «Северное сияние», СПб., 1864, т.3. Столб.305 — 312.

640

Родзевич С. И.

Лермонтов как романист. С предисл. проф. А.М. Лободы. Киев, Н.Я. Оглоблин, 1914, VI [2], 110 стр.

641

Уманская М. М.

Психологический анализ М.Ю. Лермонтова-прозаика. —В кн.: Проблемы русской и зарубежной литературы. Вып. 4, Метод. Стиль. Мастерство. Материалы межвузов-

ской конференции. (май 1967 года), Ярославль, 1970, с.133 — 147.

642

Юнович М. М.

Проза Лермонтова. —В кн.: Лермонтов М.Ю. Проза. М., Гослитиздат. 1941, с.3 — 30.

A-I-③-β

643

Авдеев М. В.

Вера М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Авдеев, М.В. Женщины русских писателей. Галерея женских типов. СПб., 1879.

644 (M)

Авдеев М.В. и Стороженко

Женские типы в «Герое нашего времени». —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.267 — 276, [Изд. 5-е, допол.].

645

Бакинский В.

Проза Лермонтова.
— «Резец». Л., 1939, № 1,
с.22 — 24.

646 (T)

Белинский В. Г.

В.П. Боткину. [письмо] 13 июня 1840 г. —В кн.: В.Г. Белинский. Полное собр. соч. в

13-ти томах. Т. XII. М., Изд-во АН СССР, 1956.

[С.526—528: о Печорине].

647 (M)

Белинский В. Г.

Выдержки из писем и статей. Из рецензии на «Героя нашего времени». —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.241 — 245.

648 (M)

Белинский В. Г.

Герой нашего времени. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.168 — 225, [Изд. 5-е, допол.].

649 (T)

Белинский В. Г.

Герой нашего времени. Сочинение М. Лермонтова. —В кн.: В.Г. Белинский. Полное собр. соч. в 13-ти томах. Т. IV, М., Изд-во АН СССР, 1954, с.145 — 147. (АН СССР. Ин-т рус. лит. Пушкинский Дом).

650 (T)

Белинский В. Г.

Герой нашего времени. Сочинение М. Лермонтова. —В кн.: В.Г. Белинский. Полное собр. соч. в 13-ти томах. Т. IV, М., Изд-во АН СССР, 1954, с.173 — 175, (АН СССР. Ин-т рус. лит. Пушкинский Дом).

651 (Т)**Белинский В. Г.**

Герой нашего времени. Сочинение М. Лермонтова. —В кн.: В.Г. Белинский. Полное собр. соч. в 13-ти томах. Т.IV, М., Изд-во АН СССР, 1954, с.193 — 270. (АН СССР. Ин-т рус. лит. Пушкинский Дом).

652 (Т)**Белинский В. Г.**

Герой нашего времени. Сочинение М. Лермонтова. Издание второе. —В кн.: В.Г. Белинский. Полное собр. соч. в 13-ти томах. Т.V, М., Изд-во АН СССР, 1954, с.451 — 456. (АН СССР. Ин-т рус. лит. Пушкинский Дом).

653 (Т)**Белинский В. Г.**

Герой нашего времени, сочинение М. Лермонтова. Издание третье. —В кн.: В.Г. Белинский. Полное собр. соч. в 13-ти томах. Т.VIII, М., Изд-во АН СССР, 1955, с.116 —118. (АН СССР. Ин-т рус. лит. Пушкинский Дом).

654 (Т)**Белинский В. Г.**

Герой нашего времени. Соч. М. Лермонтова. Издание третье. —В кн.: В.Г. Белинский. Полное собр. соч. в 13-ти томах. Т.VIII, М., Изд-во АН СССР, 1955, с.164 —166. (АН СССР. Ин-т рус. лит. Пушкинский Дом).

655 (М)**Белинский В. Г.**

Единство мысли в «Герое нашего времени». —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб, Книгоизд. Товарищество «ОРОС», вып. 7, б.г., с.100 — 102.

666 (М)**Белинский В. Г.**

«Бэла». —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб, Книгоизд. Товарищество «ОРОС», вып. 7, б.г., с.102 — 117.

667 (М)**Белинский В. Г.**

«Максим Максимыч». —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. Книгоизд. Товарищество «ОРОС», вып. 7, СПб, б.г., с.117 — 122.

668 (М)**Белинский В. Г.**

«Тамань». —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб, Книгоизд. Товарищество «ОРОС», вып. 7, б.г., с.122 — 123.

669 (М)**Белинский В. Г.**

«Княжна Мери». —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб, Книгоизд. Товарищество «ОРОС», вып. 7, б.г., с.123—170.

670 (М)**Бочарова А. К.**

Фатализм Печорина. —В кн.: Творчество М.Ю. Лермонтова. Сб.

статей, посвящ. 150-летию со дня рождения М.Ю. Лермонтова. Пенза, 1965, с.225 – 249. (Пенз. пед. ин-т. Каф. рус. лит. Учен. зан. Серия филол. Вып. 14).

671 (M)

Бурачок Степан Анисимович

Герой нашего времени, М. Лермонтов, две части. СПб., 1840. (В журнале «Маяк», СПб., 1840, ч.4, гл. IV. Книги литературные, стр.210 – 219, ч.5, гл. IV Библиотека избранных сочинений, стр.1–22). В конце текста С.Б.

672

Бурсов Б. И.

Национальное своеобразие русской литературы. М.-Л., «Сов. писатель», 1964, 396 стр.

[С.160–164: «Герой нашего времени»].

673 (K)

Вацуро В. Э.

Последняя повесть Лермонтова. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.223 – 252.

674 (M)

Введенский

Печорин и его критики. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.225–228, [Изд. 5–е, допол.].

675

Веселовская Е. П. [сообщ.]

Лермонтов М.Ю. [Вадим]. Юношеская повесть М.Ю. Лермонтова. — «Вестник Европы», СПб., 1873, т.5, кн.10, с.457 – 557.

676

Виноградов Б. С.

Образ повествователя в романе Лермонтова «Герой нашего времени».

— «Литература в школе», 1956, № 1, с.20 – 28.

677 (C)

Виноградов И.

Философский роман Лермонтова [«Герой нашего времени»].

— «Новый мир», 1964, № 10, с.210 – 231.

678 (K)

Герштейн Э. Г.

Второй диалог. —В кн.: Э.Г. Герштейн. «Герой нашего времени» М.Ю. Лермонтова. М., «Худож. лит.», 1976, с.72–104. [О структуре романа].

679 (K)

Герштейн Э. Г.

Протекающие темы. —В кн.: Э.Г. Герштейн. «Герой нашего времени» М.Ю. Лермонтова. М., «Худож. лит.», 1976, с.31–72.

680 (К)

Герштейн Э. Г.

Этот «Гадкий Печорин», —В кн.: Э.Г. Герштейн. «Герой нашего времени» М.Ю. Лермонтова. М., «Худож. лит.», 1976, с.104 — 120.

681 (К) (М)

Григорьян К. Н.

Гл. V. Печорин. —В кн.: К.Н. Григорьян. Лермонтов и его роман «Герой нашего времени». Л. «Наука», 1975, с.231 — 294. (АН СССР. Ин-т рус. лит. Пушкинский Дом).

682

Гусев В.

Композиция тайны: (О художественной особенности построения романа М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени»).

— «Литературная учеба», 1978, № 2, с.216 — 221.

683

Докусов А. М.

«Вадим» Лермонтова. (Проблематика, образы, стиль). —В кн.: Ленингр. гос. пед. ин-т им. А.И. Герцена. Учен. зап. т.81, Л., 1949, с.95 — 129.

684

Докусов А. М.

Роман «Вадим» Лермонтова. —В кн.: Сборн. Учен. зап. Ленингр. гос. пед. ин-та им. Герцена. Кафедра рус. лит. т.43, Л.,

1947, с.33 — 100.

685

Долинина Н.

Портрет героя.

— «В мире книг», 1970, № 2, с.39 — 41.

[Психологизм портрета Печорина. Особенности портрета у Лермонтова и Пушкина].

686

Домбровский Р. Я.

«Герой нашего времени» М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Учен. зап. (Ульяновский пед. ин-т им. И.Н. Ульянова). Вып. 8, 1956, с.395 — 430.

687 (М)

Дурылин Сергей Николаевич

«Герой нашего времени» М.Ю. Лермонтова. [Пособие к изуч. романа], М., «Учпедгиз», 1940, 256 стр.

688

Евзерихина В. А.

«Герой нашего времени» М.Ю. Лермонтова и русская литература 30-х г.г. XIX в. Автореферат дисс. на соиск. учен. степени канд. филол. наук. Л., 1960, 19 стр. (Ленингр. гос. пед. ин-т им. М.И. Герцена).

689

Евзерихина В. А.

К вопросу о нравственно-эстетических исканиях Лермонтова в

романе «Герой нашего времени», —В кн.: Сборник материалов XIII научной конференции 1971, Новосибирск, 1971, с.115 — 118. (Новосибирская высш. парт. школа).

690

Евзерихина В. А.

«Княжна Мери» М.Ю. Лермонтова и светская повесть 1830-х годов. —В кн.: Учен. зап. Ленингр. гос. пед. ин-та им. А.И. Герцена. т.219. Вопросы истории русской литературы. Л., 1961, с.51 — 72.

691 (М)

Евзерихина В. А.

Мастерство Лермонтова в «Герое нашего времени». (Тамань). —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Материалы и сообщения Всесоюзной Лермонтовской конференции, Ставропольское книжн. изд-во, 1965, с.35 — 44.

692 (С)

Евзерихина Валентина Александровна

Мастерство Лермонтова в «Тамани». —В кн.: Вопросы методики литературы, Новосибирск, 1969, с.51 — 63. (Научные труды Новосибирского гос. пед. ин-та, Вып. 40).

693 (М)

Евлахов А.

Печорин. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лер-

монтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.258 — 267. [Изд. 5-е, допол.].

694

Елкин В. Г.

Опыты логико-диалектического анализа художественного произведения. Спецкурс. Ч.1. Владимир. 1976. 108 стр. (Владимир. пед. ин-т им. П.И. Лебедева-Полянского).

[С.81—107: «Герой нашего времени»].

695

Ермакова М. Я.

«Вадим» Лермонтова и некоторые вопросы русского исторического романа 30-х годов XIX века. —В кн.: Учен. зап. Горьковского гос. пед. ин-та им. А.М. Горького, т.23, Серия филол. историко-филологического факультета, 1958, с.236 — 260.

696

Зотов В.

«Княжна Мери» Лермонтова. —«Северное сияние». СПб., 1863, т.2. столб.21 — 34.

697

Иезуитова Р. В.

«Княжна Мери» и жанр светской повести. —В кн.: Русская повесть XIX века. История и проблематика жанра. Под ред. Б.С. Мейлаха. Л., «Наука», 1973, Гл. «Светская повесть». с.196 — 197.

698

Измайлов Н. В.

«Штосс». —В кн.: Русская повесть XIX века. История и проблематика жанра. Под ред. Б.С. Мейлаха. Л., «Наука», 1973, Гл. «Фантастическая повесть». с.163 – 164.

699

Каплан И. Е.

«Тамань» Лермонтова.

— «Русский язык в национальной школе», 1974, № 4, с.45—50.

700 (M)

Касторский С. В.

«Герой нашего времени». —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Сб. статей под ред. Н.А. Глаголева. М., Учпедгиз, 1941, с.109 – 132.

701

Кац-Нельсон Б. Я.

Композиция образа Печорина в романе М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». —В кн.: Вторая межвузовская студ. науч. филол. конференция. Краткое содержание докладов. Л., 1969, с.105 – 107. (Ленингр. пед. ин-т им. А.И. Герцена).

702

Кедров К. А.

Эпическое начало в русском романе первой половины XIX века. («Евгений Онегин» А.С. Пушкина, «Герой нашего вре-

мени» М.Ю. Лермонтова, «Мертвые души» Н.В. Гоголя). Автореферат диссертации на соиск. учен. степени канд. филолог. наук. М., Изд-во МГУ, 1973.

703

Копытцева Н. М.

«Герой нашего времени» М.Ю. Лермонтова. Поэтика психологического романа. Автореферат дис. на соиск. учен. степени канд. филол. наук. Л., 1977. 25 стр. (Ленингр. пед. ин-т им. А.И. Герцена).

704

Копытцева Н. М.

«Герой нашего времени». Поэтика жанра. —В кн.: Вопросы поэтики литературных жанров. Вып. I. Л., 1976, с.13 – 45. (Ленингр. пед. ин-т им. Герцена).

705

Копытцева Н. М.

Жанровое своеобразие романа М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». —В кн.: XXVIII Герценовские чтения. Литературоведение. Науч. доклады. Л., 1976, с.11 – 16. (Ленингр. пед. ин-т им. Герцена).

706 (C)

Копытцева Н. М.

«Тамань» в структуре «Героя нашего времени», —В кн.: Вопросы поэтики литературных жанров. Сб. науч. трудов. Вып. 2,

Л., 1977, с.22 – 39. (Ленингр. пед. ин-т им. Герцена).

707 (М)

Коровин В. И.

Роман «Герой нашего времени». —В кн.: В.И. Коровин. Творческий путь М.Ю. Лермонтова. М., «Просвещение», 1973, с.217 – 285.

708

Крекотень П.

«Вадим» М.Ю. Лермонтова.
— «На рубеже». Хабаровск, 1939, № 4, октябрь-декабрь, с.199 – 208.

709

Кривошапова С. А.

Демократический герой в прозе М.Ю. Лермонтова и Н.А. Некрасова. —В кн.: Вопросы русской литературы. Львов, 1976, вып. I, с.33 – 41.

[На материале «Княгини Лиговской». Творчество Лермонтова и истоки натуральной школы].

710

Левидов А. М.

Автор – образ – читатель. Л., 1977. 360 стр. (Ленингр. гос. ун-т им. А.А. Жданова).

[С.79–80, 136, 139–140, 153, 246: Некоторые проблемы поэтики «Героя нашего времени». Соотношение образа Печорина с личностью Лермонтова. Образ Максима Максимыча; с.97–98:

язык стих. «После Бородина» и «Бородино»].

711 (М)

Левин В.

Об истинном смысле монолога Печорина. —В кн.: Творчества М.Ю. Лермонтова. 150 лет со дня рождения, 1814–1964, М., 1964, с.276 – 282. (АН СССР. Ин-т мировой литературы).

712 (К)

Левин В. И.

Проблема героя и позиция автора в романе «Герой нашего времени». —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.104 – 126.

713

Левин В. И.

«Фаталист». Эпилог или приложение? —В кн.: Искусство слова. Сб. статей. К 80-летию чл.-кор. АН СССР Д.Д. Благого. М., «Наука», 1973, с.161 – 170.

714

Леонова Н.

Скрытый симфонизм прозы.
— «Вопросы литературы», 1969, № 3, с.168 – 175.

[Анализ «Тамани»].

715

Локс К.

Проза Лермонтова.
— «Литературная учеба», М., 1938, № 8, с.3 – 5.
[О Толстом].

716

Мануйлов В. А.

Вечно живая книга. —В кн.: Лермонтов М.Ю. Герой нашего времени. Пятигорск, 1945, с.150–163. [Послесловие].

717 (К)

Мануйлов В. А.

Жанр, построение, стиль романа. —В кн.: В.А. Мануйлов, Роман М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». Комментарий. Пособие для учителя. Изд. 2–е, доп. Л., «Просвещение», 1975. с.38 – 58.

718 (М)

Мануйлов В. А.

Можно ли назвать Печорина сознательным поборником зла? (Полемические заметки). —В кн.: Проблемы теории и истории литературы. Сб. статей, посвящ. памяти проф. А.Н. Соколова. М., Изд-во Моск. ун-та, 1971, с.219–225.

719 (К)

Мануйлов В. А.

Образ Печорина, его оценка и судьба в истории русской литературы. —В кн.: В.А. Мануйлов. Роман М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». Комментарий. Пособие для учителя. Изд. 2–е, доп. Л., «Просвещение», 1975, с.28 – 38.

720 (К)

Мануйлов В. А.

Первые отклики из двух станов. —В кн.: В.А. Мануйлов. Роман М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». Комментарий. Пособие для учителя. Изд. 2–е, доп. Л., «Просвещение», 1975, с.7 – 11.

721

Маркович В. М.

Два типа классического русского романа в первой половине XIX века. Автореф. дисс. на соиск. учен. степени канд. филол. наук. Л., 1965, 20 стр. (М-во высшего и сред. спец. образования СССР. Ленингр. гос. ун-т им. А.А. Жданова).

[С.10–11: «Герой нашего времени»].

722

Маркович В. М.

Проблема личности в романе Лермонтова «Герой нашего времени». —В кн.: Известия Акад. наук Каз. ССР. Серия обществ. наук. 1963, вып. 5, с.63 – 75.

[Резюме на казах. яз.].

723

Мезенцев П. А.

История русской литературы XIX века. (Первая половина). М., «Высшая школа», 1963, 354 стр.

[С.246–266: Творчество М.Ю. Лермонтова. 1814–1841].

724

Месерич И.

Жанрово-историческая сущность «Героя нашего времени» и романная традиция XVIII—XIX веков. —В кн.: *Studia slavica*, Budapest, 1973, t.19, fasc 1—3, с.207—215.

725 (С)

Митрохина В. И.

«Грушницкого страсть была декламировать».

— «Русская речь», 1974, № 5, с.28 — 31.

[Характеристика Грушницкого].

726

Митрохина В. И.

К анализу сатирического образа Грушницкого. —В кн.: *Ученые записки (Моск. пед. ин-т им. В.И. Ленина)*, № 265, 1967, с.359 — 369.

727 (М)

Михайлова Е.

Гл. 3-я. «Вадим». —В кн.: Е. Михайлова. *Проза Лермонтова*. М., Гослитиздат, 1957, с.91 — 128.

728 (М)

Михайлова Е.

Гл. 4-я. «Княгиня Лиговская». —В кн.: Е Михайлова. *Проза Лермонтова*. М., Гослитиздат, 1957, с.129 — 202.

729 (М)

Михайлова Е.

Гл. 5-я. «Герой нашего времени». —В кн.: Е. Михайлова. *Проза Лермонтова*. М., Гослитиздат, 1957, с.203 — 381.

730

Михайлова Е. Н.

Роман Лермонтова «Княгиня Лиговская». —В кн.: *Ученые записки Ин-та мировой литературы им. А.М. Горького*. Т.1, М., 1952, с.260 — 324.

731

Михайлова Е.

Тамань.

— «Литературная учеба», М., 1941, № 7—8, июль-август, М.Ю. Лермонтов. (1841—1941), с.3—24.

732

Мышковская Л.

Герой нашего времени.

— «Литературная учеба», М., 1941, № 7—8, июль-август, М.Ю. Лермонтов, (1841—1941), с.25 — 39.

733

Найдич Э. Э.

«Герой нашего времени» в русской критике. —В кн.: Лермонтов М.Ю. *Герой нашего времени*. Изд. подгот. Б.М. Эйхенбаум и Э.Э. Найдич. М., 1962, с.163 — 197.

734

Нейман Б. В.

Женские образы в романе Лермонтова «Герой нашего времени».

— «Литература в школе».
1961, № 1, с.65 — 70.

735 (С)

Нейман Б. В.

Фантастическая повесть Лермонтова («Штосс»), Научн. доклады высш. школы, филологические науки, 1967. № 2, с.14 — 24.

[«Штосс» — антиромантическая повесть. «Штосс» и «Тамбовская казначейша». Связь «Штосса» с прозой Гоголя. Poleмика с В.Ф. Одоевским].

736

Никитин Н. И.

Образ Печорина в композиции «Героя нашего времени».

— «Литература в школе»,
1941, № 4, с.48 — 63.

737

Нуссбаум И.

Лишние люди и женские типы в произведениях Грибоедова, Пушкина, Гоголя, Лермонтова. Тургенева, Гончарова, Островского. Изд. 2—е, знач. доп. Киев, 1916. 76 стр.

Избранные страницы русской литературной критики. Вып. I.

[Гл. 1., 2, Чацкий — Онегин — Печорин. (Характеристики и параллели) с.9 — 18].

738

Одинокое В. Г.

Проблемы поэтики и типологии русского романа XIX в. Новосибирск, «Наука», 1971, 192 стр. Акад. наук СССР. Сиб. отд-ние. Новосибирский гос. ун-т.

[С.61—71: Роман Лермонтова].

739

Одинокое В. Г.

Русский роман XIX века. Проблемы поэтики и типологии. Учебное пособие по спецкурсу для студентов НГУ. Новосибирск, 1967, 82 стр. (М-во высш. и сред. спец. образования. Новосибирский гос. ун-т).

[С.37—50: «Герой нашего времени». Проблематика романа. Характеристика Печорина].

740

Одинокое В. Г.

Художественная системность русского классического романа. Проблемы и суждения. Новосибирск, «Наука», 1976. 196 стр. (Новосиб. ун-т).

[С.31—33, 42: «Герой нашего времени»].

741

Орлов В. Н.

Радищев и русская литература. Изд. 2—е, доп. Л., «Сов. писатель», 1952, 246 стр.

[С.196–200: радищевская тема в романе Лермонтова «Вадим»].

742

Осмоловский О. Н.

О Жанрово-композиционных особенностях романа Лермонтова и Достоевского. — В кн.: Проблемы литературных жанров. Материалы второй науч. межвузовской конференции. 30 сент. — 4 окт. 1975 г. Томск, 1975, с.76 — 78. (Томский ун-т им. Куйбышева).

743 (К)

Осьмаков Н. В.

«Герой нашего времени» Лермонтова в историко-функциональном аспекте. — В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.74 — 103.

744

Петров С. М.

Русский исторический роман XIX века. М., «Худож. литература», 1964, 439 стр.

[С.158–179: «Вадим»].

745

Подвицкий Н. Б.

Портрет в романе М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». — В кн.: Вопросы теории литературы. т. XXI, вып. 2, ч. I, Ульяновск, 1968, с.49 — 60.

746

Пришвин М. М.

Из дневников последних лет. — В кн.: Пришвин М.М. Собр. соч. т.6. М., 1957, с.333 — 798.

[С.328: отзыв о «Гамани»].

747

Пруцков Н. И.

Вопросы литературно-критического анализа. М.-Л., Изд-во Акад. наук СССР. 1960. 202 стр.

[С.129–133: анализ сюжета и композиции «Княгини Лиговской»].

748 (М)

Пыпин А. Н.

«Герой нашего времени». — В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб., Книгоизд. Товарищество «ОРОС», вып. 7, б.г., с.97 — 100.

749

Свечникова Г. Н.

Композиция как одно из средств психологического анализа в романе М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». — В кн.: Красноярский гос. пед. ин-т. Доклады научной конференции. (Серия историко-филологическая). Красноярск, Кн. изд-во, 1966, с.80 — 106.

750

Слащев Е. Е.

О динамике ранней прозы М.Ю.

Лермонтова. (Тезисы). —В кн.: Киргизский гос. университет. VIII научная конференция. Секция русской филологии. (Тезисы докладов). Фрунзе, 1959, с.44 — 45.

[Устанавливается дата создания романа «Вадим» — 1834 год.].

751

Слащев Е. Е.

О композиции и системе повествования «Бэлы» и «Максима Максими́ча» Лермонтова. —В кн.: Тезисы докладов на X научной конференции профессорско-преподавательского состава Кирг. ун-та. Секция филол. наук. Фрунзе, 1961, с.32 — 33. (Кирг. ун-т).

752 (С)

Слащев Е.

О поздней прозе М.Ю. Лермонтова. — Ученые записки филологического факультета Киргизского ун-та, 1958, вып. 5, с.133 — 141.

[О незаконченной повести «Штосс»].

753

Слащев Е.

Портрет и пейзаж в романе Лермонтова «Княгиня Лиговская». —В кн.: Ученые записки филол. наук. (Киргиз. ун-т). вып. 10, Славян. сборник, 2, 1964, с.99 — 107.

754 (С)

Соколов А. Н.

VI. Проза. —В кн.: А.Н. Соколов. Михаил Юрьевич Лермонтов. Изд. 2-е, испр. М., Изд-во Моск. ун-та, 1957, с.66 — 87.

[1. Роман о крестьянском восстании, 2. Неоконченный роман из современной жизни, 3. Психологический роман].

755

Соллертинский Е. Е.

О некоторых формах повествования в «Герое нашего времени». (На материале «Княжны Мери») —В кн.: Проблемы русской и зарубежной литературы. вып. 4, Метод. Силь. Мастерство. Материалы межвузовской конференции. (май 1967 года). Ярославль, 1970, с.123 — 132.

756 (М)

Соллертинский Е.

Пейзаж в прозе Лермонтова. —В кн.: Творчество М.Ю. Лермонтова. 150 лет со дня рождения. М., «Наука», 1964, с.236—275. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

757

Соллертинский Е. Е.

Русский реалистический роман первой половины XIX века. Проблемы жанра. Вологда, 1973, 176 стр. (Вологодский гос. пед. ин-т).

[С.61—111: Роман-портрет М.Ю. Лермонтова («Герой нашего времени»)].

758**Соллертинский Е. Е.**

Формы повествования в романе Лермонтова «Герой нашего времени». — В кн.: Уроки жанра. Волгда, 1969, с.31 — 62. (Ленингр. гос. пед. ин-т им. А.И. Герцена. Учен. записки, т.367).

[Диалог и монолог в романе].

759**Спивак Р. С.**

К вопросу о становлении метода анализа «диалектики души» в творчестве предшественников Л. Толстого. — В кн.: Ученые записки (Пермский ун-т), т.107, 1963, с.2 — 43.

[С.6—15: изображение личности в «Герое нашего времени»].

760**Тамахин В. М.**

Подтекст в романе Лермонтова «Герой нашего времени». — В кн.: Русская литература и Кавказ. Ставрополь, 1974, с.26 — 41, (Ставропольский гос. пед. ин-т).

761 (М)**Тамахин В. М.**

Эстетическая функция пейзажа в романе М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Материалы и сообщ. VI Всесоюз. лермонт. конф. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1965, с.45 — 51. (Ставр. пед. ин-т).

762**Тамарченко Д. Е.**

Из истории русского классического романа. Пушкин, Лермонтов, Гоголь. М.-Л., Изд. Акад. наук, 1961, 167 стр.

[С.59—103: свободный роман М.Ю. Лермонтова].

763**Титов А. А.**

Лермонтов и «Герой начала века».

— «Русская литература», 1964, № 3, с.13 — 31.

764**Титов А. А.**

Художественная природа образа Печорина. — В кн.: Проблемы реализма русской литературы XIX века. М.-Л., Изд-во Акад. наук СССР. 1961, с.76 — 101.

765 (С)**Тойбин И. М.**

К проблематике новеллы Лермонтова. «Фаталист». — В кн.: Ученые записки. Курский пед. ин-т, вып. 32, 1967, с.46 — 91.

766 (М)**Удодов Б. Т.**

«Герой нашего времени» как явление историко-литературного процесса (характер, метод, стиль, жанр). — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы. Воронеж, Изд-во Воронеж. ун-та, 1964, с.3 — 109.

767 (M)**Удодов Б. Т.**

Гл. 4-я. Образно-смысловая структура романа «Герой нашего времени». — В кн.: Б.Т. Удодов. М.Ю. Лермонтов. Художественная индивидуальность и творческие процессы. Часть III. Искусство синтеза. (Проза Лермонтова конца 30-х — начала 40-х годов). Воронеж. Изд-во Воронеж. ун-та, 1973, с.544 — 608.

768**Удодов Б. Т.**

Гл. 5-я. Проблема творческой эволюции (о поздней прозе Лермонтова). — В кн.: Б.Т. Удодов. М.Ю. Лермонтов. Художественная индивидуальность и творческие процессы. Часть III. Искусство синтеза. (Проза Лермонтова конца 30-х — начала 40-х годов). Воронеж. Изд-во Воронеж. ун-та, 1973, с.609 — 653.

769**Удодов Б. Т.**

Идейно-художественная структура романа «Герой нашего времени», — В кн.: Вопросы поэтики литературы и фольклора. Воронеж, 1977, с.46 — 62.

770**Уразаева Т. Т.**

К проблеме жанрового своеобразия поздней прозы М.Ю. Лермонтова. («Штоссе»). — В кн.: Проблемы литературных жанров. Материалы второй науч. межву-

зов. конференции. 30 сент. — 4 окт. 1975 года. Томск, 1975, с.60 — 62. (Томский ун-т им. Куйбышева).

[Новеллистич. начало в «Штоссе»].

771**Уразаева Т. Т.**

О новеллистической природе художественной прозы М.Ю. Лермонтова. — В кн.: Проблемы метода и жанра. Вып. 5, Томск, Изд-во Томск. ун-та, 1977, с.25—36.

772**Уразаева Т. Т.**

«Штоссе» и тип новеллистического повествования в зрелой прозе Лермонтова. Автореф. дис. на соиск. учен. степени канд. филол. наук, Томск, 1978. 18 стр. (Томский ун-т).

773**Усок И. Е.**

О романе «Герой нашего времени».

— «Литература в школе», 1974, № 5, с.2 — 13.

774**Фохт У. Р.**

История души человеческой: Роман «Герой нашего времени» М.Ю. Лермонтова. — В кн.: Вершины. Книга о выдающихся произведениях рус. лит. М., «Дет. литература», 1978, с.330 — 347.

775 (C)

Фридлендер Г. М.

Лермонтов и русская повествовательная проза.

— «Русская литература», 1965, № 1, с.33 — 49.

776 (C)

Фридлендер Г. М.

Поэтика русского реализма. Очерки о русской литературе XIX века. Л., «Наука», 1971.

[С.185—192: особенности композиции «Героя нашего времени». с.230 — 231: эволюция лирики Лермонтова].

777

Ходанен Л. А.

Время в романе М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». («Журнал Печорина»). —В кн.: Вопросы художественного метода, жанра и характера в русской литературе XVIII—XIX в.в. Сб. трудов М., 1975, с.82—94. (Моск. пед. ин-т им. Ленина).

778

Черный К.

Лермонтов и его роман. —В кн.: Лермонтов М.Ю. «Герой нашего времени», Ставрополь, 1947, с.3 — 22.

779

Шагалов В. Ш.

К вопросу о проблематике романа М.Ю. Лермонтова «Вадим». —В кн.: Вопросы русской ли-

тературы. М., 1969, с.312 — 329.

(Моск. гос. пед. ин-т им. В.И. Ленина. Ученые записки. № 315).

780

Шевченко Г. Г.

О своеобразии метода психологического анализа в романе М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». —В кн.: Ученые записки Харьковского ун-та. т.141, Труды филологического фак-та. вып. 10, Харьков, 1962.

781

Шевырев С.

Герой нашего времени. Соч. М. Лермонтова. 2 части. СПб., 1840. —В кн.: Зелинский В. Русская критическая литература о произведениях М.Ю. Лермонтова, Часть 1, изд. 3-е, М., 1913, с.152—173.

[Из ж. «Москвитянин», 1841, Часть 1, № 2].

782 (C)

Шкловский В.

Заметки о прозе русских классиков. О произведениях Пушкина, Гоголя, Лермонтова, Тургенева, Толстого, Чехова, М., «Сов. писатель», 1953.

[С.149—169: «М.Ю.Лермонтов»].

783

Шкловский В.

Конвенция времени.

— «Вопросы литературы», 1969, № 3, с.115 — 127.

[С.121—123: особенности композиции «Героя нашего времени»].

784 (M)**Шувалов С. В.**

IV. Художественная проза,
—В кн.: С.В. Шувалов. М.Ю. Лермонтов. Жизнь и творчество. М.-Л., Госиздат, 1925, с.125—141.

[1. «Вадим»; 2. «Княгиня Лиговская»; 3. «Герой нашего времени»].

785**Щеблыкин И. П.**

Об историческом колорите в романе М.Ю. Лермонтова «Вадим». —В кн.: А.Н. Радищев, В.Г. Белинский. М.Ю. Лермонтов. Жанр и стиль художественного произведения. Рязань, 1974, с.101 — 110. (Рязанский пед. ин-т).

786**Эдельштейн Б. Я.**

Посмертная история Печорина. (О восприятии и влиянии Лермонтовского героя). —В кн.: Труды Горького гос. пед. ин-та им. Бараташвили, т. 10, Тбилиси, 1965, с.269 — 273.

787 (C)**Эйхенбаум Б. М.**

«Герой нашего времени». —В кн.: Б.М. Эйхенбаум. Статьи о Лермонтове. М.-Л., Изд-во АН СССР, 1961, с.221 — 285. (АН СССР. Ин-т рус. лит.).

788**Эйхенбаум Б. М.**

Роман М.Ю. Лермонтова «Герой

нашего времени». —В кн.: Лермонтов М.Ю. Герой нашего времени. Изд. подгот. Б.М. Эйхенбаум и Э.Э. Найдич. М., 1962, с.125 — 162.

А- II - ③

789 (K)**Андроников И. Л.**

Гоголь и его современники. —В кн.: И.Л. Андроников. Избранные произведения. В 2-х томах. Т.2. М., «Худож, лит.», 1975, с.244 — 259.

790 (M)**Белкина М. А.**

«Светская повесть» 30-х годов и «Княгиня Лиговская» Лермонтова. —В кн.: Жизнь и творчество М.Ю. Лермонтова. Сб. 1-й. Исследования и материалы. М., Гос. Изд-во худож. лит-ры, 1941, с.516 — 551. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

791**Биржишко А. И.**

Кавказские встречи Л.Н. Толстого с Лермонтовым: — Творчество М.Ю. Лермонтова в системе эстетических воззрений и оценок Л.Н. Толстого в 80 - 900-х гг. —В кн.: Учен. зап. Моск. обл. пед. ин-та им. Н.К. Крупской. т.152, вып. 9, 10, 1962, с.231 — 262, 263 — 290.

792

Валогин А. П.

Читал ли Достоевский «Княгиню Лиговскую»? — В кн.: Достоевский. Материалы и исследования. т.3. Л., «Наука», 1978, с.205 — 208. (АН СССР. Ин-т рус. лит. Пушкинский Дом).

793 (М)

Вацуро В.

Лермонтов и Марлинский. — В кн.: Творчество М.Ю. Лермонтова. 150 лет со дня рождения. М., «Наука», 1964, с.341—363. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

794 (К)

Глухов В. И.

Традиции Лермонтова в романе Гончарова «Обыкновенная история». — В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.148 — 171.

795 (К) (М)

Григорьян К. Н.

Психологизм. Печорин и Гамлет (К типологии образа). — В кн.: К.Н. Григорьян. Лермонтов и его роман «Герой нашего времени». Л., «Наука», 1975, с.295 — 339. (АН СССР. Ин-т рус. лит. Пушкинский Дом).

796 (М)

Гургулова М. [Болгария]

Гаршин и Лермонтов. — В кн.: Проблемы теории и истории ли-

тературы. Сб. статей, посвящ. памяти проф. А.Н. Соколова. М., Изд-во Моск. ун-та, 1971, с.270—280.

797

Дьяконова Н. Я.

Из наблюдений над журналом Печорина.

— «Русская литература», 1969, № 4, с.115 — 125.

[Сопоставление «Героя нашего времени» с прозой Байрона].

798 (С)

Журавлева А. И.

Лермонтов и Достоевский. — В кн.: Известия Акад. наук СССР. Серия Лит. и яз., т. 23, 1964, вып. 5, с.386 — 392.

[«Герой нашего времени» и «Преступление и наказание»].

799

Захаркин А. Ф.

Лермонтов и Чехов. — В кн.: Очерки по истории русской литературы. Ч. I, М., 1967, с.78—91 (Учен. зап. Моск. гос. пед. ин-та им. В.И. Ленина, № 256).

[Обращение Чехова к творчеству Лермонтова. Чехов о Лермонтове. Сопоставления: «Княжна Мери» и «Верочка», «Гамань» и «Воры», «Дуэль» и «Княжна Мери», «Странный человек» и «Иванов»].

800

Ильина Т. Т.

О методе поздней прозы М.Ю. Лермонтова («Штосс»). — В кн.: Сборник науч. студенческих работ Томского ун-та. Томск, 1973, с.99 — 100.

[Реалистические и романтические черты в поэтике повести. Сюжетная аналогия с романом Ф.М. Достоевского «Идиот»].

801

История Русского романа.

В 2-х томах. Т. 2. М.-Л., Изд-во «Наука», 1964. 644 стр. Акад. наук СССР. (Ин-т рус. лит. Пушкинский дом).

[С.123: Сопоставление романа А.Ф. Писемского «Боярщина» с «Героем нашего времени»; с.205: Лермонтов и Достоевский; с.271 — 274, 278, 280, 299, 314, 322: Лермонтов и Л. Толстой].

802

Кийко Е. И.

В.А. Соллогуб. — В кн.: Соллогуб В.А. Повести и рассказы. М.-Л., 1962, с.3 — 14.

[С.7—9: Повесть «Большой свет». Опровержение мнения, что повесть является пасквилем на Лермонтова. Влияние «Героя нашего времени» на Соллогуба].

803

Кирпотин В. Я.

Ф.М. Достоевский. Творческий путь. (1821—1859). М., Гослитиздат, 1960, 108 стр.

здат, 1960, 108 стр.

[С.90—105: Лермонтов и Достоевский].

804

Кирпотин В.

Молодой Достоевский, М., Гослитиздат, 1947, 376 стр.

[С.27—29, 69—72, 76—83, 299—309: влияние Лермонтова на Достоевского].

805

Левин В. И.

Достоевский, «подпольный парадоксалист» и Лермонтов. — В кн.: Известия АН СССР. Серия лит. и яз., 1972, т.31, вып. 2, с.142 — 156.

[«Записки из подполья» и «Герой нашего времени»].

806

Леушева С. И.

Лермонтовские традиции в раннем творчестве Толстого. — В кн.: Яснополянский сборник. (Год 1965). Тула, 1965, с.59—79.

807

Любович Н. А.

Печорин и Павел Корчагин. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Сб. статей под ред. Н.А. Глаголева. М., 1941, с.188 — 202.

808 (К)

Мануйлов В. А.

Предшественники и современники Печорина в русской и

мировой литературе. —В кн.: В.А. Мануйлов. Роман М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». Комментарий. Пособие для учителя. Изд. 2-е, доп. Л., «Просвещение», 1975, с.11 — 16.

809 (М)

Назарова Л. Н.

О лермонтовских традициях в прозе И.С. Тургенева. —В кн.: Проблемы теории и истории литературы. Сб. статей, посвящ. памяти проф. А.Н. Соколова. М., Изд-во Моск. ун-та, 1971, с.261—269.

810

Некрасов Н. А.

Письмо к М.В. Авдееву. 11-го января 1850 г. С.-Петербург — «Русская старина», СПб., 1902, т. III, август, Русская журналистика в 1849—1874 г.г., с.268—269.

[Сравнение романа Авдеева «Записки Тамарина» с «Героем нашего времени»].

811 (М)

Николаев М. П.

М.Ю. Лермонтов и Н.Г. Чернышевский. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Материалы и сообщ. VI Всесоюз. лермонт. конф. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1965, с.160 — 173. (Ставр. пед. ин-т).

812 (М)

Новикова Т. И.

М.Ю. Лермонтов и А.П. Чехов. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Материалы и сообщ. VI Всесоюз. лермонт. конф. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1965, с.174 — 189. (Ставр. пед. ин-т).

813 (М)

Овсяннико-Куликовский Д. Н.

Печорин, как ближайший преемник Онегина в отношении хронологическом и общественно-психологическом. — Печорин и люди 30-х годов. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб., Книгоизд. Товарищество «ОРОС», вып. 7, б.г., с.171 — 196.

814

Парсиева В.А., Лисенкова Н.А.

Тургенев и Лермонтов. (К проблеме творческой преемственности). —В кн.: Вопросы стиля и метода в русской и зарубежной литературе. Пенза, 1969, с.37—56. (Рязанский гос. пед. ин-т. — Пензенский пед. ин-т им. Белинского. Ученые записки, т.81, Серия филол).

[Лермонтовские традиции в «Дневнике лишнего человека»].

815

Пивиньская Марта

Проблемы романтического героя. —В кн.: Польский романтизм и восточнославянские литературы. М., «Наука», 1973,

с.138 – 161.

[Печорин в ряду романтических героев западноевропейской литературы].

816

Поляк Л. М.

Принципы изображения человека в романах Льва Толстого. — В кн.: Ученые записки МГУ, вып. 110, Труды кафедры рус. литературы. Кн. I. М., 1946, с.73 – 110.

[С.78–79: связь художественных принципов прозы Л. Толстого с прозой Лермонтова].

817

Пшибыльский Р.

Проза Лермонтова и раннее творчество Достоевского.

— «Slavia orientalis», 1958, № 2.

818

Родзевич С. И.

Предшественники Печорина во французской литературе. Киев, тип. Т.Г. Мейландера, 1913, 48 стр.

[Библиогр. в примеч. «Рене» Шатобриана, «Адольф» Бенж. Констана, «Исповедь сына века» А. де Мюссе, «Оберман» Сенанкура].

819

Романов С. Г.

Список работ Д.П. Якубовича. Составили С.Г. Романов и Н.Г. Якубович. — В кн.: Пушкин.

Временник пушкинской комиссии. вып. 6, М.-Л., 1941, с.14 – 18.

[О Лермонтове: с.16, 1935 г. — Лермонтов и Вальтер Скотт. «Известия Акад. наук СССР», № 3, с.243 – 247.

С.18: напечатанные работы Д.П. Якубовича. — Лермонтов и Вальтер Скотт. («Лермонтовский сборник ин-та мировой литературы»)].

820

Русская повесть XIX века.

История и проблематика жанра. Под ред. Б.С. Мейлаха. Л., «Наука», 1973, 566 стр.

[С.270–271: «Последний визит» П.Н. Кудрявцева и «Герой нашего времени»].

821

Сабуров А.

«Война и мир» и русская литература 20-50-х годов XIX века. — В кн.: Лев Николаевич Толстой. Сб. статей о творчестве. Под общ. ред. Н.К. Гудзия. М., Изд. Моск. ун-та, 1959, с.52 – 74.

[С.59–65: Печорин и Андрей Болконский].

822

Семенов Леонид

К вопросу о влиянии Марлинского на Лермонтова.

— «Филологические записки», 1914.

823

Соллертинский Е. Е.

Лермонтов и Гоголь. —В кн.: Вопросы русской и зарубежной литературы. т.2, Куйбышев, 1966, с.24 — 44.

824

Сулейманов А. А.

«Герой нашего времени» М.Ю. Лермонтова и немецкие «романы об эпохе» 30-х г.г. XIX века. —В кн.: А.Н. Радищев, В.Г. Белинский. М.Ю. Лермонтов. Жанр и стиль художественного произведения. Рязань, 1974, с.179—198. (Рязанский пед. ин-т).

825

Тамахин В. М.

Мотивы «Героя нашего времени» в творчестве Тургенева и Чехова. —В кн.: К проблемам теории и истории литературы. Ставрополь, 1966, с.96 — 111.

826 (Т)

Томашевский Б.

Проза Лермонтова и западно-европейская литературная традиция. —В кн.: Литературное наследство, № 43—44, М., 1941, с.469 — 516.

827

Тимарцева Г. Н.

Традиции психологической прозы Лермонтова в романе Герцена «Кто виноват?» —В кн.: Саратовский ин-т им. Н.Г. Черны-

шевского. Сб. научных работ студентов. Саратов, 1968, с.82 — 86.

[«Герой нашего времени» и «Кто виноват?»].

828

Тынянов Юрий

В.К. Кюхельбекер. —В кн.: Кюхельбекер В.К. — Лирика и поэмы. Т. I, Л., «Сов. писатель» (Библиотека поэта). 1939, Т. I, с. V—LXXX.

[С. LXI: Влияние «Ижорского» Кюхельбекера на «Маскарад» Лермонтова; с. LXII—LXIII: Кюхельбекер о Лермонтове].

829

Удодов Б. Т.

О двух героях века (Шивабрин и Печорин), —В кн.: Научная сессия вузов Центрально-Черноземной зоны, 2-е, Воронеж, 1967, Сб. материалов, Литературоведение, Воронеж, 1967, с.3 — 13.

830 (С)

Фридлиндер Г. М.

Лермонтов и русская повествовательная проза.

— «Рус. литература», 1965, № 1, с.33 — 49.

831

Чамокова Е. А.

А. Бестужев-Марлинский и М.Ю. Лермонтов. —В кн.: Научные труды. (Краснодарский пед. ин-т). Вып. 91, 1967, с.274 — 294.

832

Шаталов С.Е. и Петрушков В.С.

Чехов и Лермонтов (о ненаписанном романе Чехова). — В кн.: Ученые записки Таджикского гос. университета им. В.И. Ленина. т.19, Серия филол. наук, вып. 3, с.61 — 89.

[Влияние Лермонтова на повесть Чехова «Дуэль»].

833

Шевченко Г. Г.

На путях становления русского социально-психологического романа. Проблема «героя века» в литературе 30-х годов XIX столетия. Автореф. дисс. на соиск. учен. степени канд. филол. наук. Харьков, 1965. 23 стр.

(М-во высш. и сред. спец. образования УССР. Харьков. гос. ун-т им. А.М. Горького).

[«Герой нашего времени» и литература 30-х годов XIX века].

834

Эйхенбаум Б. М.

Очередные проблемы изучения Л. Толстого. — В кн.: Сборник. Ленинградский гос. ун-т. Труды юбилейной научной сессии. Л., 1946, с.279 — 293.

[С.292—293: Лермонтов и Толстой].

835

Эйхенбаум Б. М.

Я.П. Полонский. — В кн.: Полонский Я.П. Стихотворения. Л.,

«Сов. писатель», 1954, с.5 — 39.

[С.22—23: «Финский берег» Полонского — ироническая парафраза «Гамани» Лермонтова].

836

Эльсберг Яков Ефимович

Основные этапы развития русского реализма. М., Гослитиздат, 1961. 176 стр.

[С.106—122: Лермонтов и Гоголь. «Герой нашего времени»].

837

Якубович Д. П.

Лермонтов и Вальтер Скотт. — В кн.: Известия Акад. наук СССР. 1935, № 3, Отд. общественных наук, с.243 — 272.

А-III-(3)

838 (Т)

Абрамович Д. И.

Примечания [к прозаическим произведениям]. — В кн.: Полное собр. соч. М.Ю. Лермонтова. Под ред. и с примеч. Д.И. Абрамовича. Т.IV. СПб., Изд. Разряда изящной словесности Имп. Акад. Наук, 1911, с.361 — 409.

839 (К)

Азадовский М. К.

Комментарий к «Ашик-Керибу». — В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.448 — 454.

840 (M)**Андроников И. Л.**

Загадочная запись. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.115 — 121.

[В связи с временем написания «Тамани» и «Фаталиста»].

841 (M)**Андроников И. Л.**

Замысел неосуществленной трилогии. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.162 — 164.

[О планах трех романов из трех эпох жизни русского общества, рассказанных Лермонтовым Белинскому].

842 (K)**Андроников И. Л.**

Исторические источники «Вадима». —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов. Исследования и находки. Изд. 4-е. М., «Худож. лит.», 1977, с.100 — 123.

843 (M)**Андроников И. Л.**

«Кавказец». —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.198 — 203.

844 (T)**Андроников И.**

Лермонтов в работе над романом о пугачевском восстании.

—В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с.289 — 300.

845 (M)**Андроников И. Л.**

Оригинал и портрет. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.121 — 129.

[Прототипы романа «Герой нашего времени»].

846 (K)**Андроников И. Л.**

Примечания [к прозе и письмам]. —В кн.: М.Ю. Лермонтова. Собр. соч. в 4-х томах. Под. ред. И.Л. Андроникова и О.Г. Оксмана. Т.1. М., «Худож. лит.», с.447—513.

847**Андроников И. Л.**

«Роман о Грибоедове» (неосуществленный замысел Лермонтова). —В кн.: И.Л. Андроников. Великая эстафета. Воспоминания. Беседы, М., «Дет. лит.», 1975, с.235 — 237.

848 (M)**Андроников И. Л.**

Сказка про Ашик-Кериба. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.134 — 148.

849

Богомолец В. К.

Новое о писарских копиях
«Маскарада» М.Ю. Лермонтова.
—В кн.: Учен. зап. Ленингр. пед.
ин-та им. Герцена. т.107, 1955,
с.343 — 360.

850 (С)

Брезницкая Г. В.

О работе М.Ю. Лермонтова над
текстом романа «Герой нашего
времени». —В кн.: Вопросы
русской литературы. Вып. 2 (20),
Львов, Изд-во Львов. ун-та, 1972,
с.68 — 72.

851

Виноградов Б. С.

Бэла и песня Казбича. Научные
доклады высшей школы.
—«Филологические науки»,
1963, № 2, с.187 — 198.

852 (М)

Виноградов Б. С.

Горцы в романе Лермонтова
«Герой нашего времени». —В
кн.: М.Ю. Лермонтов. Вопросы
жизни и творчества. Под ред.
А.Н. Соколова и Д.А. Гиреева.
Орджоникидзе, Сев.-Осет. кн.
изд-во, 1963, с.54 — 66.

853 (С)

Виноградов Б. С.

Горцы в романе М.Ю. Лер-
монтова «Герой нашего времени».
—В кн.: Известия (Чечено-ингуш-
ский науч. исслед. ин-т истории,

языка и литературы), т.4, вып.3,
Грозный, 1964, с.65 — 85.

854 (М)

Виноградов Б. С.

Кавказ в романе Лермонтова
«Герой нашего времени». —В
кн.: Б.С. Виноградов. Кавказ в
русской литературе 30-х годов
XIX века. (Очерки). Грозный,
Чечено-Ингуш. кн. изд-во, 1966,
с.148 — 181.

[Образ «проезжего офицера»
и кавказская действительность.
О структуре образов горцев в
романе].

855 (М)

Виноградов Б. С.

О «Герое нашего времени».
—В кн.: М.Ю. Лермонтов. Ма-
термалы и сообщ. VI Всесоюз.
лермонт. конф. Ставрополь,
Ставр. кн. изд-во, 1965, с.20 —
34.
(Ставр. пед. ин-т).

856

Виноградов И.

«Герой нашего времени»,
—В кн.: М.Ю. Лермонтов. Герой
нашего времени. [Вступит. статья
И. Виноградова, с.5—23]. М., «Худ.
литература», 1969.

1. Дворянство в России.
2. Кавказ.].

857

Висковатый П. А.

По поводу «Княгини Лиговс-

кой», впервые изданного произведения Лермонтова.

— «Русский вестник», 1882, т.158, № 3, с.333 — 349.

858 (С)

Вырыпаев П.

Один из возможных прототипов «Кавказца».

— «Русская литература», 1964, № 3, с.57 — 59.

859

Гершензон М.

Доктор Вернер. —В кн.: Гершензон М. Образы прошлого. М., 1912, Заметки. с.310 — 320.

860 (К)

Герштейн Э. Г.

Спорные вопросы творческой истории «Героя нашего времени». —В кн.: Э.Г. Герштейн. «Герой нашего времени» М.Ю. Лермонтова. М., «Худож. лит.», 1976, с.7 — 31.

861

Долинина Н.

Правда вымысла.

— «В мире книг», 1969, № 4, с.39 — 41.

[Реальная основа повести «Тамани». Образ Печорина в «Тамани»].

862

Евзерихина В. А.

К вопросу об истоках и проблематике «Фаталиста» М.Ю. Лер-

монтова. —В кн.: Труды кафедры рус. яз. и лит-ры Новосибирского гос. пед. ин-та. Вып. I. Вопросы творчества и языка русских писателей. Новосибирск, 1960, с.3 — 16.

863 (С)

Евзерихина В. А.

М.Ю. Лермонтов на пути к созданию образа Печорина. —В кн.: Труды IV Научной конференции Новосибирского гос. пед. ин-та, т.1, 1957, с.217 — 248.

864 (С)

Елкин В. Г.

«Под бременем познания и сомнения...». О гносеологических истоках «Героя нашего времени». —В кн.: Вопросы литературы. (К 160-летию со дня рождения М.Ю. Лермонтова). Вып. 10, Владимир, 1975, с.23—49.

865 (С)

Западов А. В.

В глубине строки. О мастерстве читателя. Изд. 2-е, доп., М., «Сов. писатель», 1975, 296 с.

[С.100—138: Как написана «Тамань». (Анализ поэтики повести. Максим Максимыч и герой «Кавказца»)].

866

Коган А. Н.

Об отражении исторической действительности в романе М.Ю.

Лермонтова «Вадим». — В кн.: Ученые записки. (Куйбышевский гос. пед. и учительский ин-т им. В.В. Куйбышева). Вып. 8. Факультет яз. и литературы. Куйбышев, 1947, с.53 – 71.

867

Линник Г. Т.

Материалы к изучению пейзажа в романе М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». — В кн.: Научные записки Полтавского гос. пед. ин-та им. Короленко. Мовознавчо-метод. серия, т.12, вып.2, 1961, с.70 – 77.

868 (М)

Лисенкова Н. А.

Мотивационная сфера романа М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени» (повесть «Княжна Мери»). — В кн.: Творчество М. Ю. Лермонтова. Сб. статей, посвящ. 150-летию со дня рождения М.Ю. Лермонтова. Пенза, 1965, с.170 – 224. (Пенз. пед. ин-т. Каф. рус. лит. Учен. зап. Серия филол. Вып. 14).

869 (К)

Мануйлов В. А.

Коммюниарий к роману «Герой нашего времени». — В кн.: В.А. Мануйлов. Роман М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». Комментарий. Пособие для учителя. Изд. 2-е, доп. Л., «Просвещение», 1975, с.59 – 267.

870 (К)

Мануйлов В. А.

Творческая история романа. Последние прозаические замыслы Лермонтова. — В кн.: В.А. Мануйлов. Роман М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». Комментарий. Пособие для учителя. Изд. 2-е, доп. Л., «Просвещение», 1975, с.16 – 20.

871

Махлевич Я. Л.

Расшифровка некоторых сокращений в «Герое нашего времени», — «Вопросы литературы», 1976, № 4, с.209 – 218.

[Полк назначения Печорина («е ... й» — «егерский»); полк Грушницкого («К полк» — Кабардинский); офицеры с пятигорского бульвара («Д ... офицеры» — офицеры Донского войска)].

872

Нейман Б.

Источники лермонтовского «Вадима».

— «Вопросы литературы», 1966, № 6, с.172 – 175.

[Происхождение, использованное в «Вадиме», легло также в основу романа Куколкина «Два Ивана, два Степаныча, два Костылькова». «Вадим» и «Путешествие из Петербурга в Москву»].

873 (C)**Нейман Б. В.**

Прототип доктора Вернера.
(«Герой нашего времени» Лермонтова).

— «Литература в школе»,
1967, № 1, с.75 — 77.

874**Павлов Д. М.**

Прототипы княжны Мери. (Из очерков «Лермонтов на Кавказских Минеральных Водах»).

Пятигорск, эл.-печ. Г.-Д. Сучиасянца, 1916.

— газ. «Кавказский край»,
1916, № 156 и 157.

875**Пиксанов Н. К.**

Крестьянское восстание в «Вадиме» Лермонтова. — В кн.: Историко-литературный сборник. Под ред. С.П. Бычкова. М., 1947, с.173 — 230.

876**Пиксанов Н. К.**

Крестьянское восстание в «Вадиме» Лермонтова. Саратов, Приволж. кн. изд-во, 1967, 88 стр.

877 (M)**Попов А. В.**

Герой нашего времени. Материалы к изучению романа М.Ю. Лермонтова. — В кн.: Литературно-методический сборник. Ставрополь, Кн. изд-во, 1963, с.30 — 80.

(Ставр. гос. пед. ин-т)

[Содерж.: Из творческой истории романа. «Вопросы датировки», Композиция. — Изображение природы Кавказа, — Кавказцы «Образы Казбича, Максима Максимыча, Вернера, Грушницкого и их прототипы», — образы женщин «Веры, Мери, Бэлы и их прототипы», — Несколько замечаний о Печорине, — Бессмертие].

878**Попов А. В.**

Сказка «Ашик-Кериб» [Лермонтова] и ее источники. — В кн.: Известия Акад. наук СССР. Серия Литературы и языка, т.23, вып. 5, 1964, с.423 — 424.

879 (M)**Попов А. В.**

Сказка «Ашик Кериб» и ее северокавказские источники. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Материалы и сообщ. VI Всесоюз. лермонт. конф. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1965, с.14 — 19. (Ставр. пед. ин-т).

880 (M)**Примечания** [к прозе и письмам]

— В кн.: М.Ю. Лермонтов. Полное собр. соч. «Ред. Б.М. Эйхенбаум». Т.IV. М.-Л., Гослитиздат, тип. «Печат. двор» в Лгр., 1947, с.457 — 514.

[Содерж.: Проза Лермонтова; Произведения 1837—1841 годов; Юношеские произведения; Приложения; Письма].

881 (M)**Примечания** [к прозе]

—В кн.: М.Ю. Лермонтов. Собрание сочинений в 6-ти томах. Т.6. М.-Л., 1957, с.629 – 776. Изд-во Акад. Наук СССР.

882**Прокопенко Л.**

Кременчугский почтмейстер.
— «Радуга» 1965, № 12, с.171–173.

[К вопросу о реальных событиях, послуживших толчком к написанию повести «Штосс»].

883**Семевский В. И.**

Крестьянский вопрос в России в XVIII и первой половине XIX века. Т. II. Крестьянский вопрос в царствование императора Николая, СПб., тип. т-ва «Обществ. полоза». 1888. [4] 626 стр.

[гл. IX (с.255–295) Крестьянский вопрос в литературе: Пушкин, кн. Вяземский, Грибоедов, Лермонтов].

884 (C)**Слащев Е. Е.**

К истории создания романа Лермонтова «Княгиня Лиговская». —В кн.: Ученые записки филол. факультета (Киргизский ун-т), вып. 2, Фрунзе, 1956, с.79–89.

885 (C)**Титов А. А.**

Лермонтов и «Герой начала века».

— «Рус. литература». 1964, № 3, с.13 – 31.

886 (M)**Удодов Б. Т.**

Гл. 2-я. Из творческой истории «Героя нашего времени». —В кн.: Б.Т. Удодов. М.Ю. Лермонтов. Художественная индивидуальность и творческие процессы. Ч. III. Искусство синтеза. (Проза Лермонтова конца 30-х – начала 40-х годов). Воронеж. Изд-во Воронеж. ун-та, 1973, с.482–509.

887 (C)**Удодов Б. Т.**

К творческой истории романа М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». —В кн.: Вопросы литературы и фольклора, Воронеж, Изд-во Воронеж. ун-та, 1972, с.3 – 18.

888**Ханмурзаев Г. Г.**

Дагестан в «Герое нашего времени» М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Сборник статей молодых ученых. Матермалы науч. конференции. Май 1965 г. Махачкале, 1969, с.95 – 96. (Даг. филиал АН СССР).

889 (К)**Эйхенбаум Б. М.**

«Герой нашего времени».

—В кн.: История русского романа в двух томах. Т.1. М.-Л., Изд-во Акад. Наук СССР, 1962, с.277 – 323.

890 (Т)**Эйхенбаум Б. М.**

«Герой нашего времени».

—В кн.: Б. Эйхенбаум. О прозе. Сб. статей. Л., «Худож. лит.», Ленингр. отдние, 1969. с.201–305.

891**Яковлев М. А.**

Восстание Пугачева в романе «Вадим» М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Земля родная. Литературно-худож. альманах, кн. 4, Пенза, 1949, с.243 – 253.

А-IV-③

892**Альбеткова Р. И.**

Реализм и романтизм романа М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени» —В кн.: Традиции и новаторство в русской литературе. М., 1973, с.126 – 142. (Моск. обл. пед. ин-т им. Н.К. Крупской Сб. трудов).

893 (М)**Глухов В.**

«Герой нашего времени» и «Евгений Онегин». (К вопросу о творческом методе) —В кн.:

Творчество М.Ю. Лермонтова.

150 лет со дня рождения. М., «Наука», 1964, с.285 – 310. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

894 (К) (М)**Григорьян К. Н.**

Гл. IV. Жанр. Черты романтического стиля. —В кн.: К.Н. Григорьян. Лермонтов и его роман «Герой нашего времени». Л., «Наука», 1975, с.171 – 230. (АН СССР. Ин-т рус. лит. Пушкинский Дом).

895**Григорьян К.Н., Фридендер Г.М., Кравцов К.И. и др.**

Материалы к V Международному съезду славистов. Вопрос № 3. Каким произведением надо считать роман «Герой нашего времени» Лермонтова – реалистическим или романтическим?

—ответы Г.М. Фридендера, К.И. Кравцова, К.Н. Григорьяна и др. —В кн.: Известия Акад. наук СССР, 1963, № 4, с.319–323.

896**Григорьян К. Н.**

О современных тенденциях в изучении романа Лермонтова «Герой нашего времени». К проблеме романтизма.

— «Русская литература», 1973, № 1, с.57 – 78.

897 (M)**Григорьян К. Н.**

Роман Лермонтова «Герой нашего времени» — вершина русской романтической прозы. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Вопросы жизни и творчества. Под ред. А.Н. Соколова и Д.А. Гиреева. Орджоникидзе, Сев.-Осет. кн. изд-во, 1963, с.36 — 53.

898**Манн Ю.**

Развитие реализма в русской литературе. В 3-х томах. М., «Наука», 1972, Т.1.

[С.273—274: «Кавказец»] автор раздела].

899 (M)**Мануйлов В. А.**

«Герой нашего времени» Лермонтова как реалистический роман. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Вопросы жизни и творчества. Под ред. А.Н. Соколова и Д.А. Гиреева. Орджоникидзе, Сев.-Осет. кн. изд-во, 1963, с.25 — 35.

900 (K)**Мануйлов В. А.**

Спор о творческом методе романа. — В кн.: В.А. Мануйлов. Роман М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». Комментарий. Пособие для учителя. Изд. 2-е, доп. Л., «Просвещение», 1975, с.20 — 28.

901**Маркович В. М.**

«Герой нашего времени» и становление реализма в русском романе.

— «Русская литература», 1967, № 4, с.46 — 66.

902**Тураев С., Усок И.**

Развитие реализма в русской литературе. В 3-х томах. М., «Наука», 1972, Т.1.

[С.36, 146—147, 150—163: черты романтизма и реализма в «Герое нашего времени». [авторы раздела].

903 (M)**Удодов Б. Т.**

Гл. 1-я. К спорам о художественной природе «Героя нашего времени». — В кн.: Б.Т. Удодов. М.Ю. Лермонтов. Художественная индивидуальность и творческие процессы. Часть III. Искусство синтеза. (Проза Лермонтова конца 30-х — начала 40-х годов). Воронеж, Изд-во Воронеж. ун-та, 1973, с.451 — 481.

904**Уманская М.**

«Роман судьбы» или «роман воли»? (Проблема фатализма в «Герое нашего времени» М.Ю. Лермонтова).

— «Русская литература», 1967, № 1, с.18 — 28.

905

Уманская М.

Романтическое начало в романе М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». — В кн.: Проблемы изучения художественного произведения. (Методология, поэтика, методика). Тезисы докладов XI науч.-теоретич. методич. конференции, организуемой каф. рус. лит-ры (23–25 мая 1968 г.), Ч. I, М., 1968, с.99 – 101.

906

Уразаева Т. Т.

О философских и эстетических основах новеллистического жанра у Лермонтова. — В кн.: Проблемы метода и жанра. Вып. 4, Томск, Изд-во Томск. ун-та, 1977, с.44 – 51.

907

Уразаева Т. Т.

Романтическая поэтика в художественной системе Лермонтова. (повесть «Штосс») — В кн.: Сб. трудов молодых ученых Томского ун-та, Вып. 3, Томск, 1974, с.40–49, (Томский ун-т).

908

Фохт У. Р.

Развитие реализма в русской литературе. В 3-х томах. М., «Наука», 1972, Т. I.

[С.192–228: Характер реализма Лермонтова, Гоголя и Пушкина в сравнении. «Герой нашего времени». [автор раздела].

A - V - ③

909

Басенко К. В.

Заметки о лексике писем М.Ю. Лермонтова. — В кн.: Сб. материалов 2-й научной сессии вузов Центрально-Черноземной зоны. Лингвистические науки. Воронеж, 1967, т. 186, Рус. лит., вып. 11, с.134 – 174.

910

Бах С. А.

Работа М.Ю. Лермонтова над языком романа «Герой нашего времени». — В кн.: Учен. зап. Саратовского ун-та, т.56, 1957, с.83 – 98.

911 (Т)

Виноградов Виктор

Стиль прозы Лермонтова. — В кн.: Литературное наследство, № 43–44, М., 1941, с.517 – 628.

912

Ефремов А. Ф.

Очерки по изучению языка и стиля писателей. В помощь учителям и студентам-филологам. Саратов. 1966.

[С.26–37: язык и стиль новеллы Лермонтова «Гамань»].

913

Зильберт Б. А.

К вопросу о роли романтических элементов в языке и стиле прозы М.Ю. Лермонтова. — В кн.: Вопросы стилистики. Вып. I.

Саратов, 1963, с.191 – 201.

914

Комарова Н.

Из наблюдений над употреблением лексики в прозаических произведениях М.Ю. Лермонтова. (Слова, обозначающие понятия внутреннего мира).

— «Известия Акад. наук Латв. ССР», 1960, № 5, с.21 – 32.

915

Ламзикова Н. В.

О некоторых устаревших словах в романе М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». — В кн.: Вопросы методики русского языка в средней школе. Вып. 3. Рязань, 1975, с.73 – 88. (Рязанский пед. ин-т).

916

Линник Г. Т.

Лексика романа М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». Афтореф. дисс. на соиск. учен. степени канд. филол. наук. Киев, 1970. 14 стр. (Киевск. гос. пед. ин-т им. А.М. Горького).

917

Линник Г. Т.

Общепотребительная лексика в портретных характеристиках персонажей романа М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». — В кн.: Наукові записки Полтавського державного пед. ін-ту ім. В. Короленка, т.ХІ, 1959, с.194 – 205.

918

Линник Г. Т.

О работе М.Ю. Лермонтова над словом в романе «Герой нашего времени». — В кн.: Науч. записки. (Киевский гос. пед. ин-т), т.32. Некоторые вопросы языкознания и литературоведения. Киев, 1962, с.27 – 43.

919

Литвинов В. В.

Изучение языка романа «Герой нашего времени» Лермонтова.

— «Литература в школе», 1954, № 1, с.33 – 42.

920

Мишина Е. Ф., Сосина Р. В.

Некоторые особенности структуры простого самостоятельного предложения в «Герое нашего времени» М.Ю. Лермонтова. — В кн.: Ученые записки Горьковского гос. ун-та им. Н.И. Лобачевского, 1970, вып. 99, Серия лингвист. с.49 – 61.

921

Мревлишвили Т. Н.

О некоторых особенностях языка и стиля «Героя нашего времени» М.Ю. Лермонтова.

— «Русский язык в школе», 1964, № 5, с.33 – 37.

922 (М)

Перльмуттер Л. Б.

Язык прозы М.Ю. Лермонтова. — В кн.: Жизнь и творчество

М.Ю. Лермонтова. Сб. 1-й. Исследования и материалы. М., Гос. Изд-во худож. лит-ры, 1941, с.310 – 355. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

923

Прохоров А. И.

Стилистическое использование фразеологизмов в романе М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени», —В кн.: Вопросы русского языка и стиля, Пятигорск, 1975, с.16 – 31. (Пятигор. пед. ин-т иностранных яз.).

924

Рыбакова И. В.

Эпитеты со значением цвета в художественной прозе Пушкина и Лермонтова. —В кн.: Вопросы русского языка. Вып. 2, Ярославль, 1969, с.56 – 83. (Ярославский пед. ин-т).

925

Самбикина М. В.

Язык новелл Лермонтова «Бэла» и «Максим Максимыч». —В кн.: Известия Воронежского гос. пед. ин-та. т.10, вып. 3, Факультет рус. яз. и литературы, 1948, с.119 – 148.

926

Слащев Е. Е.

О двух главных тенденциях в стиле романа Лермонтова «Вадим». —В кн.: Тезисы докладов и сообщений XI науч. кон-

ференции профессорско-преподавательского состава Кирг. ун-та. Секция филол. наук. Фрунзе, 1962, с.35 – 37. (Кирг. ун-т).

927

Сухотин В. П.

Значение предложений в «Гамани» М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Пятигорский гос. пед. ин-т. Сб. научных трудов. Вып. 2, Пятигорск, 1948, с.206 – 234.

928

Сухотин В. П.

Непредикативные сочетания с именами прилагательными в прозе М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Материалы и исследования по истории русского литературного языка. Т.2, М.-Л., 1951, с.139 – 166.

929

Троицкий В. И.

Стилистический анализ описания горного пейзажа в романе М.Ю. Лермонтова «Герой нашего времени». —В кн.: Учен. записки Кировского пед. ин-та им. В.И. Ленина, 1971, вып. 38, т.2, Очерки по рус. яз. вып. 3, с.55 – 61.

930

Тютяева А.

Синтаксические особенности прозы М.Ю. Лермонтова.

— «Русский язык в школе» 1961, № 2, с.37 – 41.

931

Тютяева А.

Сложно-сочиненное предложение в прозе М.Ю. Лермонтова. Автореферат дисс. на соиск. учен. степени канд. филол. наук. Харьков, 1953, 16 стр.

932

Федоров А. В.

Язык и стиль художественного произведения. М.-Л., Гослитиздат, 1963, 132 стр.

[С.28—41: на примере отрывков из «Бэлы» и «Капитанской дочки» сопоставление стиля и словоупотребления Лермонтова и Пушкина].

А- I - (4)

933 (M)

Абрамович Г. Л.

Критические мотивы в творчестве Лермонтова. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Сб. статей под ред. Н.А. Глаголева. М., Учпедгиз, 1941, с.62 — 78.

934 (M)

Абрамович Г.

Трагедийная тема в творчестве Лермонтова. —В кн.: Творчество М.Ю. Лермонтова. 150 лет со дня рождения. 1814—1864. М., «Наука», 1964, с.42 — 75.
(АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

935

Бакинский В.

Лермонтов и его герои. —«Литературный современник». Л., 1939, № 9, с.175 — 183.

936 (M)

Боденштедт Ф.

Картины природы в произведениях Лермонтова. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.293 — 295, [Изд. 5—е, допол.].

937 (M)

Галахов

Мужские типы в произведениях Лермонтова. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.254 — 258, [Изд. 5—е, допол.].

938 (M)

Галахов А.

Общность характера любимых героев Лермонтова. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб, б.г., с.50 — 56.

939 (M)

Галахов

Однородность характеров Арбенина, Измаила, Печорина ... и родственное их отношение к поэту. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.229 — 253, [Изд. 5—е, допол.].

940 (С)**Гинзбург Лидия**

Из кники о Лермонтове. [I. Иронические поэмы, II. «Герой нашего времени»].

— «Звезда», 1939, № 10–11, с.269 – 290.

941**Ефимова М. Т.**

Историческая тема в творчестве М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Ученые записки Сев.-Осет. гос. пед. ин-та им. К.Л. Хетагурова. Т.ХVIII, Дзауджикау, 1947, с.126 – 171.

942 (С)**Журавлева А. И.**

Поэтическая проза Лермонтова. — «Рус. речь», 1974, № 5, с.21–27.

[Связь «Героя нашего времени» с лирикой Лермонтова. Слово-вестно-смысловые мотивы, имеющие символическое значение (горы, море, звезды) в романе].

943 (М)**Иванова Т. А.**

Гл. 2-я. Сатира Лермонтова на старую дворянскую Москву. —В кн.: Т.А. Иванова. Москва в жизни и творчестве М.Ю. Лермонтова. 1827–1832. М., «Моск. рабочий», 1950, с.46 – 94.

944 (М)**Истомин**

Художественность поэтических образов и картин в произведе-

ниях Лермонтова. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.308 – 318, [Изд. 5-е, допол.].

945**Касторский С.**

Тема родины в творчестве М.Ю. Лермонтова.

— «Звезда», Л., 1939, № 12, с.159 – 166.

946 (М)**Кирпотин В. Я.**

«Неведомый избранник». —В кн.: Жизнь и творчество М.Ю. Лермонтова. Сб. 1-й. Исследования и материалы. М., Гос. Изд-во худож. лит-ры, 1941, с.3 – 39.

(АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

[Гражданская тема в творчестве Лермонтова].

947**Кирпотин В. Я.**

Политические мотивы в творчестве Лермонтова. —В кн.: Кирпотин В.Я. Вершины. Пушкин, Лермонтов, Некрасов. М., «Худож. лит-ра», 1970, с.175 – 294.

948**Краснов Г. В.**

Проблема изображения народа и развитие критического реализма. Из курса лекций по истории русской литературы XIX века.

Горький, Горьк. гос. ун-т им. Н.И. Лобачевского, 1959, 39 стр.

[С.9–10: Изображение народа в произведениях Лермонтова («Бородино», «Герой нашего времени», «Родина»). Народность Лермонтова].

949

Лотман Л. М.

Русская повесть XIX века. История и проблематика жанра. Под ред. Б.С. Мейлаха. Л., 1973.

[С.413–424, 428: «Мещанское счастье» Н.Г. Помяловского и «Станный человек» (в гл.: «Динамика взаимодействия романа и повестей. Л.М. Лотман); с.444–445: «Кавказский пленник» Л.Н. Толстого и «Герой нашего времени» (в гл. «Сюжетные ситуации и своеобразие психологизма в повестях 60-х г.г.». Л.М. Лотман)].

950

Меднис Н. А.

Психологический параллелизм в творчестве Лермонтова. —В кн.: Горьковский гос. ун-т им. Н.И. Лобачевского. Тезисы докладов конференции молодых научных работников. Секция гуманитарных наук. Горький, 1966, с.159 – 162.

951

Метельская М. А.

Проблема трагического в эстетике В.Г. Белинского. —В кн.: Труды новосибирского инженерно-строительного ин-та им. В.В. Куйбышева, т.7, общественные науки.

Новосибирск, 1957, с.283 – 320.

[С.293, 301, 303–306, 310, 314–315: на примере Печорина и купца Калашникова].

952

Нейман Б. В.

Портрет в творчестве Лермонтова. —В кн.: Московский ун-т им. Ломоносова. Ученые записки. Вып. 127. Труды кафедры русской литературы. Кн.3. М., 1948, с.73 – 90.

953

Нейман Б. В.

Эволюция стиля и сюжетов Лермонтова. Б. Нейман.

— «Родной язык в школе», 1927, сб. 5, с.99 – 109.

954

Ожегова М. Н.

Тема родина в творчестве М.Ю. Лермонтова. —В альм.: Прикамье, Молотов, 1941, № 3, с.102 – 121.

955

Пигарев К. В.

Русская литература и изобразительное искусство. Очерки о русском национальном пейзаже середины XIX в. М., «Наука», 1972. 124 стр. Акад. наук СССР. Ин-т Мировой литературы им. А.М. Горького.

[С.13: характер пейзажа в стих. «Как часто пестрою толпою окружен»; с.26 – 29: «Родина»; с.55: Пейзаж в романе «Вадим»].

956

Погорельцев В. Ф.

«Лишние люди» в русской литературе XIX в. последекабрьского времени. — В кн.: Проблемы русской литературы. Сб. трудов. М., 1973, с.36 — 46. (Моск. гос. пед ин-т им. В.И. Ленина).

[С.37—38. 42—43: проблема лишнего человека в творчестве Лермонтова].

957

Прилипко Г. П.

Русская историческая тематика в творчестве М.Ю. Лермонтова. Автореферат дисс. работы на соиск. учен. степени канд. филол. наук. Тбилиси, 1950, 20 с. (Тбилисский гос. ун-т им. Сталина).

958

Ревякин А. И.

История русской литературы XIX века. Первая половина. М., «Просвещение», 1977, 560 стр.

[С.327—363: М.Ю. Лермонтов. Лирика. Ранние поэмы и повести «Демон», «Мцыри», «Песня про купца Калашникова», «Маскарад», «Вадим», «Княгиня Лиговская», «Герой нашего времени»].

959

Розанов В. В.

Концы и начала, «божественное» и «демоническое», боги и демоны. По поводу главного сюжета Лермонтова.

— «Мир искусства», 1902, т.8, с.122 — 137.

960 (М)

Рубанович А.Л., Сердюкова С., Смирнов С., Голомбиевская Л., Маркова С., Швецова Т.

Гл. I. Гуманизм Лермонтова. — В кн.: Проблемы мировоззрения и мастерства М.Ю. Лермонтова. Иркутск, 1973, с.3 — 59.

[Содерж.: 1. Демонизм и демонический герой; 2. «Естественный» и обыкновенный человек; Народные типы и народное сознание; Тема детства, образ ребенка в творчестве Лермонтова].

961 (М)

Семенов Л.

Проклятие. — В кн.: Л. Семенов. М.Ю. Лермонтов. Статьи и заметки. I. М., 1915, с.240 — 248.

[Тема произведений Лермонтова].

962

Слащев Е. Е.

О характере пейзажа в творчестве Лермонтова. — В кн.: Псковский пед. ин-т им. С.М. Кирова. Материалы десятой научн. конференции. Вып. 3, Псков, 1969, с.15 — 20.

963 (М)

Стоюнин В.

Сатиры Лермонтова. — В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб, Книгоизд. Товарищество

«ОРОС», вып. 7, б.г., с.85—87.

964 (М)

Удодов Б. Т.

Гл. 3-я. Становление и развитие образа героя времени. —В кн.: Б.Т. Удодов. М.Ю. Лермонтов. Художественная индивидуальность и творческие процессы. Часть III. Искусство синтеза. (Проза Лермонтова конца 30-х — начала 40-х годов). Воронеж. Изд-во Воронеж. ун-та, 1973, с.510 — 543.

965

Удодов Б. Т.

Психологизм в творчестве М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Вопросы поэтики литературы и фольклора. Воронеж, Изд-во Воронеж. ун-та, 1976, с.117 — 137.

[С.117: литература о психологизме в творчестве Лермонтова (12 названий)].

966

Феддерс Г. Ю.

Эволюция типа «странного человека» у Лермонтова по его драматическим произведениям, поэмам и роману «Герой нашего времени», Нежин, 1914 г.

967 (К)

Фохт У. Р.

Пафос творчества Лермонтова. —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.15 — 31.

968

Фохт У. Р.

Творчество Лермонтова. —В кн.: История русской литературы. В 3-х томах. Т.2, Литература первой половины XIX века. М.-Л., Изд-во Акад. наук СССР, 1963, с.530 — 611.

969

Черепнин Л. В.

Историческая тематика в творчестве М.Ю. Лермонтова. —В кн.: История СССР, 1964, № 5, с.60 — 73.

970

Чудинов А. Н.

Женские типы эпохи Карамзина и Пушкина. —В кн.: Чудинов А.Н. История русской женщины последовательных типов. Воронеж, 1872, Лекция 5-я, с.156 — 162.

[Женские типы в произвед. Лермонтова].

971

Шамес П. Е.

Вопросы художественного мастерства Пушкина, Лермонтова, Гоголя в освещении Белинского. —В кн.: Учен. записки. (Ивановского пед. ин-та), т.22, Литературно-методический сборник. 1959, с.58 — 115.

972

Шестаков С.

Юношеские произведения Лермонтова.

— «Русский вестник», М., 1857, т.9. май, кн. 2, с.232—264; июнь, кн. I, с.317—344.

973

фон-Штейн С. В.

Война в жизни и творчестве Лермонтова.

— «Исторический вестник», 1914, т.138, октябрь, с.135—151.

974 (С) (М)

Эйхенбаум Б.

Художественная проблематика Лермонтова. —В кн.: Эйхенбаум Б. О поэзии. Л., «Сов. писатель» 1969, с.181—214.

А- II - (4)

975 (Т)

Азадовский М.

Фольклоризм Лермонтова. —В кн.: Литературное наследство, № 43—44, М., 1941, с.227—262.

976

Анненков П. В.

Литературные воспоминания. Предисл. Н. Пиксанова. Вступ. статья, ред. и примеч. Б.М. Эйхенбаума. Л., «Academia», 1928, XXIII. 661 с.

[О Лермонтове: с.247—251, гл. 9-я. Белинский и Лермонтов. Истолкование Печорина. —Влияние Лермонтова.

См. также с.238, 239, 245].

977

Анов В.

Пушкинская сессия.

—«Литературное обозрение».

М., 1940, № 8. Новости литературы и искусства. с.62—63.

[О научной сессии в Ин-те мировой лит-ры им. А.М. Горького, проведенной в 103 годовщину смерти А.С. Пушкина; В докладе Томашевского «Поэтическое наследие Пушкина» о связи Лермонтова с произведениями Пушкина].

978

Апостолов Н. Н.

Лев Толстой и его спутники.

М., Изд. Комиссии по ознаменованию 100-летия со дня рождения Л.Н. Толстого, 1928. 260 стр.

[С.15—19: Лермонтов в восприятии Толстого].

979

Ахмадулина Б.

Пушкин. Лермонтов

—«Литературная Грузия». Тбилиси, 1965, № 5, с.73—75.

980 (К)

Ахметов З. А.

Лермонтов и казахская литература. —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.365—372.

981

Бармин А. В.

К вопросу о лермонтовских

традициях в художественной трактовке шестидесятников. Лермонтов и Помяловский. —В кн.: Учен. зап. Московский пед. ин-т им. В.И. Ленина. № 231, 1964, с.128 — 139.

982

Басихин Ю. Ф.

Поэмы И.С. Тургенева. Путь к роману. Саранск, 1973. 176 стр. [С.54, 55, 56, 65, 66: Воздействие «Думы», «Поэта» и «Мцыри» в поэме «Разговор»; с.84: Виктор («Параша») и Печорин; с.147: Печоринская природа Лучкова («Бретер») и Лучнова («Три портрета»); с.160: Традиция «Героя нашего времени» в повести «Первая любовь»; с.162: «Переписка» Тургенева и Журнал Печорина].

983 (М)

Белинский В. Г.

Лермонтов и Пушкин. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб, Книгоизд. Товарищество «ОРОС», вып. 7, б.г., с.277 — 279.

984 (М)

Благой Д. Д.

Лермонтов и Пушкин. (Проблема историко-литературной преемственности). —В кн.: Жизнь и творчество М.Ю. Лермонтова. Сб. 1-й. Исследования и материалы. М., Гос. Изд-во жудож. лит-ры, 1941, с.356—421. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

985 (М)

Боденштедт Ф.

Лермонтов и Пушкин по воззрению Боденштедта. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.328 — 329, [Изд. 5-е, допол.].

986

Бродский Н. Л.

Горький о Лермонтове. —В кн.: Горьковские чтения. 1947—1948, М.-Л., Изд-во АН СССР, 1949, с.323 — 336.

987

Бурсов Б. И.

Лев Толстой и русский роман. М.-Л., Изд-во Акад. наук СССР, 1963, 152 с. (АН СССР. ИРЛИ).

[С.92: сопоставление —Печорин и Онегин; с.99: характер трагизма Лермонтова и Гоголя и пушкинский трагизм].

988 (К)

Владимиров Е. В.

Лермонтов в Чувашии. —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.415 — 420.

989 (К)

Гаджиев В. С.

Лермонтов и Азербайджан. —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.240 — 245.

990

Герцен А. И.

А.И. Герцен. Полное собр. соч. в 30-ти томах. Т.7, М., 1956, [С.224—226: сопоставление Лермонтова с Пушкиным].

991 (М)

Головин

Лермонтов и Пушкин. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.319 — 327. [Изд. 5-е, допол.].

992 (К)

Горячкина М. С.

Лермонтовские мотивы в произведениях Салтыкова-Щедрина. —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.172 — 183.

993 (К)

Грачева А. Д.

Произведения Лермонтова в Туркмении. —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.393 — 398.

994

Григорьян К. Н.

Лермонтов в Канаде. —В кн.: Сравнительное изучение литератур. Л., 1976, с.140 — 145.

995 (Т)

Гроссман Леонид

Лермонтов и культура Востока. —В кн.: Литературное наследс-

тво, № 43—44, М., 1941, с.673 — 744.

996 (К)

Даронян С. К.

Лермонтов и армянская действительность (20—60-е г. XIX в.). —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.259 — 299.

997

Дроков В.

Пометы Брюсова на полях сочинений Лермонтова. —В кн.: Литература и кавказ. Ставрополь, 1972, с.72 — 114. (Ставроп. гос. пед. ин-т).

998 (Т)

Dukmeyer Fr.

Лермонтов у немцев. —В кн.: Полное собр. соч. М.Ю. Лермонтова. Под ред. Д.И. Абрамовича. Т.V., СПб., Изд. Разряда изящной словесности Имп. Акад. Наук, 1913, с.102 — 115.

999

Елеонский С. Ф.

Литература и народное творчество. Пособие для учителей средней школы. М., Учпедгиз, 1956, 239 стр.

[С.146—170: Творчество М.Ю. Лермонтова и фольклор. «Вадим», «Песня про князя Калашникова»]

1000

Жижина А. Д.

Лермонтов и его наставники.
— «Науч. докл. высш. школы.
Филол. науки» 1972, № 4. с.21 —
30.

[Влияние лит.-эстетич. взглядов
А.Ф. Мерзлякова и А.З. Зиновьева
на Лермонтова].

1001 (Т)

Заболотский П. А.

Лермонтов у славян. — В кн.:
Полное собр. соч. М.Ю. Лер-
монтова. Под ред. Д.И. Абрамови-
ча. Т.V., СПб., Изд. Разряда изя-
щной словесности Имп. Акад.
Наук, 1913, с.79 — 101.

1002 (М)

Иванова Т. А.

«Если б это перо в палку
обратилось...». — В кн.: Т.А.
Иванова. Юность Лермонтова. М.,
«Сов. писатель», 1957, с.199 —
213.

[Влияние «Горе от ума» на
Лермонтова и др.].

1003 (М)

Иванова Т. А.

Романтики. — В кн.: Т.А. Ива-
нова. Юность Лермонтова. М.,
«Сов. писатель», 1957, с.47—58.

[Черты передовой молодежи на
рубеже 30-х годов и их влияние
на Лермонтова].

1004 (С)

Иванова Т. А.

Творческая встреча: Лермонтов
и Вашингтон Ирвинг. — В кн.:
Известия Акад. наук СССР. Серия
литературы и языка. т.23, 1964,
вып. 5, с.393 — 401.

1005 (К)

Исаков С. Г.

Творчество Лермонтова в Эсто-
нии в XIX столетии (1880—1890-е
гг.). — В кн.: Лермонтов и ли-
тература народов Советского
Союза, Ереван, 1974, с.349 — 360.

1006 (М)

Калачева С. В.

Лермонтов и Брюллов. — В
кн.: Проблемы теории и истории
литературы. Сб. статей, посвящ.
памяти проф. А.Н. Соколова. М.,
Изд-во Моск. ун-та, 1971, с.234—
245.

1007

Калустова Н. Г.

Брюсов и Лермонтов. — В кн.:
Лермонтовский сборник. 1814—
1964. Грозный, 1964, с.182—202.

1008 (М)

Кедровский А. Е.

Лермонтов и Веневитинов.
— В кн.: М.Ю. Лермонтов. Ма-
териалы и сообщ. VI Всесоюзной
лермонт. конф. Ставрополь, Став-
роп. кн. изд-во, 1965, с.140—152.
(Ставр. пед. ин-т).

1009 (К)**Ким И. А.**

Лермонтов и бурятская советская литература. — В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.421 — 425.

1010**Кони А. Ф.**

М.Ю. Лермонтов. — В кн.: Кони А.Ф. Собр. соч. В 8-ми т.т. Т.6, М., «Юридич. лит-ра», 1968, с.114 — 120.

[Лермонтов и Пушкин (сопоставление личности)].

1011**Кулешов В. И.**

Натуральная школа в русской литературе XIX века. М., «Просвещение», 1965, 300 стр.

[С.121—123: история издания А.П. Башуцкого «Наши списанные с натуры», для которого был написан «Кавказец»; с.138: Лермонтов и Огорев; с.140—141: некрасовские пародии на Лермонтова; с.144: Плещеев и Лермонтов; с.151: «Где тонко, там и рвется» — своеобразная трактовка печоринской темы; с.156—184 и др: Лермонтов и натуральная школа; с.210: изображение жизни у Лермонтова].

1012**Левин Ю. Д.**

Из реминисценций английской литературы у Лермонтова.

— «Русская литература», 1975, № 2, с.204 — 206.

[Восточная легенда из «Зрителя» (в «Странном человеке»). Скрытая цитата из «Лалла-Рук» (в «Вадиме»)].

1013 (М)**Леушева С.**

Лермонтов и Л. Толстой. — В кн.: Творчество М.Ю. Лермонтова. 150 лет со дня рождения. М., «Наука», 1964, с.395 — 414. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

1014**Лисенкова Н. А.**

Тургенев и Лермонтов. (К проблеме творческой преемственности) — В кн.: Вопросы стиля и метода в русской и зарубежной литературе. Пенза, 1970, с.37 — 56. (Учен. зап. Рязан. и Пенз. гос. пед. ин-тов, т.81).

1015 (К)**Ломунов К. Н.**

Могучая нравственная сила (Лев Толстой о Лермонтове). — В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза. Ереван, 1974, с.184 — 191.

1016**Лотман Л. М.**

Реализм русской литературы 60-х годов XIX века. Истоки и эстетическое своеобразие. Л., «Наука», 1974, 351 стр. АН СССР. Ин-т рус. лит. (Пушкинский Дом).

[С.16—17, 22—24, 28, 117—118, 153, 170: Тургенев и Лермонтов. «Журналист, читатель и писатель»].

1017 (Т)
Мазон А.

Лермонтов у французов. —В кн.: Полное собр. соч. М.Ю. Лермонтова. Под ред. Д.И. Абрамовича. Т.V., СПб., Изд. Разряда изящной словесности Имп. Акад. Наук, 1913, с.116 — 122.

1018 (К)
Назарова Л. Н.

Тургенев и Лермонтов. —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.129 — 147.

1019
Назирова Р. Г.

Реминисценция и парафраза в «Преступление и наказание». —В кн.: Достоевский. Материалы и исследования. [Т.2] Л., «Наука», 1976, с.88 — 95.

[С.94—95: реминисценция из «Трех пальмы» в «Преступление и наказание»].

1020
Нейман Б. В.

Влияние Пушкина в творчестве Лермонтова. 1814—3 октября — 1914. Киев, тип. унив. св. Владимира, 1914, II, 136, [3] стр.

1021
Нейман Б. В.

Лермонтов и Гоголь. —В кн.: Московский ун-т им. Ломоносова. Ученые записки. Вып. 118. Труды кафедры русской литературы. Кн. 2., 1946, с.124 — 138.

1022 (М)
Нейман Б. В.

Русские литературные влияния в творчестве Лермонтова. —В кн.: Жизнь и творчество М.Ю. Лермонтова. Сб. 1-й. Исследования и материалы. М., Гос. Изд-во худож. лит-ры, 1941, с.422 — 465. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

1023
Павлов Л. В.

Молодой Тургенев и М.Ю. Лермонтов. —В кн.: Ученые записки (Петрозаводский ун-т им. О.В. Куусинена). т.14, вып. 4, 1968, с.81 — 97.

[Воздействие Лермонтова на Тургенева («Стено». «Филиппо Стродзи»). «Неосторожность» Тургенева и «Маскарад»].

1024
Петров К.

Лермонтов. Влияние Лермонтова на русскую литературу. —В кн.: Петров К. Курс истории русской литературы. СПб., 1863, с.178 — 183.

1025 (К)**Попов А. В.**

И.А. Гончаров и М.Ю. Лермонтов. —В кн.: Материалы юбилейной гончаровской конференции. Ульяновск, 1963, с.239–245. (Ульянов. обл. краевед. музей им. Гончарова).

1026 (К)**Прейс К. Ф.**

Лермонтов в Латвии. —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.329 – 337.

1027 (К)**Попович К. Ф.**

Лермонтов и молдавская литература. —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.361–364.

1028**Пруцков Н. И.**

У истоков революционно-демократического реализма в русской литературе середины XIX века.

(Творчество Салтыкова, Некрасова и Герцена 40-50-х г.г.). Грозный, Грозн. обл. изд-во, 1946. 148 стр.

[О Лермонтове: с.3–9. Революционный скепцизм Лермонтова: с.13–15; с.17–18; с.20–25; Близость ранних повестей Салтыкова (40-е годы) к творчеству Лермонтова. («Герой нашего времени»): с.54; Близость Некрасова к Лермонтову. Влияние Лермонтова на молодого Некрасова;

с.58; с.105; Скептицизм Герцена и мироощущения Лермонтова и Огарева: с.114; с.117; с.141–142; Герцен — продолжатель прозы Лермонтова. Психологизм Лермонтова в отличие от публицистич. манеры письма Герцена; с.145].

1029 (Т)**Розанов Иван**

Лермонтов в поэзии его современников. —В кн.: Литературное наследство, № 45–46, М., 1948, с.782 – 793.

1030 (М)**Розанов И. Н.**

Отзвуки Лермонтова. —В кн.: Венок М.Ю. Лермонтову. Юбилейный сборник. М.-Пг., 1914, с.237–289.

[Содерж.: Отголоски Лермонтова. Отголоски романа «Герой нашего времени»].

1031 (К)**Садовская М. К.**

Лермонтов в белорусской литературе. —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза. Ереван, 1974, с.233–239.

1032 (К)**Салинка В. А.**

Лермонтов и литовская литература. —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза. Ереван, 1974, с.338 – 348.

1033 (M)**Селегей П. Е.**

К вопросу об истоках фольклоризма М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов. Ставрополь, Ставро. кн. изд-во, 1960, с.29 — 44.

1034 (M)**Семенов Л. П.**

Лермонтов и Лев Толстой. (К столетию со дня рождения Лермонтова), М., тип. В.М. Саблина, 1914. [8], 464 [1] стр.

[Содерж.: От автора; 1. Лермонтов и Лев Толстой; 2. Лермонтов и библия; 3. Дубовый листок; 4. Портрет; 5. Заметки: I. Об академическом издании соч. Лермонтова, II. Лермонтов и песни губернских казаков, III. Еще о «Казачьей колыбельной песне», IV. Эпизод с чиновником, V. Еще о «Валерике», VI. Еще о Лермонтове и Козлове, VII. Муки слова, VIII. «Спор» Лермонтова и «Разговор» Тургенева, IX. Бой туч, X. Воздушный город, XI. Ландыш, XII. «И скучно и грусно», XIII. Кое-что о Пушкине и Лермонтове].

1035 (M)**Семенов Л.**

IV. Лермонтов и Огарев. —В кн.: Л. Семенов. М.Ю. Лермонтов. Статьи и заметки, I. М., 1915, с.210 — 230.

1036**Семенов Л. П.**

Лермонтов и фольклор Кавказа. Пятигорск. Орджоникидзе, Краев. изд-во, 1941, 97, [3] стр.

1037**Семенов Л. П.**

Лермонтов у европейских и восточных народов. —В кн.: Проблемы литературы и эстетики. Сб. статей, посвященный памяти проф. Л.П. Семенова. Орджоникидзе, 1976, с.22 — 29.

[Сведения о переводах Лермонтова на итальянский, шведский, финский, эсперанто, украинский, армянский, грузинский, осетинский, татарский, киргизский и японский языки].

1038**Спасович В. Л.**

Байронизм Лермонтова. —В кн.: Спасович В.Д. — Байронизм у Пушкина и Лермонтова. Вильна, 1911, с.39 — 88.

1039**Сумцов Н. Ф.**

О влиянии Пушкина на Лермонтова. —В кн.: Харьковский университетский сборник в память А.С. Пушкина. 1799—1899. Харьков. 1900, с.317 — 324.

1040**Толстой А. Н.**

Полное собр. соч. Т.14, Рассказы, очерки и статьи. 1941—1944.

М., Гослитиздат, 1950, 431 стр.

[С.111–117: «Стыд хуже смерти»; с.117: цитата из «Песни про купца Калашникова»; с.150–153: «Москве угрожает враг»; с.153: Цитата из «Бородино»; с.349: Толстой читал в детстве Лермонтова; с.353: Лермонтов среди писателей классиков-создателей русского литературного языка; с.125: цитата из «Бородина» («Таран»)].

1041 (К)

Турбин В.

Пушкин. Гоголь. Лермонтов. Об изучении литературных жанров. М., «Просвещение» 1978. 239 стр. с ил.

[Содерж.: Введение; Часть I. Вольное слово молвы; Часть II. Большой мир малых жанров; Часть III. Романист и роман; Часть IV. Глаза повести и очи поэмы; Заключение].

1042 (К)

Усок И. Е.

Лермонтов и Блок. —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.192 – 211.

1043 (К)

Умарбекова З. У.

Лермонтов и Усман Насыр. —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.373 – 381.

1044 (Т)

Фаминский К. Н.

Лермонтов у англичан. —В кн.: Полное собр. соч. М.Ю. Лермонтова. Под ред. Д.И. Абрамовича, Т.В., СПб., Изд. Разряда изящной словесности Имп. Акад. Наук, 1913, с.123 – 126.

1045 (М)

Федоров А. В.

Лермонтов и литература его времени. Л., «Худож. литература» 1967, 364 стр.

1046 (Т)

Федоров А.

Творчество Лермонтова и западные литературы. —В кн.: Литературное наследство, № 43–44, М., 1941, с.129 – 226.

1047

Фетисов М. И.

Литературные связи России и Казахстана. 30-50-е годы XIX века. М., Изд-во Акад. наук СССР. 1956. 381 стр.

[Влияние Лермонтова на Казахскую литературу: см. стр. 9, 20, 55, 66, 71, 206, 242, 244, 250, 251, 265, 271, 330, 352, 376].

1048

Филюрин Д. В.

«Набег» Л.Н. Толстого. Из наблюдений над рассказом. —В кн.: учен. записки Арзамского пед. ин-та. Вып. 3, 1958, с.28 – 59.

[С.42—44; 50: влияние «Измаил-Бея» и «Валерика» на «Набег» Толстого].

1049 (К)**Шадури В. С.**

Лермонтов в грузинской литературе. —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.246 — 258.

1050**Шадури Вано**

Заметки о грузинских связях Лермонтова. К 150-летию со дня рождения поэта.

— «Литературная Грузия». 1964, № 10, с.102 — 108.

1051 (М)**Шкловский В. Б.**

За и против. Заметки о Достоевском. М., «Сов. писатель», 1957, 260 стр.

[О Лермонтове: с.98—100, 104—105, 157—158, 228, 232. Содержание: с.98—100: «Герой нашего времени» положил начало новой форме построения большого жанра из отдельных частей; с.157—158: упоминание Достоевским героя из «Маскарада» (Неизвестный); о стихотворении «Пророк» и отношении к нему Достоевского; речь Достоевского о Пушкине направлена также против Лермонтова; с.232: Ставрогин и некоторые другие герои Достоевского «заменяют Печорина»].

1052 (К)**Юсуфов Р. Ф.**

Пути освоения наследия Лермонтова. —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.426—447.

А-III-④

1053**Андроников И. Л.**

В поисках утраченного Лермонтова. [Заметки литературоведа].

—«Наука и жизнь», 1964, № 11, с.62 — 65.

1054 (М)**Андроников И. Л.**

Творческие итоги 1837 года. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.159—161.

1055 (М)**Андроников И. Л.**

У слияния Арагвы и Куры. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.42—45.

[Пейзаж в «Бэле» и «Мцыри»].

1056 (С)**Булгаков Ф. Н.**

Лермонтов и цензура (По материалам Лермонтовского музея).

— «Исторический вестник»,
1884, март, т. XV, с.566 — 574.

1057

Вацуро В.

«Ирландские мелодии» Томаса Мура в творчестве Лермонтова.

— «Русская литература», 1965,
№ 3, с.184 — 192.

1058 (М)

Владимиров

Исторические и народно-бытовые сюжеты в произведениях Лермонтова. — В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов, Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.286 — 293 [Изд. 5-е, допол.].

1059

Где автограф М.Ю. Лермонтова?

— «Вопросы литературы», 1978,
№ 3, с.316 — 317.

1060

Елеонский С. Ф.

Изучение творческой истории художественных произведений. Пособие для учителей. М., Учпедгиз, 1962, 304 стр.

[С.94—230: «Исповедь», «Боярин Орша», «Мцыри» М.Ю. Лермонтова. — Творческая и литературная история поэмы Лермонтова «Демон». — Генезис романа «Герой нашего времени»].

1061 (С)

Здобнов Н.

Новые цензурные материалы о Лермонтове.

— «Красная новь», М., 1939,
№ 10—11, с.259—269.

[I. Неуверенность цензоров, 1. «Песня про царя Ивана Васильевича, 2. «Кинжал», 3. «Пленный рыцарь», II. «Демон», III. «Маскарад», IV. Стихи в альманахе «Вчера и сегодня», V. Письма А.А. Краевского к А.В. Никитенко. 1. Письмо о «Фаталисте», 2. Письмо о «Стихотворениях 1840 г.», VI. А.Н. Майков и И.А. Гончаров в роли цензоров сочинений Лермонтова, 1. А.Н. Майков, 2. М.А. Гончарав.].

1062 (М)

Иванова Т. А.

Вольнолюбцы. — В кн.: Т.А. Иванова. Юность Лермонтова. М., «Сов. писатель», 1957, с.104 — 123.

[События в 1830 году и тема о борьбе народа].

1063 (М)

Лемке М.

Николаевские жандармы и литература 1826—1855 гг. По подлинным делам третьего отделения С.Е.И.В. канцелярии. СПб., Изд. С.В. Бунина, 1908, XVI, 614 стр.

[О Лермонтове: Гл. 18. 1839 год. Два дела о Лермонтове (1. Дело архива III отд. I. эксп. 1837 г., № 43, 2. Дело архива III отд. I. эксп. 1840 г., № 135)... с.110—112; Гл. 23, 1843 год. «Последнее новоселье» Лермонтова (О переводе г. М.М. для сборника «Morceau choisis de la poesie russe») ... с.137—138. (О кните мар-

киза де Кюстина («La Russie en 1839»). с.141–152].

1064

Лернер Н. О.

Оригинал одного из героев Лермонтова. Очерк Н. Лернера. — «Нива», 1913, № 37, с.731 — 732.

[Тарасенко — Октещков — в «Княгине Лиговской», Ф.Толстой — в «Маскараде», Казбич — в «Герое нашего времени»].

1065 (М)

Михайлова Е.

Гл. 2-я. Лермонтовская эпоха и ее исторические задачи. — В кн.: Е. Михайлова. Проза Лермонтова. М., Гослитиздат, 1957, с.49 — 90.

1066

Московченко Н. Я.

История рукописного наследия М.Ю. Лермонтова. — В кн.: Труды Московского гос. историко-архивного ин-та. Т.10, Сб. студенческих науч. работ. Под ред. доц. С.О. Шмидта. М., 1957, с.214 — 221.

1067

Наспер Г. М.

Фонды цензурных учреждений. — В кн.: Материалы к истории русского театра в государственных архивах СССР. Обзоры документов XVII века — 1917 г. М., 1966. с.119 — 142. (Глав. архивное упр. — Ленингр. ин-т театра, музыки и кинематографии).

[С.129–130, 131, 136: документы, относящиеся к цензурной истории драмы «Маскарад», инсценировки «Песни про купца Калашникова» и опер А.Г.Рубинштейна «Демон» и «Купец Калашников»].

1068

Прийма Ф. Я.

Введение. — В кн.: Русская литература и фольклор. Первая половина XIX в. Л., «Наука», 1976, с.3 — 29. (АН СССР. Ин-т рус. лит. (Пушкинский Дом).

[С.17–20: Фольклоризм Лермонтова].

1069

Раков Юрий

По делам литературных героев. М., «Просвещение», 1974, 128 стр.

[С.80–99: Лермонтов в Петербурге. История дома Энгельгардта. Описание Петербурга в «Княгине Лиговской». Из комментария к повести «Штосс»].

1070 (М)

Скабичевский А. М.

Очерки истории русской цензуры. (1700–1863 гг.) А.М.Скабичевского. СПб., Издание Ф.Павленкова, 1892, [8], 495 стр.

[С.279–281: Лермонтов и цензура].

1071

Храпченко М. Б.

Творческая индивидуальность писателя и развитие литературы.

Изд. 3-е, М., «Сов. писатель»,
1975, 408 стр.

[С.102: Одновременность
работы Лермонтова над «Демо-
ном» и «Героем нашего време-
ни», произведениями различных
стилей].

1072

**Царская цензура о «народных»
изданиях сочинений М.Ю. Лер-
монтова.**

— «Красный архив», М., 1939,
Т.5 (96), с.180 — 195.

1073

Шагалов А. Ш.

Русское средневековье в твор-
честве М.Ю. Лермонтова. — В кн.:
Вопросы русской литературы.
(Учен. зап. Моск. гос. пед. ин-та
им. В.И. Ленина). № 405, М., 1970,
с.119 — 146.

[Историческая тема у Лер-
монтова. Образ Вадима Новгород-
ского в рус. лит. и «Последний
сын вольности». «Олег» Лер-
монтова и «Песнь о вещем Оле-
ге». Наброски планов «При дворе
князя Владимира» и о Мстиславе
Черном].

1074 (Т)

Эйхенбаум Б.

О текстах Лермонтова. — В
кн.: Литературное наследство,
№ 19—21, М., 1935, с.485 — 501.

1075

Энгельгардт Н. А.

Очерки Николаевской цензуры.
Очерк первый.

— «Исторический вестник»,
СПб., 1901, т. 85, № 9, с.850—873.

[О Лермонтове: с.851, упоми-
нение].

А-IV-④

1076

Альбеткова Р. И.

Идея свободы в лирике Лер-
монтова. — В кн.: Проблемы
юдейно-эстетического анализа
художественной литературы в
вузовских курсах в свете реше-
ний XXIV съезда КПСС. Тезисы
совещания 25 — 27 мая 1972 г.
М., 1972, с.109 — 110.

1077

Альбеткова Р. И.

Изображение характеров в про-
изведениях Лермонтова. — В кн.:
Учен. зап. Моск. обл. пед. ин-та
им. Н.К. Курпской. т. 35, вып.
6, 1960, с.13 — 43.

[Проблема романтизма и
реализма в творчестве Лермон-
това].

1078

Аристова П.

Антирелигиозные идеи в рус-
ской классической литературе.

— «Под знаменем марксизма»,
М., 1939, № 7, с.124 — 147.

[С.132 — 133: О лермонтове].

1079 (Т)**Асмус В.**

Круг идей Лермонтова. —В кн.: Литературное наследство, № 43—44, М., 1941, с.83 — 128.

1080**Бакинский В.**

Реализм Лермонтова.

— «Звезда». Л., 1938, № 9, История литературы. с.176 — 190.

1081**Биржишко А. И.**

О некоторых связях М.Ю. Лермонтова с просветительской философией 18 в. —В кн.: Русская и зарубежная литература. Вып. I, Алма-Ата, 1969, с.14 — 20. (Казахский гос. пед. ин-т им. Абая).

[Отзвуки философии Ф.Р.Вейсса и И.Т.Гердера в творчестве М.Ю. Лермонтова].

1082**Благой Д. Д.**

От «Евгения Онегина» к «Герою нашего времени». —В кн.: проблемы романтизма. Сб. статей, М., «Искусство», 1967, с.293 — 319.

1083 (М)**Бродский Н. Л.**

Поэтическая исповедь русского интеллигента 30-х — 40-х годов. —В кн.: Венок М.Ю. Лермонтову. Юбилейный сборник. М.-Пг., 1914, с.56 — 110.

1084**Булгаков Н. Н.**

На путях реализма и народности. Ч.2. Критический реализм. (Типология критич. реализма. Пушкин и Лермонтов как реалисты). Днепропетровск, 1972.

56 стр. (Днепропетр. ун-т им. 300-летия воссоединения Украины с Россией. Каф. рус. лит.).

[С.47 — 56: О реализме и народности творчества М.Ю. Лермонтова].

1085**Григорьев А.**

Лермонтов и его направление. Крайние грани развития отрицательного взгляда. Статья 1 — 3.

— «Время», СПб., 1862, № 10, отд. 2, с.1 — 30, № 11, отд. 2, с.49 — 73, № 12, отд. 2, с.1 — 34.

1086 (К) (М)**Григорьян К. Н.**

Гл. I. К вечным спорам о вечно живой книге. Гл. II. Еще раз о романтизме мнимом и романизме истинном. —В кн.: К.Н. Григорьян. Лермонтов и его роман «Герой нашего времени». Л., «Наука», 1975, с.5 — 86. (АН СССР. Ин-т рус. лит. Пушкинский Дом).

1087**Григорьян К. Н.**

К изучению романтизма.

— «Русская литература», 1967, № 3, с.124 — 141.

[С. 127 – 128, 131: К вопросу о романтизме Лермонтова. Poleмика с В.А. Мануйловым и Л.Я. Гинзбург].

1088 (М)

Григорьян К. Н.

Лермонтов и романтизм. М.-Л., «Наука» [Ленингр. отд-ние], 1964, 300 стр.

1089 (М)

Дурылин С. Н.

На путях к реализму. — В кн.: Жизнь и творчество М.Ю. Лермонтова. Сб. 1-й. Исследований и материалы. М., Гос. Изд-во худож. лит-ры, 1941, с.163 – 250. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

1090 (С)

Евзерихина В. А.

Проблемы нравственного идеала в творчестве М.Ю. Лермонтова. — В кн.: Вопросы литературы, Новосибирск, 1971, (Научные труды Новосибирского пед. ин-та, вып. 36), с.88 – 98.

1091

Ефимова М. П.

Несколько замечаний к проблеме «Лермонтов и славянофилы». — В кн.: Псковский пед. ин-т им. С.М. Кирова. Научная конференция 10-я, 1968. Материалы. Вып. 3, Псков, 1969, с.5 – 14.

1092 (С)

Жижина А. Л.

Лермонтов и Лессинг. (К воп-

росу о становлении эстетических взглядов Лермонтова). — В кн.: Очерки по истории русской литературы. ч. 1, М., 1967, с.92 – 107. (Уч. зап. Моск. гос. пед. ин-та им. В.И. Ленина, № 256).

[Знакомство Лермонтова с творчеством Лессинга. Эстетические принципы «Лаокоона» Лессинга в «Демоне»].

1093 (М)

Жук А. А.

Лермонтов и «Натуральная школа» (К постановке вопроса). — В кн.: Проблемы теории и истории литературы. Сб. статей, посвящ. памяти проф. А.Н. Соколова. М., Изд-во Моск-ун-та, 1971, с.226 – 233.

1094

Замотин И. И.

М.Ю. Лермонтов. К характеристике основных мотивов лермонтовского идеализма.

— «Русский филологический вестник», Варшава, 1914, № 3–4, т.72, с.1 – 154.

1096

Замотин И. И.

М.Ю. Лермонтов. Мотивы идеального строительства жизни. Варшава, тип. Учебн. окр. 1914, 154 стр.

1097

Иванов С.

Патриотизм Лермонтова. М., Гослитиздат, 1941, 32 стр.

1098 (M)**Иванова Т. А.**

Думы поэта. —В кн.: Т.А. Иванова. Юность Лермонтова. М., «Сов. писатель», 1957, с.124 — 137.

1099 (M)**Иванов-Разумник**

Анти-мещанство Лермонтова. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб, Книгоизд. Товарищество «ОРОС», вып. 1, б.г., с.213 — 229.

1100**Иванов — Разумник**

История русской общественной мысли. Индивидуализм и мещанство в русской литературе и жизни XIX века. Т.1. Изд. 2-е, доп. СПб., 1908. 379 стр.

[С.83—84: байронизм Лермонтова; «Вадим»; с.88: характеристика Грушницкого; с.155—169; философские взгляды Лермонтова. Пушкин и Лермонтов; с.228—229: характеристика].

1101**Карташова И.В., Коновалов В.Н.**

Романтизм М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Русский романтизм. Под ред. проф. Н.А. Гуляева. (Учеб. пособие для филол. специальностей ун-тов и пед. ин-тов). М., 1974, с.117 — 139.

1102**Кирпотин В.**

Источники политических идеалов М.Ю. Лермонтова. — «Исторический журнал», М., 1939, № 11, с.115 — 128.

1103 (M)**Кирпотин В. Я.**

Политические мотивы в творчестве Лермонтова. М., «Худож. лит.», 1939, 168 стр.

1104**Красноусов А. М.**

Русские писатели в борьбе с религией и церковью. Пособие для учителей. М., Учпедгиз, 1960, 59 стр.

[С.17—19: отношение к религии в произведениях: «Испанцы», «Вадим», «Пророк», «Благодарность», «Демон», «Мцыри»].

1105**Кулешов В. И.**

Славянофилы и русская литература. М., «Худож. лит.», 1976, 288 стр.

[С.116—129: Лермонтов и славянофилы. И. Аксаков о Лермонтове. Лермонтов и А.С. Хомяков. К вопросу о прототипах действующих лиц стих. «Журналист, читатель и писатель»].

1106 (K)**Курилов А. С.**

Белинский о романтизме Лермонтова (К постановке вопроса).

—В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.63 — 73.

1107

Лотман Ю. М.

Истоки «толстовского направления» в русской литературе 1930-х годов. —В кн.: Ученые записки Тартуского ун-та, вып. 119, 1962, с.3 — 76.

[С.36—46: Проблема романтизма и реализма в творчестве Лермонтова].

1108

Любович Н. А.

К вопросу об идейных основах эстетических воззрений Лермонтова.

— «Вопросы философии», 1956, № 4, с.83 — 93.

1109

Маймин Е. А.

О русском романтизме. М., «Просвещение», 1975. 240 стр.

[С.113—144: Романтизм Лермонтова].

1110 (С)

Максимов Д. Е.

Об изучении мировоззрения и творческой системы Лермонтова. — «Русская литература», 1964, № 3, с.3 — 12.

1111

Манн Ю. В.

Поэтика русского романтизма. М., «Наука», 1976, 376 стр. (АН СССР. Ин-т мировой лит.).

[С.198—213: «Мцыри»; с.213—232: «Демон»; с.277—279: «Странный человек»; с.306—308: Об одной особенности романа Лермонтова «Вадим». (Значение портрета героя)].

1112 (М)

Михайлова Е. Н.

Идея личности у Лермонтова и особенности ее художественного воплощения. —В кн.: Жизнь и творчество М.Ю. Лермонтова. Сб. 1-й. Исследования и материалы. М., Гос. Изд-во худож. лит-ры, 1941, с.125 — 126.

(АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

1113 (М)

Морозов

Идеалы Лермонтова. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.369 — 375, [Изд. 5-е, допол.].

1114 (С)

Нейман Б. В.

Философские интересы Лермонтова. —В кн.: Вопросы русской литературы. М., 1968, (Моск. гос. пед. ин-т им. В.И. Ленина, Учен. зап., № 288), с.74 — 92.

1115

Нейман Б. В.

Элементы сентиментализма в творчестве Лермонтова. —В кн.: Известия отделения русского языка и словесности Российской академии наук, 1917, Пг., 1918, с. XXII, кн.2, с.39 — 57.

1116

Петров С. М.

Поэтическое самосознание Лермонтова. —В альм.: Литературная Молдавия, 1941, № 2 (4), с.18—40.

[Осознание Лермонтовым своего пути от романтизма к реализму].

1117

Плеханов Г. В.

Литература и эстетика. Т.I
Теория искусства и история эстетической мысли. М., Гослитиздат, 1958, 614 стр.

[С.206—208: мировоззрение Лермонтова. (в ст. «А.И. Герцен и крепостное право»), с.382—384; (в ст. «Столетие со дня рождения В.Г. Белинского»)].

1118

Подвицкий Н. Б.

Некоторые черты романтизма в русской литературе 30-х годов XIX века. —В кн.: Вопросы русской и зарубежной литературы. Сб. статей. Куйбышев, 1962, с.70 — 85.

[Романтизм Лермонтова].

1119

По поводу религиозных настроений Лермонтова.

1.8 поября 1916 г. в Лермонтовском музее, 2. Из речи в Академии наук в память почетного академика А.Ф. Кони. —В кн.: Известия Лермонтовского и Исторического музеев, Пг., 1917, № 2, с.43 — 46.

1120

Пруцков Н. И.

Проблемы художественного метода передовой русской литературы 40-50 г.г. XIX столетия. Под ред. А.Г. Цейтлина. Грозный, 1947, 207 стр.

[С.44—55: скептицизм и рефлексия Лермонтова].

1121 (M)

Пыпин А. Н.

Идеалистические требования Лермонтова. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб., Книгоизд. Товарищество «ОРОС», вып. 7, б.г., с.206 — 209.

1122 (M)

Пыпин А. Н.

Место Лермонтова в ряду русских борцов за права искусства. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб., Книгоизд. Товарищество «ОРОС», вып. 7, б.г., с.197 — 205.

1123 (M)**Пыпин А. Н.**

Общественное чувство Лермонтова. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб., Книгоизд. Товарищество «ОРОС», вып. 7, б.г., с.80 — 85.

1124 (M)**Пыпин А. Н.**

Патриотизм Лермонтова. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб., Книгоизд. Товарищество «ОРОС», б.г., с.196 — 197.

1125 (M)**Рождествен А. С.**

Природа, как источник религиозных чувствований Лермонтова. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.114 — 117, [Изд. 5-е, допол.].

1126**Рубанович А. Л.**

М.Ю. Лермонтов — обличитель церкви и религиозных догматов. (Материалы в помощь лектору, беседнику и агитатору). Иркутск, 1962, 18 стр. (Иркутск. обл. отд. О-ва по распространению полит. и науч. знаний).

1127**Рубанович А. А.**

Философская основа гуманизма М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Проблемы идейно-эстетического анализа худ. лит-ры в вузовских курсах в свете решений XXI съезда

КПСС. Тезисы совещания 25—27 мая 1972 г. М., 1972, с.114—115.

1128 (M)**Рубанович А.Л., Сердюкова С., Смирнов С., Голумбиевская Л., Маркова С., Швецова Т.**

Гл. II. Эстетический идеал и творческий метод Лермонтова. —В кн.: Проблемы мировоззрения и мастерства М.Ю. Лермонтова. Иркутск, 1973, с.60 — 114.

[Содерж.: 1. «Романтический фанатизм», «чудесное» и «жизнь действительная»; 2. «Загадки бытия», таинственное в психологических коллизиях и образах, созданных Лермонтовым].

1129 (M)**Рубанович А. Л.**

II. Эстетическая основа творческого метода Лермонтова. —В кн.: А.Л. Рубанович. Проблемы мастерства М.Ю. Лермонтова-поэта. Иркутск, 1963, с.24 — 58. (Иркут. ун-т).

1130**Рубанович А. Л.**

Эстетические идеалы М.Ю. Лермонтова. Специальный курс лекций для студентов-филологов. Иркутск, 1968, 203 стр. (Иркутский гос. ун-т им. А.А.Жданова).

1131 (M)**Семенов Л. П.**

Благотворное воздействие природы на мятежную душу человека. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.117 – 120, [Изд. 5-е, допол.]

1132 (M)**Семенов Л.**

Терновый венец. —В кн.: Л. Семенов. М.Ю. Лермонтов. Статьи и заметки. I. М., 1915, с.248 – 250.

[Представление Лермонтова о поэте].

1133**Сергеев-Ценский С. Н.**

Трудитесь много и радостно. Избранная публицистика. М., «Молодая гвардия», 1975, 360 стр.

[С.64–65: патриотизм Лермонтова. (Статья «Патриотизм русских писателей»); с.192–202: «Лермонтов как певец Кавказа»].

1134**Соловьев Е. А.**

Опыт философии русской литературы. Изд. 2-е, СПб., «Знание», 1909, III, 374 [2] стр.

[О Лермонтове см. на стр. 10, 29, 63, 64–67, 75, 156, 208].

1135**Соловьев Е. А.**

Опыт философии русской литературы. Изд. 3-е, М., ГИЗ, 1922. 418 [2] стр.

[О Лермонтове см. на стр. 84, 85, 86, 87–88, 96, 101, 184, 239].

1136**Стариков Д.**

Из полемических заметок. Москва, 1960, № 11, с.208 – 216.

[С.210–213: патриотизм Лермонтова].

1137 (C)**Степанов Михаил [священник]**

Религия русских писателей. (Вып. 4), Религия М.Ю. Лермонтова.

– «Филологические записки», Воронеж, 1915, вып. 2, с.153–186.

[1. Биография М.Ю.Лермонтова; 2. Общий обзор произведений поэта; 3. Библейские мотивы; 4. Мир ангельский и демоны; 5. Молитва; 6. Иноки и обители; 7. Суд божий].

1138**Тойбин И. М.**

О юношеском творчестве Лермонтова. —В кн.: Ученые записки (Курский пед. ин-т). Вып. 32, 1, 1967, с.46 – 91.

[Философские взгляды Лермонтова. Лермонтов и Шеллинг. Лермонтов и Любомудры. Д.В. Веневитинов. Толкование Лермонтовым образа Гамлета. Проб-

лема добра и зла в творчестве Лермонтова].

1139

Уманская М. М.

М.Ю. Лермонтов и проблема романтизма в русской литературе 20-30-х годов XIX века. — В кн.: Научные доклады высш. школы. филол. науки, 1965, № 2, с.27–38.

1140

Уманская Маргарита Михайловна

Лермонтов и романтизм его времени. Ярославль, [Верх.-Волж. кн. изд-во], 1971, 304 стр. (М-во просвещения РСФСР, Яросл. гос. пед. ин-т им. К.Д. Ушинского), список лит. в примеч.: с.290–303.

1141

Уманская М. М.

Романтизм и реализм в литературе 20-30-х годов XIX века. Вопросы метода и стиля. — В кн.: Проблемы русской литературы. Т.1. Ярославль, 1966, с.3–54.

[С.7–36: проблема романтизма и реализма в творчестве Лермонтова].

1142

Усок И. Е.

К слогам о художественном методе М.Ю. Лермонтова. — В кн.: К истории русского романтизма. М., 1973, с.283–302.

1143

Фохт У. Р.

Пути русского реализма. М., «Сов. писатель», 1963, 264 стр.

[С.148–224: Романтизм и реализм в творчестве Лермонтова].

1144

Черепнин Л. В.

Исторические взгляды классиков русской литературы. М., «Мысль», 1968. 348 стр.

[С.57–78: Исторические взгляды М.Ю. Лермонтова].

1145

Шагалов А. Ш.

Проблема историзма в мировоззрении и творчестве М.Ю. Лермонтова. Автореф. дисс. на соиск. учен. степени канд. филол. наук. М., 1971. 23 стр. (Моск. пед. ин-т им. Ленина).

1146 (М)

Шувалов С. В.

Религия Лермонтова. — В кн.: Венок М.Ю. Лермонтову. Юбилейный сборник. М.-Пг., 1914, с.135–164.

1147 (С)

Эйхенбаум Б. М.

Общественно-политические декларации Лермонтова (1838–1841). — В кн.: Ученые записки (Ленинградского гос. ун-та), № 87, Серия гуманитарн. наук, Саратов, 1943, с.152–172.

A - V - ④

1148 (Т)**Абрамович Д. И.**

О стихе Лермонтова. —В кн.: полное собр. соч. М.Ю.Лермонтова. Под ред. Д.И.Абрамовича. Т. V., СПб., Изд. Разряда изящной словесности Имп. Акад. Наук, 1913, с.206 — 209.

1149 (Т)**Абрамович Д. И.**

О языке Лермонтова. —В кн.: Полное собр. соч. М.Ю.Лермонтова. Под ред. Д.И.Абрамовича. Т. V., СПб., Изд. Разряда изящной словесности Имп. Акад. Наук, 1913, с.182 — 206.

1150**Борисова М.Б., Сиротина О.Б.**

К вопросу о роли Лермонтова в истории литературного русского языка. —В кн.: Язык и общество. Саратов, 1967, с.252—266.

1151 (М)**Виноградов В. В.**

Язык Лермонтова. —В кн.: В.В.Виноградов. Очерки по истории русского литературного языка XVII — XIX веков. М., «Учпедгиз», 1938, с.269 — 300. (Изд. 2-е, перераб. и допол.).

1152**Горшков А. И.**

История русского литературного языка. Краткий курс лекций. Изд. 3-е. М., «Высшая школа»,

1965.

[С.169—171: Язык и стиль Лермонтова].

1153**Ефимов А. И.**

История русского литературного языка. Курс лекции. 3-е испр. М., Учпедгиз, 1957. 464 стр.

[С.254—278: Лекция XI. Лермонтов и русский литературный язык].

1154**Киселева Л. Ф.**

Переход к мотивированному повествованию. М.Ю.Лермонтов. —В кн.: Смена литературных стилей. На материале русской литературы XIX — XX веков. М., «Наука», 1974, с.299 — 344. Ин-т мировой лит-ры им. А.М.Горького.

[Приемы мотивирования в «Герое нашего времени» и стих. «Валерик». Сопоставление с Толстым и Тургеневым].

1155**Кузнецова О. Д.**

Диалектизмы у Лермонтова. —В кн.: Вопросы языка и литературы, вып. I, ч. I. Новосибирск, 1966, с.62 — 85.

1156**Макаров С. Я.**

Перифраза как средство синонимической замены слова в произведениях М.Ю.Лермонтова. —В кн.: Язык и стиль произведений

М.Ю. Лермонтова. Пенза, 1969, с.3 — 18.

1157

Нейман Б.

Пушкин и Лермонтов. Из наблюдений над стилем. —В кн.: Пушкин. Сборник статей. М., 1941, с.315 — 348.

1158

Немешайлова А. В.

Элементы синтаксиса разговорной речи в языке художественных произведений первой половины XIX. (Пушкин, Лермонтов, Гоголь) —В кн.: Язык и стиль произведений М.Ю. Лермонтова. Пенза, 1969, с.62 — 77.

1159

Николаева К. А.

Лексика с общественно-политическим значением в произведениях М.Ю. Лермонтова. Автореф. дисс. на соиск. учен. степени канд. филол. наук. М., 1965.

1160

Николаева К. А.

Лексика с общественно-политическим значением в произведениях М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Вопросы общего и русского языкознания. Кишнев, 1964, с.78 — 90. (Кишнев. ун-т).

1161

Николаева К. А.

Литературоведческая лексика в

произведениях М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Учен. зап. Кишнев. ун-та, 1969, т.109, с.74 — 87.

1162

Николаева К. А.

Общественно-политическая лексика в произведениях М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Учен. зап. (Московский пед. ин-т им. В.И. Ленина). № 240, 1964, с.68 — 87.

1163

Петров С. М.

Критический реализм. М., «Современник», 1974. 376 стр. [С.71—77, 290: эволюция стиля Лермонтова].

1164 (М)

Рубанович А.Л., Сердюкова С., Смирнов С., Голумбиевская Л., Маркова С., Швецова Т.

Гл. III. Об эстетической функции некоторых элементов поэтики Лермонтова. —В кн.: Проблемы мировоззрения и мастерства М.Ю. Лермонтова. Иркутск, 1973, с.115 — 167.

[Содерж.: 1. Эпитет, метафора, сравнение в лирике Лермонтова; 2. Сравнение, эпитет как средства психологического анализа в «Демоне»; 3. Цветочная палитра Лермонтова].

1165

Рыньков Л. Н.

Развитие метафорических словосочетаний М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Вопросы современного

русского литературного языка. Лексика, грамматический строй, стилистика. Вып. 2, Челябинск, 1967, с.138–152. (Челябинский пед. ин-т).

1166**Соколов А. Н.**

К вопросу об эволюции романтического стиля М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Сборник статей по языкознанию. Профессору Моск. ун-та академику В.В. Виноградову, М., 1958, с.281 – 295.

1167**Соколов А. Н.**

Наблюдения над стилем Лермонтова.

– «Русский язык в школе», 1941, № 3, май-июнь, стр. 8–13.

[Употребление эпитета в произведениях Лермонтова. Традиция романт. поэм Козлова, Подолинского, преодоление ее в пользу Пушкина. Манера повествования Лермонтова. Отход от лирической манеры к эпической].

1168**Томашевский Б. В.**

Теория литературы. Поэтика. Л., ГИЗ, 1925. 232 стр.

[Примеры из Лермонтова на стр. 63–65, 66, 105, 108, 116, 121, 152, 164, 188, 189, 200–201, 206, 210].

1169**Устинов И. В.**

Очерки по истории русского

языка. Ч. I–2, М., Моск. гос. пед. ин-т им. В.И. Ленина, 1955, (Ученые записки Моск. гос. пед. ин-та им. В.И. Ленина. т.82, вып. 5).

[Ч. 2, § 53, с.223–232: М.Ю. Лермонтов как продолжатель пушкинских языковых традиций на новом этапе].

1170 (М)**Фишер В. М.**

Стиль Лермонтова. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.298 – 308, [Изд. 5-е, допол.].

1171**Чичерин А. В.**

Очерки по истории русского литературного стиля. Повествовательная проза и лирика. М., «Худож. литература», 1977, 447 стр.

[С.101–118: стиль прозы Лермонтова «Вадим», «Княгиня Лиговская», «Герой нашего времени»; с.365–381: стиль и стих лирики Лермонтова].

В- I

1172 (Т)**Абрамович Д. И.**

М.Ю. Лермонтов. Обзор источников для биографии. Материалы для биографии и литературной характеристики. —В кн.: Полное собр. соч. М.Ю. Лермонтова. Под. ред. и с примеч. Д.И. Абрамовича.

Т.У. СПб., Изд. Разряда изящной словесности Имп. Акад. Наук, 1913, с.1 — СХХVIII.

1173 (Т)

Абрамович Д. И.

Хронологическая канва для биографии Лермонтова. —В кн.: Полное собр. соч. М.Ю. Лермонтова. Под ред. и с примеч. Д.И. Абрамовича. Т.У. СПб., Изд. Разряда изящной словесности Имп. Акад. Наук, 1913, с.1 — 25.

1174

Александровский П. [свящ.]

Дело о погребении М.Ю. Лермонтова (Неизданный документ). — «Русское образование», 1895, т.31, № 2, с.841 — 876.

1175

Алексеев М., Гинзбург Л., Григорьян К.

Еще раз об одной досужей выдумке. — «Литературная газета», 1965, 21 янв. № 9.

[По поводу статьи И. Кучерова и В. Стешница «В поисках истины» («Сов. культура», 1965, 9 янв.)].

1176 (Т)

Андреев-Кривич С.

Два распоряжения Николая I. —В кн.: Литературное наследство, № 58, М., 1952, с.411 — 430.

1177

Андреевский А.

Журналы и газеты 1841—1842 гг. о смерти М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Семенов Л.П. Лермонтов на Кавказе. Пятигорск, 1939, с.215 — 219.

1178

Андроников И. Л.

День Лермонтова (попытка воссоздать один день Лермонтова (1835)) —В кн.: И.Л. Андроников. Великая эстафета. Воспоминания. Беседы. М., «Дет. лит.», 1975, с.249 — 254.

1179

Андроников И. Л.

Источник одного недоразумения. К истории последней дуэли Лермонтова. — «Новый мир», 1956, № 3, с.311 — 312.

[Критика мнения В.А. Швенвергера].

1180

Андроников И. Л.

Лермонтов в салоне Карамзинных. —В кн.: И.Л. Андроников. Великая эстафета. Воспоминания. Беседы. М., «Дет. лит.», 1975, с.246 — 248.

1181 (К)

Андроников И. Л.

Направление поиска. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.153 — 170.

1182

Андроников И. Л.

Неизвестное письмо М.Ю. Лермонтова.

— «Огонек». М., 1942, № 42, с.15 — 16.

1183

Антокольский П. Г.

В тот день, в ту ночь. —В кн.: П.Г. Антокольский. Пути поэтов. Очерки. М., «Сов. писатель», 1975, с.190 — 200.

1184

Антокольский П. Г.

Казнь Мартынова. —В кн.: П.Г. Антокольский. Пути поэтов. Очерки. М., «Сов. писатель», 1975, с.208 — 220.

1185

Апухтин В.

Архивные материалы об увековечении памяти Лермонтова на К.М.В. По данным Арх. упр. К.М.В. —В кн.: Пятигорье — Лермонтову. Лит. сб., посвящ. памяти М.Ю. Лермонтова. Пятигорск, 1923, с.66 — 72.

1186

Арсеньев В. С.

К столетию со дня рождения М.Ю. Лермонтова. 1814—2 октября —1914.

[Документы к родословной Лермонтовых и родственников им семейства Виолевых и Арсеньевых (Из дел Тульского Дворянского Депутатского собрания и архива В.С. Арсеньева)].

1187

Апухтин В.

Новейшие сведения о последних днях пребывания М.Ю. Лермонтова на Кавказских минеральных водах. По новооткрытым документам Арх. упр. К.М.В. Сведения о билетах на ванны, взятых Лермонтовым летом 1841 г. —В кн.: Пятигорье — Лермонтову. Лит. сб., посвящ. памяти М.Ю. Лермонтова. Пятигорск, 1923, с.58 — 65.

1188

Ашукина М.

Был ли Лермонтов у гроба Пушкина?
—«Литартурная Россия». 1964, § 43, 16 окт., с.10 — 11.

1189

Барсуков А.

Распоряжение о переведении тела Лермонтова из Пятигорска в село Тарханы Пензенской губернии Чембарского уезда. Отношение министра внутренних дел Л.А. Перовского Пензенскому губернатору А.А. Панчулизеву от 21 января 1842 г.

—«Русский архив», М., 1896, т.І. № 4, с.496.

1190

Бартенев П. И.

Заметка о новых материалах о дуэли М.Ю. Лермонтова.

— «Русский архив». 1872, № 2, столб. 446.

1191**Бартенев П.** [примеч.]

Письмо двух секундантов (Глебова и князя А.И. Васильчикова) к Н.С. Мартынову.

— «Русский архив». М., 1885, кн. I. № 3, К делу о смертном поединке Лермонтова, с.461—462.

1192 (М)**Бенкендорф А. Х.**

Докладная записка о стихотворении Лермонтова «Смерть Поэта» с резолюцией Николая I. — В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современника, М., «Худож. лит.», 1972, с.393.

1193 (М)**Богданова О. Э.**

Архивные материалы о П.И. Петрове — родственнике М.Ю. Лермонтова. — В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1960, с.271 — 287.

1194**Бродский Н. Л.**

Дуэль и смерть Лермонтова в откликах современников.

— «Литературный критик». 1939, № 10—11, с.244 — 251.

1195 (Т)**Бродский Н.**

Лермонтов и Белинский на Кавказе в 1837 году. — В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с.730 — 740.

1196

Бумаги о поединке Мартынова с Лермонтовым.

— «Русский архив», М., 1893, № 8, с.595 — 606.

1197 (С) (М)**Бурцев Василий Львович**

Кружок шестнадцати.

— «Исторический вестник», СПб, 1895, т.LXII, окт. с.174—182. [В конце статьи: Н. Викторов].

1198 (М)**Быков**

Литературная деятельность Лермонтова во времена его пребывания в университете. — В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения М., 1916, с.17 — 18, [Изд. 5-е, допол.].

1199**Ваксберг А. И.**

Уравнение с двадцатью неизвестными.

— «Знание — сила», 1963, № 7, с.36 — 39.

[С.39: криминалистическое исследование обстоятельств дуэли Лермонтова].

1200**Вацуро В. Э.**

Новые материалы о дуэли и смерти Лермонтова. Письмо А.С. Траскина к П.Х. Граббе. [1841 г. С публикацией текста письма].

— «Русская литература», 1974, № 1, с.115 — 125.

1201 (M)**Введенский**

Ссылка Лермонтова на Кавказ, его пребывание там и возвращение. — В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.37 — 42, [Изд. 5-е, допол.]

1202**Веренгурин Н.**

Поручик Тенгинского полка. — «Кубань», 1976, № 9, с.102—111.
[Лермонтов на Кавказе в 1837 и 1840—1841 гг.]

1203**Вещи Лермонтова.**

Пушкинский дом при Российской Академии наук. Исторический очерк и путеводитель. Л., 1924.

1204**Висковатый П. А.**

Лермонтов на смерть А.С. Пушкина. По подлинным документам.
— «Вестник Европы», 1887, № 1, с.329 — 347.

1205**Висковатый П.**

Пребывание М.Ю. Лермонтова в школе гвардейских юнкеров.
— «Русская мысль», 1884, кн. 7, с.44 — 68.

1206 (K)**Владимирова Н. Л.**

Книга из библиотеки Лермонтова. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.426 — 428.

1207 (T)**Вырыпаев П.**

Лермонтов и крестьяне (по материалам архивов пензенской области). — В кн.: Литературное наследство, № 58, М., 1952, с.441 — 448.

1208 (T)**Герштейн Э.**

Дуэль Лермонтова с Барантом. — В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с.389 — 432.

1209 (M)**Герштейн Э. Г.**

Лермонтов и «кружок шестнадцати». — В кн.: Жизнь и творчество М.Ю. Лермонтова. Сб. 1-й. Исследования и материалы. М., Гос. Изд-во худож. лит-ры, 1941, с.77 — 124. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

1210 (M)**Герштейн Э. Г.**

Некоторые данные об А.И. Васильчикове — В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов. Ставрополь, Ставроп. кн. изд-во, 1960, с.291 — 292.

1211 (M)**Герштейн Э. Г.**

Николай I и А.А. Столыпин (Монго). —В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1960, с.288 — 290.

1212 (T)**Герштейн Э.**

Новое о дуэли и смерти Лермонтова. I. Лермонтов и семейство Мартыновых. —В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с.691 — 706.

1213**Герштейн Э.**

Новый Лермонтов. Новые материалы о жизни и творчестве М.Ю. Лермонтова в исследованиях советских литературоведов.

— «Библиотекарь», 1964, № 10, с.21 — 25.

1214**Герштейн Э.**

Подменные пистолеты. Новое о гибели М.Ю. Лермонтова.

— «Огонек», 1960, № 30, с.30 — 31.

1215 (M)**Герштейн Э. Г.**

Секретные сведения о Лермонтове. —В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1960, с.178 — 180.

1216

Дело о второй дуэли Михаила Юрьевича Лермонтова (писателя). —В кн.: Русские уголовные процессы. Изд. А. Любавского. т.2, СПб., 1867. с.40 — 44.

1217

Дело о первой дуэли Михаила Юрьевича Лермонтова (писателя). —В кн.: Русские уголовные процессы. Изд. А. Любавского. т.1, СПб., 1866, с.556 — 560.

1218**Дивов П. Г.**

Петербург в 1840—1841 г.г. (По дневнику П.Г. Дивова. 1840 год).

— «Русская старина». СПб., 1902. т.112, № 11, с.387 — 401. [С.392: о дуэли с Барантом].

1219**Дудышкин С.**

Ученические тетради Лермонтова. Статья 1—2.

— «Отечественные записки», 1859, т.СХХV, № 7, отд. I. с.1—62, т.СХХVII, № 11, отд. I. с.245 — 270.

1220**Дудышкин С. С.**

Материалы для биографий и литературной оценки Лермонтова. —В кн.: Лермонтов М.Ю. Сочинения Лермонтова. Изд. 2-е. Сверен с рукопис., испр. и доп. т.1—2, СПб., 1863, т.2, с.I — XLIX.

1221 (К)**Заборов П. Р.** [публикация]

Из «общей тетради» Лермонтова (1929). Конспект «Лекций исторических». — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.309 — 322.

1222**Забонова Р. Б.**

Материалы о М.Ю. Лермонтове в фонде В.Ф. Одоевского. — В кн.: Труды [Публичная б-ка им. Салтыкова-Щедрина]. т.5, 1958, с.185 — 199.

1223**Завадовская Е.М., Гладыш И.А. и Динесман Т. Г.**

Архив А.М. Верещагиной. — В кн.: Записки отдела рукописей. (Гос. Библиотека СССР им. В.И. Ленина). Вып. 26, М., 1963, с.34—62.

1224**Иванов С. В.**

Хронологическая канва жизни и творчества М.Ю. Лермонтова. — В кн.: С.В. Иванов. Лермонтов. М., «Молодая гвардия», 1938, с.317 — 328.

1225 (М)**Из бумаг Лермонтова.**

— В кн.: Сочинения М.Ю. Лермонтова. Под ред. П.В. Быкова. Т.1. СПб., Изд. С. Добродеева, 1891, с.LXX — LXXII.

1226**Ильяшенков**

Дело о погребении М.Ю. Лермонтова. (Неизданный документ). — «Русское обозрение», 1895, т.31, № 2, с.841 — 876.

1227**Кандиев Б. И.**

Новые материалы о дуэли и гибели М.Ю. Лермонтова. (Публикация архивных документов). — В кн.: Учен. зап. Сев.-Осет. гос. пед. ин-та им. К.Л. Хетагурова. т.XVIII. Джауджинау, 1949, с.116—125.

1228 (Т)**Каплан Леонид** [публикация]

Новое о дуэли и смерти Лермонтова. Ш. А.Я. Булгаков о дуэли и смерти Лермонтова. — В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с.707 — 714.

1229 (М)**К вопросу о дуэли и смерти М.Ю. Лермонтова.**

— В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов. Ставрополь, Ставро. кн. изд-во, 1960, с.313 — 314.

[Критическое мнение специальной комиссии при ин-те рус. лит. АН СССР по поводу статьи В.А. Швембергера «Трагедия у Перкальской скалы».]

1230 (M)

К делу о дуэли с Барантом

—В кн.: Сочинения М.Ю. Лермонтова под ред. П.В. Быкова. Т.1. СПб., Изд. С.Добродеева, 1891, с.LXIV – LXIX.

1231 (M)

К делу о стихах на смерть Пушкина.

—В кн.: Сочинения М.Ю. Лермонтова под ред. П.В. Быкова. Т.1. СПб., Изд. С.Добродеева, 1891, с.LXI – LXIII.

1232

Кельин Ф.

Изучение международных связей.

— «Иностранная литература», 1964, № 12, с.268 – 269.

[Сведение о существовании письма Лермонтова в Испанскую академию наук с целью установить свое родство с герцогом Лерма].

1233

Козубский С.

К биографии М.Ю. Лермонтова.

— «Русский архив». М., 1901, кн. 1-я (3-я?), с.505 – 512.

[Извлечение из книги Раковича. Тенгенский полк на Кавказе. 1819–1846. Тифлис, 1900].

1234 (M)

Корф М. А.

Из дневника. —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.230 – 231.

1235 (C)

Кучеров И., Стешиц В.

И все же ... дуэль или убийство? Неман, 1968, № 6, с.172 – 185.

[Развивается версия преднамеренного убийства Лермонтова.

Подробно о месте дуэли. Возрождение Л.И.Тарасюку и М.Г.Любарскому].

1236

Кучеров И., Стешиц В.

К вопросу об обстоятельствах убийства М.Ю. Лермонтова.

— «Русская литература», 1966, № 2, с.90 – 104.

[Содерж.: К вопросу о заговоре против поэта; Был ли поединок с Мартыновым?; Рана М.Ю. Лермонтова и ее оценка; Пистолет или ружье?].

1237

Латышев С.Б., Мануйлов В.А.

Как погиб Лермонтов. (Ответ И.Д. Кучерову и В.И. Спещицу).

— «Русская литература», 1966, № 2, с.105 – 128.

1238

Лебединец Г. С.

Михаил Юрьевич Лермонтов в битвах с черкесами в 1840 году.

— «Русская старина», СПб., 1891, т.71, август, с.355 – 368.

1239 (C)

Левин В. И.

Дуэль Лермонтова. Еще одна гипотеза. —В кн.: Литература и

ты. Вып. 4. М., «Молод. гвардия», 1970, с.205 – 220.

[Предположение о желании Лермонтова исследовать психологию Мартынова с помощью дуэли].

1240 (Т)

Левит Т.

Литературная среда Лермонтова в Московском благородном пансионе. —В кн.: Литературное наследство, № 45–46, М., 1948, с.225 – 254.

1241 (М)

Летопись жизни и творчества.

—В кн.: М.Ю.Лермонтов. Собрание сочинений в 6-ти томах. Т.6. М.-Л., Изд-во Акад. Наук СССР, 1957, с.779 – 875.

1242

Любарский М.Г., Санов В.И.

Немые свидетели. Рассказы о криминалистике. М., «Молод. гвардия», 1970. 224 стр. («Эврика»)

[С.166–180: Смерть Лермонтова. Анализ данных о ходе дуэли и ране Лермонтова].

1243

Мадритов Василий [дьякон]

Дело о погребении М.Ю. Лермонтова. Неизданный документ. — «Русское обозрение», 1895, т.31, № 2, с.841 – 876.

1244 (М)

Майский Ф.

Новые материалы к биографии М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Жизнь и творчество М.Ю. Лермонтова. Сб. 1-й. Исследования и материалы. М., Гос. Изд-во худож. лит-ры, 1941, с.533 – 543. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

1245 (К)

Мануйлов В. А.

Запись о Гете в школьной тетради Лермонтова. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.370 – 372.

1246

Мануйлов В. А.

Летопись жизни и творчества [М.Ю. Лермонтова]. —В кн.: Лермонтов М.Ю. Сочинения. В 6-ти томах. Т.6. М.-Л., 1957, с.777 – 875.

1247 (С)

Мануйлов В. А.

Летопись жизни и творчества М.Ю. Лермонтова. М.-Л., «Наука», 1964. 198 стр. (АН СССР. Ин-т рус. лит.).

1248 (Т)

Мануйлов В. [публикация]

Новое о дуэли и смерти Лермонтова. IV. Отклик современника на смерть Лермонтова. —В кн.: Литературное наследство, № 45–46, М., 1948, с.719 – 724.

1249 (Т)**Мануйлов В.** [публикация]

Новые материалы об Е.А. Арсеньевой. 1. Бумаги Е.А. Арсеньевой в Пензенском государственном архиве. —В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с.625 — 640.

1250**Мануйлов В. А.**

Новые материалы об участии М.Ю. Лермонтова в войне на Кавказе в 1840 году. (По воспоминаниям К.Х. Мамацева). —В кн.: Труды ленингр. гос. библиотечного ин-та им. Н.К. Крупской, т.2, 1957, с.239 — 249.

1251 (Т)**Мануйлов В. и Михайлова, А.**

Новые письма Лермонтова. —В кн.: Литературное наследство, № 19—21, М., 1935, с.510—516.

1252 (Т)**Мануйлов В.**

Утраченные письма Лермонтова. —В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с.33—54.

1253 (М)**Мартынов Н. С.**

Отрывки из автобиографических записок. Моя исповедь. —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.396 — 401.

1254**Мартынов Н. С.**

Прощение Н.С. Мартынова в святаейший Правительствующий Синод, на Высочайшее имя. — «Русский архив», М., 1893, № 8, с.605 — 606.

1255**Мартьянов П. К.**

Как был погребен поэт М.Ю. Лермонтов. —В кн.: Мартьянов П.К. «Дела и люди века», т.3, СПб., 1896, с.28 — 42.

1256**Михайлов М. С.**

К вопросу о занятиях М.Ю. Лермонтова «татарским» языком. —В кн.: Тюркологический сборник. I, М.-Л., 1951, с.127 — 135. [Лермонтов изучал азербайджанский яз., который называл «татарским»].

1257 (Т)**Михайлова А.**

Вокруг Лермонтова. III. Альбом Г.Н. Оленина. —В кн.: Литературное наследство, № 58, М., 1952, с.482 — 485.

1258 (Т)**Михайлова А.**

Вокруг Лермонтова. V. Новонайденное письмо о дуэли и смерти Лермонтова. —В кн.: Литературное наследство, № 58, М., 1952, с.487 — 492.

1259**Михайлова А.**

Детский учебник Лермонтова. Хочу все знать. Научно-популярный альманах. 1957, Л., Детгиз, 1957, с.264 — 269.

[В 1949 году была обнаружена принадлежавшая Лермонтову книга с его надписями (Зрелища Вселенные на франц., рус. и нем. яз. СПб., 1793)].

1260 (Т)**Михайлова А.** [публикация]

Лермонтов и его родня по документам архива А.И.Филосова. —В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с.661—690.

1261 (Т)**Михайлова А.** [публикация]

Неизданные письма Лермонтова. Ш. Письмо к А.И.Филосову. —В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., с.30 — 32.

1262 (Т)**Модзалевский Л.** [публикация]

Неизданные письма Лермонтова. I. Письмо к А.М.Гедеонову. —В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с.23 — 25.

1263**Молчанов В. И.**

О ранении и смерти М.Ю.Лермонтова. —В кн.: Судебно-медицинская экспертиза и криминалистика на службе следствия. Вып. 5, Ставрополь, 1967, с.501—503.

1264 (М)**Морозова Г. В.**

Встречи Лермонтова с декабристами на Кавказе. —В кн.: Жизнь и творчество. М.Ю.Лермонтова. Сб. 1-й. Исследования и материалы. М., Гос. Изд-во худож. лит-ры, 1941, с.617 — 632. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

1265 (К)**Назарова Л. Н.**

Лермонтов в отряде генерала А.В.Галафеева в 1840 г. (об одном рисунке из альбома П.А.Урусова). —В кн.: М.Ю.Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.415 — 419.

1266**Нарцов А. Н.**

Материалы для истории дворянских родов Мартыновых и Слепцовых с их ветвями ... Тамбов, 1904. XII, IV, 460, 88, III стр.

[Содерж.: ч. 1. Родословные. I. Мартыновы ... ч. 2. Прилож.: 1. Родословная Мартыновых ... 6. Сочинения Н.С.Мартынова. 7. История дуэли М.Ю.Лермонтова].

1267**Недумов С. И.**

О дуэли М.Ю.Лермонтова с Мартыновым. —В кн.: Лермонтов Временник ... Пятигорск, 1947, [Вып.] I, с.5 — 10.

[Прилож. — с.11—23: новые документы о дуэли М.Ю.Лермонтова с Мартыновым, обнаруженные в Госархиве Саратовского края].

1268**Николай I.**

Рапорт начальника штаба Отдельного кавказского корпуса [генерал-майора Коцебу] командующему войсками на кавказской линии и в Черномории, генерал-адъютанту и Кавалеру Граббе от 18 августа 1841 года № 1391, г. Тифлис.

— «Русский архив», М., 1911, кн.3, с.159.

[О запрещении Николая I. «удалять [Лермонтова] от фронтовой службы в своем полку»].

1269**Николева М. Ф.**

Дата приезда Лермонтова в Пятигорск в 1841 г. —В кн.: Лермонтов. Временник. Пятигорск 1947, [Вып.] 1. с.68 — 69.

1270**Никольский В. В.**

Предки М.Ю. Лермонтова.

— «Русская старина», 1873, т.VII, кн. IV, с.547—566.

[Содерж.: I. Русские акты о предках поэта. 1626—1703 г.г.; II. Шотландские известия о родоначальнике Лермонтовых 1061 г.; III. Томас Лермонт — шотландский бард, 1286 г.; IV. М.Ю. Лермонтов — шотландец.

Приложение: I. Указ об отставке Ю.П. Лермонтова (Отца поэта). Сообщ. В.В. Никольский; II. Заметки и поправки к статье М.Н. Лонгинова о Лермонтове («Русская

старина», 1873 г. Т.VII, с.380 — 392)].

1271 (Т)**Оксман Ю.** [Публикация, введение и примечания]

Лермонтов в записках А.И. Арнольди. 1. Лермонтов в лейб-гвардии Гродненском гусарском полку в 1837—1838 гг. —2. Лермонтов в Пятигорске в 1841 г. —В кн.: Литературное наследство, № 58, М., 1952, с.449 — 476.

1272 (Т)**Пахомов Н.** [публикация]

Неизданные письма Лермонтова. II. Письмо к А.И. Тургеневу. —В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с.26 — 30.

1273**Пирожков**

Письмо доктора Пирожкова из Ярославля.

— «Нива», 1885, № 20, Еще о дуэли Лермонтова. с.474.

1274**Платонов Б. Е.**

Лермонтов и кружок шестнадцати. Аспирант Б.Е. Платонов. —В кн.: Ленингр. гос. пед. ин-т им. А.И. Герцена. Ученые записки. т.81, Л., 1949, с.131 — 161.

[Статья представляет собой переработанный доклад, сделанный в спецсеминаре по Лермонтову в 1946—47 г.].

1275

Платонов С. Ф.

Новый документ о кончине Лермонтова.

— «Вестник знания», Л., 1928. февраль, № 3, с.130 — 131.

[Письмо А.И. Васильчикова к Ю.К. Арсеньеву от 30 июля 1841. Пятигорск].

1276

Польская Е.

Подлинное место дуэли Лермонтова.

— «Дон», 1958, № 9, с.196—198.

[Сотрудник «Домика Лермонтова» С.И. Недумов на основании изучения документов установил подлинное место последней дуэли Лермонтова].

1277 (M)

Попов А. В.

Дуэль и смерть. —В кн.: А.В. Попов. Лермонтов на Кавказе. Гл. Гибель поэта. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1954, с.179—186.

1278

Попов А. В.

Дуэль и смерть Лермонтова. Ставрополь, кн. изд-во, 1959, 48 стр.

1279 (M)

Попов А. В.

Из Тамани снова в Ставрополь. —В кн.: А.В. Попов. М.Ю. Лермонтов в первой ссылке. —Труды Ставроп. пед. ин-та, 1949, вып. III. с.79 — 83.

1280 (M)

Попов А. В.

Лермонтовская команда. —В кн.: А.В. Попов. Лермонтов на Кавказе. Гл. Во второй ссылке. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1954, с.153 — 161.

1281

Попов А. В.

М.Ю. Лермонтов в команде Руфина Дорохова. Глава из монографии «М.Ю. Лермонтов на Кавказе». —В кн.: Ученые записки (Ставроп. гос. пед. ин-т), Т. VII, 1951, с.167 — 179.

1282 (M)

Попов А. В.

Находка Г.Н. Прозрителева. —В кн.: А.В. Попов. Лермонтов на Кавказе. Гл. Дело о погреблении наповал убитого поручика Лермонтова. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1954, с.195 — 199.

1283 (M)

Попов А. В.

Опять на Кавказе. —В кн.: А.В. Попов. Лермонтов на Кавказе. Гл. Гибель поэта. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1954, с.171—179.

1284 (M)

Попов А. В.

Снова на милый север... —В кн.: А.В. Попов. Лермонтов на Кавказе. Гл. во второй ссылке. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1954, с.162 — 168.

1285 (M)**Попов А. В.**

«Спеша на север из далека...».
—В кн.: А.В. Попов. Лермонтов на Кавказе. Гл. В первой ссылке. Ставрополь, Ставро. кн. изд-во, 1954, с.126 – 130.

1286 (M)**Попов А. В.**

«Суд скорый и милостивый».
—В кн.: А.В. Попов. Лермонтов на Кавказе. Гл. Гибель поэта. Ставрополь, Ставро. кн. изд-во, 1954, с.186 – 191.

1287 (M)**Попов А. В.**

Хронологическая канва кавказской биографии М.Ю. Лермонтова.
—В кн.: А.В. Попов. Лермонтов на Кавказе. Ставрополь, Ставро. кн. изд-во, 1954, с.213 – 220.

1288 (M)**Попов А. В.**

Хронологическая канва пребывания М.Ю. Лермонтова на Кавказе во время первой ссылки. —В кн.: А.В. Попов. М.Ю. Лермонтов в первой ссылке. —Труды Ставроп. пед. ин-та, 1949, вып. III. с.108 – 110.

1289**Потто В.**

Исторический очерк Николаевского кавалерийского училища. Школа гвардейских подпрапорщиков и кавалерийских юнкеров. 1823–1873. СПб., (Тип. 2-го отд.

собств. с. и. в. Нанц.). 1873. [2], VIII, 344, [4], 326 [4] стр.
[С.106–107 о Лермонтове].

1290**Прокопенко Л.**

Неизвестная страница биографии Лермонтова. —В альм.: Земля родная, № 17, 1957, с.26 – 27.

[В 1830 году Лермонтов был на свадьбе у Афанасии Алексеевны Столыпной в Лесной Нееловне Саратовской губернии, где встретился с Денисом Давыдовым].

1291 (M)**Прокопенко Л. И.**

Поездки Лермонтова в Петербург в 1838 году. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Вопросы жизни и творчества. Под ред. А.Н. Соколова и Д.А. Гиреева. Орджоникидзе, Сев.-Осет. кн. изд-во, 1963, с.202 – 205.

1292**Раевский Н. П.**

Рассказ Раевского о дуэли Лермонтова. Записано В. Желиховской. — «Нива», СПб., 1885, № 7, с.166 – 170, № 8, с.186 – 190.

1293**Ракович Д. В.**

Тенгинский полк на Кавказе. 1819–1846. Правый фланг. Персия. Черноморская береговая линия. Юбилейный выпуск. Под ред. ин-майора Потто. Тифлис, 1900. XX, 395, 80 стр. с карт. и илл.

[С.236–253: Лермонтов во второй ссылке. Прилож.: с.27–35: формулярный список Лермонтова. 4-го дек. 1840 г. — Два наградных списка. — Рапорт Лермонтова командиру полка Хлюпину. — Свидетельство о здоровье Лермонтова. — Рапорт Ильященкова ген.-адъютанту Граббе о гибели Лермонтова].

1294 (M)**Рощановский**

Показания. — В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.352 — 353.

1295**Русские уголовные процессы.**

Издание А. Любавского, 1866–1867. 2 тома.

Т.1 1866, [4], IV, 690 стр.

Т.2 1867, [4] 556, IV стр.

[Дело о 1-й и 2-й дуэли Лермонтова: Т.1. с.556–560, Т.2. с.40–44].

1296 (M)**Семенов Л.**

Какие языки знал и изучал Лермонтов? — В кн.: Л. Семенов. М.Ю. Лермонтов. Статьи и заметки. I. М., 1915, с.252 — 260.

1297**Сердцев Н.**

Правда о дуэли Лермонтова. — газ. «Северо-Кавказский большевик». Пятигорск, 1935 г. за 3, 4, 5, 6, 8, 9, 10, 11, 14 авг. № 179, 180, 181, 182, 183, 184, 185, 186, 188.

1298**Слащев Е.**

Об одной версии гибели М.Ю. Лермонтова.

— «Литературный Киргизстан», 1959, № 4, с.110 — 119.

[Ответ на статью В.А. Швамбенгера «Трагедия у Перкальской скалы»].

1299 (T)**Смотров В.** [публикация]

Новое о дуэли и смерти Лермонтова. III. Письмо Н. Молчанова к В.В. Пассеку о последних днях и гибели Лермонтова. — В кн.: Литературное наследство, № 45–46, М., 1948, с.715 — 718.

1300**Смысловский В.**

Воспоминание о пребывании М.Ю. Лермонтова в Орловской губ. Историческая справка В. Смысловского. Орел, тип. А.А. Логунова, 1909, 13 стр.

[Пребывание Лермонтова в Мишкове определяется приблизительно апреля 1841 г.].

1301 (M)**Сторожев В. Н.**

Родоначальник русской ветви Лермонтовых. (Речь, читанная в годовичном заседании имп. общества Истории и Древностей Русских при Московском Университете 18-го марта 1894 года). М., тип. И.Д. Сытина, 1894, 34 стр.

[Оттиск из журн. «Книговедение», М., 1894, № 5, 6, 7–8].

1302

Филатова Г. В.

Об эпистолярном наследии М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Проблемы литературы и эстетики. Сб. статей, посвященный памяти проф. Л.П. Семенова. Орджоникидзе, 1976, с.86 — 99. (Сев.-Осет. гос. ун-т им. Хетагурова).

1303

Чалов Евграф

Показания Евграфа Чалова и Ивана Чухнина, данные 11 сентября 1881 года в Комиссии по определению места дуэли поэта М.Ю. Лермонтова близ Пятигорска.

— «Русская старина», СПб., 1882, янв. с.261 — 262.

1304

Швембергер В. А.

Трагедия у Перкальской скалы. [По поводу уточнения места и обстоятельств гибели М.Ю. Лермонтова]. (По следам нар. молвы).

— «Литературный Киргизстан», 1957, № 2, с.102 — 115.

1305

Шевляков М. В.

Первая дуэль поэта Лермонтова.

— «Шевляков М. В. Недалекое прошедшее и близкое настоящее. Изд. 2-е, доп. СПб., 1908, с.41—43.

1306

Шевляков М. В.

Вторая дуэль Лермонтова. —В

кн.: Шевляков М.В. Недалекое прошедшее и близкое настоящее. Изд. 2-е, доп. СПб., 1908, с.43—47.

1307

Шиловцев С. П.

Рана Лермонтова. —В кн.: Вопросы хирургии войны и абдоминальной хирургии. Сборник, посвященный пятидесятилетию проф. Е.Л. Березова. 1895—1945, Гразный, 1946, с.68 — 74.

1308 (Т)

Эйхенбаум Б. М.

Николай I о Лермонтове. —В кн.: Б. Эйхенбаум. О прозе. Сб. статей. Л., «Худож. лит.» Ленингр. отд-ние, 1969, с.423 — 426.

1309

Юдин В. Н.

Дополнение к известному. А.С. Пушкин, М.Ю. Лермонтов, Л.Н. Толстой, А.М. Горький, А.С. Серафимович. Малоизвестные и забытые страницы жизни и творчества. Волгоград, Нижне-Волж. кн. изд-во, 1976.

[С.32 — 42: из родословной Лермонтова].

1310

Яковкина Е. И.

Летопись жизни и творчества М.Ю. Лермонтова. Пятигорск, тип. изд-во «Молот» в Ростов н/Д, 1947. 32 стр.

1311

Яковкина Е. И.

Участники интриги. К 150-летию со дня рождения М.Ю.Лермонтова.

— «Ставрополье», 1964, № 3, с.48 — 51.

[Лица, замещанные в истории последней дуэли Лермонтова].

В- II - α

1312 (M)

Аксаков С. Т.

Из «Истории моего знакомства с Гоголем». —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.250 — 251.

1313 (M)

Анненков И. В.

Несколько слов о старой Школе гвардейских подпрапорщиков и юнкеров. 1831 год. —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.114 — 121.

1314 (M)

Анненкова В. И.

Из воспоминаний. —В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.122 — 124.

1315 (M)

Арапова А. В.

Н.Н. Пушкина-Ланская. —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М.,

«Худож. лит.», 1972, с.265 — 267.

1316 (M)

Арнольди А. И.

Из записок. —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.210 — 227.

1317

Арсеньев И. А.

Слово живое о неживых. Из моих воспоминаний.

— «Исторический вестник». СПб., 1887, февр. с.345 — 365. [С.353 — 354: О Лермонтове].

1318 (M)

Бакунина Т. А.

Из письма к Н.А. Бакунину. —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.357.

1319 (M)

Боборыкин В. В.

Три встречи с М.Ю. Лермонтовым. —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.139 — 142.

1320 (M)

Боденштедт Фр.

Из послесловия к переводу стихотворений Лермонтова. Воспоминания из моей жизни. —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.287 — 294.

1321 (M)**Браницкий К. Б.**

Из предисловия к книге «Славянские нации». — В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.248 – 249.

1322 (M)**Булгаков А. Я.**

Из дневника. Из письма к П.А. Вяземскому. — В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.358 – 360.

1323 (M)**Бурнашев В. П.**

Михаил Юрьевич Лермонтов в рассказах его гвардейских однокашников. — В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.169 – 194.

1324 (M)**Быховец Е. Г.**

Из письма. — В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.346 – 348.

1325 (M)**Васильчиков А. И.**

Письмо к Ю.К. Арсеньеву. Несколько слов о кончине М.Ю. Лермонтова и о дуэли его с Н.С. Мартыновым. Несколько слов в оправдание Лермонтова от нареканий г. Маркевича. — В кн.: М.Ю.

Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.363 – 372.

1326 (M)**Вистенгов П. Ф.**

Из моих воспоминаний. — В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.103 – 108.

1327 (M)**Вяземский П. П.**

Из воспоминаний. — В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.264.

1328 (M)**Вяземский П. А.**

Из письма к А.Я. Булгакову. Из «Записной книжки». — В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.361 – 362.

1329**Вяземский П. П.**

Лермонтов и г-жа Гоммер де-Гелль в 1840 году. — В кн.: Вяземский П.П. Собр. соч. 1876 – 1887. СПб., 1893, с.625 – 644.

1330**Гайзенерн Е.**

Отзвуки современника о Лермонтове.

— «Вестник Европы». СПб., 1914, № 3, с.390 – 393.

1331 (M)**Герцен А. И.**

Из книги «Былое и думы».
—В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.98 — 102.

1332 (K)**Данилова Э. В., Мануйлов В. А. и Назарова Л. Н.** [публикация]

Письма С.Н. Карамзиной к Е.Н. Мещерской о Лермонтове. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.343 — 369.

1333 (M)**Дружинин А. В.**

Из статьи «Сочинения Лермонтова». —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.375 — 385.

1334 (M)**Есаков А. Д.**

Михаил Юрьевич Лермонтов. —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.255 — 256.

1335 (M)**Эабелла И. П.**

Из моих воспоминаний. —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.272 — 279.

1336 (M)**Зиновьев А. З.**

Воспоминания о Лермонтове. —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.72 — 75.

1337 (M)**Корсаков А.**

Заметка о Лермонтове. —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.65 — 67.

1338 (M)**Костенецкий Я. И.**

Из воспоминаний. —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.261 — 263.

1339 (M)**Краевский А. А.**

Воспоминания (В пересказе П.А. Висковатова). —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.239 — 240.

1340 (M)**Красов В. И.**

Из письма к А.А. Краевскому. —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.295.

1341 (M)**Лобанов-Ростовский М. Б.**

Из записок. —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современ-

менников, М., «Худож. лит.», 1972, с.246 — 247.

1342 (М)

Лонгинов М. Н.

Заметки о Лермонтове. —В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.149 — 158.

1343

Лонгинов М. Н.

Заметки о Лермонтове и о некоторых его современниках.

—«Русская старина», 1873, т. 7, № 3, с.380 — 392.

[С.384: персонаж из поэмы «Монго»].

1344 (М)

Лопухин А. А.

Письмо к А.А.Бильдерлингу. —В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.147 — 148.

1345 (М)

Лорер Н. И.

Из Записок декабриста. —В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.323 — 333.

1346 (М)

Магденко П. И.

Воспоминания о Лермонтове. —В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.301 — 305.

1347 (М)

Мамацев К. К.

Из воспоминаний (В пересказе В.А.Потто). —В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.257 — 260.

1348

Мануйлов В. А.

Лермонтов в воспоминаниях современников. Сборник. Пенза. Кн. изд-во, 1960, 374 стр.

1349

Мартынов Н. С.

Записка Мартынова к Глебову (из тюрьмы). —В кн.: Нарцов А. Н. Материалы для истории Тамбовского, Пензенского и Саратовского дворянства. Т. I, Тамбов, 1940, ч. 2, Прилож. 7, История дуэли М.Ю.Лермонтова с Н.С. Мартыновым, с.165.

1350

Мартынов Н. С.

Отрывки его автобиографических записок.

—«Русский архив», М., 1893, № 8, с.585 — 595.

[Содерж.: 2. Моя исповедь. Экспедиция действующего кавказского отряда за Кубанью в 1837 году, под начальством ген-лейтенанта Вельяминова].

1351

Мартынов Н. С.

Письмо Мартынова к Глебову.

Пятигорск, 8-го августа 1841 года.

—«Русский архив», М., 1893, № 8, с.601.

1352

Мартынов Н. С.

Письмо Н. С.Мартынова к отцу своему. Екатеринодар, 5 октября [1837].

—«Русский архив», М., 1893, № 8, с.606 — 607.

[С.607 — 608: Примечание П.Б. [П.Бартенева] к письму].

1353

Мартынов Н. С.

Письмо к М.И.Семевскому от 30 ноября 1869 г.

—«Русское обозрение», М., 1869, т. 49, январь, Мартынов Н. С. История дуэли М.Ю. Лермонтова с Н.С. Мартыновым, с.313 — 314.

1354 (М)

Мартынов Н. С.

Письмо Н.С.Мартынова [к М. И.Семевскому]. 30 ноября 1869 г. —В кн.: Хвостова Е. А. Записки. 2 изд., доп. СПб., 1870, с.257 — 258.

1355

Меринский А.

Воспоминание о Лермонтове. —В кн.: Лермонтов М.Ю. — Иллюстр. полное собр. сочинений. Ред. В.В. Каллаша. М., «Печатник», 1915, Т. VI, Воспоминания, с.71 — 82.

1356 (М)

Мельков М. Е.

Заметки и воспоминания художника-живописца. —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.68 — 71.

1357 (М)

Межевич В. С.

Из статьи о стихотворениях Лермонтова. —В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.80 — 81.

1358 (М)

Милютин Л. А.

Из воспоминаний. —В кн.: М. Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.76 — 79.

1359 (М)

Миклашевский А. М.

Михаил Юрьевич Лермонтов в заметках его товарища. —В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.103 — 108.

1360 (М)

Муравьев А. Н.

Знакомство с русскими поэтами. —В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.195 — 199.

1361 (M)**Назимов М. А.**

Письмо редактору газеты «Голос». — В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.373 — 374.

1362 (M)**Николай I.**

Из письма к императрице. — В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.373 — 374.

1363 (M)**Оммер де Гелль**

Письма и записки. Ред., вступ. статья и примечания М.М.Чистяковой. М.-Л., «Academia», 1933, 472 стр. (Иностранные мемуары под общей редакцией И.Т.Смилги).

[Знакомство Лермонтова с Оммер де Гелль в 1840 г. и примечания об этом кн. Вяземского О Лермонтове: с. 8, 17, 301, 303, 304, 305, 308 — 314, 316 — 318, 389 — 391, 401 — 402, 411, 412, 452, 453].

1364 (M)**Панаев И. И.**

Из литературных воспоминаний. — В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.232 — 238.

1365**Панаева А. Я.**

Воспоминания. 1824—1870. 4-е

испр. изд. под ред. и с прим. Корнея Чуковского. М.-Л., «Academia», 1933, 582 стр.

[О Лермонтове — стр. 133 — 144, 267, 307, 323, 371, 499].

1366**Плетнев П. А.**

Письмо к Я.К.Гроту. — В кн.: Переписка Я.К.Грота с П.А.Плетневым. Т.1-3, СПб., 1896,

[О Лермонтове: Т.1. с.118, 129, 130, 145 — 146, 158, 163, 175, 212, 228, 232, 238, 260, 318, 376, 468, 469; Т.2. с. 28, 67, 112, 207, 223, 323, 359, 536, 745, 822; Т.3. с.408].

1367 (M)**Полеводин**

Из письма. — В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.349 — 351.

1368**Полевой Андрей**

Литературные воспоминания старика. Киев, «Южная копейка», 1911.

[С. 8 — 14: воспоминания и рассказы о Лермонтове. Характер Лермонтова. Лермонтов и солдаты. Дуэль и смерть. Мартынов].

1369 (M)**Раевский С. А.**

Объяснение губернского секретаря Раевского о связи его с Лермонтовым и о происхождении

стихов на смерть Пушкина. — В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972. с.389 — 392.

1370 (M)

Ростопчина Е. П.

Из письма к Александру Дюма. — В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.280 — 286.

1371 (M)

Самарин Ю. Ф.

Из дневника. Из писем к И. С. Гагарину. — В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.296 — 300.

1372

Самарин Ю. Ф.

Письма к кн. Ивану Сергеевичу Гагарину. 1) от 19 июля 1840 г. 2) от 3 авг. 1841 г. — В кн.: Самарин Ю.Ф. — Сочинения. Т.12; письма 1840—1853, М., 1911, с.53 — 57.

[В 1-м письме о кружке 16, в который входил Лермонтов; Во 2-м письме о смерти Лермонтова, воспоминание о последней встрече с ним в Москве, когда Лермонтов принес ему свое стих. «Спор»].

[В примечании к письму 2-му на с.55 — 57 выдержки из дневника Самарина 1841 г. 1) О смерти Лермонтова, 2) О знакомстве с Лермонтовым].

1373

Самарин Ю. Ф.

Письмо к Константину Сергеевичу Аксакову. Петербург, 2 окт. 1844 г. — В кн.: Самарин Ю.Ф. Сочинения. Т.12, Письма 1840—1853. М., 1911, с.144 — 146.

[С.145: о 3-х повестях и нескольких неизвестных стихотворениях Лермонтова, полученных Самаринным с правом поместить в любом журнале].

1374 (M)

Сатин Н. М.

Отрывки из воспоминаний. — В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.200 — 204

1375 (M)

Смольяников А. П.

Из дневника. — В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.354 — 356.

1376

Соллогуб В. А.

Из воспоминаний. — В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.268 — 271.

1377

Сперанский М.

Письма Сперанского к А.А. Столыпину. — «Русский архив», М., 1870,

№ 6, с.1125 – 1156.

[Столб. 1126 – 1137: о Лермонтове].

1378 (М)

Столыпин Д. А. и Васильев А. В.

Воспоминания (В пересказе П. К. Мартыанова). — В кн.: М. Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.159 – 168.

1379 (М)

Сушкова Е. А.

1830-й год. Глава из записок. — В кн.: М. Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.82 – 97.

1380

Тургенев А. С.

Письма Александра Тургенева Булгаковым. Подготовка текста писем к печати, вступ. статья и комментарии А. А. Сабурова. Под Ред. И. К. Луппол. М., Соцэкгиз, 1939. 376 стр.

[С.213, 213 – 214, 245 – 246, 250 – Письма к А. Я. Булгакову: 1) 27/II 1837 г. Упоминание об аресте Лермонтова за стихи «Смерть поэта», Коммент. на с.332; 2) СПб., 6/III 1837 г. Упомин. о ссылке Лермонтова на Кавказе; 3) Париж. 6/18 июля 1841 г. Приписка П. А. Вяземского на письме Тургенева. — Впечатления от смерти Лермонтова; 4) 26/VIII/5/IX 1841 г. Упомин. о смерти Лермонтова].

1381

Тургенев А. И.

Из дневника. — В кн.: А. С. Тургенев в воспоминаниях современников. Т.2, М., «Худож. литература», 1974, с.167 – 180. Серия лит. мемуаров.

[С.178, 180: отзыв о стих. «Смерть поэта» и обещание прислать его П. А. Осиповой].

1382

Тургенев А. И.

Письмо А. И. Тургенева к П. А. Осиповой 10 февр. 1837 г. С.-Петербург. — В кн.: Пушкин и его современники. СПб., 1903, с.53 – 57.

[С.56: указание о посылаемых вместе с письмом стихах на смерть Пушкина (по всей вероятности Лермонтова)].

1383 (М)

Тургенев И. С.

Из литературных и житейских воспоминаний. — В кн.: М. Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.228 – 229.

1384 (М)

Туровский Н. Ф.

Из дневника поездки по России в 1841 году. — В кн.: М. Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.341 – 345.

1385**Хвостова Екатерина Александровна**

Воспоминания Е.А.Хвостовой.
1812—1835. [Предисловие М.Семевского].

—«Вестник Европы», 1969,
т. 4, август, с.684 — 740; т. 5, сентябрь, с.298 — 346.

1386**Хвостова А.**

Воспоминания о Лермонтове.
Отрывок из записок.

—«Русский вестник», М., 1857,
Т.II, сентябрь, с.395 — 408.

1387 (М)**Хвостова Екатерина Александровна**

Записки Екатерины Александровны Хвостовой, рожденной Сушковой. 1812—1841. Материалы для биографии М.Ю.Лермонтова. 2-е изд. доп., СПб., [Изд. М.И.Семевского], 1870.

[на обл. 1871]

XVI, 259 стр.

Библиогр.: И.В.Межов. Перечень статей о Лермонтове, с.258 — 259.
Приложения: 1. Воспоминания о М.Ю.Лермонтове А.Меринского; 2. Заметка М.Н.Лонгинова о знакомстве его с Лермонтовым; 3. Военно-судебное дело о первой дуэли Лермонтова. 1840 г.; 4. Первая дуэль Лермонтова 18 февр. 1840 г.; 5. Характеристика Лермонтова, написанная германским поэтом Боденштедтом в 1852 г.; 6. Воспоминания о Лермон-

тове И.И.Панаева 1838—1841 г.; 7. Военно-судебное дело о второй дуэли Лермонтова 15 июля 1841 г.; 8. Похороны Лермонтова, рассказ очевидца, сообщ. кн. Н.Н. Голицына; 9. Замечание А.П.Ермолова по поводу гибели Лермонтова; 10. Дом в Пятигорске, в котором жил Лермонтов; 11. Лермонтов грот в Пятигорске; 12. Известие о кончине Лермонтова 1841 г.; 13. Могила и памятник Лермонтова; 14. Дом и могила Лермонтова; 15. Письмо Н.С.Мартынова 1869 г.; 16. Перечень статей и заметок о М.Ю.Лермонтове.

1388 (М)**Хвостова Е. А.**

Записки. 1812—1841. Первое полное издание. Редакция, введение и примеч. Ю.Г.Оксмана, Л., «Academia», 1928, 446 стр.

(Памятники литературного быта записки Екатерины Сушковой). Дополнения: Стр.219 — 226 — Семевский, М.И. Устные рассказы Е.А.Сушковой.

Стр.227 — 296. Сушкова, Е.А. Дневник за 1833 год.

Стр.297 — 305. Желиховская, В. П. М.Ю.Лермонтов и Е.А.Сушкова в письмах Е.А.Ган.

Стр.306 — 342. Ладыженская, Е.А.Замечания на «Воспоминания» Е.А.Хвостовой.

Стр.343 — 354. Ростопчина, Е.П. Записки о М.Ю.Лермонтове.

Стр.355 — 400. Шан-Гирей, А.П.

М.Ю.Лермонтов.

Приложения:

Стр.403 – 425. Оммер де Гель, Адель. Письма о Лермонтове.

Стр.426 – 436. Шан-Гирей, Эмилия. Воспоминание о Лермонтове.

Стр.437 – 442. —Именной указатель.

1389

Филлипов С. Н.

Лермонтов на кавказских водах. Рассказ современника.

—«Русская мысль», 1890, кн. 12, с.68 – 86.

[По рассказам современника Лермонтова майора К.И.Карлова].

1390

Цейдрел М. И.

На Кавказе в 30-х годах.

—«Русский вестник», СПб., 1888, т. 198, № 9, с.122 – 139.

[Содерж.: Командировка и отъезд, — М.Ю.Лермонтов, — Его стихи по моему адресу, — От Москвы до Кубани, — Встреча в полку, — Кубань, — Генерал Засс, — Черноморье и Тамань, —живые лица, послужившие сюжетом повести Лермонтова].

1391 (M)

Цейдлер М. И.

На Кавказе в 30-х годах. —В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.205 – 209

1392 (M)

Чарыков А.

К воспоминаниям о М.Ю.Лермонтове. —В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.252 – 254.

1393 (M)

Чиляев В. И. и Раевский Н. П.

Из воспоминаний (В пересказе П.К.Мартьянова). —В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.308 – 322.

1394 (M)

Шан-Гирей Э. А.

Воспоминание о Лермонтове. —В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.334 – 340.

1395

Шан-Гирей А. П.

М.Ю.Лермонтов. —В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.31 – 53.

1396 (M)

Шугаев П. К.

Из колыбели замечательных людей. —В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.54 – 64.

1397 (M)

Шульц М. Х.

Воспоминания о М.Ю.Лер-

монтове (В пересказе Г.К.Градовского: —В кн.: М.Ю.Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.306 — 301.

В- II -β

1398 (M)

Андроников И. Л.

Ахвердовы. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.57 — 68.

1399 (M)

Андроников И. Л.

Воспоминания Д.Ф.Харламовой. —В кн.: И.Л.Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.246 — 247.

[Мемуарист].

1400 (M)

Андроников И. Л.

Гостеприимный дом. —В кн.: И.Л.Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.53 — 57.

[О Чавчавадзе].

1401

Андроников И. Л.

Ермолов. —В кн.: И.Л.Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.203 — 211.

[О замысле писать историю ермоловских войн на Кавказе].

1402 (M)

Андроников И. Л.

Зашифрованные имена. —В кн.: И.Л.Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.129 — 134.

[Кто такой «Петр:»?]

1403 (M)

Андроников И. Л.

Кахетия. —В кн.: И.Л.Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.72 — 80.

[Знакомство Лермонтова с Чавчавадзе].

1404

Андроникошвили И. Л. (Андроников И.)

К биографии М.Ю.Лермонтова. —«Груды Тифлис. ун-та», 1936, т. 2, с.200 — 214.

[Лермонтов и Н.Ф.Иванова].

1405 (K)

Андроников И. Л.

Кто такой Кодзоков? —В кн.: И.Л.Андроников. Лермонтов. Исследования и находки. Изд. 4-е. М., «Худож. лит.», 1977, с.507 — 514.

1406 (K)

Андроников И. Л.

Лермонтов и Ермолов. —В кн.: И.Л.Андроников. Лермонтов. Исследования и находки. Изд. 4-е. М., «Худож. лит.», 1977, с.515 — 532.

1407 (K)**Андроников И. Л.**

Лермонтов и Н.Ф.И. —В кн.: И.Л.Андроников. Лермонтов. Исследования и находки. Изд. 4-е. М., «Худож. лит.», 1977, с.124 — 152.

1408**Андроников И. Л.**

Лермонтов и Давыдов. —В кн.: И.Л.Андроников. Великая эстафета. Воспоминания. Беседы. М., «Дет. лит.», 1975, с.242 — 244.

1409 (M)**Андроников И. Л.**

Лермонтов и Чаадаев. —В кн.: И.Л.Андроников. Лермонтов. М., «Совет. писатель», 1951, с.80 — 90.

1410 (M)**Андроников И. Л.**

«Люди очень порядочные». —В кн.: И.Л.Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.98 — 103.

[О сосланных на Кавказ декабристах].

1411 (M)**Андроников И. Л.**

«Маико мая». —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.80 — 81.

[Возможное знакомство Лермонтова с грузинскими красавицами].

1412 (M)**Андроников И. Л.**

Неверная гипотеза. —В кн.: И.Л.Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.152 — 155.

[Критика гипотезы И.К.Ениколопова о Мамед-Али, как мусульманине, с которым познакомился Лермонтов в Тифлисе].

1413**Андроников И. Л.**

Неустановленное родство. —В кн.: И.Л.Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.68 — 72.

[Знакомство Лермонтова с Чавчавадзе через одну родственницу].

1414 (M)**Андроников И. Л.**

Опальный генерал и опальный поэт. —В кн.: И.Л.Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.211 — 216.

[Свидание Лермонтова с Ермоловым в 1841 году].

1415 (M)**Андроников И. Л.**

Передовые поэты о союзе Грузии и России. —В кн.: И.Л.Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.104 — 108.

[О Бараташвили и Одоевском].

1416

Андроников И. Л.

«Первое знакомство с А.И. Одоевским» — В кн.: И.Л.Андроников. Великая эстафета. Воспоминания. Беседы. М., «Дет. лит.», 1975, с.238 — 240.

1417 (M)

Андроников И. Л.

Письмо Раевскому. — В кн.: И.Л.Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.8 — 10.

1418 (M)

Андроников И. Л.

Политический облик Александра Чавчавадзе. — В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.88 — 97.

1419 (K)

Андроников И. Л.

Строки из писем 1841 года. — В кн.: И.Л.Андроников. Лермонтов. Исследования и находки. Изд. 4-е. М., «Худож. лит.», 1977, с.533 — 562.

1420 (K)

Андроников И. Л.

Тагильская находка. — В кн.: И.Л.Андроников. Избранные произведения. В 2-х томах. Т. 1. М., «Худож. лит.», 1975, с.145 — 236.

[Письма Карамзыных о гибели Пушкина].

1421 (K)

Андроников И. Л.

Утраченные записки. — В кн.: И.Л.Андроников. Лермонтов. Исследования и находки. Изд. 4-е. М., «Худож. лит.», 1977, с.153 — 194.

[Лермонтов в записках московских знакомых].

1422 (M)

Андроников И. Л.

«Ученый татарин Али». — В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.148 — 152.

[Учитель азербайджанского языка.]

1423 (K)

Андроников И. Л.

Ученый татарин Али. — В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов. Исследования и находки. Изд. 4-е. М., «Худож. лит.», 1977, с.361 — 408.

1424 (M)

Андроников И. Л.

Д. Х (арламова). Еще несколько слов о Грибоедове. — В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.248 — 255.

1425 (K)

Аринштейн Л. М.

Неизвестная статья А.И.Герцена и М.Мейзенбург о Лермонтове. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Иссле-

дования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.283 – 308.

1426 (Т)

Ашукина М.

Вокруг Лермонтова. I. Забытый друг Лермонтова. —В кн.: Литературное наследство, № 58, М., 1952, с.477 – 480.

1427 (Т)

Ашукина-Зенгер М.

О воспоминаниях В.В. Бобарыкина о Лермонтове. —В кн.: Литературное наследство, №45–46, М., 1948, с.741 – 760.

1428

Богословский Н. В.

Тургенев. М., «Молодая гвардия», 1961, 416 стр.

[С.61–65: встречи Тургенева с Лермонтовым].

1429 (Т)

Боричевский И.

Пушкин и Лермонтов в борьбе с придворной аристократией. —В кн.: Литературное наследство, № 45–46, М., 1948, с.323 – 362.

1430 (Т)

Бродский Н.

Святослав Раевский, друг Лермонтова —В кн.: Литературное наследство, №45–46, М., 1948, с.301 – 322.

1431 (Т)

Бронштейн Н.

Доктор Майер. —В кн.: Литературное наследство, №45–46, М., 1948, с.473 – 496.

1432

Вырыпаев П.

Материалы к биографии М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Земля родная. Альманах. Кн. 6. Пенза, 1950, с.171 – 182.

[С.180–181: дворовая Е.А. Арсеньевой ошибочно считавшаяся няней Лермонтова, оставшая устные рассказы о Лермонтове].

1433 (Т)

Гиреев Д. А. и Недумов С. И.

К истории знакомства Лермонтова с декабристами. —В кн.: Литературное наследство, Т.60, кн. 1-я, М., 1956, с.507–514.

1434

Герштейн Э. Г.

Отклики современников на смерть Лермонтова. (По неопубликованным материалам архивов Елагиных, Булгаковых, Каткова и Самариных). —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Статьи и материалы. М., 1939, с.64 – 69.

1435 (К)

Гласе А.

Лермонтов и Е.А. Сушкова. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.80 – 121.

1436 (M)**Гиллельсон М. И. и Мануйлов В. А.**

Лермонтов в воспоминаниях современников [вступ. статья].
Примечания. — В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972,

[С.5 — 28: вступ. статья. С.405 — 526: примечания].

1437 (K)**Гиллельсон М. И.**

Поэзия Лермонтова в салоне Елагиных. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.253 — 270.

1438 (M)**Дудышкин С. Н.**

Кончина Лермонтова. — В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.63 — 65, [Изд. 5-е, допол.].

1439**Иванов А. Н.**

Учитель Лермонтова А.З. Зиновьев и его педагогическая деятельность в Ярославле. Ярославль, Верх. Волж. кн. изд-во, 1966. 135 стр. с ил.

1440 (M)**Иванова Т. А.**

Гл. 4-я. Передовая московская молодежь 30-х годов. — В кн.: Т.А. Иванова. Москва в жизни и творчестве М.Ю. Лермонтова. 1827

— 1832. М., «Моск. рабочий», 1950, с.140 — 180.

1441 (T)**Иванова Ленина**

Лермонтов и декабрист М.А. Назимов. — В кн.: Литературное наследство, № 58, М., 1952, с.431 — 440.

1442 (T)**Каплан Леонид**

Новое об Омэр де Гелль. I. П.П. Вяземский — автор «Писем и записок» Омэр де Гелль. — В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с.761 — 766.

1443**Карачайлы Ислам**

Лермонтов и горцы.
— «Ставрополье», 1964, № 4, с.43 — 44.

1444**Кулешов В. И.**

«Отечественные записки» и литература 40-х годов XIX века. М., Изд-во Моск. ун-та, 1959.

[Лермонтов и «Отечественные записки», Лермонтов и Белинский. «Дума», «Журналист, читатель и писатель», «Герой нашего времени»].

1445**Кулешов В.**

Поэт и журнал. Лермонтов и «Отечественные записки». — «Вопросы литературы», 1958, № 3, с.149 — 164.

[Лермонтов и Краевский. Лермонтов и Белинский].

1446

Мануйлов В. А.

Записки неизвестного гусара о Лермонтове.

— «Звезда», Л., 1936, № 5, с.183 — 196.

[Записки А.Ф. Тирана].

1447 (М)

Майский Ф. Ф.

М.Ю. Лермонтов и Карамзины. —В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов. Ставрополь, Ставро. кн. изд-во, 1960, с.123 — 164.

1448 (М)

Мануйлов В. А. и Недумов С. И.

Друг Лермонтова А.П. Шан-Гирей. —В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов. Ставрополь, Ставро. кн. изд-во, 1960, с.251 — 270.

1449 (Т)

Мануйлов В. А.

Лермонтов и Краевский. —В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с.363 — 388.

1450 (К)

Мануйлов В. А.

Лермонтов и Карамзины. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.323 — 343.

1451

Мануйлов В. А.

Гиллельсон М. И. и Мануйлов В. А. Лермонтов в воспоминаниях современников. —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников. М., «Худож. лит.», 1964, с.5 — 30.

1452

Мануйлов В. А.

Новые воспоминания о Лермонтове. —В кн.: Литературный архив. Т. I. М.-Л., 1938, с.426 — 431.

1453

Мартьянов П.

Мартыновские бумаги. — «Исторический вестник», 1894, т.57, август, с.474 — 491.

1454

Мартьянов П. К.

Мартыновские бумаги. —В кн.: Мартьянов П. К. «Дела и люди века», Т.3, СПб., 1896, с.1 — 22.

[По поводу публикации в «Русском архиве» записок Мартынова и бумаг, относящихся к его дуэли с Лермонтовым. См. «Русский архив», 1893, № 8, с.609 — 613].

1455

Мартьянов П.

Поэт М.Ю. Лермонтов и г-жа Адель Гоммер де Гелль.

— «Исторический вестник», СПб., 1893, т.54, дек. с.833 — 856.

1456**Мартьянов П.**

Поэт М.Ю. Лермонтов по запискам и рассказам современников.

— «Всемирный труд», СПб., 1870, № 10, с.581 — 604.

1457**Мартьянов П.**

Рассказы Христофора Саникидзе о М.Ю. Лермонтове.

— «Исторический вестник». СПб., 1895, фев. т.59, с.599 — 604.

1458**Мартьянов П. К.**

Слуга поэта Лермонтова Христофор Саникидзе и его рассказы о нем. — В кн.: Мартьянов П.К. «Дела и люди века», Т.3, СПб., 1896, с.23 — 27.

1459**Масанов Ю. И.**

В мире псевданимов, анонимов и литературных подделок. Под ред. и со вступ. статей П.Н. Беркова. М., 1963,

[С.174 — 181: Лермонтов и Оммер де Гелль].

1460 (М)**Михайлова А. Н.**

Письмо А.М. Меринского П.А. Ефремову о Лермонтове (Публикация). — В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов. Ставрополь, Ставроп. кн. изд-во, 1960, с.171 — 177.

1461**Михайловский Н.**

Литературные заметки.

— «Отечественные записки». СПб., 1880, т.249, № 4, отд. 2, с.319 — 343.

[С. 337: по поводу отношений Лермонтова к Е.А. Хвостовой].

1462**Михайловский Н. К.**

Литературные заметки 1880 г.

— В кн.: Михайловский Н.К. Сочинения. Т.4, СПб., 1897, столб. 837 — 1020.

[О Лермонтове — столб. 891 — 898; о заметках Е.А. Хвостовой].

1463 (Т)**Модзалевский Л.** [публикация]

Новые материалы об Е.А. Арсеньевой. II. Письма Е.А. Арсеньевой о Лермонтове. — В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с.641 — 660.

1464**Модзалевский Б.**

Три встречи с М.Ю. Лермонтовым В.В. Бобарыкина.

— «Русский библиофил», 1915, апрель.

1465 (М)**Недумов С. И.**

Новые материалы о декабристе М.А. Назимове. — В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов. Ставрополь, Ставроп. кн. изд-во, 1960, с.240 — 250.

1466**Назарова Л. Н.**

«Отчизны верные сыны».

—«Звезда», 1975, № 12, с.139 — 145.

[К истории знакомства Лермонтова с В.М. Голыцыным, С.И. Кривцовым, А.И. Одоевским, М. А. Назымовым, В.Н. Лихаревым, бр. Беляевым, М.М. Нарышкиным, Н.И. Лорером, А.И. Черкасовым и др.]

1467**Найдич Э. Э.**

Лермонтов и декабристы. —В кн.: Проблема метода и жанра. Вып. 3. Томск, 1976, с.117 — 123. (Томский ун-т). Лермонтов и Одоевский. Стих. «Памяти А.И. Одоевского», «Спеша на север из далека».

1468**Недумов С.**

О раннем детстве М.Ю. Лермонтова. —В альманахе: Земля родная. Кн. 11. Пенза, Кн. изд-во, 1954, стр. 234 — 236.

[Сведения о Лермонтове по неопубликованным письмам М.М. Сперанского к А.А. Столыпину].

1469**Недумов С. И.**

О Святославе Афанасьевиче Раевском. —В кн.: Лермонтов. Временник ... Пятигорск, 1947, [Вып.] I, с.24 — 30.

[Прилож: документы о С.А.

Раевском, обнаруженные в Государственном архиве Ставропольского края. с.31 — 55].

1470**Нейман Б. В.**

Лермонтов и декабристы.

— «Литература в школе», 1941, № 4, с.64 — 80.

1471 (М)**Нейман Б. В.**

Лермонтов и декабристы. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Сб. статей под ред. Н.А. Глаголева. М., Учпедгиз, 1941, с.31 — 61.

1472 (С)**Нейман Б. В.**

Последнее знакомство Лермонтова.

— «Русская литература», 1964, № 3, с.68 — 72.

[Об И.Е. Дядьковском.]

1473**Нечаева В. С.**

В.Г. Белинский. Жизнь и творчество. 1836—1841. М. Изд. Акад. наук СССР, 1961, 392 стр.

[С.74 — 80: Первая встреча Белинского с Лермонтовым. Подробная аргументация в пользу достоверности мемуаров Сатина. С. 323 — 335: Белинский о творчестве Лермонтова и значение творчества Лермонтова для Белинского].

1474

Оксман Ю. Г.

Летопись жизни и творчества В.Г. Белинского. М., Гослитиздат, 1958, 643 стр.

[Белинский и Лермонтов. Стр. см. по указателю статей].

1475

Пахомов Н. П.

Подруга юных дней: Варенька Лопухина. (Из биографии М.Ю. Лермонтова). М., «Сов. писатель», 1975, 26 стр.

1476

Попов А. В.

В.Г. Белинский на Кавказских водах. —В кн.: Ставропольский альманах. Ставрополь, Крайиздат, 1952, № 8, с.141 — 149.

[Утверждается достоверность воспоминаний Сатина о первой встрече Белинского с Лермонтовым на Кавказе в 1837 году].

1477 (М)

Попов А. В.

Встреча с декабристами. —В кн.: А.В. Попов. М.Ю. Лермонтов в первой ссылке. —Труды Ставроп. пед. ин-та, 1949, вып. III. с.84 — 94.

1478 (М)

Попов А. В.

Встреча с декабристами. —В кн.: А.В. Попов. Лермонтов на Кавказе. Гл. В первой ссылке.

Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1954. с.103 — 117.

1479 (М)

Попов А. В.

Лермонтов и М.Ф. Ахундов. —В кн.: А.В. Попов. М.Ю. Лермонтов в первой ссылке. — В кн.: Труды Ставроп. пед. ин-та, 1949, вып. III. с.62 — 69.

1480 (М)

Попов А. В.

М.Ю. Лермонтов и М.Ф. Ахундов. —В кн.: А.В. Попов. Лермонтов на Кавказе. Гл. В первой ссылке. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1954, с.82 — 89.

1481

Попов П.

Мистификация. (Лермонтов и Оммер де Гелль).

— «Новый мир», 1935, № 3, с.282 — 293.

[Подделка мемуаров Оммер де Гелль П.П. Вяземским].

1482

Попов А. В.

А.И. Одоевский на Кавказе. —В кн.: Материалы по изучению Ставропольского края. Вып. 4, 1952, с.219 — 238.

[С.223 — 231: Лермонтов и Одоевский на Кавказе в 1837 году].

1483 (M)**Попов А. В.**

Полковник С.Д. Безобразов.
—В кн.: А.В. Попов. М.Ю. Лермонтов в первой ссылке. — Труды Ставроп. пед. ин-та, 1949, вып. III. с.44 — 52.

1484 (M)**Попов А. В.**

Полковник С.Д. Безобразов.
—В кн.: А.В. Попов. Лермонтов на Кавказе. Гл. В первой ссылке. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1954, с.69 — 75.

1485 (M)**Потто**

Пребывание Лермонтова в школе гвардейских подпращиков.
—В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.31 — 32, [Изд. 5-е, допол.].

1486 (T)**Попов Павел**

Новое об Омэр де Гелль. II. Отклики иностранной печати на публикацию «Писем и записок» Омэр де Гелль. —В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с. 767 — 775.

1487**Прокофьев В. А.**

Среди свидетелей прошлого. М., «Молодая гвардия», 1964, 224 стр. [С.106—120: Лермонтов и Оммер де Гелль. Подделка П.П. Вяземского].

1488 (T)**Савинов А.**

Лермонтов и художник Г. Г. Гагарин. —В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с.433 — 472.

1489**Семенов Л. П.**

А. И. Васильчиков о дуэли и смерти Лермонтова. —В кн.: Ученые записки Северо-Осетинского гос. пед. ин-та им. К. Л. Хетагурова. т. 2, (XV), Вып. 1, Орджоникидзе, 1940, с.77 — 83.

[Рукопись А. И. Васильчикова, ее расхождение со статей Васильчикова, напеч. в «Русском архиве»].

1490 (K)**Чистова И. С.**

О кавказском окружении Лермонтова (по материалам альбома А. А. Капнист). —В кн.: М. Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.188 — 208.

1491 (M)**Шабанянц Н. Ш.**

М.Ю. Лермонтов и художник Л.З. Захаров. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Материалы и сообщ. VI Всесоюз. лермонт. конф. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1965, с.153 — 159. (Ставр. пед. ин-т).

1492 (K)**Шадури В. С.**

Новое о М. В. Дмитриевском

—приятеле Лермонтова и декабристов. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.209 – 222.

1493

Шувалов С. В.

М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников и его письмах. М., 1923, 128, II стр. (Историко-литературная б-ка. Вып. 2).

1494

Эйхенбаум Б. М.

Николай I о Лермонтове.
— «Литературный критик», М., 1940, № 2, с.32 – 34.

[Письмо Николая I к жене 12/24 июня 1840 (напеч. в кн. Schemann, Th Geschichte Russlands unter Kaiser Nikolaus I, Т.3, 1913, с.411)].

1495

Эратов В. Д.

В гостях у современников М.Ю. Лермонтова. — газ. «Донская речь», Новочеркасск, 1901, 15 июля. Лист 3-й, с.7 – 9.

В-III

1496

Абрамович Д. И.

Михаил Юрьевич Лермонтов. Биографический очерк. Отд. оттиск из изд. «Русский биографический словарь», СПб., 1914, с.1 – 51.

[В словаре см. стр.265 – 315.

Стр.48 – 51: Библиография собр. соч. Лермонтова и литературы о нем].

1497

Андроников И. Л.

Жизнь Лермонтова. М.-Л., Детгиз, 1939, 80 стр.

1498 (M)

Андроников И. Л.

Начала славы. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.5 – 8.

[Биография].

1499 (K)

Андроников И. Л.

Образ Лермонтова. —В кн.: И.Л. Андроников. Избранные произведения. В 2-х томах. Т.2. М., «Худож. лит.», 1975, с.222 – 236.

1500 (M)

Андроников И. Л.

Подорожная в Грузию. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.10 – 14.

[Биография].

1501

Антокольский П.

Из пламя и света рожденное слово.

—«Новый мир», 1964, № 10, с.3 – 8.

[О воспоминаниях современников о Лермонтове].

1502

Антокольский П. Г.

Лермонтов. Биографический очерк. —В кн.: П.Г. Антокольский. Пути поэтов. Очерки. М., «Сов. писатель», 1975. с.123 — 189.

1503

Бартенев П. И.

Государь Николай Павлович о кончине Лермонтова.

—«Русский архив». М., 1891, кн. 2. № 7. с.402.

1504

Бартенев П.

Заметка о Лермонтове.

—«Русский архив». М., 1911, кн. 3, № 11, с.159 — 160.

[О Лермонтове со слов Е.А. Долгоруковой. Николай I о Лермонтове со слов М.В. Воронцовой. (Два варианта отзыва о дуэли «Собаке — собачья смерть» и «Гот, кто мог заменить Пушкина — убит»)].

1505 (М)

Бродский Н. Л.

М.Ю. Лермонтов. Биография. Т.1, 1814—1832. М., Гослитиздат, 1945. 348 стр.

[Содерж.: Гл. I. Детские годы Лермонтова; Гл. II. Лермонтов в Москве. 1827—1828 годы; Гл. III. В Университетском благородном пансионе; Гл. IV. В Средникове; Гл. V. В Московском университете. Студенческие годы (1830 — 1832)].

1506 (М)

Бродский Н. Л.

Лермонтов-студент и его товарищи. —В кн.: Жизнь и творчество М.Ю. Лермонтова. Сб. 1-й. Исследования и материалы. М., Гос. Изд-во худож. лит-ры, 1941, с.40 — 76. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

1507 (М)

Быков П. В.

М.Ю. Лермонтов. Биографический очерк. —В кн.: Сочинения М.Ю. Лермонтова под ред. П.В. Быкова. Т. I. СПб., Изд. С.Добродеева, 1891, с. V — XXXIX.

1508 (М)

Висковатов П. А.

Воспитание и образование Лермонтова в Москве и его наставники. —В кн.: Покровский В.И. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.8 — 12. [Изд. 5-е, допол.].

1509 (М)

Висковатов П. А.

Детство и первая юность Лермонтова. —В кн.: Покровский В.И. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.3 — 8, [Изд. 5-е, допол.].

1510

Вульф А. Н.

Дневники. Любовный быт пушкинской эпохи. Со статьей М.И. Семеновского «Прогулка в Тригорское». М., «Федерация», 1929,

446 стр.

[С.382 — 383: внешность Лермонтова].

1511 (М)**Вырыпаев Петр Андреевич**

Лермонтов. Новые материалы к биографии. [Науч. ред. В.А. Мануйлова], Воронеж, Центр.-чернозем. кн. изд-во, 1972, 227 стр. с ил. и портр.

1512 (М)**Герштейн Э. Г.**

К истории высылки Лермонтова из Петербурга в 1841 году. — В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов, Ставрополь, Ставро. кн. изд-во, 1960, с.181 — 182.

1513 (К)**Герштейн Э. Г.**

Лермонтов и петербургский «свет». — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.171 — 187.

1514 (М)**Герштейн Эмма Григорьевна**

Судьба Лермонтова. М., «Сов. писатель», 1964, 496 стр.

[Содерж.: Введение; Дуэль с Барантом; Лермонтов и двор; Неизвестный друг; Тайный враг; Журналист, Читатель и Писатель; За страницами «Большого света»; «Родина» и «Тарантас»; О кружке «шестнадцати»; Дуэль и смерть; Заключение; Примечания].

1515 (М)**Голованова Т. П.**

Год в жизни поэта — В кн.: Проблемы теории и истории литературы. Сб. статей, посвящ. памяти проф. А.Н. Соколова. М., Изд-во Моск. ун-та, 1971, с.211 — 218.

[1832 год]

1516**Григорьян К. Н.**

Личность и судьба поэта. — «Звезда», 1974, № 10, с.191 — 206.

[Характеристика мемуарных свидетельств о Лермонтове. Повесть В.А. Соллогуба «Большой свет». Лермонтов и В.А. Лопухина. Последняя дуэль Лермонтова].

1517 (М) (К)**Григорьян К. Н.**

Гл. III. Личность поэта. — В кн.: К.Н. Григорьян. Лермонтов и его роман «Герой нашего времени». Л., «Наука», 1975, с.87 — 170. (АН СССР. Ин-т рус. лит. Пушкинский Дом).

1518 (С)**Гроссман Леонид**

Лермонтов — баталист. В кн.: От Пушкина до Блока. Этюды и портреты. Кн-во «Современные проблемы», М., 1926, 75 — 85.

1519**Дурылин С. Н.**

Судьба Лермонтова.

— «Русская мысль», 1914, окт.
кн. 10, с.1 — 30.

1520

Иванов С. В.

Лермонтов. М., Изд. Ц.К.В.
ВЛКСМ, Молодая гвардия, 1938,
340 стр. (жизнь замечательных
людей).

1521

Иванов С. В.

Михаил Юрьевич Лермонтов.
(Критико-биографический очерк).
М., Гослитиздат. 1941, 112 стр.

1522

Иванов С. В.

М.Ю.Лермонтов. М., Гослитиз-
дат, 1952, 91 стр.

1523 (М)

Иванова Т. А.

«Достопочтенный» пансион.
—В кн.: Т.А.Иванова. Юность
Лермонтова. М., «Сов. писатель»,
1957, с.38 — 46.

1524 (М)

Иванова Т. А.

Из детских лет. —В кн.: Т.А.
Иванова. Юность Лермонтова. М.,
«Сов. писатель», 1957, с.3 — 37.

1525 (М)

Иванова Татьяна Александровна

Посмертная судьба поэта. О
Лермонтове, о его друзьях под-
линных и о друзьях мнимых, о
тексте поэмы «Демон». М.,
«Наука», 1967, 206 стр.

1526 (М)

Иванова Т. А.

Прощанье с юностью. —В кн.:
Т.А.Иванова. Юность Лермонтова.
М., «Сов. писатель», 1957, с.350
— 358.

1527 (М)

Иванова Т. А.

Рождение поэта. —В кн.: Т.А.
Иванова. Юность Лермонтова. М.,
«Сов. писатель», 1957, с.59 — 103.

1528 (М)

Иванова Т. А.

«С небом гордая вражда». —В
кн.: Т.А.Иванова. Юность Лер-
монтова. М., «Сов. писатель»,
1957, с.280 — 318.

[Впечатление от николаевского
Петербурга].

1529 (М)

Иванова Т. А.

«Студенты-братья», —В кн.:
Т.А.Иванова. Юность Лермонтова.
М., «Сов. писатель», 1957, с.138
— 150.

[О студенческой жизни Лер-
монтова].

1530

Иванова Т.

Юность Лермонтова. М., «Сов.
писатель», 1957. 357 стр.

1531

Клейбер Борис

«Два страшных года» Лер-
монтова.

—«Scando-Slavica», т. 4,

Copenhagen, 1958. с. 43 – 58.

[Автор опровергает утверждение об отрицательном влиянии на творчество Лермонтова 2-х лет, проведенных им в Школе гвардейских подпрапорщиков].

1532 (К)

Корнилова А. В.

Кавказское окружение Лермонтова в альбомах современников. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.373 – 391.

1533 (М)

Котляревский Н.

Детство и юность Лермонтова. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб, б.г., с.1 – 8.

1534 (М)

Котляревский и Иванов

Лермонтов в Московском университете. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с. 12 – 17, [Изд. 5-е, допол.].

1535 (М)

Котляревский Н.

Лермонтов в светском обществе. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.35 – 37, [Изд. 5-е, допол.].

1536 (М)

Котляревский Н.

Лермонтов — из семьи моралистов. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб, б.г., с.205 – 206.

1537 (М)

Котляревский Н.

Личность Лермонтова. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.352 – 354, [Изд. 5-е, допол.].

1538 (С)

Кравченко Сталина Константиновна

Последний (кавказский) период жизни М.Ю. Лермонтова. К проблеме научной биографии. Автореф. дис. на соиск. учен. степени канд. филол. наук, Киев, 1978, 24 стр.

1539 (К)

Михаил Юрьевич Лермонтов (1814–1841).

—В кн.: Живые страницы. Пушкин. Гоголь. Лермонтов. Белинский. В воспоминаниях, письмах, дневниках, автобиографических произведениях и документах. М., «Дет. литература», 1979 с.317 – 414.

[Содерж.: В Москве — в Университетском пансионе и в Университете. (Сентябрь 1828 – август 1832); В Петербурге — в Юнкерской школе и в Гусарском полку. (Август 1832 – январь 1837); Стихотворение «Смерть

Поэта». Первая ссылка на Кавказ. (1837); В Петербурге. (1838 – апрель 1840); Вторая ссылка на Кавказ. Дуэль и смерть. (Май 1840 – 15 июля 1841)].

1540**Майский Ф. Ф.**

Юность Лермонтова. (Новые материалы о пребывании Лермонтова в Благородном пансионе). Доц. Ф.Ф. Майским — В кн.: Труды Воронеж. гос. ун-та. т. 14, вып. 2, Воронеж. 1947, с.185–259.

1541**Мануйлов В. А.**

В год смерти Пушкина.
— «Звезда». Л., 1938, № 2,
с.156 – 168.

[О Лермонтове: с.158, 162–164,
166–168].

1542**Мануйлов В. А.**

Вместо предисловия. — В кн.: Вырыпаев П.А. Лермонтов. Новые материалы к биографии. Науч. ред. [и предисл.] В.Мануйлова. Воронеж, Центр. Чернозем. кн. изд-во, 1972, с.5 – 17.

1543 (М)**Мануйлов Виктор Андроникович**

Вопросы изучения жизни и творчества М.Ю.Лермонтова. Доклад о работах на соискание учен. степени д-ра филол. наук по совокупности трудов, Л., 1967, 42 стр.

1544**Мануйлов В. А.**

Михаил Юрьевич Лермонтов. Пенза, «Сталинское знамя», 1945, 56 стр.

[Биографический очерк].

1545 (К)**Мануйлов В. А.**

Михаил Юрьевич Лермонтов. Биография писателя. Пособие для учащихся. Изд. 2-е. Л., «Просвещение», Ленингр. отделение, 1976. 176 стр. с ил.

[Содерж.: Поэт и время; Детские годы; Отрочество в Москве. Первые стихи; В Московском университетском пансионе; В Середникове; В Московском университете; Молодость в Петербурге; Стихи на смерть Пушкина и первая ссылка на Кавказ; Снова в Петербурге. Расцвет творчества; «Герой нашего времени»; Вторая ссылка на Кавказ; Последний раз в Петербурге; Дуэль и смерть; Живое наследие; Рекомендательная библиография].

1546 (К)**Назарова Л. Н.**

Лермонтов в Школе юнкеров. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.139 – 152.

1547 (М)**Мануйлов В. А.**

Семья и детские годы Лермонтова. Главы из книги «Жизнь

Лермонтова».

— «Звезда», Л., 1939, № 9, с.103 — 136.

1548

Мартьянов П. К.

Последние дни жизни поэта М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Мартьянов П.К. «Дела и люди века», Т.2, СПб., 1893, с.28 — 122.

1549 (М)

Меринский А. М.

М.Ю.Лермонтов в юнкеровской школе. Воспоминания о Лермонтове. Из письма к П.А.Ефремову. —В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с.125 — 138.

1550

Мурзанов Н. А.

К биографии М.Ю. Лермонтова.
— «Русская старина», Пг., 1914, т. 160, октябрь, с.87 — 105.

1551

Насонкина Л. И.

Московский университет после восстания декабристов. М., Изд. Москв. ун-та, 1972, 344 стр.
[С.273 — 284: университетские годы Лермонтова].

1552

Некрасов Е.

Михаил Юрьевич Лермонтов. М., тип. И.Д. Сытина и К°, 1891. 90 стр.

[Биография Лермонтова, изложенная для «народа»].

1553

Николева М. Ф.

М.Лермонтов. Биогр. очерк. Пятигорск, Крайведиздат, 1940, 136 стр.

1554

Николева М. Ф.

М.Ю. Лермонтов. (Биографический очерк). Ставрополь, 1947, 106 стр.

1555

Николева М. Ф.

Лермонтов и николаевская знать. Пятигорск, тип. изд-во «Молот» в Ростове н/Д, 1947, 31 стр.

1556 (М)

Попов А. В.

«Спеша на север из далека». —В кн.: А.В. Попов. М.Ю. Лермонтов в первой ссылке. —Труды Ставроп. пед. ин-та, 1949, вып. III. с.103 — 105.

1557

Пыпин А. Н.

Биографический очерк [М.Ю. Лермонтов.] —В кн.: Лермонтов М.Ю. Сочинения ... Изд. 6-е, вновь испр., под ред. П.А. Ефремова. Т.1—2, СПб., 1887, Т.1. с.IX — XXXVI.

1558 (M)**Пыпин А. Н.**

Влияние школы на Лермонтова.
—В кн.: В.И.Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.32 — 35, [Изд. 5-е, допол.]

1559**Пыпин А. Н.**

Михаил Юрьевич Лермонтов.
—В кн.: Лермонтов М.Ю. Демон — Ангель — Русалка ... Изд. 2-е, СПб., 1876, с.VII — LIII.

[Из предисл.] Заимствовано в сокращении из биографии, сост. А.Н. Пыпиным для последн. полного изд. сочин. Лермонтова (т. 1. СПб., 1873).].

1560**Роменко Е.**

Детство и юность М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Детство и юность М.Ю. Лермонтова и сборник его стихотворений. М., 1914, с.5 — 62.

1561 (M)**Семенов Л.**

И. Судьба поэта. —В кн.: Л. Семенов. М.Ю. Лермонтов. Статьи и заметки. I. М., 1915, с.1 — 12.

1562**Скворцов Б.**

Жизнь и личность М.Ю. Лермонтова по его переписке.
— «Филологические записки», Воронеж, 1914.

1563**Смирновский П.**

Михаил Юрьевич Лермонтов.
—В кн.: Лермонтов М.Ю. — Сочинения. Под ред. и с биографией П. Смирновского. Изд. 6. М.А. Панафидина, 1914, с.I — XLIV.

[Содерж.: 1. Предки Лермонтова, 2. Детство и первая юность, 3. Лермонтов в Московском Университете, 4. Два года в школе гвардейских юнкеров, 5. Время до первой ссылки, 6. От первой ссылки до второй, 7. Последнее время жизни Лермонтова]

1564 (M)**Стороженко и Дашкевич**

Нравственный облик Лермонтова. —В кн.: В.И.Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.358 — 369, [Изд. 5-е, допол.]

1565**Цехановский В. М.**

К биографии М.Ю. Лермонтова.
— «Исторический вестник», 1898, № 10, с.373 — 397.

1566 (M)**Чуйко В**

Возвращение в столицу и новая ссылка. —В кн.: В.И.Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.52 — 59, [Изд. 5-е, допол.]

1567 (M)**Шкотт**

Школа гвардейских подпрапорщиков. —В кн.: В.И.Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.18 – 30, [Изд. 5-е, допол.].

1568 (M)**Шувалов С. В.**

I. Жизнь. —В кн.: С.В. Шувалов. М.Ю. Лермонтов. Жизнь и творчество. М. -Л., Госиздат, 1925, с.3 – 61.

[1. Характеристика эпохи; 2. Детство; 3. Жизнь в Москве. Пансион; 4. Жизнь в Москве. Университет; 5. Жизнь в Петербурге; 6. Первая ссылка на Кавказ; 7. Жизнь в Петербурге до второй ссылки; 8. Вторая ссылка на Кавказ и смерть; 9. Краткая биографическая канва].

1569 (M)**Щеголев П. Е.**

Книга о Лермонтове. Вып. 1–2. Л., «Прибой», 1929, Вып. 1. 328 стр.; вып. 2. 248 стр.

[Содерж.: <Вып. 1.> Предисловие; Часть 1-я. Детство, отрочество и юность (1814–1832); Часть 2-я. Молодость в Петербурге (1832–1836); Часть 3-я. Стихи на смерть Пушкина и Первая ссылка (1837)

<Вып. 2.> Часть 1-я. Лермонтов в свете (1838–1840); Часть 2-я. На юге (1840); Часть 3-я. Последняя поездка на север

(1841); Часть 4-я. Последние дни в пятигорске и дуэль с Мартыновым (1841); Список материалов].

В-IV

1570**Андреев-Кривич С. А.**

Тарханская пора. М., Детгиз, 1963, 191 стр. с ил.,

[Жизнь и творчество Лермонтова. Лермонтовские места].

1571 (K)**Андроников И. Л.**

Лермонтов в Грузии. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов. Исследования и находки. Изд. 4-е. М., «Худож. лит.», 1977, с.264 – 360.

1572 (M)**Андроников И. Л.**

Лермонтов в Грузии в 1837 году. —В кн.: Андроников И.Л. Лермонтов. Исследования, статьи, рассказы. Пенза, Обл. изд-во, 1952, с.39 – 126.

1573 (M)**Андроников И. Л.**

На Тереке в 1837 году. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.175 – 180.

[Разные места на Тереке, отраженные на произведениях Лермонтова].

1574 (K)**Андроников И. Л.**

По ущельям Терека и Арагвы. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов. Исследования и находки. Изд. 4-е. М., «Худож. лит.», 1977, с.444 — 461.

1576 (M)**Андроников И. Л.**

Тифлисский адрес Лермонтова. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.155 — 159.

1577 (M)**Андроников И. Л.**

Тифлис того времени. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.108 — 114.

1578 (M)**Андроников И. Л.**

«Шолковое». —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.165 — 175.

[Имение генеральши Хастатовой «Шолковое» и связь его впечатлений с произведениями Лермонтова.]

1579 (M)**Антюхин Г. В.**

Лермонтов на земле воронежской. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы. Воронеж, Изд-во Воронеж. ун-та, 1964, с.257 — 261.

1580 (M)**Анциферов Н.**

Лермонтовские места в окрестностях Ленинграда. —В кн.: По лермонтовским местам. М., Гослитмузей, 1940, с.102 — 110.

1581**Арзамасцев В. П.**

Лермонтов в Тарханах. Путеводитель по дому-музею. Изд. 2-е, испр. и доп. Саратов, Приволж. кн. изд-во, 1977, 102 стр. с ил.

1582**Арканников О.**

О пребывании М.Ю. Лермонтова в Тамани.

— «Русский архив». М., 1891, кн. 3, № 12, с.575.

1583 (T)**Баранов В.**

Лермонтов в Москве. —В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с.727 — 729.

1584**Бирдерлинг А. А.**

Лермонтовский музей в Петербурге в Николаевском кавалерийском училище.

— «Русская старина», СПб., 1883, т.40, № 12, с.731 — 738.

1585**Бразуль-Брушковский Д.**

Лермонтов и Кавказ (Юбилейная памятка). 1841—15 июля—1914 г. Пятигорск, 1914.

1586

Брыль Янка

Из записных книжек.

— «Новый мир», 1968, № 4, с.90 — 109.

[С.90—91, 92: о Лермонтове. Впечатления о посещении лермонтовских мест на Кавказе].

1587 (М)

Введенский

Лермонтов в Пятигорске. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.60 — 63, [Изд. 5-е, допол.].

1588 (М)

Ветринский

Отражение кавказских впечатлений на Лермонтова. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.42 — 45, [Изд. 5-е, допол.].

1589

Виноградов Б.С., Чентиева М.Л.

М.Ю. Лермонтов и наш край. —В кн.: Лермонтовский сборник. 1914—1964. Грозный, 1964, с.7 — 95.

1590

Виноградов Б. С.

Лермонтов и Чечено-Ингушетия. Сборник. Вступ. статья Б.С. Виноградова. Грозный. Чечено-Ингуш. кн. изд-во, 1964, 57 стр.

1591

Виноградов Б. С.

«Речка смерти» и мечта о мире. —В кн.: Лермонтовский сборник. 1814—1964. Грозный, Чечено-Ингуш. кн. изд-во, 1964, с.161 — 181.

1592

Вырыпаев П. А.

На берегу Милорайки. Лермонтов в Тарханах. Доп. изд. Саратов, Приволж. кн. изд-во, 1967, 108 стр.

1593 (М)

Гребенкова А. И.

Музей «Домик Лермонтова» в Пятигорске (Краткий исторический очерк). —В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1960, с.185 — 199.

1594 (М)

Гиреев Д.

Путешествие Лермонтова по Кавказу. —В кн.: По лермонтовским местам. М., Гослитмузей, 1940, с.147 — 158.

1595 (М)

Жаворонков А. З.

М.Ю. Лермонтов и Новгород. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Материалы и сообщ. VI. Всесоюз. лермонтов. конф. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1965, с.101 — 112. (Ставр. пед. ин-т).

1596**Иванова Т. А.**

Лермонтов на Кавказе. Эссе.
Изд. 2-е, доп. М., «Дет. лит.»,
1975. 214 стр.
[1-е изд. — 1968].

1597 (М)**Иванова Т. А.**

Гл. 1-я. Лермонтов в Москве
20-30-х годов. — В кн.: Т.А. Ива-
нова. Москва в жизни и творчест-
ве М.Ю. Лермонтова. 1827—1832.
М., «Моск. рабочий», 1950, с.5 —
45.

1598 (М)**Иванова Т. А.**

Лермонтов в Москве (1827—
1832) — В кн.: По лермонтов-
ским местам. М., Гослитмузей,
1940, с.55 — 84.

1599 (К)**Иванова Т. А.**

Лермонтов в Москве. Эссе. М.,
«Дет. литература», 1979. 207 стр.
[Содерж.: Часть 1-я. Юность
поэта; Часть 2-я. На пути к вер-
шинам].

1600 (М)**Иванова Т. А.**

Гл. 3-я. Лето в Средниково.
— В кн.: Т.А. Иванова. Москва в
жизни и творчестве М.Ю. Лер-
монтова. 1827—1832. М., «Моск.
рабочий», 1950, с.95 — 139.

1601**Иванова Т. А.**

Москва в жизни и творчестве
М.Ю. Лермонтова. 1827—1832. М.,
Изд. и тип. изд-во «Моск. рабо-
чий», 1950. 191 стр.

1602**Иванова Т.**

По лермонтовской Москве.
— В сборн.: Литературные экс-
курсии по Москве. М., 1948, с.56 —
82.

1603**Иванова Т.**

Середниково. — В кн.: Под-
московные. М., 1946, с.45 — 71.

1604 (М)**Иванова Т. А.**

Четыре лета. Лермонтов в
Средниково. М., Гос. изд-во дет.
лит., 1959, 93 стр. с ил. (Школь-
ная библиотека. По дорогим мес-
там).

1605 (М)**Корнилов В. и Храмов А.**

Лермонтов в Тарханах. — В
кн.: По лермонтовским местам.
М., Гослитмузей, 1940, с.40 — 54.

1606**Лаврецкий В. Л.**

Лермонтов в Петербурге.
— «Звезда», 1941, № 7—8,
с.184 — 192.

1607 (M)**Любович Н.**

Лермонтов в Петербурге. — В кн.: По лермонтовским местам. М., Гослитмузей, 1940, с.85–101.

1608**Мануйлов В.**

Лермонтов и Москва. К 800-летию Москвы — «Звезда», 1947, № 9, с.167–171.

[Литературные места в Москве. Отношение Лермонтова к Москве. Москва в произведениях Лермонтова].

1609 (M)**Мануйлов В. А.**

Лермонтов в Петербурге. Л., Лениздат, 1964, 340 стр.

1610**Мануйлов В. А.**

Лермонтов в Тарханах. Пенза, Изд. и тип. Пенз. обл. изд., 1949, 108 стр.

1611**Махлевич Я. Л.**

Новое о Лермонтове в Москве. Лермонтов, Поливановы и Ивановы-Чарторижские. — «Русская литература», 1977, № 1, с.102 – 113.

1612**Назарова Л. Н.**

Михаил Юрьевич Лермонтов. — В кн.: Литературные памятные места Ленинграда. Лениздат. 1976, с.158 – 177.

1613**Недумов С. И.**

Лермонтовский Пятигорск. Ставрополь, Кн. изд-во, 1974. 312 стр. с ил.

1614**Недумов С. и Селегей Павел Евдокимович**

По лермонтовским местам [на Кавказских Минеральных Водах. Путеводитель]. Ставрополь, Кн. изд-во, 1963, 103 стр. с илл.

1615**Нейман Б.В. и Прокопенко Л.И.**

Украинская страница биографии поэта. К 150-летию со дня рождения поэта. — «Радуга», 1964, № 10, с.161–169.

[Лермонтовские места на Украине. Круг знакомств Лермонтова, связанных с Украиной].

1616**Пешков В. П.**

Страницы прошлого читая ... Воронеж, Центр.-Чернозем. кн. изд-во, 1972. 203 стр.

[Лермонтов в Тамбове. Лермонтовские места. «Тамбовская казначейша». Лица из лермонтовского окружения, связанные с Тамбовом, Протасьеры, Грузинов, Боборыкины, Е.А. Баратынский, А.Д. Баратынская, А.Г. Ломоносов, Н.Н. Пушкина, А.В. Чавчавадзе, Сатин, С. Крицов, А.В. Галофеев, Н.Ф. Туровский, А.К. Воронцова и др. «Вадим»].

1617**Поливанов Л. И.**

Михаил Юрьевич Лермонтов в 1831–1832 г.г.

— «Русская старина», 1889, т.61, январь, с.159 — 164.

1618**Половников А.**

По лермонтовским адресам.

— «Нева», 1961, № 10, с.148 — 151.

1619 (М)**Попов А. В.**

В Азербайджане. —В кн.: А.В. Попов. М.Ю. Лермонтов в первой ссылке. — Труды Ставроп. пед. ин-та, 1949, вып. III. с.70 — 78.

1620 (М)**Попов А. В.**

В Азербайджане. —В кн.: А.В. Попов. Лермонтов на Кавказе. Гл. В первой ссылке. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1954, с.89–98.

1621 (М)**Попов А. В.**

В Дагестане. —В кн.: А.В. Попов. Лермонтов на Кавказе. Гл. Во второй ссылке. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1954, с.148 — 153.

1622 (М)**Попов А. В.**

В Кахетии. —В кн.: А.В. Попов. М.Ю. Лермонтов в первой ссылке. — Труды Ставроп. пед. ин-та, 1949, вып. III. с.53 — 61.

1623**Попов А. В.**

В Кахетии. —В кн.: А.В. Попов. Лермонтов на Кавказе. Гл. В первой ссылке. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1954, с.75–82.

1624 (М)**Попов А. В.**

В Пятигорске. —В кн.: А.В. Попов. М.Ю. Лермонтов в первой ссылке. — Труды Ставроп. пед. ин-та, 1949, вып. III. с.36 — 43.

1625 (М)**Попов А. В.**

В Пятигорске. —В кн.: А.В. Попов. Лермонтов на Кавказе. Гл. В первой ссылке. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1954, с.60–69.

1626 (М)**Попов А. В.**

Из Тамани снова в Ставрополь. —В кн.: А.В. Попов. Лермонтов на Кавказе. Гл. В первой ссылке. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1954, с.98 — 103.

1627 (М)**Попов А. В.**

Кавказ и кавказцы в жизни и творчестве молодого Лермонтова. —В кн.: А.В. Попов. Лермонтов на Кавказе. Гл. Первые поездки на Кавказ. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1954, с.5 — 23.

1628**Попов А. В.**

Лермонтов в Азербайджане.
Баку, НКП АзССР, 1941. 28 стр.

1629 (М)**Попов А. В.**

Лермонтов в Ставрополе. —В
кн.: А.В. Попов. М.Ю. Лермонтов
в первой ссылке. — Труды Став-
роп. пед. ин-та, 1949, вып. III.
с.5 — 12.

1630 (М)**Попов А. В.**

Лермонтов в Ставрополе. —В
кн.: А.В. Попов. Лермонтов на
Кавказе. Гл. В первой ссылке.
Ставрополь, Ставр. кн. изд-во,
1954, с.27 — 34.

1631**Попов А. В.**

М.Ю. Лермонтов на Тереке.
—В кн.: Русские писатели в
нашем крае. Сб. статей. Грозный,
1958, с.41 — 67.

1632 (М)**Попов А. В.**

На Тереке. —В кн.: А.В. По-
пов. М.Ю. Лермонтов в первой
ссылке. — Труды Ставроп. пед.
ин-та, 1949, вып. III, с.28 — 35.

1633 (М)**Попов А. В.**

На Тереке. —В кн.: А.В. По-
пов. Лермонтов на Кавказе. Гл.
В первой ссылке. Ставрополь,
Ставр. кн. изд-во, 1954, с.51—60.

1634 (М)**Попов А. В.**

Ставрополь и Грозная. —В
кн.: А.В. Попов. Лермонтов на
Кавказе. Гл. Во второй ссылке.
Ставрополь., Ставр. кн. изд-во,
1954, с.133 — 140.

1635 (С)**Прокопенко Л. И.**

Тамань. Домик и рисунок М.Ю.
Лермонтова. —В кн.: Известия
Акад. наук СССР. Серия литера-
туры и языка, т.25, вып. 1, 1966,
с.46 — 50.

1636 (С)**Прокопенко Леонид**

Тамань при Лермонтове.
— «Кубань». Альманах, № 4—5,
1969, с.207 — 212.

1637**Селегей П. Е.**

«Домик Лермонтова», музей,
Пятигорск. Путеводитель по ли-
тературно-мемориальному госу-
дарственному музею. Ставрополь,
Кн. изд-во, 1974, 191 стр.

1638**Селегей П. Е.**

По лермонтовским местам [на
Кавказских Минеральных Водах.
Путеводитель]. Ставрополь, Кн.
изд-во, 1968. 79 стр.

1639**Селегей П. Е.**

По лермонтовским местам.
[Путеводитель, 2-е изд.] Ставро-
поль, Кн. изд-во, 1971. 88 стр.

1640**Семенов Л. П.**

К пребыванию М.Ю. Лермонтова на Кавказе в 1840 г. (По архивным материалам). — В кн.: Известия Северо-Осетинского пед. ин-та им. К.Л. Хетагурова, Орджоникидзе, т.2, 1924, с.39 — 58.

1641 (М)**Семенов Леонид Петрович**

Лермонтов на Кавказе. Пятигорск, Орджоникидз. кр. изд-во, 1939, 224 стр.

[Содержание: 1. Первые поездки М.Ю. Лермонтова на Кавказе; 2. Кавказские мотивы М.Ю. Лермонтова 1828—1834 гг.; 3. Ссылка М.Ю. Лермонтова на Кавказ в 1837 году; 4. Кавказские мотивы в произведениях М.Ю. Лермонтова 1837—1839 гг.; 5. М.Ю. Лермонтов на Кавказе в 1840—1841 гг.; 6. Кавказские мотивы в произведениях М.Ю. Лермонтова 1840 и 1841 гг.; 1. Отзвуки кавказских мотивов М.Ю. Лермонтова в литературе и искусстве; Примечания [Библиография]; [Хронологическая канва пребывания М.Ю. Лермонтова на Кавказе]; Из материалов о пребывании М.Ю. Лермонтова на Кавказе; журналы и газеты 1841—1842 гг. о смерти Лермонтова].

1642 (М)**Семенов Л.**

П. 15 июля 1914 г. (Из записной книжки). — В кн.: Л. Семенов. М.Ю. Лермонтов. Статьи и заметки. I. М., 1915, с.13 — 22.

1643 (М)**Симанская В. Я.**

Шотландка — селение Каррас (лермонтовские места в Пятигорье). — В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1960, с.200 — 211.

1644**Соколов В. В.**

Лермонтов в Тамани. — В кн.: Известия Таврического о-ва истории, археологии и этнографии (бывш. Таврической ученой архивной комиссии), Т. II (59-й). Симферополь, 1928, с.127—129.

1645**Усок И. Е.**

М.Ю. Лермонтов. — В кн.: Русские писатели в Москве. М., «Московский рабочий», 1973, с.388 — 413.

1646**Чеченец А. Д.**

На память о Кавказских минеральных водах. Воспоминания о Лермонтове. Сборник статей и заметок из разных источников. СПб., скоропеч. П.О. Яблонского, 1904, II, 116 стр.

1647**Шер Надежда Сергеевна**

Михаил Юрьевич Лермонтов. 1814—1841. — В кн.: Шер Н.С. Рассказы о русских писателях, М., 1957, с.119 — 154.

[Художественная биография].

1648

Эйхенбаум Б. М.

Жизнь М.Ю. Лермонтова. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Избранные произведения. М.-Л., 1936, с.3—67.

1649

Якимов В. Л.

На месте последних дней Лермонтова.

— «Исторический вестник», СПб., 1901, т.85, № 8, с.630—652.

[Содерж.: Памятник, — Грот Лермонтова, — Место дуэли Лермонтова, — Домик Лермонтова].

1650 (M)

Яковкина Е.

Лермонтов на Кавказских водах. —В кн.: По лермонтовским местам. М., Гослитмузей, 1940, с.111—146.

1651

Яковкина Е. И.

Лермонтовские места. [2-е изд.], Пятигорск, гос. музей «Домик Лермонтова», типолит. им. Анджиевского, 1949, 144 стр.

1652

Яковкина Е. И.

О маршруте путешествия М.Ю. Лермонтова по Кавказу в 1837 году. —В кн.: Лермонтов. Временник. Пятигорск, 1947, вып. 1, с.56—61.

[С.62—66: документы о пребывании М.Ю. Лермонтова на Кавказе, обнаруженные в Центр. гос. Архиве Грузинской ССР; с.67: карта].

1653

Яковкина Е. И.

По лермонтовским местам. [Очерк о пребывании Лермонтова на Кавказских водах и описание лермонтовских мест]. Ворошиловск, Орджоникидзево краев. изд-во. Типо-лит. им. Анджиевского в Пятигорске, 1938. 120 стр.

1654

Яковкина Е. И.

Последний приют поэта. Домик М.Ю. Лермонтова. 3-е изд., испр. и доп. Ставрополь, Кн. изд-во, 1975. 188 с.

B-V

1655 (K)

Андроников И. Л.

Дар медсестры Немковой. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов, Исследования и находки. Изд. 4-е. М., «Худож. лит.», 1977, с.470—477.

[Альбом с двумя стихотворениями Лермонтова].

1657 (K)

Андроников И. Л.

Неизвестная нам Мария. —В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов. Исследования и находки. Изд. 4-е. М., «Худож. лит.», 1977, с.478—506.

[О неизвестном альбоме].

1658 (К)**Андроников И. Л.**

Пакет из Стокгольма. — В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов. Исследования и находки. Изд. 4-е. М., «Худож. лит.», 1977, с.462 — 469.

1659 (К)**Андроников И. Л.**

Подпись под рисунком. — В кн.: И.Л. Андроников. Избранные произведения. В 2-х томах. Т.1. М., «Худож. лит.», 1975, с.78 — 90.

1660 (М)**Андроников И. Л.**

По ущельям Терека и Арагвы. — В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов в Грузии в 1837 году. М., «Сов. писатель», 1955, с.217 — 237.

[О картинах и рисунках, на которых Лермонтов изобразил виды Кавказа].

1661 (К)**Андроников И. Л.**

Рисунки из американских альбомов. — В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов. Исследования и находки. Изд. 4-е. М., «Худож. лит.», 1977, с.258 — 263.

1662 (К)**Андроников И. Л.**

Сокровища замка Хохберг. — В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов. Исследования и находки.

Изд. 4-е. М., «Худож. лит.», 1977, с.195 — 253.

[Рукописи и живописные работы, хранившиеся у А.М. Верещагиной].

1663 (К)**Андроников И. Л.**

Сокровища замка Хохберг. — В кн.: И.Л. Андроников. Избранные произведения. В 2-х томах. Т.1. М., «Худож. лит.», 1975, с.237 — 264.

[Альбомы со стихами и рисунками Лермонтова, хранившиеся у А.М. Верещагиной].

1664 (К)**Андроников И. Л.**

Чудеса радиотелевидения. — В кн.: И.Л. Андроников. Избранные произведения. В 2-х томах. Т.1. М., «Худож. лит.», 1975, с.265 — 280.

[Литография, на которой изображена А.М. Верещагина. Случайная ее находка].

1665 (К)**Андроников И. Л.**

Чудеса телевидения. — В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов. Исследования и находки. Изд. 4-е. М., «Худож. лит.», 1977, с.254 — 257.

[О литографии и альбоме, хранившихся у Натальи Комовой].

1666 (Т)**Врангель Н. Н.**

Лермонтов — художник. — В кн.: Полное собр. соч. М.Ю. Лермонтова. Под ред. Д.И. Абрамовича. Т. V., СПб., Изд. Разряда изящной словесности Имп. Акад. Наук, 1913, с. 210 — 217.

1667 (К)**Григорьян К. Н.**

Живопись Лермонтова. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с. 271 — 282.

1668 (Т)**Дурылин С.**

Врубель и Лермонтов. — В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с. 541 — 622.

1669 (К)**Ковалевская Е. А.**

Акварели и рисунки Лермонтова из альбомов А.М. Верещагиной. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с. 24—79.

1670 (М)**Коваленко В. И.**

Кавказ в живописном наследии Лермонтова. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Материалы и сообщ. VI. Всесоюз. лермонт. конф. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1965, с. 127 — 139. (Ставр. пед. ин-т).

1671 (М)**Манвелов Н. Н.**

Воспоминания, относящиеся к рисункам тетради М.Ю. Лермонтова. — В кн.: М.Ю. Лермонтов в воспоминаниях современников, М., «Худож. лит.», 1972, с. 143—146.

1672 (Т)**Мосолов Б. С.**

Обзор художественных работ Лермонтова. — В кн.: Полное собр. соч. М.Ю. Лермонтова. Под ред. Д.И. Абрамовича. Т. V., СПб., Изд. Разряда изящной словесности Имп. Акад. Наук, 1913, с. 218 — 226.

1673 (Т)**Пахомов Н.**

Живописное наследство Лермонтова. — В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с. 55 — 222.

[Предисловие; I. Картины; II. Акварели; III. Рисунки (А. На отдельных листах и в тетрадях; Б. Альбомы); IV. Рисунки на автографах; V. Утраченные работы; VI. Мнимые рисунки Лермонтова.]

1674 (К)**Сандомирская В. Б.**

Альбом с рисунками Лермонтова (Лермонтов и М.А. Шан-Гирей). — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с. 122 — 138.

1675

Фейнберт Илья Львович

История одной рукописи. Рассказы литературоведа. Изд. 2-е, доп. М., «Сов. Россия», 1967, 174 стр.

[С.5—9: Рисунок Лермонтова, Изображение Дубельта на полях черновика стих. «Смерть поэта»].

1676 (Т)

Эйгес И.

Музыка в жизни и творчестве Лермонтова. — В кн.: Литературное наследство, № 45—46, М., 1948, с.497 — 540.

С

1677

Айзенштадт И. М.

М.Ю. Лермонтов. Жизнь и творчество. (Альбом. Сост. И.М. Айзенштадт, Г.В. Морозова и З.А. Проскурякова). М.-Л., «Искусство», 1941. VIII, 314 стр. (АН СССР. Ин-т мировой лит.).

1678

Андреев С. Ф.

К столетию со дня смерти М.Ю. Лермонтова. Орджоникидзе, 1941. 28 стр.

[С.26—28: Библиографический указатель пособий по изучению жизни и творчества М.Ю. Лермонтова].

1679 (М)

Андреев-Кривич С. А.

Всеведение поэта. М., «Сов. Россия», 1973, 253 стр. с ил.

[О жизни и творчестве М.Ю. Лермонтова. Для детей старшего школьного возраста].

1680 (М)

Андреев-Кривич С. А.

Лермонтов. Вопросы творчества и биографии. М., Изд-во Акад. наук СССР, 1954, 153 стр.

1681

Андреевский С. А.

Лермонтов. Характеристика. — В кн.: Андреевский С.А. Литературные очерки. 4-е дополн. изд. СПб, 1913, с.173 — 200.

1682

Андроников И. Л.

Разносторонность таланта Лермонтова. — В кн.: И.Л. Андроников. Великая эстафета. Воспоминания. Беседы. М., «Дет. лит.», 1975, с.144 — 146.

1683 (К)

Андроников И. Л.

Судьба Лермонтова. — В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов. Исследования и находки. Изд. 4-е. М., «Худож. лит.», 1977, с.582 — 636.

1684

Андроников И. Л.

«Четыре года» [Творческий

путь Лермонтова]. —В кн.: И.Л. Андроников. Великая эстафета. Воспоминания. Беседы. М., «Дет. лит.», 1975, с.221 – 233.

1685

Антокольский П. Г.

Наш Лермонтов (1841–1941). —В кн.: П.Г. Антокольский. Испытание временем. Статьи. М., «Сов. писатель», 1945, с.21 – 42.

[Общая характеристика творчества Лермонтова].

1686 (М)

Архипов В. А.

М.Ю. Лермонтов. Поэзия познания и действия. М., «Московский рабочий», 1965. 472 стр.

[О творческой натуре Лермонтова].

1687

Благой Д.

Гений русской поэзии. К 150-летию со дня рождения М.Ю. Лермонтова.

— «Коммунист». 1964, № 14, с.84 – 91.

1688

Благой Д.

Диалектика литературной преемственности.

— «Вопросы литературы», № 2, с.94 – 112.

[С.101: Лермонтов – преемник Пушкина].

1689

Бороздин А. К.

М.Ю. Лермонтов. СПб. «Прометей», 1914, 139 стр.

[Содержание: 1. Жизнь поэта, 2. Литературные влияния, 3. Внешняя сторона поэзии Лермонтова, 4. Лирика Лермонтова, 5. Драматические произведения Лермонтова, 6. Герой нашкого времени, 7. Заключение, 8. Приложение; Белинский о Л.]

1690

Браиловский С. Н.

М.Ю. Лермонтов. О жизни и творчестве поэта. По поводу столетия со дня его рождения. (2/X-1814 – 2/X-1914 г.)

[Сост. С.Н. Браиловский. Одесса, Упр. Одесского уч. окр., 1914].

1691

Вацуро В. Э.

М.Ю. Лермонтов. —В кн.: Русская литература и фольклор. Первая половина XIX в. Л., «Наука», 1976, с.210–248. (АН СССР. ин-т рус. лит-ры. Пушкинский Дом).

1692 (М)

Висковатов П. А.

Михамл Юрьевич Лермонтов. Жизнь и творчество. —В кн.: Сочинения М.Ю. Лермонтова. Т. VI. М., В.Ф. Рихтер, 1891, 454 стр. с прилож. (24 стр.).

[Содерж.: Часть I. Детство и первая юность; Часть II. Стремле-

ния и тревоги молодости (период брожения); Часть III. Зреющий человек и поэт; Эпилог; Послеловие; Приложения].

1693 (M)

Гинзбург Л.

Творческий путь Лермонтова. Л., Гослитиздат, 1940, 224 стр.

1694 (M)

Глаголев Н. А.

Лермонтов в свете современности. —В кн.: М.Ю. Лермонтов. Сб. статей под ред. Н.А. Глаголева. М., Учпедгиз, 1941, с.9 — 30.

1695 (M)

Григорьев Н. Г.

Лермонтов, люди и природа. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб, Книгоизд. Товарищество «ОРОС», вып. 7, б.г., с.71 — 78.

1696 (M)

Григорьев Н. Г.

Лермонтов и современное ему общество. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб, Книгоизд. Товарищество «ОРОС», вып. 7, б.г., с.87 — 93.

1697

Добровский Л. М.

М.Ю. Лермонтов. (1814—1841). К 125-летию со дня рождения. Указатель литературы. Л., Изд. Ленингр. гор. библиотеки. Горно, 1939.

[Содерж.: Даты жизни и творчества. Цитаты о творчестве Лермонтова. Библиография — Тексты Лермонтова, — Мемуары, — Общие очерки жизни и творчества, — Проза, — Лирика, — Поэмы, — Драматургические произведения, — Язык, стихосложение и стиль Лермонтова, — Лермонтов и фольклор, — Лермонтов и цензура, — Лермонтов и русские писатели, — Лермонтов и запад, —Справочные издания].

1698

Дурылин С. Н.

Михаил Юрьевич Лермонтов. М., «Молод. гвардия», 1944, 160 стр. (Великие русские люди).

1699

Заславский И. Я.

М.Ю. Лермонтов и современность. Киев. Изд-во Киев. ун-та, 1963, 124 с.

1700

Иванов С. В.

М.Ю. Лермонтов. Жизнь и творчество. Пособие для учителя. М., «Просвещение», 1964, 399 стр.

1701

Каратаев М.

Наш Лермонтов. —В кн.: Каратаев М. Свет русской культуры. Алма-Ата, «Казахстан», 1975, с.62 — 75.

1702 (Т)**Комаров В.**

Лермонтов в наши дни. — В кн.: Литературное наследство, № 43—44, М., 1941. с. XI — XVI.

1703**Коровин В.**

Мятежное сердце поэта. К 160-летию со дня рождения М.Ю. Лермонтова.

— «Молодая гвардия», 1974, № 10, с. 270 — 275.

1704**Коровин В. И.**

Творческий путь М.Ю. Лермонтова. М., «Просвещение», 1973. 288 стр. с ил.

1705**Котляревский Н.**

Михаил Юрьевич Лермонтов. Личность поэта и его произведения. 5-е испр. и доп. изд. Пг, Тип. М.М. Стасюлевича, 1915, 435 стр.

1706**М.Ю. Лермонтов.**

М., «Никитинские субботники», 1927. 150 стр. (Библиотека писателей для школы и юношества. III серия. Классики в марксистском освещении).

[Содерж.: Хронологическая таблица жизни и творчества Лермонтова. — Г.В. Плеханов. О Лермонтове. (В статье «А.И. Герцен и крепостное право»). — Н.А. Рож-

ков. Лермонтов. — Евг. Соловьев. М.Ю. Лермонтов. — Л.Н. Войтоловский. М.Ю. Лермонтов. — Г. Ледевич. Поэзия Лермонтова. — Г.Е. Горбачев. Лермонтов. — П.С. Коган. Лермонтов. — С.В. Шувалов. Поэзия Лермонтова. — Библиография.

1707**Ломунов К.**

О жизни и творчестве Лермонтова. — В кн. Лермонтов, Михаил Юрьевич. Стихотворения, Герой нашего времени. М., «Дет. лит.», 1978, 191 стр. с. 167—190.

1708**Лукашевич Клавдия**

Как жил и что писал Михаил Юрьевич Лермонтов. Ко дню столетнего юбилея со дня рождения, 1914 года, 2 октября. Составила Кл. Лукашевич, М., тип. И.Д. Сытина, 1914. 178 стр. с ил.

1709 (М)**Любович Н.**

М.Ю. Лермонтов. Жизнь и творчество. — В кн.: По лермонтовским местам. М., Гослитмузей, 1940, с. 13 — 39.

1710**Лютый Ф.**

Лермонтов и наша современность. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. 1841—1941. Сб. статей. Пятигорск, 1961, с. 3 — 20.

1711

Мануйлов В. А.

Великий поэт — патриот. К столетию со дня гибели М.Ю. Лермонтова. М.-Л., Изд-во Акад. наук СССР, 1941. 16 стр. (Акад. наук СССР, Ин-т рус. лит. Пушкинский Дом. Оборонная серия).

1712

Мануйлов В. А.

Лермонтов. Жизнь и творчество. Л., «Учпедгиз», 1939. 112 стр.

1713

Мануйлов В. А.

М.Ю. Лермонтов. Жизнь и творчество. М., «Знание», 1958, 40 стр.

1714

Мануйлов В.

Лермонтов и народ.
— «Молодая гвардия», М., 1939, № 10—11, с.215 — 220.

1715

Мануйлов В. А.

Лермонтов и наше время. Стенограмма публичной лекции. Л., 1951, 39 стр.

1716

Медестов А.

О смысле жизни в русской художественной литературе XIX века. Вып. I. СПб., Книгоизд-во типо-лит. Энергия, 1914. VI, 86 [2] стр.

(Культурно-историческая библиотека под ред. Историч. комиссии Учебн. отдела общества распространения технических знаний. № 4) [С.17—34, М.Ю. Лермонтов].

1717

Мережковский Д. С.

Вечные спутники. Портреты из всемирной литературы. СПб. 1897, [2], IV, 552 стр.
[С.395, 403, 435, 464, 473, 474, 494, 550 — О Лермонтове].

1718

Мережковский Д. С.

Лермонтов. —В кн.: Лермонтов М.Ю. — Иллюстр. полное собр. сочинений. Ред. В.В. Каллаша. М., «Печатник», 1915, Том VI, Критические статьи, с.224—226.

1719

Мережковский Д. С.

О причинах упадка и о новых течениях современной русской литературы. Д.С. Мережковский. СПб., тип. лит. Б.М. Вольфа, 1893, [2], 192 стр.

[О Лермонтове на стр.: 7, 10, 58, 59, 64, 65, 74, 94—98, 110—112, 122, 125, 135—136, 146, 152, 176, 177, 178, 180]

1720

Михайлова Е. Н.

Творческий путь Лермонтова. (К 125-летию со дня рождения поэта).

— «Литература в школе», М., 1939, № 5, с.11 — 27.

1721

Михайловский Н. К.

Сочинения Н.К. Михайловского. Том 1–7. СПб., Изд. ред. ж. «Русское Богатство», 1896–1909.

[О Лермонтове: Т.2, столб. 618, 621, 640; Т.4, столб. 891–898; Т.5, столб. 303–348].

1722

Морозова Г. В.

М.Ю. Лермонтов. Жизнь и творчество. Альбом, Сост. И.М. Айзенштадт, Г.В. Морозова и З.А. Просулякова. М.-Л., 1941.

1723

Наровчатов С. С.

Берега времени. М., «Современник», 1976. 306 стр.

[С.7–17: Лермонтов. Общая характеристика].

1724

Наровчатов С. С.

Мой Лермонтов. К 150-летию со дня рождения.

— «Молодая гвардия», 1964, № 10, с.85 – 111.

1725

Нейман Б. В.

Лермонтов. Его жизнь и творчество. 1814–3 октября – 1914. Киев-СПб., Кн. маг. Н.Я. Оглоблина, 1914. 31 стр.

1726

Нейман Б. В.

М.Ю. Лермонтов. —В кн.: Ис-

тория русской литературы XIX века (первая половина). Под ред. проф. С.М. Петрова. Изд. 4-е, испр. и доп. М., «Просвещение», 1973, с.318 – 360.

1727

Некрасов И. С.

Значение Лермонтова в истории русской литературы. —В кн.: Некрасов И.С. — О значении Лермонтова и Гоголя в истории русской литературы. Одесса, 1887, с.1 – 17.

1728

Некрасов И. С.

О значении Лермонтова и Гоголя в истории русской литературы. Две публичные лекции И. С. Некрасова. Одесса, тип. «Одесск. вестник», 1887, [2]. 38 стр.

1729

Николаев Ю. Н.

М.Ю. Лермонтов.

— «Русский вестник», 1891, № 8, с.285 – 299.

1730

Николева М. Ф.

Михаил Юрьевич Лермонтов. Жизнь и творчество. [Для старш. возраста]. М., Детгиз, 1956. 295 стр.

1731

Никольский П.

М.Ю. Лермонтов и его литера-

турная деятельность. (Две публичные лекции, читанные на вечере памяти Лермонтова, устроенном Тульским музыкально-драматическим Обществом в субботу 12 декабря 1898 года. П. Никольский). Тула, тип. Тульского губ. правления, 1899, 24 стр.

1732

Нуссбаум И.

Критические материалы по литературе. Вып. II-й: Ложноклассицизм. Сентиментализм. Романтизм. Байронизм. Реализм. Вып. III-й: Пушкин. Гоголь. Лермонтов. Кольцов. Тургенев. Гончаров. Островский. Житомир, 1910. 88 стр.

[Глава IX, с.52–62: Лермонтов. Отрывки из критических статей и книг о Лермонтове].

1733

Овсяннико-Куликовский Д. Н.

М.Ю. Лермонтов (К столетию со дня рождения великого поэта). СПб., Кн-во «Прометей», 1914, 141 стр.

[Содерж.: I. Лермонтов – натура эгоцентрическая. II. «Демон» – Из писем, заметок и ранней лирики. III. Лермонтов – лирик (1832–1841). IV. О некоторых чертах внешней формы стихов Лермонтова. V. Субъективное в поэмах Лермонтова. VI. Субъективное в романе «Герой нашего времени». VII. Субъективное в образном творчестве Лермонтова. VIII. Несколько слов о внешней

форме произведений Лермонтова. IX. Драматические произведения Лермонтова. X. Заключение].

1734

Овсяннико-Куликовский Д.

Памяти Лермонтова.

– «Вестник Европы», 1914, кн. 10, с.255 – 263.

1735 (К)

Озеров Л.

Слово о Лермонтове. —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского* Союза, Ереван, 1974, с.5 – 12.

1736

Орлов В. Н.

Михаил Лермонтов. 1814–1841. —В кн.: Русские поэты. Антология в 4-х т.т. Т.2. М., «Детская литература», 1966, с.321–333.

1737

Паустовский К. Г.

Наедине с осенью. —В кн.: Паустовский К.Г. Наедине с осенью. Портреты, воспоминания, очерки. М., «Сов. писатель», 1967, с.262 – 268.

[Размышления о Лермонтове. Отзыв о «Завещании»].

1738 (С)

Петухов Е.

М.Ю. Лермонтов. Очерк его жизни и поэтической деятельности. Рига, Кн-во Ф.И. Трескиной, 1914, 40 стр.

[Библиогр. на стр. 39].

1739

Полевой П. Н.

М.Ю. Лермонтов. —В кн.: Полевой П.Н. История русской словесности. СПб., А.Ф.Маркс. 1900, Т.3. главы 17–18, с.310–347.

[Один из ближайших преемников Пушкина в поэзии. Краткий обзор биографии Лермонтова. Ранние проблески таланта. Байронизм и увлечение им. Влияние Кавказа. Первый, не вполне самостоятельный период в развитии поэтического дара. Университет и школа подпрапорщиков. Второй. блестящий период в развитии таланта Лермонтова. Его поэтические и прозаические произведения этой эпохи. Самостоятельные темы его поэзии. Дальнейшее развитие типов, намеченных Пушкиным. Трагическая судьба поэта. Общий вывод о значении Лермонтова, как писателя].

1740

Прохолов Гр.

М.Ю. Лермонтов и его значение в истории русской литературы. (Историко-литературный очерк). Пг., тип. М. Меркушева.

— «Христианское чтение», 1915.

1741 (M)

Пыпин А. Н.

Место Лермонтова в ряду русских борцов за права искусства. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб., Книгоизд. Товарищество «ОРОС», вып. 7, б.г., с.197 – 205.

1742 (M)

Пыпин А. Н.

Юношеские годы Лермонтова и мотивы ранних его произведений. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб., Книгоизд. Товарищество «ОРОС», вып. 7, б.г., с.8 – 13.

1743

Рождествин А. С.

Лермонтов. Личность и творчество. К столетию со дня рождения. 3/X 1814 г. – 3/X 1914. Казань, Центр. тип. 1915. [2], 40 стр.

1744 (M)

Рождествин А. С.

Родина и Лермонтов. —В кн.: В.И. Покровский. Михаил Юрьевич Лермонтов. Его жизнь и сочинения. М., 1916, с.120 – 123, [Изд. 5-е, допол.].

1745

Садовской Б.

М.Ю. Лермонтов. —В кн.: Б. Садовской. Ледоход. Статьи и заметки. Пг., 1916, с.9 – 30.

1746

Сафонов В. А.

Заметки о Лермонтове. —В кн.: Сафонов В. О достоинстве искусства. М., «Сов. писатель», 1972, с.84 – 93.

1747

Сиповский В.

Лермонтов и Грибоедов. «Трагедия личности» в русской лите-

ратуре 20-30-х годов.

—«Журнал Мин. нар. просв.»,
Пг., 1914, Новая серия. 54, № 11,
отд. 3, с.32 — 83.

1748 (М)

Соловьев В.

Высокая степень прирожденной гениальности Лермонтова и низкая степень его нравственного усовершенствования. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество. СПб, б.г., с.261 — 267.

1749 (М)

Соколов А. Н.

VII. Значение Лермонтова в русской литературе. —В кн.: А.Н. Соколов. Михаил Юрьевич Лермонтов. Изд. 2-е, испр. М., Изд-во Моск. ун-та, 1957, с.88 — 90.

1750

Соколов А. Н.

История русской литературы XIX века. 1-я половина. Изд. 4-е, испр. М. «Высшая школа», 1976, 640 стр.

[С.553—620: М.Ю. Лермонтов. Творческий путь. Лирика. «Демон», «Мцыри», «Песня про купца Калашникова» и др. поэмы. «Маскарад», «Вадим», «Княгиня Лиговская», «Герой нашего времени»].

1751

Соколов А. Н.

Михаил Юрьевич Лермонтов.

Из курса лекций по истории рус. литературы XIX века. М., Изд-во Моск. ун-та, 1952, 92 стр.

1752 (М)

Соколов А. Н.

I. Лермонтов и его время. —В кн.: А.Н. Соколов. Михаил Юрьевич Лермонтов. Изд. 2-е, испр. М., Изд-во Моск. ун-та, 1957, с.3 — 12.

1753 (М)

Соколов А. Н.

II. Творческий путь Лермонтова. —В кн.: А.Н. Соколов. Михаил Юрьевич Лермонтов. Изд. 2-е, испр. М., Изд-во Моск. ун-та, 1957, с.13 — 16.

1754 (М)

Соловьев Владимир

Высокая степень прирожденной гениальности Лермонтова и низкая степень его нравственного усовершенствования. —В кн.: Лермонтов. Жизнь и творчество, СПб., Книгоизд. Товарищество «ОРОС», б.г., с.261 — 267.

1755

Тихонов Н. С.

Лермонтов, 1964. —В кн.: Тихонов Н.С. Собр. соч. В 7-ми томах. Т.7, Очерки. Статьи. Выступления. М., «Худож. литература», 1976, с.367 — 387.

1756 (С)**Удодов Б. Т.**

Вопросы биографии и творчества М.Ю. Лермонтова в «Филологических записках». — В кн.: Материалы по русско-славянскому языкознанию, Воронеж, 1964, с.211 – 220.

1757 (М)**Удодов Борис Тимофеевич**

Часть I. Динамика и психология творчества. (Лермонтов как тип художника). — В кн.: Б.Т.Удодов. М.Ю. Лермонтов. Художественная индивидуальность и творческие процессы. Воронеж, Изд-во Воронеж. ун-та, 1973, с.27 – 210.

[Содерж.: Гл. 1. Личное начало в творческом процессе; Гл. 2. Ступени начальной стадии творческого акта у Лермонтова; Гл.3. Ступени заключительной стадии творческого акта у Лермонтова; Гл.4. Развивающееся постоянство]

1758**Федоров Василий**

Поиск прекрасного. М., «Советская Россия», 1970. 192 стр.
[С.118–125: М.Ю. Лермонтов].

1759**Федоровский П. А.**

М.Ю. Лермонтов. (Из области забытых литературных вопросов). Киев, кн. маг. Н.Я. Оглоблина, 1914. 14 стр.

[Первоначально напеч. в газ. «Кавказ», 1891 г.].

1760**Фохт У. Р.**

Лермонтов в наши дни. (Речь, произнесенная в юбилейном 1964 году). — В кн.: Учен. записки Моск. обл. пед. ин-та, 1968, т.212, Рус. лит-ра, вып. 12, с.12–22.

1761 (К)**Фохт У. Р.**

Лермонтов. Логика творчества. М., «Наука», 1975, 190 стр. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры им. А.М. Горького).

1762**Чешихин В. Е.**

М.Ю. Лермонтов. Очерк жизни и деятельности. — В кн.: Лермонтов М.Ю. Избранные стихотворения. 2-е изд. Н.Новгород, 1914, с.3 – 15.

1763**Чуйко В.**

Лермонтов — как человек.
— «Всемирная иллюстрация», СПб., 1891, Т. XLVI, № 3, с.38 – 42.

1764**Эйгес И.**

О Лермонтове. К метафизике сновидения.
— «Аполлон», Пг., 1914, № 10, с.51 – 69.

1765 (С)**Эйхенбаум Б. М.**

«Гражданская экзальтация».

—В кн.: Б.М. Эйхенбаум. Статьи о Лермонтове. М.-Л., Изд-во АН СССР, с.360 — 366. (АН СССР. Ин-т рус. лит.).

[Общая характеристика жизни и творчества М.Ю. Лермонтова].

1766 (С) (М)

Эйхенбаум Б.

Живой образ Лермонтова. —В кн.: Эйхенбаум Б. О поэзии. Л., «Сов. писатель», 1969, с.311—318.

1767

Эйхенбаум Б. М.

М.Ю. Лермонтов. —В кн.: Лермонтов М.Ю. Полное собр. соч. [Изд. 2-е], Т.1, Л., 1941, с.V—LII.

1768 (С)

Эйхенбаум Б. М.

Лермонтов, как историко-литературная проблема. —В сб. «Атеней», кн. 1—2, Л., 1924, с.79 — 111.

1769 (К)

Эйхенбаум Б.

Лермонтов. Опыт историко-литературной оценки. Л., ГИЗ, 1924, 166 стр.

1770 (С)

Эйхенбаум Б. М.

Литературная позиция Лермонтова. —В кн.: Б.И. Эйхенбаум. Статьи о Лермонтове. М.-Л., Изд-во АН СССР, 1961, с.40—124. (АН СССР Ин-т рус. лит.).

1771 (Т)

Эйхенбаум Б.

Литературная позиция Лермонтова. —В кн.: Литературное наследство, № 43—44, М., 1941, с.3 — 82.

1772

Эйхенбаум Б. М.

Михаил Юрьевич Лермонтов. 1814—1841. Жизнь и творчество. М., тип. «Кр. печатник», 1947, 18 стр.

1773

Эйхенбаум Б. М.

Михаил Юрьевич Лермонтов. Очерк жизни и творчества. —В кн.: Лермонтов М.Ю. Собрание сочинений. В 4-х томах. Т.4, М.-Л., 1959, с.751 — 793.

1774 (С)

Эйхенбаум Б. М.

Михаил Юрьевич Лермонтов. Очерк жизни и творчества. —В кн.: Б.М. Эйхенбаум. Статьи о Лермонтове. М.-Л., Изд-во АН СССР, 1961, с.7 — 39. (АН СССР. Ин-т рус. лит.).

1775

Эйхенбаум Б. М.

Творчество Лермонтова. Вступительный очерк. —В кн.: Лермонтов М.Ю. Полное собр. соч. М.-Л., 1926, с.Ш — XXXI.

1776

Эйхенбаум Б. М.

Эволюция Лермонтова.

— «Звезда», Л., 1941, № 7–8, М.Ю. Лермонтов. Сто лет со дня смерти, с.178 – 183.

1777

Юнович М.

М.Ю. Лермонтов. —В кн.: Лермонтов М.Ю. Герой нашего времени. М., Гослитиздат, 1941, с.3–10.

1778

Юнович М.

М.Ю. Лермонтов. —В кн.: Лермонтов М.Ю. Лирика. М., Гослитиздат, 1937, с.3 – 16.

D

1779 (Т)

Абрамович Д. И.

Обзор литературы о Лермонтове. —В кн.: Полное собр. соч. М.Ю. Лермонтова. Под ред. Д.И. Абрамовича. Т.V., СПб., Изд. Разряда изящной словесности Имп. Акад. Наук, 1913, с.127 – 181.

1780 (С)

Анатолийская З.

Лермонтовская юбилейная конференция [в Пензе в мае 1964 г.].

— «Вопросы литературы», 1964, № 10, с.247 – 248.

1781 (М)

Андроников И. Л.

Пензенский учитель Хохряков.

—В кн.: И.Л. Андроников. Лермонтов. Исследования, статьи, рассказы. Пенза, Обл. изд-во, 1952, с.253 – 272.

1782 (К)

Андроников И. Л.

Первый биограф. —В кн.:

И.Л. Андроников. Лермонтов. Исследования и находки. Изд. 4-е. М., «Худож. лит.», 1977, с.563–581.

[О Хохрякове].

1783 (К)

Андроников И. Л.

Путь Эйхенбаума. —В кн.:

И.Л. Андроников. Избранные произведения. В 2-х томах. Т.2. М., «Худож. лит.», 1975, с.333–337.

1784

Берков П. Н.

Борис Михайлович Эйхенбаум.

(Некролог). —В кн.: Ученые записки ЛГУ, № 295, вып. 58, 1960, с.203 – 225.

1785 (М)

Ботникова А. Б.

Изучение Лермонтова в Германии. —В кн.: М.Ю. Лермонтов.

Исследования и материалы. Воронеж, Изд-во Воронеж. ун-та, 1964, с.186 – 220.

1786**Бунин И.**

А.П. Чехов в воспоминаниях современников. М., 1960.

[С. 514: о «Гамани» Лермонтова].

[С. 521: Чехов о «Парусе», (И.А. Бунин и Чехов)].

1787 (С)**В. В.**

Новые работы лермонтоведов. — «Вопросы литературы», 1969, № 2, с.244 — 245.

1789 (С)**Вацуро В.**

Юбилейная Лермонтовская конференция. [Ленинград, окт. 1964 г.]

— «Русская литература», 1965, № 1, с.226 — 228.

1790**Вацуро В. и Латышев С.**

Первая Межвузовская конференция по творчеству М.Ю. Лермонтова. (Ленинград, май 1958).

— «Русская литература» 1958, № 3, с.259 — 260.

1791 (М)**Гершензон Д. Я.**

Лермонтов в русской критике. — В кн.: Жизнь и творчество М.Ю. Лермонтова. Сб. 1-й. Исследования и материалы. М., Гос. Изд-во худож. лит-ры, 1941, с.589 — 616. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

1792 (М)**Гиреев Д. А.**

Итоги и перспективы изучения жизни и творчества Лермонтова. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Вопросы жизни и творчества. Под ред. А.Н. Соколова и Д.А. Гиреева. Орджоникидзе, Сев.-Осет. кн. изд-во, 1963, с.7 — 24.

1793 (М)**Гиллельсон М.**

Лермонтов в оценке Герцена. — В кн.: Творчество М.Ю. Лермонтова. 150 лет со дня рождения. М., «Наука», 1964, с.364 — 394. (АН СССР Ин-т мировой лит-ры).

1794**Григорьян К. Н.**

О современных тенденциях в изучении романа Лермонтова «Герой нашего времени». К проблеме романтизма.

— «Русская литература», 1973, № 1, с.57 — 78.

1795 (М)**Дневник конференции**

— В кн.: М.Ю. Лермонтов. Вопросы жизни и творчества. Под ред. А.Н. Соколова и Д.А. Гиреева. Орджоникидзе, Сев.-Осет. кн. изд-во, 1963, с.218 — 233.

1796 (С)**Журавлева А. И.**

Лермонтовские дни на филологическом факультете [МГУ]. — В

кн.: Вестник Московского ун-та. Филология, Журналистика, 1965, № 1, с.94 – 95. [Октябрь 1964 г.]

1797 (С)

Журавлева А. И.

Лермонтовская конференция в Пятигорске. [май 1974]. – В кн.: Вестник МГУ, Филология, 1974, № 6, с.89 – 90.

1798

Зелинский В. А.

Русская критическая литература о произведениях М.Ю. Лермонтова. Хронологический сборник критико-библиографических статей. Часть 1-2. Собрал В. Зелинский. Изд. 3-е. М., тип. Вильде, 1913–1914.

Часть 1. М., 1913, 216 стр.

Часть 2. М., 1914, 240 стр.

[Изд. 1-е: М., Тип. А.Г. Кольчугина, 1897.

Изд. 2-е: М., типо-лит. В.Рихтер, 1904.

Часть 2 напечатана в типо-лит. Д.В. Троицкого].

1799

Зонов Д.

Лермонтов и русская критика. [Вступ. статья]. – В кн.: М.Ю. Лермонтов в русской критике. Сб. статей. Изд. 2-е, доп. М., 1955, с.3 – 22.

1800

Иванов С.

Лермонтов и Белинский.

– «Литературная учеба», 1939, № 12, с.33 – 37.

[Библиографические материалы. «Журналист, читатель и писатель». Лермонтов в оценке Белинского].

1801

Иванов С.

Новейшая литература о Лермонтове. Критический обзор.

– «Новый мир», 1941, № 7–8, с.203 – 218.

1802

Иванова Н.

Открывая лермонтовский год.

– «Литературная Россия», 1964, № 22, 29 мая, с.21.

1803

История русской критики

В 2-х томах. Т.1, М.-Л., Изд-во Акад. наук, 1959, 590 стр.

[С.256: Н.А. Полевой о Лермонтове; с.260: Кс. Полевой о Лермонтове; с.338: Лермонтов в оценке К.С. Аксакова; с.364–365: Лермонтов в критике С.П. Шевырева; с.438: В.Н. Майков о Лермонтове; с.558–559: Лермонтов в критике Герцена; с.573–574: Огорев о Лермонтове].

1804

История русской критики

В 2-х томах. Т.2, М.-Л., 1958. 736 стр.

[С.100–101: Добролюбов о Лермонтове; с.177–178: Салты-

ков-Щедрин о Лермонтове; с.248: о статье Зайцева «Сочинения Лермонтова»; с.309: Успенский о Лермонтове; с.542: Герцен о Лермонтове].

1805 (Т)**Клепиков С.**

Лермонтов и его произведения в русской народной картинке. — В кн.: Литературное наследство, № 45–46, М., 1948, с.794 – 802.

1806**Кулешов В. И.**

Достижения и перспективы советского лермонтоведения. — В кн.: Вестник Моск. ун-та. Филология, журналистика, 1964, № 6, с.3 – 11.

1807 (С)**Л. Г.**

ХII. Лермонтовская конференция. [Москва, апр. 1972 г.].. — «Вопросы литературы», 1972, № 8, с.246 – 247.

1808 (М)**Лаврецкий А.**

Борьба за Лермонтова. — В кн.: Творчество М.Ю. Лермонтова. 150 лет со дня рождения. 1814–1964. М., «Наука», 1964, с.9–41. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры) [Лермонтов в критике].

1809 (Т)**Лаврецкий А.**

Лермонтов в оценке револю-

ционных демократов.

— «Литературный критик», М., 1940, № 2, Теория и история литературы, с.9 – 31.

1810**Максимов А. Г.**

Юбилейная лермонтовская литература 1914 года. Пг., тип. Ак. наук, 1915.

[Содерж.: 1. Исследования по различным вопросам, касающимся творчества Лермонтова. 2. Сочинения, посвященные анализу творчества Лермонтова в полном его объеме. 3. Полное собр. соч. 4. Издания отдельных произведений. 5. Сборники сочинений М.Ю. Лермонтова. 6. Биография. — Оценка литературной деятельности. 9. Журнальные и газетные статьи].

1811 (С)**Мануйлов В.**

Четвертая научная межвузовская Лермонтовская конференция. — «Русская литература», 1961, № 3, с.248 – 249.

1812**Маршак С. Я.**

Я думал, чувствовал, я жил. Воспоминания о С.Я. Маршаке. М., 1971.

[С.251, 253, 254, 255, 288, 397, 403, 464, 488–489: отзывы Маршака о Лермонтове и его произведениях («Герой нашего времени», «Родина», «Выхожу один я на дорогу...»); Лермонтов и Пушкин.

1813 (C)**Медына И.В., Титаренко, С.Я.**

XI. Всесоюзная Лермонтовская конференция. —В кн.: Вопросы русской литературы. Вып. 1 (13), Львов, 1970, с.96 – 97.

1814**Мезенцев П. А.**

Белинский. Проблемы идейного развития и творческого наследия. М., «Сов. писатель», 1957, 496 стр.

[С.233–241, 460–463: полемика Белинского и Шевырева о творчестве Лермонтова].

1815 (M)**Михайлова Е.**

Гл. 1-я. Изучение творчества Лермонтова. —В кн.: Е. Михайлова. Проза Лермонтова. М., Гослитиздат, 1957, с.5 – 48.

1816**Мордовченко Н. И.**

Белинский и русская литература его времени. М.-Л., Гослитиздат, 1950. 284 стр.

[С.84–142: Гл.: «Белинский и Лермонтов»].

1817**Мордовченко Н. И.**

Лермонтов в оценках Белинского. —В кн.: Белинский В.Г. М.Ю. Лермонтов. Статьи и рецензии. Л., Гихл, 1940, с.3 – 22.

1818 (T)**Мордовченко Н.**

Лермонтов и русская критика 40-х годов. —В кн.: Литературное наследство, № 43–44, М., 1941, с.745 – 796.

1819**Мордовченко Н. И.**

Русская критика первой четверти XIX века. М.-Л., Изд. Акад. наук СССР, 1959, 431 стр.

[Лермонтов в развитии русской литературы. Кюхельбекер о Лермонтове].

1820**Мохаммед Хан**

М.Ю. Лермонтов в английском и американском литературоведении (с конца XIX в. до наших дней). Автореф. дисс. на соиск. учен. степени канд. филол. наук. М., 1971, 28 стр. (МГУ им. М.В. Ломоносова).

1821**Назарова Л. Н.**

Обзор юбилейной литературы о М.Ю. Лермонтове. К 160-летию со дня рождения.

– «Литературная Осетия», 1976, № 47, с.125 – 128.

1822**Нейман Б. В.**

Новые биографические работы о Лермонтове.

– «Литература в школе», М., 1940, № 3, май-июнь, Критика и библиография, с.86 – 90.

1823**Нейман Б. В.**

Новые работы о Лермонтове.
Библиограф. обзор.

— «Литература в школе», 1953,
№ 6, с.77 — 80.

1824**Нейман Б. В.**

Юбилейная «Лермонтовиана».

— «Литература в школе», 1965,
№ 3, с.76 — 80.

1825 (К)**Озмитель Е.К., Сердюк, В.М.**

М.Ю. Лермонтов в переводах
на киргизский язык и в оценке
киргизской критики. — В кн.:
Лермонтов и литература народов
Советского Союза, Ереван, 1974,
с.382 — 392.

1826**Орлов П. А.**

Поэзия Лермонтова в оценке
Белинского.

— «Литература в школе», 1964,
№ 3, с.16 — 21.

1827**Осьмаков И. В.**

Академические школы в рус-
ском литературоведении. М.,
«Наука», 1975.

[С.382—383, 389: Д.Н. Овсяннико-
Куликовский о Лермонтове].

1828**Панаев И. И.**

Заметки и размышления нового

поэта по поводу русской журна-
листики. февраль 1853.

— «Современник», СПб., 1853,
т.38, № 3, март, отд. VI, Смесь,
Современные заметки, с.141—161.
Статья без подписи.

[С.146—147: Лермонтов в оце-
нке современников].

1829**Папковский Б.**

Формализм и эклектика про-
фессора Эйхенбаума.

— «Звезда», Л., 1949, № 9,
с.169 — 181.

1830**Перпер М.**

Чернышевский над страницами
Лермонтова и Некрасова. (Запис-
ки перед ссылкой. Непубликовав-
шиеся матермалы).

— «Русская литература», 1960,
№ 2, с.129 — 145.

1831**Петров С. Г.**

Об отношении Некрасова и его
школы к Пушкину и Лермонтову.
— В кн.: Ученые записки. (Стер-
литамакский пед. ин-т), вып. 12,
Серия филол. № 2, 1963, с.187 —
209.

[Отношение Некрасова, Добро-
любова, Чернышевского, Минаева
к Лермонтову].

1832**Пехтелев И. Г.**

Белинский как историк рус-

ской литературы. Казань, 1957, 300 стр.

[С.231–299: Гл. Лермонтов и Гоголь в историко-литературной системе Белинского].

1833

Поляков М. Я.

Виссарион Григорьевич Белинский. М., Учпедгиз, 1960, 232 стр.

[С.163–168; 120–121: Лермонтов и Белинский].

1834

Поляков М. Я.

Виссарион Белинский. Личность — идеи — эпоха. М., Гослитиздат, 1960, 599 стр.

[С.390–394 и др.: Белинский и Лермонтов].

1835

Поляков М. Я.

Поэзия критической мысли. О мастерстве Белинского и некоторых вопросах литературной теории. М., «Сов. писатель», 1968.

343 стр.

[С.51–52, 102–106, 206–207, 209: статьи Белинского о Лермонтове].

1836

Попова М. Г.

Лермонтов в прогрессивной критике 70-х годов XIX в. — В кн.: Научные доклады и сообщения литературоведов Поволжья. Материалы V зональной научной

конференции лит-вед. кафедр. пед. ин-тов и ун-тов. Ульяновск, 1968, с.159–171. (Ульяновский гос. пед. ин-т им. И.Н. Ульянова).

1837

Попова Н. В.

Наглядность в изучении Лермонтова. — В кн.: М.Ю. Лермонтов. Сб. статей под ред. Н.А. Глаголева. М., 1941, с.226 – 243.

1838 (С)

Прокопенко Л. И.

Восьмая Всесоюзная Лермонтовская научная конференция. — В кн.: Известия АН СССР, Серия лит-ры и языка, 1965, т. XXIV, вып. 6, с.559 – 561.

1839 (С)

Прокопенко Л.

Восьмая Лермонтовская конференция. [Ставрополь – Пятигорск, май 1965 г.].

— «Русская литература», 1965, № 4, с.231 – 233.

1840

Прокопенко Л.

Находки лермонтоведов. — В кн.: Земля родная. Альманах. Саратов, 1964, № 2 (41), с.51 – 53.

[К истории изучения М.Ю. Лермонтова. 1960–1964 г.г.].

1841 (С)

Прокопенко Л.

Одиннадцатая Всесоюзная Лермонтовская конференция.

[Орджоникидзе, окт. 1969 г.]
— «Русская литература», 1970,
№ 2, с.225 — 230.

1842 (С)**Прокопенко Л.**

Пятая Лермонтовская конференция.

— «Русская литература», 1962,
№ 4, с.245 — 248.

1843 (С)**Прокопенко Л.**

Седьмая Лермонтовская конференция. [Пенза, май, 1964 г.]

— «Русская литература», 1964,
№ 4, с.245 — 247.

1844 (С)**Прокопенко Л.**

Юбилейная Лермонтовская конференция. [Всесоюзная научная конференция, посвящ. 150-летию со дня рождения М.Ю.Лермонтова. Пенза, май 1964 г.] —В кн.: Известия АН СССР, Серия лит. и яз., т.ХХШ, вып. 5, 1964, с.451—455.

1845**Протилова О.**

Обзор юбилейной литературы о М.Ю.Лермонтове.

— «Русская школа», Пг., 1914,
№ 12, Критика и библиография,
с.25 — 26.

1846**Протопопов С. В.**

И.С.Тургенев о М.Ю.Лер-

монтове. —В кн.: Проблемы литературных связей и взаимовлияний. Ростов на Дону, 1972, с.61—69. (Ростовский н/Д гос. пед. ин-т).

1847 (С)**Прохоров Ю. Е.**

ХII Всесоюзная Лермонтовская конференция [Москва, апр. 1972 г.]. —В кн.: Вестник Моск. ун-та, Серия 10, Филология, 1972, № 5, с.87 — 91.

1848**Пруцков Н. И.**

О значении научных традиций. —В кн.: Современная советская историко-литературная наука. Актуальные вопросы. Л., «Наука», 1975, с.5 — 21. (АН СССР. Ин-т рус. литературы. Пушкинский Дом).

[С.18—20: из истории советского лермонтоведения].

1849**Пыпин А. Н.**

Лермонтовская литература в 1891 году.

— «Вестник Европы», 1891,
т.5, кн. 9, сент., с.341 — 365.

[Обзор изданий сочинений Лермонтова и литературы о нем].

1850**Радек Л. С.**

Герцен о Лермонтове. —В кн.: Ученые записки Кишневского гос. ун-та им. В.И.Ленина, т. 88, литературоведческий, 1970, с.74 — 96.

1851**Ревякин А.**

За советский патриотизм в критике и литературоведении. —В кн.: Вопросы теории литературы. Сб. статей. Под общ. ред. проф. Л.И.Тимофеева. М., Учпедгиз, 1950, с.30 — 65.

[С.53 — 54: точка зрения на Лермонтова как на заимствователя традиций западноевропейской литературы, выраженная Б. Эйхенбаумом и Б. Томашевским.]

1852 (М)**Рубанович А. Л.**

I. Из истории лермонтоведения. —В кн.: А.Л.Рубанович. Проблемы мастерства М.Ю.Лермонтова — поэта. Иркутск, 1963, с.3 — 23. (Иркут. ун-т).

1853**Рубанович А. Л.**

Л.Н.Голстой о М.Ю.Лермонтове. —В кн.: Труды Иркутского ун-та, Серия литературоведения и критики, т. 33, вып. 4, 1964, с.3 — 10.

1854**Рунт М. Н.**

Дворянский герой русской литературы в критике Белинского 40-х годов. —В кн.: Вопросы русской и зарубежной литературы. Куйбышев, 1971, с.56 — 77. (Ученые записки Куйбышевского гос. пед. ин-та им. В.В.Куйбышева. вып. 86).

1855 (М)**Семенов Л.**

Отголоски юбилея. —В кн.: Л.Семенов. М.Ю.Лермонтов. Статьи и заметки. I. М., 1915, с.268 — 273.

1856 (М)**Семенов Л.**

III. Юбилей М.Ю.Лермонтова. —В кн.: Л.Семенов. М.Ю.Лермонтов. Статьи и заметки. I. М., 1915, с.23 — 209.

[О юбилейной литературе о Лермонтове].

1857 (С)**Серяев М. П.**

Разгадана ли «Загадка Н.Ф.И.»? [О неточностях, допущенных в биограф. литературе о М.Ю.Лермонтове.]

—«Русская литература», 1976, № 4, с.107 — 114.

1858**Скабичевский А. М.**

М.Ю.Лермонтов, его жизнь и литературная деятельность. Биографический очерк А.М.Скабичевского.

[О портр. М.Ю.Лермонтова и мног. рис. СПб., тип. газ. «Новости», 1891, 5 вкл.л.илл. 100 стр. (Жизнь замечательных людей. Биографическая библиотека Ф.Павленкова)].

1859**Скабичевский А.**

Очерки умственного развития нашего общества. 1825 — 1860.

—«Отечественные записки», СПб., 1871, т. 10, отд. I. с.443 — 484.

[Об отзывах Белинского о «Герое нашего времени» Лермонтова].

1860 (M)**Слинько А. А.**

К оценке изучения биографии и творчества М.Ю.Лермонтова в «Филологических записках». —В кн.: М.Ю.Лермонтов. Исследования и материалы. Воронеж, Изд-во Воронеж. ун-та, 1964, с.149 — 168.

1861**Соболев П. В.**

В.Г.Белинский о «героях своего времени». Из истории развития эстетических взглядов Белинского. 1840—1841. —В кн.: Ученые записки Лен. пед. ин-та им. А.И. Герцена. т. 134, Л., 1957, с.43 — 66.

[Белинский о романах «Герой нашего времени» и «Евгений Онегин»].

1862**Соколов Н. И.**

Забытое слово о Лермонтове. (Из литературного наследия П.Л. Лаврова). —В кн.: Вестник Ленингр. ун-та, 1967, № 14, Серия истории языка и лит-ры, вып. 3, с.94 — 104.

1863 (M)**Соколов А. Н.**

К итогам конференции. —В кн.: М.Ю.Лермонтов. Вопросы жизни и творчества. Под ред. А.Н.Соколова и Д.А.Гиреева, Орджоникидзе, Сев.—Осет. кн. изд-во, 1963, с.210 — 214.

[Заключительное слово на V Межвузовской конференции].

1864**Соколов Н. И.**

Критики и литература. Из истории рус. лит. и критики 2-ой половины XIX в. Л., 1977.

[с.143 — 156: П.Л.Лавров о Лермонтове].

1865**Соколов А. Н.**

Советское лермонтоведение юбилейного года. —В кн.: Известия АН СССР. Серия лит-ры и языка, т. 24, вып. 3, 1965, с.251 — 258.

1866**Сутягин Н. А.**

Н.А.Добролюбов о народности литературы. Ростов н/Д., Изд-во Рост. ун-та, 1966. 232 стр.

[с.104 — 115: Добролюбов о Лермонтове].

1867**Тамарченко А. В.**

Ольга Форш. Жизнь, личность, творчество. Изд. 2-е, доп. «Сов. писатель», Ленингр. отд-ние, 1974. 517 стр.

[С.46 – 47: статья В.Соловьева о Лермонтове в восприятии символистов (Роман О.Форш «Символисты»); с.108 – 110: полемика с В.Соловьевым в статье «Демон у Лермонтова»; с.282 – 284: О.Д. Форш о Лермонтове в статье «О себе, Петрове Водкине и Читателе»].

1868

Тиханчева Е. П.

Брюсов о русских поэтах XIX века. Ереван, «Айастан», 1973, 188 стр.

[С.160 – 187: Брюсов о Лермонтове].

1869

И.С.Тургенев в воспоминаниях современников.

Т.1–2, М., «Худож. литература», 1969, (Серия лит. мемуаров). Т.1, 538 стр.

[С.141: Тургенев о подражательности творчества Пушкина и Лермонтова. А.Л.Панаева].

[Т.2, 592 стр.

С.23: отзыв А.И.Герцена о языке Лермонтова (Е.Я.Колбасин); с.129: спор К.Д.Кавелина с Тургеневым о Пушкине и Лермонтове (А.Ф.Кони); с.208: Тургенев о языке Лермонтова (А.Н.Луханина); с.277: отзыв о Лермонтове (Ги де Мопассан)].

1870

Усакина Т. И.

Белинский о романе Лермонтова «Герой нашего времени». —В кн.: Усакина Т.И. История, философия, литература. Середина XIX века. Саратов, Приволж. кн. изд-во, 1968, с.34 – 42.

1871

Усок И.

Вокруг Лермонтова. По страницам «Ученых записок».

—«Вопросы литературы», 1960, № 7. с.223 – 229.

1872

Усок И. Е.

X Всесоюзная Лермонтовская научная конференция. —В кн.: Известия АН СССР. Серия лит-ры и языка, т. XXVIII, вып. 2, 1969, с.179 – 181.

1873 (С)

Усок И., Вацуру В.Э., Дадашзаде А.

Научные сессии, посвященные 150-летию со дня рождения М.Ю. Лермонтова. —В кн.: Известия АН СССР, Серия лит-ры и языка, т. XXIV, 1965, № 1, с.90 – 94.

1874 (С)

Усок И. Е.

XI Всесоюзная Лермонтовская конференция. [Орджоникидзе, 16–18 окт. 1969]. —В кн.: Известия АН СССР, Серия лит-ры и языка, М., 1970, т. XXIX, вып. 3, с.269 – 271.

1875**Усок И. Е.**

V Всесоюзная Лермонтовская конференция. [Орджоникидзе, 14–18 мая 1962 г.] —В кн.: Известия АН СССР, Отделение лит. и яз., 1962, вып. 5, с.462 — 463.

1876**Фейерхерд Вера**

Лермонтовская конференция в ГДР [Берлин, 1964. Статья из Берлина].

—«Вопросы литературы», 1964, № 12, с.239 — 241.

1877 (С)**Фейерхерд В.**

Лермонтовская конференция в ГДР. —В кн.: Вестник Моск. ун-та. Филология, Журналистика, 1964, № 6, с.90 — 93.

[Берлинский ун-т, июнь 1964 г.]

1878**Фризман Л. Г.**

Кавказ о Лермонтове. Из неопубликованного наследия Л.П. Семенова. —В кн.: Проблемы литературы и эстетики. Сб. статей, посвященный памяти проф. Л.П. Семенова, Орджоникидзе, 1976, с.19 — 21. (Сев.-Осет. гос. ун-т им. К.Л.Хетагурова).

1879**Чарный М. Б.**

Время и его герои. Встречи с

писателями и книгами. М., 1973.

[С.256 — 257: критика А.В.

Луначарским теории М.Н.Покровского относительно истоков пессимизма Лермонтова].

1880**Чехов А. П.**

О литературе. [Вступ. статья Е.Сахаровой]. М., Гослитиздат, 1955. 402 стр.

[С.60, 121, 230, 231, 297, 307, 313, — О Лермонтове].

1881**Чистов В. П.**

Белинский о поэтическом пафосе лермонтовских произведений.

—В кн.: Ученые записки. (Моск. обл. пед. ин-т им. Н.К.Крупской). т.152, вып. 9, 10, 1964, с.291 — 310.

1882**Шаблий М. П.**

Журнальная полемика вокруг романа М.Ю.Лермонтова «Герой нашего времени». —В кн.: Вопросы русской литературы, вып. I (23), Львов, 1974, с.62 — 69.

1883**Шамес П. Е.**

Проблема сжатости литературно-художественного произведения в понимании В.Г.Белинского. —В кн.: Творчество писателя и литературный процесс. Иваново, 1974, с.3 — 22. (Иванов. ун-т. Учен. зап. т.135).

[С.14, 18—19: Белинский о лаконизме «Героя нашего времени»]

1884

Шахов В. В.

М.Ю.Лермонтов в творчестве и литературной полемике А.Левитова, М.Воронова и Г.Успенского. —В кн.: А.Н.Радищев. В.Г.Белинский. М.Ю.Лермонтов. Жанр и стиль художественного произведения. Рязань, 1974, с.140 — 155. (Рязанский пед. ин-т)

1885 (М)

Шнейдерман И. И.

Научно-творческая конференция, посвященная драме Лермонтова «Маскарад». —В кн.: «Маскарад» Лермонтова. Сб. статей под ред. П.И.Новицкого. К столетию со дня гибели М.Ю.Лермонтова. М.—Л., Изд-во ВТО, 1941, с.179 — 202.

1886 (С)

Ш[емелева] Л. М.

Лермонтовская конференция в Пятигорске. [Окт., 1977].
—«Вопросы литературы», 1977, № 4, с.308 - 311.

1887

Эйгес И. Р.

Лермонтоведение последних лет.
—«Литература в школе», 1941, № 4, с.94 — 104.

1888

Эйхенбаум Б. М.

Основные проблемы изучения Лермонтова.

—«Литературная учеба», М., 1935, № 6, с.21 — 40.

1889 (Т)

Эльсберг Я.

Революционные демократы о Лермонтове. —В кн.: Литературное наследство, № 43—44, М., 1941, с.797 — 826.

Е

1890 (С)

Андреев Сергей

О новой биографии Лермонтова.
—«Октябрь», М., 1937, № 10, с.179 — 182.

[О книге: Эйхенбаум, Б.М., М.Ю.Лермонтов, М.—Л., Детиздат, 1936, 158 стр. Жизнь замечательных людей].

1891

Андреев-Кривич С. А.

Лермонтов и Кавказ.
—«Новый мир», М., 1941, № 1, с.252 — 255.

[Рец. на кн.: Семенов Л.П. Лермонтов на Кавказе. Пятигорск, 1939].

1892

Андроников И.

Загадка? Для кого?
—«Литературная газета», 1973, 7 марта, № 10, с. 6.

[Ответ на статью Е.Люфанова
«Вернемся к загадке Н.Ф.И.»].

1893

Антокольский П. Г.

Новое о Лермонтове.

—«Новый мир», 1955, № 10,
с.263 — 265.

[Рец. на кн. С.А.Андреева-
Кривича «Лермонтов. Вопросы
творчества и биографии». М.,
Изд-во АН СССР, 1954, 152 стр].

1894 (С)

Ашукина М.

Серьезные недостатки акаде-
мического издания Лермонтова.

—«Вопросы литературы», 1957,
№ 8, с.220 — 231.

1895

Булгарин Г. В.

Герой нашего времени. Сочине-
ние М.Ю.Лермонтова. СПб., 1840.

—В газ. «Северная пчела», СПб.,
1840, № 246, 30-го окт. с.981 — 983.

1896

Бурсов Б. И.

Критика как литература. Л.,
Лениздат, 1976. 320 стр.

[С.102, 103: полемика с Е.А.
Евтушенко о Лермонтове].

1897

Бушмин А. С.

Индивидуальность поэта и
индивидуальность исследователя.

—«Рус. лит-ра», 1966, № 1,

с.222 — 228.

[Рец. на кн.: В.А.Архипов. М.
Ю.Лермонтов. Поэзия познания и
действия. М., «Моск. рабочий»,
1965].

1898

Багрий А. В.

[Рец.]

М.Ю.Лермонтов в юбилейной
литературе 1914 г. Библиографи-
ческий обзор с указателем. Пг.,
Сенатская тип. 1915.

1899

Батюшков Ф.

[Рец.]

Венок М.Ю.Лермонтову. Юби-
лейный сборник. М.-Пг., 1914.

—«Голос минувшего», 1915, т.
2, Критика и библиография. с.278
— 284.

1900

Березнева А. Н.

—«Филологические науки»,
1974, № 6, с.111 — 113.

[Рец. на кн.: Удодов Б. Т.
М.Ю.Лермонтов. Художественная
индивидуальность и творческие
процессы. Воронеж, 1973].

1901 (Т)

Благой Д.

[Рец.]

Историко-литературная библио-
тека, под ред. Н.Л.Бродского, А.
Е.Фрузинского, Н.М.Мендельсона,
Н.П.Сидорова. Вып.2, С.В.Шува-
лов. М.Ю.Лермонтов в воспоми-
наниях современников и его пи-
сьмах. М., 1923.

—«Печать и революция», М.,

1924, кн. 3, май-июнь, Отзвыы о книгах. Теория и история литературы. с.238 – 240.

1902 (Т)

Благой Д. [Рец.]

С.В.Шувалов. М.Ю.Лермонтов — жизнь и творчество. Гос. изд., 1925, М.-Л.,

—«Печать и революция», М., 1926, кн. I, янв.-февр. Отзвыы о книгах. Теория и история литературы. с.227 – 228.

1903

Блок А. А.

Педант о поэте. (Н.Котляревский «М.Ю.Лермонтов». Личность поэта и его произведения. Второе изд. 1905) —В кн.: Блок А.А. Собр. соч. т. II. История литературы 1903 – 1921, Л., 1934, с.301 – 306.

1904

Бойко М.

Художественный мир Лермонтова.

—«Литература в школе», 1974, № 5, с.78 – 80.

[Рец. на кн.: Коровин В.И. Творческий путь М.Ю.Лермонтова. М., «Просвещение», 1973].

1905

Вацуру В. Э.

«Лермонтовская энциколпедия» [К истории создания].

—«Русская литература», 1978, № 4, с.157 – 160.

1906

Виноградов А. [Рец.]

П.Е.Щеголев. Книга о Лермонтове. вып. I и II. «Прибой», 1929.

—«Молодая гвардия», М., 1929, № 17, сентябрь, с.112.

1907

Виноградов И. [Рец.]

П.Е.Щеголев «Книга о Лермонтове». Вып. первый. М., 1929.

—«На литературном посту», 1929, № 15, август, Библиография, с.77 – 78.

1908

Водовозов В. [Рец.]

Очерк истории русской поэзии. А.Милюкова. Второе, дополненное издание, Санкт-петербург, 1858.

—«Журнал Министерства народного просвещения», СПб., 1860, ч. 108, декабрь, отд. III. Критика и биография, с.146 – 174.

[О Лермонтове: с.168 – 171].

1909

Вуколов Л.

—«Молодая гвардия», 1975, № 3, с.300 – 301.

[Рец. на кн.: Коровин В.И. Творческий путь М.Ю.Лермонтова. М., «Просвещение», 1973].

1910

Глинкин П. [Рец.]

Вопросы русской литературы в журнале «Slavia orientalis».

—«Русская литература», 1961,

№ 3, с.206 — 208.

[Рец. на кн.: Пшибыльский Р.
Проза Лермонтова и раннее творчество Достоевского (с.206 — 208) и др.]

1911 (М)

Голованова Т. П.

Б.В.Томашевский как редактор академического издания сочинений М.Ю.Лермонтова. — В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов. Ставрополь, Ставрокн. изд-во, 1960, с.307 — 312.

1912

Гольцев В. В. [Рец.]

П.Е.Щеголев. «Книга о Лермонтове». Выпуск первый. Изд. «Прибой», Л., 1929, Выпуск второй.

— «Новый мир», М., 1929, № 12, с.262 — 264.

1913

Гончар Н.

Оправдание романтизма.

— «Литературная Армения», 1965, № 7, с.67 — 72.

[Рец. на кн.: Григорьян К.Н. Лермонтов и романтизм. М.-Л., «Наука», 1964].

1914 (С)

Городецкий Б., Докусов, А., Мануйлов, В.и Фридендер, Г.

Серьезные недостатки одной рецензии.

— «Русская литература», 1958, № 2, с.238 — 242.

1915

Григорьян К. Н.

О главном и спорном в изучении Лермонтова.

— «Русская литература» 1974, № 3, с.222 — 231.

[Рец. на кн.: Удодов Б. Т. М.Ю.Лермонтов. Художественная индивидуальность и творческие процессы. Воронеж, 1973].

1916

Гуревич И.

Опыт целостного анализа.

[Рец. на кн.: Фохт У. Р. Лермонтов. Логика творчества. М., «Наука», 1975].

1917 (С)

Гуревич А.

Симптомы нового. (Раздумья над книгами о Лермонтове).

— «Вопросы литературы», 1964, № 10, с.83 — 97.

1918

Двиняников Б. Н.

Неизвестная диссертация П.Ф. Якубовича «Внутренняя жизнь Б.Лермонтова».

— «Русская литература», 1967, № 3, с.183 — 193.

1919 (С)

Докусов А.

Против клеветы на великих русских писателей.

— «Звезда», Л., 1949, № 8, с.181 — 189.

[стр. 185 — 189: о коммен-

тариях Б.М.Эйхенбаума к сочинениям Лермонтова. (Academia, 1936 – 1937).]

1920 (M)

Дронов В. С.

Брюсовский план издания сочинений М.Ю.Лермонтова. — В кн.: М.Ю.Лермонтов. Материалы и сообщ. VI Всесоюз. Лермонтов. конф. Ставрополь, Ставро. кн. изд-во, 1965, с.224 – 234. (Ставр. пед. ин-т).

1921 (C)

Ермилова Л. Я.

Роман «Герой нашего времени» М.Ю.Лермонтова в объяснении Б.М.Эйхенбаума. — В кн.: Вопросы русской литературы, М., 1968, (Моск. гос. пед. ин-т им. В.И.Ленина. Учен. зап., № 288), с.93 – 98.

1922

Жаворонков А.

Новое решение старой проблемы.

— «Нева», 1965, № 9, с.195 – 196.

[Рец. на кн.: Григорьян К.Н. Лермонтов и романтизм. М.-Л., «Наука», 1964].

1923

Жданов В.

В поисках нового.

— «Новый мир», 1964, № 10, с.250 – 253.

[Рец. на кн.: Андроников И.Л. Лермонтов. Исследования и нахо-

дки. М., «Худож. лит.», 1964].

1924

Жданов В.

Гипотезы и находки.

— «Новый мир», 1965, № 5, с.257 – 260.

[Рец. на кн.: Герштейн Э.Г. Судьба Лермонтова. М., «Сов. писатель», 1964].

1925

Жданов В.

«Лермонтов на Кавказе».

— «Литературное обозрение», М., 1940, № 18, с.46 – 49.

[Рец. на кн.: Семенов Л.П. Лермонтов на Кавказе. Пятигорск, 1939].

1926

Жданов В.

Новые книги о Лермонтове.

— «Что делать», 1940, № 9, с.73 – 78.

[Рец. на кн.: Кирпотин В.Я. Политические мотивы в творчестве Лермонтова. М., Гослитиздат, 1939, и др.].

1927

Загорский М.

Полемические заметки.

— «Театр», М., 1939, № 7, с.158 – 160.

[Рец. на кн.: Три редакции «Маскарада». ж. «Рабочий и театр», 1939].

1928

Замотин И. [Рец.]

Венок М.Ю.Лермонтову. Юбилейный сборник. М.-Пг., 1914.

—«Исторический вестник», СПб. [?], 1915, т.139, № 3, с.985 — 987.

1929

Занько Б.

Лермонтов в обработке В. Кирпотина.

—«Литературный критик» М., 1940, № 3-4, с.209 — 222.

[Рец. на кн.: Кирпотин В.Я. Политические мотивы в творчестве Лермонтова. М., Гослитиздат, 1939].

1930

Записки Е.А.Хвостовой. [Рец.]

Издание «Русской старины» СПб., 1871 [1870, на обл. 1871], —«Дело», СПб., № 12, с.66 — 67.

1931

Записки Е.А.Хвостовой. 1812—1841. [Рец.]

Материалы для биографии М.Ю. Лермонтова.

—«Отечественные записки», СПб., 1871, т.144, Новые книги, с.52 — 54.

1932

Иванов С.

Еще раз о комментаторах Лермонтова.

—«Октябрь», 1949, № 5, с.187 — 191.

[Рец. на «Литературное наследство», № 45-46, 1948].

1933

Иванов С. В. [Рец.]

Неудачная биография для детей. (О книге Б.М.Эйхенбаума «М.Ю. Лермонтов»).

—«Новый мир», М., 1937, № 9, с.232 — 238. [Статья подписан: С.Лелин].

1934

Иванов С.

Новые издания сочинений Лермонтова.

—«Детская литература», М., 1938, № 18-19, с.83 — 89.

1935

Иванов С. [Рец.]

О сочинениях Лермонтова в издании «Academia».

—«Молодая гвардия», М., 1938, № 8, с.186 — 189.

[Статья подписан: С.Лелин].

1936

Капустин В. О. [Рец.]

Н.К.Пиксанов. Крестьянское восстание в «Вадиме» Лермонтова. Саратов, 1967.

—«Рязанське літературознавство», 1968, № 4, с.85 — 87.

1937

Карачунская Э.

Журнально-газетные статьи о жизни и творчестве М.Ю.Лермонтова.

—«Что читать», 1941, № 2, с.55
— 57.

1938

Катарский И.

Русская литература XIX века в освещении «Оксфорд славоник пейперс». Критико-библиографический обзор. — В кн.: Русская литература и ее зарубежные критики. Сб. статей. М., «Худож. лит.», 1974, с.247 — 274. АН СССР. Ин-т мировой лит-ры.

[С263 — 264: О статье: Bowra M. Lermontov. — Oxford Slavonic papers, 1952, vol III, p. 1—20].

1939

Киселев В.

Лермонтовский сборник.

—«Вопросы литературы», 1964, с.201 — 205.

[Рец. на кн.: М.Ю.Лермонтов. Вопросы жизни и творчества. Под ред. А.Н.Соколова и Д.А. Гиреева. Орджоникидзе, Сев.—Осет. кн. изд-во, 1963].

1940

Козюра Н. Н.

Борьба с вульгарной социологией. Классовость и народность искусства. — В кн.: Из истории советского искусствоведения и эстетической мысли 1930-х годов. М., «Искусство», 1977, с.63 — 110. (Акад. художеств СССР. Науч.-исслед. ин-т теории и истории изобразительных искусств).

[С.81: критика статьи У.Фохта о «Демоне»].

1941

Колесников Г. [Рец.]

—«Дон», 1967, № 8, с.178.

[Рец. на кн.: Пиксанов Н.К. Крестьянское восстание в «Вадиме» Дермонтова. Саратов, 1967].

1942

Коровин В. И.

Не надо упрощать.

—«Дитертура в школе», 1965, № 3, с.81 — 84.

[Рец. на кн.: Иванов С.В. М.Ю. Лермонтов. Жизнь и творчество. Пособие для учителя. М., «Прогресс», 1964, 400 стр.].

1943

Коровин В. И. [Рец.]

У.Р.Фохт. Лермонтов. Логика творчества. М., «Наука», 1975. — В кн.: Изв. АН СССР, Серия лит. и яз. 1976, т.35, № 6, с.555 — 557.

1944

Краевский А.[?]

Библиографические известия. «Герой нашего времени» соч. М.Ю.Лермонтова ...

—«Отечеств. записки», СПб., 1841, т. XV, Апрель, отд. VI, Библиографическая хроника. с. 68.

[Сообщение о подготовке 2-го изд. «Героя нашего времени» и о неск. новых стихотворениях Лермонтова, которые будут напечатаны в «Отеч. записках»].

1945**Краевский А. А.[?]**

Библиографические и журнальные известия. («Отечественные записки» прежде всех журналов.)

—«Отечественные записки», СПб., 1841, т. XIX, ноябрь, отд. VI, Библиографическая хроника. с.21 — 24. Статья без подписи.

[О сборе «Отечественными записками» произведений, оставшихся после смерти Лермонтова. Поэмы Лермонтова «Боярин Орша», «Демон», «Сказка для детей» и несколько мелких стихов будут напечатаны в 1842 году. Сообщение о портрете Лермонтова, который вместе со снимком почерка Лермонтова выйдет в I-ой книжке «Отеч. Записке» за 1842 г.].

1946**Лернер Н. О.**

Вещий сон поэта.

—«Новый журнал для всех», СПб., 1911, апрель, № 30, стлб., 87—94.

[По поводу записок Хвостовой Е. А.].

1947**Ломинадзе С.**

Гегель и княжна Тамара.

—«Вопросы литературы», 1975, № 1. с.258 — 267.

[Рец. на кн.: Удодов Б.Т. Лермонтов. Художественная индивидуальность и творческие процессы. Воронеж, 1973].

1948**Лонгинов М. Ю.**

Письмо к редактору.

—«Русский вестник», 1857, т.9, июнь, кн. I, стр.236 — 238.

[В связи со статьей Шестакова С. «Юношеские произведения Лермонтова», «Русский вестник», М., 1857, т.9. май, кн. 2, с.232 — 264].

1949**Лотман Ю.**

Книга о поэзии Лермонтова.

—«Вопросы литературы», 1960, № 11, с.232 — 235.

[Рец. на книгу: Д.Максимов. Поэзия Лермонтова. Л., «Сов. писатель», 1959. 325 стр.].

1950**Любович Н.**

Преодолена ли инерция?

—«Вопросы литературы», 1969, № 2, с.207 — 210.

[Рец. на кн.: Иванова Т. А. Посмертная судьба поэта. О Лермонтове, о его друзьях подлинных и о друзьях мнимых, о тексте поэмы «Демон». М., «Наука», 1967].

1951**Любович Н.****[Рец.]**

Семинарий по Лермонтову.

—«Вопросы литературы», 1962, № 2. с.204 — 207.

[О книге: В.А.Мануйлов, М.И. Гиллельсон и В.Э.Вацуру. М.Ю. Лермонтов. Семинарий. Л., 1960].

1952**Люфанов Е.**

Вернемся к загадке Н.Ф.И.

—«Литературная газета», 1973,
7 марта, № 10, с. 6.[Возражения И.Л.Андронику
по поводу его разысканий и ста-
тье о Н.Ф.Ивановой].**1953****Мануйлов В. А.**Жизнь, творчество, окружающие
поэта. (Беседа с гл. ред. «Лер-
монтовской энциклопедии» В. А.
Мануйловым).—«В мире книг», 1974, № 10,
с.75 — 77.**1954****Мануйлов В. А.** [Рец.]Исследования и находки. Новая
книга Ираклия Андроникова.—«Нева», 1964, № 10, с.140 —
141.**1955****Мануйлов В. А.**Персональная энциклопедия как
тип издания. (По материалам
подготовки Лермонтовской энци-
клопедии). —В кн.: Книга. Ис-
следования и материалы. Сб. II.
М., 1965, с.263 — 269.**1956****Маслов В.**

Электронный «лермонтовед».

—«В мире книг», 1975, № 4,
с.83.[Составление словаря языка
Лермонтова в Научно-исследова-
тельском ин-те прикладной мате-
матики и кибернетики при Горь-
ковском ун-те].**1957****Машинский С.** [Рец.]В борьбе за классическое на-
следие.—«Новый мир», 1958, № 3,
с.214 — 239.[Критика шеститомного акаде-
мического издания. (с.220 — 221)].**1958****Михайлов М. И.**Заметка о Лермонтове. По
поводу нового издания его сочи-
нений. —В кн.: Зелинский В.
Русская критическая литература о
произведениях М.Ю.Лермонтова.
Часть 2. Изд. 3-е, М., 1914, с.166
— 190.[Из журн. «Современник»,
1861. № 2, Статья I].**1959****Михайлова А.**К.Григорьян. Лермонтов и
романтизм ...

—«Звезда», 1965, № 8 с.220.

[Рец. на кн.: К.Н.Григорьян.
Лермонтов и романтизм. М.-Л.,
«Наука», 1964].**1960****Михайловский Н. К.**О Лермонтове. —В кн.: Ми-
хайловский Н.К. Литература и

жизнь. (Письмо о разных разностях), СПб., 1892, с.244 – 252.

[Разбор работ о Лермонтове: I. Андреевский, Литературные чтения. СПб., 1891, 2. Острогорский. Мотивы лермонтовской поэзии. (В ж. «Русск. мысль», 1891, № 1–2)].

1961

Михалева Е.

Исследование о Лермонтове.

—«Вопросы литературы, 1957, № 6, с.222 – 224.

[Рец. на кн.: Соколов А.Н. М.Ю.Лермонтов. Из курса лекций по истории русской литературы. М., 1957].

1962

Могиланский А. П.

Ценный вклад в лермонтоведение.

—«Нева», 1966, № 2, с.181 – 182.

[Рец. на кн.: Мануйлов В. А. Летопись жизни и творчества М.Ю.Лермонтова. М.-Л., «Наука», 1964.].

1963

Монастырев А.

Лермонтовская энциклопедия. О работе над созданием фундам. исследования о М.Ю.Лермонтове.

—«Дружбы народов», 1964, № 10, с.182 – 187.

1964

Мурач Л. А.

Учителю – о романтизме.

—«Литература в школе», 1975, № 4, с.81 – 84.

[Рец. на кн.: Маймин Е. А. О русском романтизме. М., «Просвещение», 1975].

1965

Н. Г.

[Рец.]

М. А. Яковлев «Лермонтов, как драматург», Изд-во «Книга», Л.-М., 1924.

—«Новый мир», М., 1925, № 9, с.158 – 159.

1966

Назарова Л.

Новое о М.Ю.Лермонтове.

[Рец. на кн.: П.А.Выршаев. Лермонтов. Новые материалы к биографии. Воронеж, 1972.].

—«Нева», 1973, № 10, с.194 – 195.

1967

Найдич Э. Э.

Избранные самим поэтом. О сборнике стихотворений Лермонтова 1840 года.

—«Русская литература», 1976, № 3, с.62 – 74.

1968

Найдич Э. Э.

Лермонтовский семинарий.

—«Русская литература», 1961, № 2, с.233 – 238.

[Рец. на кн.: Мануйлов В.А.]

Гиллельсон М.И. и Вацура В.Э.
М.Ю.Лермонтов. Семинарий. Л.,
1960].

1969

Нейман Б. [Рец.]

Леонид Семенов. М.Ю.Лермонтов. Статьи и заметки.
—«Минист. нар. просвещ.», Пг.,
1916, Часть LXII. Апрель. Отд.
3. с.214 — 217.

1970

Нейман Б.

Лермонтов в Грузии.
—«Вопросы литературы», 1957,
№ 4, с.211 — 216.

[Рец. на кн.: Андроников И.Л.
Лермонтов в Грузии в 1837 году.
М., «Сов. писатель», 1955].

1971

Нейман [Рец.]

Кл. Лукашевич. Как жил и
что писал М.Ю.Лермонтов, М.,
1914.
—«Журнал Мин. нар. просв.»,
1915, ч. LVIII, № 7, отд. 3, с.95 —
96.

1972

Нейман Б. В. [Рец.]

Новая книга о Лермонтове.
—«Литература в школе», 1967,
№ 4, с.83 — 84.
[О кн.: В.А. Мануйлов. Роман
М.Ю.Лермонтова «Герой нашего
времени». Комментарий, М.-Л.,
«Просвещение», 1966.]

1973

Нейман Б. В. [Рец.]

Пятый том Академического
издания сочинений Лермонтова.
—«Филологические записки»,
1913, вып. 6, с.1 — 19.

1974

Нейман Б.

Судьба поэта.
—«Вопросы литературы», 1965,
№ 3, с.206 — 209.

[Рец. на кн.: Герштейн Э.Г.
Судьба Лермонтова. М., «Сов.
писатель», 1964].

1975

Нейман [Рец.]

Г.Ю.Феддерс. Эволюция типа
«странного человека» у Лермонтова по его драматическим произведениям, поэмам и роману «Герой нашего времени», Нежин, 1914.

—«Голос Минувшего», М., 1915,
№ 11, с.312 — 313.

1976

Николаев Н. В. [Рец.]

Ценный вклад в лермонтоведение. —В кн.: Вопросы русской литературы, Вып. I (7), Львов, 1968, с.107 — 109.

[Рец. на кн.: Пиксанов Н.К.
Крестьянское восстание в «Вадиме» Лермонтова. Саратов, 1967].

1977

Николаева М. Ф.

О двух ошибках в изданиях

стихотворений М.Ю.Лермонтова.
—В кн.: Лермонтов. Временник.
Пятигорск, 1947, [вып.] I, с.70 —
78.

1978

Нуралов Э. Л., Атаджанян И. А.
О романтическом мирозерца-
нии Лермонтова.

—«Русский язык в арм. шко-
ле», 1976, № 5, с.57 — 61.

[Рец. на кн.: К.Н.Григорьян.
Лермонтов и его роман «Герой
нашего времени», Л., «Наука»,
1975].

1979

Одесская М.

Мир лермонтовского романа.

—«Литература в школе», 1978.
№ 1, с.73 — 74.

[Рец. на кн.: Герштейн Э.Г.
«Герой нашего времени» М. Ю.
Лермонтова. М., 1976].

1980

Оксман Ю. Г.

Летопись жизни и творчества
Лермонтова. —В кн.: Прометей.
Историко-биографический альма-
нах. Т. 2, М., «Молодая гвардия»,
1967, с.315 — 321.

[Рец. на кн.: Мануйлов В.А.
Летопись жизни и творчества М.
Ю.Лермонтова. М.-Л., 1964].

1981

Осторовский А. [Рец.]

Н.А.Котляревский. М.Ю.Лер-
монтов. Личность поэта и его

произведения. Опыт историко-лите-
ратурной оценки. СПб., 1891,
—«Русская школа», 1892, № 1,
с.148 — 152.

1982 (Т)

Переверзев В. [Рец.]

М.А.Яковлев. Лермонтов как
драматург. Изд-во «Книга», Л.-М.,
1924.

—«Печать и революция», М.,
1925, кн. 4, июнь, Отзывы о
книгах. Теория и история литера-
туры, с.264 — 265.

1983

Перцов П.

Литературное крохоборство.

—Прилож. к газ. «Новое вре-
мя», 1915, № 14212, с.11 — 12.

[Рец. на кн.: Семенов Л. М.Ю.
Лермонтов. Статьи и заметки. I,
М., 1915.].

1984

Полянская

Царская цензура о «народных»
изданиях сочинений М.Ю.Лермон-
това.

—«Красный архив», М., 1939,
т. 5, 96, с.180 — 182.

[Вводная статья к докладам
членов особого отд. ученого
ком-та Мин. нар. просвещения ...
А.Н.Майкова, А.Г.Филосова, А.А.
Радонежского, К.К.Случевского].

1985

Покотилев О. [Рец.]

Обзор юбилейной литературы

о М.Ю.Лермонтове.

—«Русская школа», Пг., 1915, № 2, «Критика и библиография», с.5 — 6.

[Рец. на кн.: Кл. Лукашевич. Как жил и что писал М.Ю.Лермонтов, М., 1914]

1986

Покотилев О.

Обзор юбилейной литературы о М.Ю.Лермонтове.

—«Русская школа», Пг., 1915, № 2, «Критика и библиография», с.12.

[Рец. на кн.: Нейман Б. В. Жизнь и поэзия Лермонтова. Киев, Книгоизд. Самоненко].

1987

Поповский М.

Когда врач мечтает ... М., Все-союзн. учебн-педагог. изд-во Труд-резервиздат, 1957, 189 [3] стр.

[С.180, 188: о статье куйбышевского хирурга С.П.Шиловцева «Рана Лермонтова», напечатанной в сборн. работ, посвященном вопросам брюшной хирургии. (Горький, 1946)].

1988

Проходов Е. И.

Почему промолчали лермонтоведы?

—«Вопросы литературы», 1964, № 7, с.236 — 237.

[По поводу статьи А.Титова «Неизвестное стихотворение Лермонтова» в журнале «Звезда», 1960, № 10].

1989

Пульхритудова Е.

Две книги о Лермонтове.

—«Вопросы литературы», 1958, № 3, с.224 — 230.

[Рец. на кн.: Михайлова Е.Н. Проза Лермонтова. М., 1957; Иванова Т.А. Юность Лермонтова. М., 1957].

1990

Рождественский В. [Рец]

Екатерина Сушкова. «Записки» 1812 — 1841. «Академия», Л., 1928.

—«Звезда», М.-Л., 1928, № 5, Библиография, с.165 — 166.

1991

Розенталь М.

В защиту Лермонтова.

—«Литературный критик». М., 1938, кн. 9—10, с.74 — 84.

[О статье В.Кирпотина, напеч. в «Литературной газете», № 47, 1938].

1992

Самойлова М.

Судьба Лермонтова.

—«Знамя», 1965, № 3, с.249 — 250.

[Рец. на кн.: Герштейн Э.Г. Судьба Лермонтова. М., «Сов. писатель», 1964].

1993

Светлов Л.

[Рец.]

Б.М.Эйхенбаум. Статьи о Лермонтове. Издательство Акад. наук СССР. М.-Л., 1961, 372 стр.

—«Новый мир»; 1961, № 9, с.285.

1994

Свительский В.

Лермонтов: романтика загадок и реальность истины.

—«Подъем», 1975, № 6, с.106—110.

[Рец. на кн.: Удодов Б.Т. М. Ю.Лермонтов. Художественная индивидуальность и творческие процессы. Воронеж, 1973].

1995

Свительский В.

Теория для практики.

—«Подъем», 1973, № 6, с.164—166.

[С.165: Критика статьи Т.А. Недосекиной «Автор в поэме «Демон» —В кн.: Проблема автора в художественной литературе. Воронеж, 1967, с.24—36].

1996 (М)

Семенов Л. П. и Гиреев Д. А.

Новое академическое издание М.Ю.Лермонтова. —В кн.: Михаил Юрьевич Лермонтов. Сб. статей и материалов. Ставрополь, Ставроп. кн. изд-во, 1960, с.293—306.

1997

Сивоконь С.

Увлекательно и фактично.

—«Семья и школа», 1964, № 10, с.44,

[Рец.: на кн.: Андроников И. Л. Лермонтов. Исследования и

находки, М., «Худож. литература», 1964].

1998

Сиповский В.

[Рец.]

Академическая библиотека русских писателей. Вып. 2. Полное собрание сочинений М.Ю.Лермонтова, Т. I, Под ред. и с примеч. проф. Д.И. Абрамовича. СПб., 1910.

—«Журнал Минист. народн. просвещ.», СПб., 1910, часть XXIX, сентябрь, отд. 3, с.96—97.

1999

Слащев Е.

Об одной версии гибели М.Ю. Лермонтова.

—«Литературный Киргизстан», 1959, № 4, с.110—119.

[Ответ на статью В.А.Швамбергера «Трагедия у Перкальской скалы»].

2000

Словарь языка Лермонтова

Лингвистические источники. Фонды Института русского языка. М., 1967,

[С.42: описание картотеки материалов к словарю языка М. Ю.Лермонтова].

2001

Словарь языка Лермонтова

ЭВМ читает Лермонтова.

—«Вопросы литературы», 1974, № 1, с.313.

[Работа над составлением сло-

варя языко Лермонтова с помощью электронновычислительной машины].

2002

Смирнов-Кутаческий А. М. [Рец.]

П.Е.Щеголев. Книга о Лермонтове. Выпуск первый, 327 стр. Выпуск второй 246 стр. Изд.

«Прибой», 1929,

—«Красная новь», М.-Л., 1929, № 10, с.232 — 233.

2003

Спасович В. [Рец.]

Лермонтов в книге Н. Котляревского. —М.Ю.Лермонтов. Личность поэта и его произведения. Опыт историко-литературной оценки. СПб., 1891.

—«Вестник Европы», 1891, т. 6, декабрь, с.604 — 634.

2004

Турбин В. [Рец.]

Загадка И.Л.А. (О творчестве рассказчика и литературоведа И. Л.Андроникова).

—«Дон», 1966, № 4, с.182 — 185.

2005

Турбин В.

«Фамилию Лермонтова встретя».

—«Дружба народов», 1955, № 11, с.175 — 179.

[Рец. на кн.: Андреев-Кривич. Лермонтов. М., Изд-во Акад. наук СССР, 1954].

2006

Титов А.

«Не требуя венца».

—«Звезда», 1967, № 12, с.209 — 210.

[Рец. на кн.: Мануйлов В. А. Роман М.Ю.Лермонтова «Герой нашего времени», М.-Л., «Просвещение», 1966].

2007

Трофимов И. Т.

—«Веч. сред. школа», 1975, № 2, с.91.

[Рец. на кн.: Коровин В. И. Творческий путь М.Ю.Лермонтова. М., «Просвещение», 1973].

2008

Удодов Б. Т.

«К нам Лермонтов сходит незрел времена».

—«Подъем», 1966, № 2, с.154 — 156.

[Рец. на кн.: Архипов В. М.Ю. Лермонтов. Поэзия познания и действия, «Моск. рабочий», 1965].

2009

Фадеева Надежда

По поводу записок Екатерины Александровны Хвостовой.

—Газ. «Современная летопись», 1869, № 46, с.10 — 11.

2010

Фишер В. М.

Из юбилейной литературы о Лермонтове.

—«Голос минувшего», М., 1914,

№ 10, Критика и библиография.
Из текущей литературы, с.297 –
307.

2011

Фохт У. Р.

Крестьянское восстание в изо-
бражении Лермонтова.

—«Вопросы литературы», 1968,
№ 6, с.227 – 228.

[Рец. на кн.: Пиксанов Н.К.
Крестьянское восстание в «Вади-
ме» Лермонтова. Саратов, 1967].

2012

Фридендер Г. М.

Новый рекомендательный ука-
затель литературы о Лермонтове.

—«Советская библиография»,
1964, № 6, с.40 – 42.

[Рец. на кн.: Найдич Э.Э. М.Ю.
Лермонтов. Л., 1964. М-во куль-
туры РСФСР. Гос. публ. б-ки
им. Салтыкова-Щедрина].

2013

Фризман Л.

Художественный мир Лермон-
това.

—«Вопросы литературы», 1975,
№ 1, с.267 – 272.

[Рец. на кн.: Удодов Б.Т. М.Ю.
Лермонтов. Художественная
индивидуальность и творческие
процессы. Воронеж, 1973].

2014 (Т)

Фриче В.

Проблема русского романтизма.

—«Печать и революция», М.,

1927, кн. 5, июль-авг. Обозрение
искусств и литературы. с.73–78.

[Рец. на кн.: Шувалов С.В.
Блок и Лермонтов. —В сб.
«Семь поэтов», М., 1927].

2015

Фриче В. М. [Рец.]

Проблема русского романтиз-
ма. —В кн.: Проблемы искусст-
воведения. Сборник статей по
вопросам социологии искусства и
литературы. М.-Л., 1930, с.119 –
128.

[Рец. на кн.: Швалов С. Блок
и Лермонтов. —В сб. «Семь поэ-
тов», М., 1927].

2016

Ходоров А. Е.

Творческий мир великого поэта.

—«Нева», 1975, № 2, с.190 –
191.

[Рец. на кн.: Удодов Б.Т. М.
Ю.Лермонтов. Художественная
индивидуальность и творческие
процессы. Воронеж, 1973].

2017

Шведов Ю.

Дума о Лермонтове.

—«Октябрь», 1966, № 4, с.189
– 194.

[Рец. на кн.: Архипов В.А. М.
Ю.Лермонтов. Поэзия познания и
действия. М., «Моск. рабочий»,
1965].

2018

Шилов А. [Рец.]

«Народный» Лермонтов.

—«Ежемесячный журнал», Пг., 1914, № 10, Библиография, с.158.

[Рец. на кн.: Кл. Лукашевич. Как жил и что писал М.Ю.Лермонтов. М., 1914].

2019

Шкловский В. [Рец.]

Детиздат в 1939 году.

—«Детская литература», М., 1939, № 12, с.34 — 47.

[С.37 — 38, в гл. «Биографическая книга»: о книге И. Андроникова «Жизнь Лермонтова»].

2020 (М)

Шкловский В. Б.

О том, как в советское время заново был открыт Лермонтов.

—В кн.: Шкловский В. Тетива. О несходстве сходного, М., 1970, с.34 — 39.

2021 (М)

Шкловский В. Б.

Первая книга Б.Эйхенбаума о Лермонтове. —В кн.: Шкловский В. Тетива. О несходстве сходного. М., «Советский писатель», 1970, с.27 — 33.

2022

Шкловский В.

Шифр Лермонтова.

—«Огонек», 1964, № 40, с.22 — 23.

[Рец. на кн.: Андроников И.

Исследования и находки. М., 1964]

2023

Шувалов С.

Новый Лермонтов.

—«Литературный критик», М., 1936, № 3, Обзоры и библиография. с.174 — 181.

[Рец. на 3-й и 4-й том полного собрания сочинений Лермонтова в изд. «Academia» под ред. Б.М. Эйхенбаума. 1935. т. III, Поэмы и повести в стихах. т. IV, Драмы и трагедии].

2024

Эйгес И. Р. [Рец.]

С.Дурылин «Герой нашего времени».

—«Литература в школе», 1940, № 6, с.85 — 88.

2025

Эйгес И. [Рец.]

М. Лермонтов. Драмы. Статья Б.Неймана «Драматургия Лермонтова». М.-Л., «Искусство», 1940.

—«Литературное обозрение» М., 1941, с.86 — 89.

2026

Эйхенбаум Б. М. [Рец.]

В.Г.Белинский. М.Ю.Лермонтов. Статьи и рецензии. Ред., вступит. статья и прим. Н. Мордовченко. Л., Гослитиздат, 1940, 266 стр.

—«Литературное обозрение», М., 1941, № 4, с.66 — 68.

2027

Эйхенбаум Б. М.

К вопросу о «западном влиянии» в творчестве Лермонтова. — «Северные записки». Пг., 1914, октябрь-ноябрь, с.220—225. [Рец. на кн. Дюшена и Родзевича].

2028

Эйхенбаум Б. М. [Рец.]

В.Я.Кирпотин. Политические мотивы в творчестве Лермонтова. — «Красная новь», М., 1940, № 11-12, с.346 — 347.

2029

Эйхенбаум Б. М. [Рец.]

Новая биография Лермонтова. — «Литературное обозрение», М., 1939, № 22, 125 лет со дня рождения М.Ю.Лермонтова, с.45 — 47. [Рец. на кн.: Иванов С.В. «Лермонтов М.» «Молодая гвардия», 1938].

2030 (Т)

Эйхенбаум Б. М.

О тексте «Героя нашего времени». — В кн.: Б.Эйхенбаум. О прозе. Сб. статей. Л., «Худож. лит.», Ленингр. отд-ние, 1969, с.427 — 430.

2031

Эйхенбаум Б. М. [Рец.]

Л.П.Семенов «Лермонтов на Кавказе», Пятигорск, 1939. — «Звезда», Л., 1940, № 12, Библиография. История литературы, с.180 — 181.

F

2032 (Т)

Абрамович Д. И.

Обзор изданий сочинений Лермонтова. — В кн.: Полное собр. соч. М.Ю.Лермонтова. Под ред. Д.И.Абрамовича. Т.V., СПб., Изд. Разряда изящной словесности Имп. Акад. Наук, 1913, с.60 — 76.

2033 (Т)

Абрамович Д. И.

Рукописи Лермонтова. — В кн.: Полное собр. соч. М.Ю.Лермонтова. Под ред. и с примеч. Д.И.Абрамовича. Т.V., СПб., Изд. Разряда изящной словесности Имп. Акад. Наук, 1913, с.26 — 42.

2034 (Т)

Абрамович Д. И.

Список произведений Лермонтова по времени первого появления их в печати. — В кн.: Полное собр. соч. М.Ю.Лермонтова. Под ред. Д.И. Абрамовича. Т.V., СПб., Изд. Разряда изящной словесности Имп. Акад. Наук, 1913, с.43 — 59.

2035 (М)

Александров К. Д. и Кузьмина Н. А.

Библиография текстов Лермонтова. Публикация, отдельные издания и собрания сочинений. М.-Л., Изд-во АН СССР, 1936, 479 стр. (АН СССР. Ин-т рус. лит. Материалы для библиографии Лермонтова. Под ред. В.А.Мануйлова.

Т. 1).

[Содерж.: Библиография текстов Лермонтова, — Стихотворения, приписываемые Лермонтову, — Воспроизведение автографов Лермонтова, — Воспроизведение рисунков Лермонтова, — Алфавитный указатель произведений Лермонтова, приписываемых ему стихотворений и автографов].

2036

Багрий А.

М.Ю.Лермонтов в юбилейной литературе. Библиографический обзор.

— «Ж. мин-ва нар. просв.», 1915, № 4, с.61 — 104.

[Библиогр.: Указатель лермонтовской юбилейной лит-ры, с.94 — 104].

2037

Бережнова Ю.

Библиография работ Б.М.Эйхенбаума о Лермонтове. — В кн.: Эйхенбаум Б.М. Статьи о Лермонтове. М.-Л., 1961, с.367 — 371.

2038 (М)

Буковский Н. Н.

Библиография. Отдел I. Некрологи, биографии, заметки и проч. Отдел II. Рецензии, отзывы, заметки, критические статьи и библиография о произведениях М.Ю.Лермонтова с 1839 по 1891 г. — В кн.: Сочинения М.Ю.Лермонтова. Первое полное изд. ... под ред. П.А.Висковатова. Т. III. М., В.Ф.

Рихтер, 1891. [Помещена в конце книги].

2039

Великий русский поэт Михаил Юрьевич Лермонтов. 100 лет со дня смерти.

[Библиографический указатель. Новосибирск]. Новосибиргиз, 1941, 28 стр. (Новосиб. обл. б-ка).

2040 (М)

Воскресенская Н., Мацуев Н., Петровская Е. М.

М.Ю.Лермонтов. К 125-летию со дня рождения. 1814 — 1939. Библиографический указатель. Под ред. Н.Мацуева. М., 1939, 40 стр. (Всесоюзная библиотека им. Ленина. Научно-библиогр. отд.).

2041 (Т)

Врангель Н. Н.

Иллюстрированные издания Лермонтова. — В кн.: Полное собр. соч. М.Ю.Лермонтова. Под ред. Д.И.Абрамовича. Т.V., СПб., Изд. Разряда изящной словесности Имп. Акад. Наук, 1913, с.227 — 229.

2042 (С)

Гармашева Т. В.

Документы о М.Ю.Лермонтове. Бюллетени рукописного отдела Пушкинского дома (Институт русской литературы Акад. наук СССР), 5, 1955, с.89 — 130, с табл.

2043

Готцук В. И.

Издание произведений М.Ю. Лермонтова в СССР и в дореволюционной России 1897 – 1939. По материалам книжной палаты. — «Сов. библиография», 1940, № 1, с.55 – 58.

2044

Заборова Р. Б.

Собирание и изучение лермонтовского наследия в ГПБ. — В кн.: Книги. Архивы. Автографы. М., «Книга», 1973. с.115 – 129. (Гос. Публичная б-ка им. М.Е.Салтыкова-Щедрина).

2045

Ильина Ф. В.

Лермонтовский кабинет библиотеки Пушкинского Дома. — «Труды библиотеки АН СССР и фундамент б-ки обществ. наук АН СССР», т. 5, 1961, с.68 – 74.

2046

Калантырская И. С.

Автографы М.Ю.Лермонтова и материалы о М.Ю.Лермонтове в отделе письменных источников ГИМ и использование этих материалов в литературоведческих трудах. — В кн.: Ежегодник гос. Исторического музея. 1963–1964. М., 1966, с.168 – 189.

2047 (К)

Мануйлов В. А.

Библиография основной литературы о романе Лермонтова «Герой

нашего времени». — В кн.: В.А. Мануйлов. Роман М.Ю.Лермонтова «Герой нашего времени». Комментарий. Пособие для учителя. Изд. 2-е, доп. Л., «Просвещение», 1975, с.268 – 279.

2048

Мануйлов В. А.

М.Ю.Лермонтов. Новые тексты и материалы. (К 120-летию со дня рождения поэта). — В кн.: Вестник Акад. наук СССР. Л., 1934, № 10, столб. 13 – 20.

2049 (М)

Мануйлов В.А., Гиллельсон М.И., Вацура В.Э.

М.Ю.Лермонтов. Семинарий. Под ред. В.А.Мануйлова. Л., Учпедгиз [Ленингр. отд-ние], 1960. 461 стр.

[Содерж.: I. Введение в изучение жизни и творчества М.Ю.Лермонтова, II. Основные даты жизни и творчества М.Ю.Лермонтова, III. Краткая библиография сочинений М.Ю.Лермонтова и литературы о его жизни и творчестве, IV. Темы для самостоятельной работы.]

2050 (К)

Миллер О. В.

Библиография литературы о М. Ю.Лермонтове. (1917 – 1977 гг.). Л., «Наука», Ленингр. отд-ние, 1980, 517 стр. (АН СССР. Ин-т рус. лит. Пушкинский Дом).

[Содерж.: Предисловие; Классики марксизма-ленинизма о М.Ю.Лермонтове. Использование художе-

ственных образов Лермонтова в их произведениях; Литература о жизни и творчестве М.Ю.Лермонтова; М.Ю.Лермонтов в искусстве (театр, кино, музыка, изобразительное искусство); Лермонтовские памятные места и мемориальные музеи; Справочно-библиографическая литература; Указатель имен, периодических изданий и учреждений; Указатель произведений М.Ю.Лермонтова; Предметно-тематический указатель].

2051 (M)**Миллер О.**

Литература о Лермонтове (1960 — 1963). — В кн.: Творчество М.Ю.Лермонтова. 150 лет со дня рождения. М., «Наука», 1964, с.492 — 509. (АН СССР. Ин-т мировой лит-ры).

2052**Михайлова А. Н.**

Рукописи М.Ю.Лермонтова. Описание. Под ред. Б.М.Эйхенбаума. Л., Упр-ния изд-в и полиграфии Исполкома Ленгорсовета, 1941, 76 стр. с илл., и факс.

(Труды гос. ордена трудового красного знамени Публичной библиотеки им. М.Е.Салтыкова-Щедрина. Т. II).

2053**Михайлова А.**

Рукописи поэта. [Обзор коллекций рукописей М.Ю.Лермонтова в ГПБ].

—«Огонек», 1944, № 39-40, с.15.

2054 (M)**Модзалевский Л. Б.**

Краткое описание автографов М.Ю.Лермонтова в Институте русской литературы (Пушкинском Доме) Академии Наук СССР. — В кн.: Бюллетени рукописного отдела [Ин-та рус. лит-ры АН СССР], М.-Л., 1950, [кн] 2, с.5 — 22.

[Содержание: 1. Сборники смешанного содержания, 2. Стихотворения, 3. Поэмы и повести в стихах, 4. Драмы и трагедии, 5. Проза, 6. Письма, 7. Официальные документы, 8. Надписи на книгах, 9. Рисунки].

2055**Найдич Э. Э.**

М.Ю.Лермонтов. Рекоменд. указ. литературы и метод. литературы в помощь библиотекаря. К 150-летию со дня рождения поэта. Л., 1964. 232 стр. (М-во культуры РСФСР. Гос. ордена Трудового Красного Знамени пуб. б-ка им. М.Е.Салтыкова-Щедрина).

2056 (M)

Описание рукописей и изобразительных материалов Пушкинского Дома. М.Ю.Лермонтов.

М.-Л., Изд-во АН СССР, 1953, 364 стр. с илл.

2057**Попов А. В.**

М.Ю.Лермонтов и Кавказ. Рекомендательная библиография с приложением хронологической

канвы кавказской биографии поэта. Ставроп. кн. изд-во, 1963, 52 стр.

2058 (M)

Попов А. В.

М.Ю.Лермонтов. Для студентов историко-филологического факультета и преподавателей средних школ. Ставрополь, 1957, 67 стр. (Ставр. гос. пед. ин-т. Каф. лит-ры).

2059

Публичная библиотека им. Салтыкова-Щедрина.

Ленинград. Краткий отчет рукописного отдела (Публчной библиотеки им. Салтыкова-Щедрина) за 1914 — 1938 г. Л., 1940.

[О Лермонтове: с.80, 131, 182, 196, 198, 234, 238].

2060

Пустынников Г. А.

Филологический коллоквиум. —В кн.: Учен. записки Кустанайского гос. пед. ин-та. т.2. 1958, с.111 — 151.

[С.132 — 134: Аннотированная библиография к теме «Лермонтов-драматург»].

2061

Рыбкин Е. И.

Библиографические указатели русской литературы XIX века. Под ред. Б.П.Козьмина. М., 1949. 260 стр.

[С.98 — 105: обзор библиогра-

фий о Лермонтове; с.227 — 228: библиография].

2062

Слварь литературных типов

Том 2. Вып. 3, Лермонтов. Пб., «Всходы», 1909. 114, [2] стр. Ред. Н.Носкова.

[Содерж.: М.Ю.Лермонтов. (биогр. канва); Характеристики; Указатель типов, образов и лиц; Перечень произведений Лермонтова и входящих в них типов, и лиц; Источники для изучения произведений Лермонтова; Последовательность типов в творчестве Лермонтова; Место действия в произведениях Лермонтова].

2063

Смирнова-Чикина Е. С.

М.Ю.Лермонтов. Рекомендательный указатель литературы. [Сост. Е.С.Смирнова-Чикина. Раздел: «Произведения М.Ю.Лермонтова на языках народов СССР». —сост. Б.Е.Левинной и Н.Е.Черняк]. Под ред. проф. Н.Л.Бродского. М., тип. «Гудок», 1945. 72 стр. (Гос. Библиотека СССР им. В.И. Ленина. Великие русские писатели. Вып. 2).

2064

Фомин А. Г.

Обзор вышедших после Великой Октябрьской социалистической революции изданий произведений русских дореволюционных писателей. —В кн.: Ученые запи-

ски. (Ленингр. гос. пед. ин-та им. М.Н.Покровского. Фак-т языка и литературы, Вып. I, Л., 1938), с.161 – 173.

[Об изданиях Лермонтова, – с.162, 165 – 166].

2065

Шляпкин И. А.

Лермонтов. (Рукописи Лермонтова в собрании Берлинской королевской библиотеки).

–«Русская старина», СПб., 1893. апрель, с.51 – 60.

[Берлинские материалы для истории русской литературы].

2066

Щехотова З. И. и Воровьева М. П.

Михаил Юрьевич Лермонтов (1814 – 1841), Краткий указатель литературы. Молотов, 1941. 16 стр. (Молотовская обл. б-ка им. Горького).

2067 (С)

Эйхенбаум Б. М.

Библиография работы Б.Эйхенбаума о Лермонтове. —В кн.: Б.М.Эйхенбаум. Статьи о Лермонтове. М.-Л., Изд-во АН СССР, 1961, с.367 – 371 (АН СССР. Ин-т рус. лит.).

G

2068

Андреев-Кривич С. А.

Лермонтов и реакция. (Эпизод

литературной борьбы сороковых годов).

–В ж. «30 дней» 1938, № 7, с.88 – 90.

[Роман С.О.Бурачка «Герой нашего времени» (В ж. «Маяк» 1845, т.19-20)].

2069 (К)

Андроников И. Л.

Земляк Лермонтова. —В кн.: И.Л.Андроников. Избранные произведения. В 2-х томах. Т. 1. М., «Худож. лит.», 1975, с.91 – 100.

2070

Андроников И. Л.

Лермонтов. Новые разыскания М., «Сов. писатель», 1951. 320 стр. 16 л. ил.

[Все главы повторяются в предыдущих и последующих книгах автора].

2071 (К)

Андроников И. Л. [Рассказ]

Личная собственность. —В кн.: И.Л.Андроников. Избранные произведения. В 2-х томах. Т. 1. М., «Худож. лит.», 1975, с.101 – 144.

2072 (К)

Андроников И. Л.

Портрет. —В кн.: И.Л.Андроников. Избранные произведения. В 2-х томах. Т. 1. М., «Худож. лит.», 1975, с.45 – 77.

2073

Андроников И. Л.

Рассказы литературоведа. М., Детгиз, 1956, № 3, 128 стр. с ил. Школьная б-ка.

[Загадка Н.Ф.И.; Подпись под рисунком; Земляк Лермонтова. Все эти главы повторяются в последующих его книгах].

2074 (К)

Андроников И. Л.

Сестры Хауф. —В кн.: И.Л. Андроников. Избранные произведения. В 2-х. томах. Т. 1. М., «Худож. лит.», 1975, с.281 — 287.

[Правнучка А.М.Верещагиной].

2075

Андроников И. Л.

Я хочу рассказать вам ... Рассказы, портреты, очерки, статьи. Изд. 3-е., М., «Сов. писатель», 1971, 576 стр. с ил.

[Все главы о Лермонтове повторяются в предыдущих и последующих книгах автора].

2076

Аронов Г.

Неизвестные строки Лермонтова. [Пародия].

—«Вопросы литературы», 1969, № 11, с.237 — 238.

2077

Бегак Б., Кравцов Н., Морозов А.

Русская литературная пародия. М.-Л., Госиздат, 1930.

[С.23, 24, 29, 53, 60, 78, 79, 92-94, 133 — о Лермонтове].

2078 (Т)

Беккер И.

К.А.Горбунов и его портрет Лермонтова. —В кн.: Литературное наследство, № 45-46, М., 1948, с.776 — 781.

2079 (К)

Бессонов Б. Л.

Лермонтов в повести А. Я. Панаевой «Пасека» (1849). —В кн. М.Ю.Лермонтов. Исследования и материалы, Л., «Наука», 1979, с.423 — 425.

2080

Бурачек С. А. [Пародия]

Герой нашего времени. (Повесть). Часть 1-2.

—«Маяк», 1845, т.19, кн. 37, с.1 — 104, кн. 38, с.105 — 207.

2081

«Герой нашего времени» (Повесть)

[Пародия на лермонтовского «Героя нашего времени»]

—«Маяк», 1845, Т. XIX, Кн. XXXVII, Гл. I, с.1 — 207.

2082

Гус М. С.

Гоголь и николаевская Россия. М., Гослитиздат, 1957. 375 стр.

[С.160 — 161: причины запрещения цензурой «Маскарад»; с.218: Гоголь и Аксаков о «Герое нашего времени»; с.295: парижский журнал «Illustration» о Лермонтове 1845; с.336: сопоставле-

ние Печорина с Течетниковым и Платоновым].

2083 (К)

Капиева Н. В.

Лермонтов на языках народов Дагестана. — В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, 1974, с.403 — 407.

2084

Карсалова Е. В.

Межпредметные связи при изучении художественного произведения. (На примере изучения стихотворения М.Ю.Лермонтова «Бородино»). — В кн.: Повышение идейности и научности преподавания литературы в школе. Сб. трудов. М., 1974, с.59 — 67. (Моск. пед. ин-т им. Ленина).

2085 (К)

Луначарский А. В.

Собрание сочинений. Т. 1—8. М., «Худож. литература», 1963 — 1967.

[Т.1, с.51 — 52: Пушкин и Лермонтов. («Александр Сергеевич Пушкин (1930)»); с.66: К*** (О полно извинять разврат) — отклик на либерализм Пушкина (Там же); с.90 — 102; Лермонтов — революционер.

Т.3, с.385 — 386: Юрьев в роли Арбенина («Несколько воспоминаний о Ю.М.Юрьеве»).

Т.4, с.175: «Потерянный рай» Мильтона и «Демон»; с.279, 285: замечания о байронизме Лермонтова («История западноевро-

пейской литературы в ее важнейших моментах»).

Т.5, с.448: влияние Байрона на Лермонтова. («Байрон, 2 мая 1824 г. — 2 мая 1924 г.»); с.474 — 475: Петефи и Лермонтов («Александр Петефи»).

Т.7, с.25 — 27: тип «современного Грушницкого», («О художнике вообще и некоторых художниках в частности»).

Т.8, с.72: Лермонтов и Пушкин; с.97: значение разбойничьей темы у Лермонтова («Социологические и патологические факторы в истории искусства»)].

2086

Мануйлов В. А.

Живое наследие. (К 150-летию со дня рождения М.Ю.Лермонтова). — В кн.: Вестник Ленингр. ун-та, 1964, № 20, Серия истории, языка и литературы, вып. 4, с.61 — 66.

2087

Мартынов Н. С.

Стихотворения Николая Соломоновича Мартынова.

— «Русский архив», М., 1914, № 11, с.388 — 409.

2088

Минаев Д. Д.

[Пародия]

В кругу друзей, у камелька ... [На В. Соллогуба] — В кн.: Островский А. Эпиграмма и сатира. М.-Л., «Academia», 1932, т.2, с.300 — 304.

В конце текста: Темный чело-

век [Д.Минаев].

Эпиграмма.

[О Лермонтове: с.304].

2089

Минаев Д. Д. [Пародия]

Война и мир. (Скажи-ка, дядя, без утайки). [Подражание Лермонтову («Бородино») и графу Льву Толстому («Война и мир»)]. —В кн.: Поэты «Искры». Ред. и прим. Ямпольского, Л., 1933, с.257 — 262.

2090

Минаев Д. Д. [Пародия]

Во сне. (В последний жар на даче Безбородко.) [Стих.] —В кн.: Поэты «Искры». Ред. и прим. И.Ямпольского. Л., 1933, с.268 — 269.

Перед загл.: Конкурсные стихотворения на звание члена общества любителей русской словесности.

[Пародия на стих. Лермонтова «Сон»].

2091

Минаев Д. Д. [Пародия]

Голос из могилы. (Пусть схоронили под землею ...) [Стих.]. —В кн.: Мнимая поэзия. Под ред. Ю.Тынянова. М.-Л., 1931, с.394 — 396.

В конце текста: Обличительный поэт.

[Пародия на стих. Лермонтова «Любовь мертвеца»]. [«Искра», 1860, № 14, с.156].

2092

Минаев Д. Д. [Пародия]

Демон. Сатирическая поэма. Сказки. Д.Д.Минаева. СПб., Ф.Н. Плотников, 1880, 202 стр. [Демон — с.3 —87].

2093

Минаев Д. Д. [Пародия]

Думы и песни Д.Д.Минаева и юмористические стихотворения обличительного поэта. (Темного человека). СПб., изд. тип. В.Головин, 1963. [4] IV, [4], 308 стр.

[Подражание Лермонтову и пародия на него: 1. Просьба — с.117, 2. Маскарадные мотивы — с.140, 3. Два сотрудника — с.155, 4. Московская легенда XIX в. — с.173 — 174, 5. Журнальное Бородино — с.181 — 184, 6. Подражание современным лирикам — с.197 — 198, 7. Отцы и дети — с.211 — 213, 8. Завещание акционера — с.233 — 234, 9. Редактор, читатель и писатель — с.248 — 253, 10. К картине «Хаджи Абрек» — с.307].

2094

Минаев Д. Д. [Пародия]

Новогодняя фантазия. Фельетон-поэма.

—«Дело», 1873, № 1, с.58 — 77.

[В конце статьи: «Литературное домино»].

[Пародия на «Демона»].

2095 (М)

Мохов И. А.

Поэзия Лермонтова в трудах и

выступлениях В.И.Ленина. —В кн.: М.Ю.Лермонтов. Материалы и сообщ. VI Всесоюз. лермонт. конф. Ставрополь, Ставр. кн. изд-во, 1965, с.3 — 13. (Ставр. пед. ин-т).

2096

Мржгинская Е. Н.

Изучение поэмы «Мцыри» в школе. —В кн.: Материалы IX науч. конференции литературоведов Поволжья. Пенза, 1969, с.135 — 137.

2097

Не-Лермонтов

Современная колыбельная песня. —В кн.: Жеребцов Б. Старая сибирская сатирическая поэзия. Новосибирск, 1938, с.84 — 86.

[Пародия на Лермонтова. Перепечатано из ж. «Овод». Иркутск, 1906, № 7. Подзаголовок в журнале «Вольное подражание Лермонтову»].

2098

Никитин Н. И.

Портрет у Лермонтова.

—«Литературная учеба», М., 1941, № 7-8, июль-август, М.Ю.Лермонтов (1841—1941), с.40 — 55.

2099 (Т)

Пахомов Н.

Портреты Лермонтова. —В кн.: Литературное наследство, № 19-21, М., 1935, с.517 — 530.

2100

Платонов А. П.

К столетию со времени смерти Лермонтова. —В кн.: Платонов А.П. Мастерская. М., «Сов. Россия», 1977, с.26 — 34.

2101 (К)

Розенфельд А. З.

Переводы произведений Лермонтова на таджикский язык. —В кн.: Лермонтов и литература народов Советского Союза, Ереван, с.399 — 402.

2102

Русские писатели о литературном труде (XVIII-XX в.в.)

Сборник в 4-х томах. Под общ. ред. Б.Мейлаха. Т. I. Л., «Советский писатель», 1954. Т. I, Сост. В.Архипов, В.Березина, Н.Богословский [и др.], Л., 1954, XV, 757 стр.

[С.401 — 420: М.Ю.Лермонтов. Сост. В.Мануйлов. (Вступ. статья на с. 397—400)].

Подбор высказываний Лермонтова: 1) Общественное значение литературы. Роль писателя. 2) Национальное своеобразие русской литературы. Народность. 3) Реализм].

2103

Соллогуб В.

[Пародия]

Большой свет. Повесть в двух томах.

—«Отечественные записки», 1940, т. 9, отд. III, словесность, с.5 — 79.

2104**Уханов И. П.**

Образы художественной литературы в трудах В.И.Ленина. М., Политиздат, 1965. 296 стр.

[С.69 – 72: М.Ю.Лермонтов].

2105**Шабаньянц Н.**

Захаров Петр Захарович. (Художник-академик из чеченцев). —В кн.: Известия Чечена-Ингушского научно-исслед. ин-та истории, языка и литературы. т. 2, вып. 3, Грозный, 1959, с.152 – 172.

[С.160: портрет Лермонтова работы Захарова; с.171 – 172: Захаров—возможный прототип «Мцыри»].

2106**Эйхенбаум Б. М.**

К истории «Гамлета» в России. —В кн.: Шекспирский сборник. 1967, М., ВТО, 1968. с.60 – 70.

[Публ. и послесл. Г.М.Фридлендера].

[С.65 – 70: Лермонтов о Гамлете в письме к М.А.Шан-Гирей. Отнесение письма к 1829 г. О стих. «Зови надежду сновиденьем»].